

# 総合検査案内

2024-2025年版

## GENERAL EXAMINATION GUIDE



一般社団法人 半田市医師会健康管理センター 臨床検査事業部

医療情報ネットワークシステム

Dr・Web

ドクターウェブ

Medical Information Network System

Dr.Webは地域医療を促進するための様々な機能を提供するシステムです。  
詳細については、巻末P132～を参照ください。



# 目次

検査依頼要項 ②

索引 ⑥

包括項目点数 ④⑨

## 生化学的検査

蛋白・含窒素成分・膠質反応	1
電解質・金属	5
糖代謝・有機酸・他	8
酵素・アミノザイム	10
生体色素	13
脂質	13
ビタミン	16
クリアランス検査	17

## 免疫血清学的検査

自己免疫	18
補体	18
免疫血液	22
免疫成分・血清蛋白成分	23
免疫グロブリン・アレルギー	24
感染症	28
肝炎ウイルス	34
梅毒	38
HIV検査	39

## 血液学的検査

血液学検査	40
凝固系検査	42

## 一般検査

尿一般検査	46
尿・糞便検査	47
穿刺液検査	47
髄液検査	48
精液検査	48

## 内分泌学的検査

下垂体	49
甲状腺	50
副甲状腺・骨代謝	52
腎・副腎皮質機能検査	54
副腎髄質・交感神経系	56
心臓関連検査	58
膵・消化管機能検査	59
性腺・胎盤関連検査	60
その他	62

## 腫瘍関連検査

腫瘍関連	63
------	----

### 登録検査業務

- ・生化学的検査
- ・微生物学的検査
- ・血清学的検査
- ・病理学的検査
- ・血液学的検査
- ・寄生虫学的検査
- ・遺伝子関連・染色体検査



## 薬剤検査

主な薬物検査の採血時期	68
特定薬剤治療管理料	69
薬剤検査索引	70
抗てんかん剤	72
向精神薬	73
強心剤	73
気管支拡張剤・抗生剤	73
抗不整脈剤	74
抗炎症剤	75
免疫抑制・抗悪性腫瘍剤	75
解熱・鎮痛剤	75
抗真菌剤	75
規制薬剤	76

## ウイルス検査

ウイルス検査一覧表	77
ウイルス抗体検査の特徴	78
抗体検査	79
HTLV検査	88
抗原検査	88

## 産業医学・毒物検査

産業医学・毒物検査	91
-----------	----

## 微生物学的検査

一般細菌	94
衛生検査	98
その他	99
抗酸菌	100

## 病理学的検査

病理組織	102
細胞診	104

## 細胞性免疫検査

細胞表面マーカー	108
細胞機能検査	110
染色体検査・遺伝子関連検査	111
HLA	111
その他	112

## 特殊・リスク検査

特殊検査	115
リスク検査	116

## 専用容器の取扱い方法

容器一覧	120
------	-----

## 検査依頼書・セット検査項目案内

検査依頼書	127
セット検査項目案内	128

## Dr>Web

Dr.Web	132
--------	-----

## 参考文献一覧

参考文献	137
------	-----

検査依頼要項 ②～⑤

索引 ⑥～⑪ 包括項目点数 ⑫⑬

生化学的検査 P1～P17

免疫血清学的検査 P18～P39

血液学的検査 P40～P45

一般検査 P46～P48

内分泌学的検査 P49～P62

腫瘍関連検査 P63～P67

薬剤検査 P68～P76

ウイルス検査 P77～P90

産業医学・毒物検査 P91～P93

微生物学的検査 P94～P101

病理学的検査 P102～P107

細胞性免疫検査 P108～P114

特殊・リスク検査 P115～P119

専用容器の取扱い方法 P120～P126

検査依頼書・セット検査項目案内 P127～P131

Dr>Web P132～P136

参考文献一覧 P137～P147

# 検査依頼要項

## 検査依頼要項

### ☆ 取引方法

担当者が、ご依頼の詳細についてご説明申しあげます。

### ☆ 検査のご依頼方法

検査のご利用に当たっては、所定の検査依頼書、検体容器（検体ラベル）をご使用下さい。  
検査依頼書、検体容器（検体ラベル）は、ご連絡により係員がお届けいたします。

#### 【検査依頼書】

- 患者名、性別、年齢、ID、検体採取年月日(時刻)、検体の種類、検査依頼項目、委託元の名称(緊急時連絡先を含む)をご記入下さい。
- 同姓同名での検体提出の際は依頼書へその旨をご記入下さい。
- 患者名はカタカナでご記入下さい。
- 蓄尿量、身長、体重、診断名、妊娠週数、申し送り事項等を必要に応じて所定欄にご記入下さい。
- 検査結果のFAX等が必要な場合はコメント欄にご記入下さい。
- 検査依頼書は複写式になっていますので、ボールペンで強くお書き下さい。
- 複写の一部をご依頼元控とし、併せて「受領書」とさせていただきますのでご了承下さい。

#### 【検体ラベル】

- 検体ラベルは委託元の名称、患者名、性別、年齢、ID、検体採取年月日(時刻)、検体の種類、検査依頼項目等をご記入の上、容器にお貼り下さい。

#### 【検体容器】

- 検体容器については、120～126ページの「容器一覧」をご参照下さい。
- 当センター指定の容器をご利用下さい。

### ☆ 検体の受領・輸送

- ご依頼の検体は、原則として貴病・医院でご指定の場所に当センター集配員が受領にお伺いいたしますので、検査依頼書と検体とを照合の上ご提出下さい。

検体受領場所 [ ]  
検体平均搬送時間 [約 時間]

### ☆ 依頼検体の保管期間

- お預かり致しました検体は、当センター規定により一定期間保管させていただきます。
- 保管日数は、依頼日より2週間保管し、再検査や追加検査のご要望にお応えしておりますが、末梢血液検査・尿検査など一部の検査につきましては7日間保管とさせていただきます。また、当センターから検査委託する項目につきましては、委託先の基準に基づいて保管させていただきます。

### ☆ 再検査

- 当センター再検査基準に基づき再検査を致します。

### ☆ 検査結果のご報告

- 検査結果は、原則的には所定の報告書にてお届けいたします。
- 緊急報告を希望されるときは、検査依頼時に予めご指示下さい。検査結果が判明次第、FAX等にて連絡させていただきます。
- 緊急報告値の範囲が設定してある項目については、特にご指示がない場合でも連絡させていただきます。

### ☆ 検査結果のお問い合わせ

- 検査内容等のお問い合わせ・ご意見、ご指摘等につきましては、学術インフォメーションへお問い合わせ下さい。

### ☆ 総合検査案内掲載内容

検査コード	検査項目	採取量(ml) 保存 提出量(ml) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
蛋白 1001	総蛋白(TP)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	11 生 I	緊急報告 1 ⑤	6.7~8.3 g/dl	Biuret法		肝硬変 慢性感染症 ネフローゼ症候群 多発性骨髄腫
	検査項目名(略称・別称)	採取容器	緊急報告対象	所要日数	基準値	検査方法	依頼時の 注意事項	検査目的及び異常値を 示す疾患 (保険対象疾患ではありません)
	項目コード	検体保存条件	測定委託先					
	分類	検体材料及び必要量	実施料包括項目					
			保険点数・判断料区分					

## 【採取量・提出量】

検体採取量・提出量は再検査分を考慮して設定しております。多項目をご依頼の場合の検体量についてはご相談ください。

## 【保存】

指定の保存方法にてご提出下さい。

**室** 常温（20℃前後）で保存して下さい。 **凍** 凍結（-10℃以下）で保存して下さい。 **氷** 氷水中で保存して下さい。

**冷** 低温（4℃前後）で保存して下さい。 **絶対** 必ず凍結（-10℃以下）で保存して下さい。

## 【容器】

「容器」欄の記号は、項目ページ下段及び巻末の「容器一覧」をご参照のうえご利用下さい。

## 【基準値】

「正常参考値及び判定基準」は「基準値」の欄に表示しております。

## 【所要日数】

検体をお預りした翌日を起算日として報告書をお手元にお届けするまでのおおよその日数です（日、祝祭日は除く）。また、再検査に必要な所要日数は含まれていませんので、当施設の再検基準に基づいて再検査を行った場合や、受託件数が集中して大幅に増加した場合は、検査報告が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 【参考文献】

検査方法についての基本的な参考文献です。（137～147ページ参照）

## 【測定委託先】

所要日数欄の記号の項目については当センターより下記会社へ依頼外注しております。（ ）は検体搬送時間です。

S：SRL (1.5) L：LSIメディエンス (2.5) B：BML (2.0) H：保健科学 (2.0)

○：半田市医師会健康管理センター

## ☆ 緊急報告の対象項目と検査値範囲

所要日数の欄に **緊急報告** マークのある検査項目については、検査値が設定された範囲を超えた場合、直ちにFAX等にて緊急連絡させていただきます。

	検査コード	検査項目名	緊急報告値の範囲	基準値
血液学	4565	白血球数 (WBC)	2000以下、18000以上 /μℓ	3300～8600 /μℓ
	4567	血色素量 (Hb)	7.0以下、19.0以上 g/dℓ	M:13.7～16.8、F:11.6～14.8 g/dℓ
	4566	赤血球数	200万以下 ×10 <sup>4</sup> /μℓ	M:435～555、F:386～492 ×10 <sup>4</sup> /μℓ
	4570	血小板数 (PLT)	5万以下、100万以上 /μℓ	15.8万～34.8万 /μℓ
	4581	白血球分類	芽球出現時又は異常細胞出現時	%
免疫	4336	直接クームス	陽性(Baby)	陰性
	3231	CRP定量	25.0以上 mg/dℓ	0.00～0.14 mg/dℓ
生化学	1031	AST (GOT)	400以上 U/ℓ	13～30 U/ℓ
	1034	ALT (GPT)	400以上 U/ℓ	M:10～42、F:7～23 U/ℓ
	1016	LDH	800以上 U/ℓ	124～222 U/ℓ
	1051	ALP	300以上 U/ℓ	38～113 U/ℓ
	1047	γ-GTP	1000以上 U/ℓ	M:13～64、F:9～32 U/ℓ
	1530	総ビリルビン	3.0以上 mg/dℓ	0.4～1.5 mg/dℓ
	1021	CK (CPK)	1000以上 U/ℓ	M:59～248、F:41～153 U/ℓ
	1181	尿素窒素	50.0以上 mg/dℓ	8.0～20.0 mg/dℓ
	1170	クレアチニン	3.0以上 mg/dℓ	M:0.65～1.07、F:0.46～0.79 mg/dℓ
	1001	総蛋白 (TP)	10.0以上 g/dℓ	6.6～8.1 g/dℓ
	1510	血清鉄	300以上 μg/dℓ	40～188 μg/dℓ
	1074	AMY	500以上 U/ℓ	44～132 U/ℓ
	1221	血糖	30以下、400以上 mg/dℓ	73～109 mg/dℓ
	1222	血糖 (NaF)	59以下、400以上 mg/dℓ	73～109 mg/dℓ
	1479	カルシウム	6.0以下、14.0以上 mg/dℓ	8.8～10.1 mg/dℓ
	1313	中性脂肪	1000以上 mg/dℓ	M:40～234、F:30～117 mg/dℓ
1323	総コレステロール	400以上 mg/dℓ	142～248 mg/dℓ	
1460	ナトリウム	120以下、170以上 mmol/ℓ	138～145 mmol/ℓ	
1465	カリウム	7.5以上 mmol/ℓ	3.6～4.8 mmol/ℓ	
細菌		細菌培養同定	血液・髄液での菌の検出、2,3類感染症菌の検出、抗酸菌の検出	
薬物検査	1723	フェノバルビタール	60以上 μg/ml	15～40 μg/ml
	1727	フェニトイン	30以上 μg/ml	10～20 μg/ml
	1699	カルバマゼピン	12以上 μg/ml	4～12 μg/ml
	1735	バルプロ酸ナトリウム	150以上 μg/ml	50～100 μg/ml
	1854	テオフィリン	25以上 μg/ml	μg/ml
	1811	ジゴキシン	2.5以上 ng/ml	ng/ml

# 検査依頼要項

## 冷蔵保存検体の安定性

検査コード	検査項目	頁	安定期間(血清分離後冷蔵)
<b>生化学的検査</b>			
1001	総蛋白	1	1週間
1002	アルブミン	1	3週間
1007	蛋白分画	1	1週間
1181	尿素窒素	1	1週間
1178	尿酸	1	1週間
1170	クレアチニン	2	1週間
3180	シスタチンC	2	3日
1460	ナトリウム	5	2日
1470	クロール	5	2日
1465	カリウム	5	2日
1479	カルシウム	5	1週間
1475	マグネシウム	5	1週間
1486	無機リン	5	1週間
1510	鉄	6	2週間
1514	UIBC	6	2週間
3249	フェリチン	6	1週間
1490	浸透圧	7	2日
1221	血糖	8	1週間
1222	血糖 (NaF)	8	1週間
1264	GA	8	1週間
1273	1.5-AG	8	3週間
1031	AST	10	1週間
1034	ALT	10	3日
1036	LD	10	2日
1050	ALP	10	1週間
1047	γ-GT	10	1週間
1066	LAP	10	1週間
1055	ChE	10	2週間
1082	リパーゼ	11	1週間
1074	アミラーゼ	11	1週間
1079	P型アミラーゼ	11	1週間
1021	CK	12	1週間
1152	ペプシノーゲン	12	1週間
1530	総ビリルビン	13	1週間
1064	ADA	12	1週間
1313	中性脂肪	14	1週間
1323	総コレステロール	14	1週間
1329	HDLコレステロール	14	3日
1335	LDLコレステロール	14	1週間
1401	アポリポ蛋白A1	14	2週間
1403	アポリポ蛋白B	14	2週間
1406	アポリポ蛋白E	14	2週間
1333	RLPコレステロール	14	5日
1362	胆汁酸	13	1週間
1319	NEFA	15	当日のみ
<b>血液学的検査</b>			
1267	ヘモグロビンA1C	8	1週間
<b>免疫血清学的検査</b>			
3223	トランスフェリン	3	1週間
3226	β2マイクログロブリン	3	1週間
4095	リウマトイド因子RF	18	3週間
4104	抗CCP抗体	18	1週間
3106	IgA	23	1週間
3103	IgG	23	1週間
3109	IgM	23	1週間
3125	IgE (非特異)	23	1週間
3156	C3	18	1週間
3158	C4	18	1週間

検査コード	検査項目	頁	安定期間(血清分離後冷蔵)
3150	CH50	18	当日のみ
3231	CRP	28	1週間
3436	ASO定量	28	1週間
4505	KL-6	9	1週間
4100	MMP3	18	3週間
3899	IgM-HA抗体	34	1週間
3626	HBs抗原 (定性)	34	1週間
3628	HBs抗原 (定量)	34	2週間
3630	HBs抗体 (定性)	34	1週間
3632	HBs抗体 (定量)	34	2週間
3648	HBe抗原	34	1週間
3652	HBe抗体	34	1週間
3642	HBc抗体	34	2週間
3910	HCV抗体	36	1週間
4011	HIV抗原・抗体	39	1週間
<b>内分泌学的検査</b>			
2082	TSH	49-50	1週間
2067	LH	49	2週間
2070	FSH	49	2週間
2060	PRL	49	2週間
2119	T3	50	6日
2134	T4	50	6日
2123	FT3	50	1週間
2138	FT4	50	1週間
2164	PTH-intact	52	2日
2536	Nt-proBNP	58	3日
2369	インスリン	59	2日
2321	エストラジオール	60	2日
2333	プロゲステロン	60	5日
2345	テストステロン	61	1週間
2355	HCG定性	61	3日
2356	HCG定量	61	3日
<b>腫瘍関連検査</b>			
3273	CEA	64	1週間
3278	AFP	64	1週間
3300	CA19-9	64	1週間
3360	PIVKA II	64	5日
1091	エラスターゼ1	64	1週間
3298	CA15-3	65	5日
3366	SYFRA	65	3週間
3328	SCC抗原	65	1週間
3334	PSA	66	2日
3307	CA72-4	67	3週間
3292	CA125	67	1週間
<b>薬剤検査</b>			
1723	フェノバルビタール	72	2日
1727	フェニトイン	72	2日
1699	カルバマゼピン	72	2日
1735	バルプロ酸ナトリウム	72	2日
1811	ジゴキシン	73	2日
1854	テオフィリン	73	2日
1953	バンコマイシン	73	2日
1969	シクロスポリン	75	1週間

参考文献：日本医師会、臨床検査指針、改定第5版  
愛知県臨床検査標準化協議会「臨床化学検査の手引書」  
検査値を変えるもの、影響因子の一覧と対策  
使用試薬添付文書、自社設定

## ☆ 検査方法の略号

BCP	Bromcresol Purple	ブロムクレゾールパープル
CF	Complement Fixation	補体結合反応
CLEIA	Chemiluminescent Enzyme Immuno Assay	化学発光酵素免疫測定法
CLIA	Chemiluminescent Immuno Assay	化学発光免疫測定法
CPBA	Competitive Protein Binding Analysis	競合性蛋白結合分析法
ECLIA	Electrochemiluminescence Immunoassay	電気化学発光免疫測定法
EIA	Enzyme Immuno Assay	酵素免疫測定法
EMIT	Enzyme-Multiplied Immunoassay Technique	
ELISA	Enzyme-Linked Immuno Sorbent Assay	酵素免疫測定法
FA	Fluorescent Antibody Method	蛍光抗体法
FEIA	Fluoroenzyme Immuno Assay	蛍光酵素免疫測定法
FIA	Fluorescence immunoassay	蛍光免疫測定法
FISH	Fluorescence In Situ Hybridization	
FPIA	Fluorescence Polarization Immuno Assay	蛍光偏光免疫測定法
GC	Gas Chromatography	ガスクロマトグラフィー
GC-MS	Gas Chromatography-Mass Spectrometry	ガスクロマトグラフィー - マススペクトロメトリー
HI	Hemagglutination Inhibition Test	赤血球凝集抑制試験
HPLC	High Performance Liquid Chromatography	高速液体クロマトグラフィー
IAHA	Immuno Adherence Hemagglutination	免疫粘着血球凝集反応
IFA	Indirect Fluorescent Antibody Method	間接蛍光抗体法
IRMA	Immuno Radio Metric Assay	免疫放射定量法
KIMS	Kinetic Interaction of Microparticles in a Solution	
LA	Latex Agglutination	ラテックス凝集法
LAMP	Loop-Mediated Isothermal Amplification	
LC/MS	Liquid chromatography/mass spectrometry	液体クロマトグラフ質量分析
LC/MS/MS	Liquid chromatography tandem mass spectrometry	液体クロマトグラフィータンデム四重極型質量分析
LPIA	Latex Photometric Immuno Assay	ラテックス凝集法
MEIA	Microparticle Enzyme Immunoassay	
MO	Micro Ouchterlony	二重免疫拡散法
MPHA	Mixed Passive Hemagglutination	混合受身凝集法
NT	Neutralization Test	中和試験
PA	Particle Agglutination	粒子凝集反応
PCR	Polymerase Chain Reaction	
PHA	Passive Hemagglutination	受身赤血球凝集反応
RIA	Radio Immuno Assay	放射性免疫測定法
RT-PCR	Reverse Transcription-Polymerase Chain Reaction	
RRA	Radio Receptor Assay	ラジオレセプターアッセイ
RT-nested PCR	Reverse Transcriptase-nested Polymerase Chain Reaction	逆転写酵素を用いたポリメラーゼチェーンリアクション (nested法)
TIA	Turbidimetric Immuno Assay	免疫比濁法
TMA	Transcription Mediated Amplification	
TRC	Transcription Reverse transcription Concerted Reaction	
UV	Ultraviolet Spectrophotometry	紫外外部吸光光度分析

## ☆ 基準値・単位の略号

### 基準値欄の略号

M : 男性(Male)    F : 女性(Female)

### 単位の略号

ℓ	liter (=1000mℓ)	mmol	millimole (=0.001 mol)
dℓ	deciliter (=0.1 ℓ=100mℓ)	μmol	micromole (=10 <sup>-6</sup> mol)
mℓ	milliliter (=0.001 ℓ)	nmol	nanomole (=10 <sup>-9</sup> mol)
g	gram	pmol	picomole (=10 <sup>-12</sup> mol)
mg	milligram (=0.001 g)	fmol	femtomole (=10 <sup>-15</sup> mol)
μg	microgram (=10 <sup>-6</sup> g)	M	mol/ℓ
ng	nanogram (=10 <sup>-9</sup> g)	mEq	milli Equivalent (=10 <sup>-3</sup> equivalent)
pg	picogram (=10 <sup>-12</sup> g)	Meq	mega Equivalent (=10 <sup>6</sup> equivalent)
U	Unit	mOsm	milli Osmole
mU	milli Unit (=0.001U)	cpm	count per minutes
μU	micro Unit (=10 <sup>-6</sup> U)	%	percent
IU	International Unit	‰	permill
mIU	milli International Unit=0.001IU	S.I.	Stimulation Index

# 索引 (五十音順)

あ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	亜鉛(Zn)<血液>	6	1521	132	生(I)	D007 37	亜鉛(Zn)
	亜鉛(Zn)<蓄尿>	6	1522	132	生(I)	D007 37	亜鉛(Zn)
	アクアポリン4抗体(AQP4抗体)	20	4185	1000	免疫	D014 47	抗アクアポリン4抗体
	悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲートリング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<血液>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	悪性リンパ腫解析検査(MLA)CD45ゲートリング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<リンパ節>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	悪性リンパ腫解析検査7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)<リンパ節>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	アスコルビン酸(ビタミンC)	16	1436	296	生(I)	D007 60	ビタミンC
	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	10	1031	17	生(I)	D007 3	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)
	アスペルギルス抗原	29	3571	157	免疫	D012 30	アスペルギルス抗原
	アスペルギルス抗体IgG	29	3574	未収載			
	アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	21	4188	775	免疫	D014 45	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)
	アセトアミノフェン	75	1890	180	生(I)	D007 47	アセトアミノフェン
	アディポネクチン	62	4350	未収載			
	アデノウイルス[CF]	79	3673	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス1型[NT]	79	3675	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス2型[NT]	79	3677	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス3型[NT]	79	3679	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス4型[NT]	79	3681	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス5型[NT]	79	3693	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス6型[NT]	79	3695	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス7型[NT]	79	3697	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス11型[NT]	79	3701	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス19型[NT]	79	3709	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス21型[NT]	79	3711	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデノウイルス37型[NT]	79	3713	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(アデノウイルス)
	アデニンデアミナーゼ(ADA)<血液>	12	1064	32	生(I)	D007 11	アデニンデアミナーゼ(ADA)
	アデニンデアミナーゼ(ADA)<胸水>	12	1164	32	生(I)	D007 11	アデニンデアミナーゼ(ADA)
	アトピー鑑別試験特異的IgE(ファディアートープ)	24	3093	194	免疫	D015 21	アトピー鑑別試験定性
	アプリンジン	74	1815	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	アポリポ蛋白AI	14	1401	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポリポ蛋白AII	14	1402	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポリポ蛋白B	14	1403	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポリポ蛋白CII	14	1404	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポリポ蛋白CIII	14	1405	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポリポ蛋白E	14	1406	31	生(I)	D007 10	アポリポ蛋白
	アポ蛋白Eフェノタイプ	15	1416	未収載			
	アミオダロン	74	1830	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	アミカシン(アミカマイシン)	73	1895	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	アミノアシルtRNA合成酵素抗体(抗ARS抗体)	19	4029	190	免疫	D014 23	抗ARS抗体
	アミノ酸分析(2種類:チロシン,フェニルアラニン)[LG/MS]<血液>	4	1194	279+279	生(II)	D010 4 4	アミノ酸
	アミノ酸分析(アミノ酸分析9種類)<血液>	4	1195	1107	生(II)	D010 4 4	アミノ酸(5種類以上)
	アミノ酸分析(アミノ酸分析39種類)<血液>	4	1197	1107	生(II)	D010 4 4	アミノ酸(5種類以上)
	アミノ酸分析(アミノ酸分析41種類)<酸性蓄尿>	4	1198	1107	生(II)	D010 4 4	アミノ酸(5種類以上)
	アミラーゼ(AMY)<血液>	11	1074	11	生(I)	D007 1	アミラーゼ
	アミラーゼ(AMY)<部分尿>	11	1075	11	生(I)	D007 1	アミラーゼ
	アミラーゼアインザイム<血液>	11	1072	48	生(I)	D007 14	アミラーゼアインザイム
	アミラーゼアインザイム<部分尿>	11	1077	48	生(I)	D007 14	アミラーゼアインザイム
	アミロイドA蛋白(SAA蛋白)	28	3251	47	免疫	D015 6	血清アミロイドA蛋白(SAA)
	アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	10	1034	17	生(I)	D007 3	アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)
	アルカリフォスファターゼ(ALP)	10	1051	11	生(I)	D007 1	アルカリホスファターゼ(ALP)
	アルドステロン<血液>	54	2243	122	生(II)	D008 15	アルドステロン
	アルドラーゼ	12	1052	11	生(I)	D007 1	アルドラーゼ
	アルブミン(Alb)<血液>	1	1002	11	生(I)	D007 1	アルブミン(BCP改良法・BCG法)
	アルブミン定量<部分尿>	46	1005	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
	アルブミン定量<蓄尿>	46	1009	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
	アルベカシン	73	1954	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	アルミニウム(AI)	6	1628	109	生(I)	D007 29	アルミニウム(AI)
	アンギオテンシンI転換酵素(ACE)	12	1145	136	生(I)	D007 39	アンギオテンシンI転換酵素(ACE)
	アンチトロンピンⅢ活性値(ATⅢ)	43	4683	70	血液	D006 9	アンチトロンピン活性
	アンチプラスミン(α2プラスミンインヒビター)	43	4699	128	血液	D006 16	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)
	アンモニア(NH3)	2	1191	50	生(I)	D007 16	アンモニア

い	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	イオン化カルシウム(Ca2+)	5	1484	26	生(I)	D007 7	イオン化カルシウム
	一般細菌 塗抹鏡検[グラム染色]	94	細1101	67	微生物	D017 3	排泄物, 滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)

一般細菌 培養同定<口腔、気道、呼吸器>	94	細1101	180	微生物	D018 1	細菌培養同定検査(口腔、気道又は呼吸器からの検体)
一般細菌 培養同定<消化管>	94	細1101	200	微生物	D018 2	細菌培養同定検査(消化管からの検体)
一般細菌 培養同定<泌尿器、生殖器>	94	細1101	190	微生物	D018 4	細菌培養同定検査(泌尿器又は生殖器からの検体)
一般細菌 培養同定<血液、穿刺液>	94	細1101	225	微生物	D018 3	細菌培養同定検査(血液又は穿刺液)
一般細菌 培養同定<その他の部位>	94	細1101	180	微生物	D018 5	細菌培養同定検査(その他の部位からの検体)
一般細菌 嫌気性菌培養	94	細1102-7713	122	微生物	D018 注1	細菌培養同定検査(嫌気性培養加算)
一般細菌 1菌種 感受性検査	95		185	微生物	D019 1	1菌種
一般細菌 2菌種 感受性検査	95		240	微生物	D019 2	2菌種
一般細菌 3菌種以上 感受性検査	95		310	微生物	D019 3	3菌種以上
胃壁細胞抗体	18	4112	未収載			
イマチニブ	75	1851	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
インスリン(IRI)	59	2369	100	生(Ⅱ)	D008 8	インスリン(IRI)
インスリン抗体	21-59	4175	107	免疫	D014 6	抗インスリン抗体
インターフェロン遊離試験(IGRA)(T-SPOT-TB)	114	4706	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
インターフェロン遊離試験(IGRA)(QFT-Plus)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
インターロイキン2レセプター(IL-2レセプター)(sIL-2R)	67	4503	438	生(Ⅱ)	D009 36	可溶性インターロイキン2レセプター(sIL-2R)
インフルエンザウイルスA型(H1N1)(H3N2)[HI]	79	3954	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(インフルエンザウイルスA型)
インフルエンザウイルスA型[CF]	79	3953	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(インフルエンザウイルスA型)
インフルエンザウイルスB型[HI]	79	3964	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(インフルエンザウイルスB型)
インフルエンザウイルスB型[CF]	79	3963	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(インフルエンザウイルスB型)
インドシアニングリーン試験(消失率)	17	5191	150		D286	肝及び腎のクリアランステスト
インドシアニングリーン試験(停滞率)	17	5193	100		D289 2	肝機能テスト(ICG1回又は2回法)
インジウム	92	4227	未収載			

## う 項目名称 頁 項目コード 実施料 判断料 保険区分 保険収載名

ウロビリノーゲン「定性」<部分尿>	46	4926	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
ウロビリリン「定性」<部分尿>	46	4929	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
ウロポルフィリン<血液>	13	1545	未収載			
ウロポルフィリン<部分尿>	13	1546	105	尿・糞便	D001 10	ウロポルフィリン(尿)

## え 項目名称 頁 項目コード 実施料 判断料 保険区分 保険収載名

エコーウイルス1型[NT]	80	3844	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス3型[NT]	80	3847	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス4型[NT]	80	3850	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス5型[NT]	80	3853	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス6型[NT]	80	3856	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス7型[NT]	80	3859	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス9型[NT]	80	3862	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス11型[NT]	80	3865	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス12型[NT]	80	3868	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス13型[NT]	81	3871	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス14型[NT]	81	3873	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス16型[NT]	81	3876	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス17型[NT]	81	3878	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス18型[NT]	81	3880	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス19型[NT]	81	3882	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス21型[NT]	81	3884	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス22型(パレコウイルス1型)[NT]	81	3886	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス24型[NT]	81	3888	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス25型[NT]	81	3890	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エコーウイルス30型[NT]	81	3892	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(エコーウイルス)
エステル型コレステロール	14	1324	未収載			
エストラジオール(E2)<血液>	60	2321	167	生(Ⅱ)	D008 33	エストラジオール(E <sub>2</sub> )
エタノール(エチルアルコール)	92	2015	105	生(Ⅰ)	D007 26	エタノール
エチルアルコール(エタノール)	92	2015	105	生(Ⅰ)	D007 26	エタノール
エトサクシミド	72	1707	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
エペロリムス	75	1968	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
エラスターゼ1(IRE)	64	1091	120	生(Ⅱ)	D009 8	エラスターゼ1
エリスロポエチン	62	2527	209	生(Ⅱ)	D008 41	エリスロポエチン
塩基性フェトブロテイン(BFP)	64	3286	150	生(Ⅱ)	D009 17	塩基性フェトブロテイン(BFP)
塩酸ビルジカイノド	74	1834	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
エンテロウイルス70型[NT]	83	3807	未収載			
エンテロウイルス71型[NT]	83	3809	未収載			
エンドトキシン検査<血液>	29	3453	229	免疫	D012 52	エンドトキシン
エンドトキシン検査<透析液>	29		未収載			

# 索引 (五十音順)

## お

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
黄体形成ホルモン(LH)	49	2067	105	生(Ⅱ)	D008 12	黄体形成ホルモン(LH)
オーム病クラミア(クラミアシタシ) [CF]	31	3423	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(オーム病クラミア)
オステオカルシン	53	2530	157	生(Ⅱ)	D008 26	オステオカルシン(OC)
小川培地(抗酸菌分離培養)	100	細2003	209	微生物	D020 2	抗酸菌分離培養(それ以外のもの)

## か

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
覚せい剤検査<部分尿>	76	9229	未収載			
喀痰好酸球	41	5037	15	血液	D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)
ガストリン	59	2431	101	生(Ⅱ)	D008 9	ガストリン
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	65	3380	175	生(Ⅱ)	D009 24	ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	42	4640	29	血液	D006 7	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)
カテコールアミン分画(アドレナリン)(ノルアドレナリン)(ドーパミン)<血液>	56	2257	161	生(Ⅱ)	D008 29	カテコールアミン分画
カテコールアミン分画(アドレナリン)(ノルアドレナリン)(ドーパミン)<酸性蓄尿>	56	2258	161	生(Ⅱ)	D008 29	カテコールアミン分画
カドミウム(Cd)<血液>	7	1641	未収載			
カドミウム(Cd)<部分尿>	7	1640	未収載			
ガバペンチン	72	1831	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
可溶性インターロイキン2レセプター(sIL-2レセプター)	67	4503	438	生(Ⅱ)	D009 36	可溶性インターロイキン2レセプター(sIL-2R)
ガラクトース欠損IgG抗体(CA-RF)	18	4103	111	免疫	D014 8	抗ガラクトース欠損IgG抗体定量
カリウム(K)<血液>	5	1465	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム
カリウム(K)<部分尿>	5	6447	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム
カリウム(K)<蓄尿>	5	1466	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム
顆粒球エラストラーゼ(子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ)	60	9092	116	尿・糞便	D004 8	顆粒球エラストラーゼ(子宮頸管粘液)
カルシウム(Ca)<血液>	5	1479	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
カルシウム(Ca)<部分尿>	5	6459	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
カルシウム(Ca)<蓄尿>	5	1480	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
カルシトニン	52	2169	130	生(Ⅱ)	D008 18	カルシトニン
カルジオリピン抗体IgG	22	4217	226	免疫	D014 30	抗カルジオリピンIgG抗体
カルジオリピン抗体IgM	22	4219	226	免疫	D014 30	抗カルジオリピンIgM抗体
カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリオプロテイン複合体抗体(抗DL-β2GPI複合体抗体)	22	4214	223	免疫	D014 29	抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリオプロテイン1複合体抗体
カルニチン分画	16	1428	95+95	生(Ⅰ)	D007 23	総カルニチン 及び 遊離カルニチン
カルバマゼピン	72	1699	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
カルプロテクチン(便中)	21	4523	268	尿・糞便	D003 9	カルプロテクチン(糞便)
カルボキシシロ化オステオカルシン(ucOC)	53	2529	154	生(Ⅱ)	D008 24	低カルボキシシロ化オステオカルシン(ucOC)
カロチン β	16	1418	未収載			
カンジダマンナン抗原(定量)	29	3567	134	免疫	D012 23	カンジダ抗原定量
関節液結晶同定	47	5142	50	尿・糞便	D004 2	関節液検査
間接クームス試験「定性」	22	4338	47	免疫	D011 2口	Coombs試験[間接]
間接クームス試験「定量」	22	4337	47	免疫	D011 2口	Coombs試験[間接]
間接ビリルビン	13	1532	未収載			
癌胎児性抗原(CEA)	64	3273	99	生(Ⅱ)	D009 3	癌胎児性抗原(CEA)
カンジダ簡易培養	99	細1109	60	微生物	D018 6	簡易培養
カンピロバクター培養	99	細7801		微生物		
癌胎児性フィブロネクチン(PTD)	60	3253	204	免疫	D015 23	癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管腔分泌液)
感受性検査 一般細菌 1菌種	95		185	微生物	D019 1	1菌種
感受性検査 一般細菌 2菌種	95		240	微生物	D019 2	2菌種
感受性検査 一般細菌 3菌種以上	95		310	微生物	D019 3	3菌種以上
感受性検査 抗酸菌検査	100	細2007	400	微生物	D022	抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)
寒冷凝集反応	28	3518	11	免疫	D014 1	寒冷凝集反応

## き

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
キニジン	74	1833	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料

## <

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
グアナーゼ	12	1063	35	生(Ⅰ)	D007 12	グアナーゼ
クームス試験 間接「定性」	22	4338	47	免疫	D011 2口	Coombs試験[間接]
クームス試験 間接「定量」	22	4337	47	免疫	D011 2口	Coombs試験[間接]
クームス試験 直接	22	4336	34	免疫	D011 2イ	Coombs試験[直接]
クオンティフェロン(QFT-Plus)(TBIFN-γ産生能)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
クラミアシタシ(オーム病クラミア) [CF]	31	3423	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(オーム病クラミア)
クラミアシタシIgG	31	3425	未収載			
クラミアシタシIgM	31	3428	未収載			
クラミアアトラコマチスIgG	31	3403	200	免疫	D012 43	グロブリンクラス別クラミアアトラコマチス抗体
クラミアアトラコマチスIgA	31	3404	200	免疫	D012 43	グロブリンクラス別クラミアアトラコマチス抗体

クラミジアトラコマティス核酸増幅同定検査<分泌物・初尿・うがい液>	30	3418	188	微生物	D023 1	クラミジアトラコマチス核酸検出
クラミジアニューモニエIgG	31	3507	70	免疫	D012 9	クラミドフィラ・ニューモニエIgG抗体
クラミジアニューモニエIgA	31	3508	75	免疫	D012 10	クラミドフィラ・ニューモニエIgA抗体
クラミジアニューモニエIgM	31	3509	152	免疫	D012 29	クラミドフィラ・ニューモニエIgM抗体
グリコアルブミン(GA)	8	1264	55	生(I)	D007 17	グリコアルブミン
グリコヘモグロビンA1C(HbA1C)	8	1267	49	血液	D005 9	ヘモグロビンA1C(HbA1C)
クリプトコッカス・ネオフォルマンシ抗原[半定量]	29	3557	166	免疫	D012 34	クリプトコッカス抗原半定量
グルコース(血糖)[電極法]	8	1222	11	生(I)	D007 1	グルコース
グルコース(血糖)[酵素法]	8	1221	11	生(I)	D007 1	グルコース
グルコース(髄液一般検査)	48	5062	11	生(I)	D007 1	グルコース
グルコース(穿刺液検査)	47	5092	11	生(I)	D007 1	グルコース
グルコース尿(尿糖)「定性」<部分尿>	46	4881	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
グルコース尿(尿糖)「定量」<部分尿>	46	7774	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
グルコース尿(尿糖)「定量」<蓄尿>	46	4882	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
クレアチニン(CRE)<血液>	2	1170	11	生(I)	D007 1	クレアチニン
クレアチニン(CRE)<部分尿>	2	6154	11	生(I)	D007 1	クレアチニン
クレアチニン(CRE)<蓄尿>	2	1176	11	生(I)	D007 1	クレアチニン
クレアチニンクリアランス	17	5197	未収載			
クレアチニンクリアランス(24時間)	17	5196	未収載			
クレアチンキナーゼ(CK)	12	1021	11	生(I)	D007 1	クレアチンキナーゼ(CK)
クロール(Cl)<血液>	5	1470	11	生(I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
クロール(Cl)<部分尿>	5	6451	11	生(I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
クロール(Cl)<蓄尿>	5	1471	11	生(I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
クロストリジオイデス・ディフィシルトキシン	99	細1202	80	免疫	D012 12	クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性
クロナゼパム	72	1703	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
クロバザム	72	1827	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
クロム(Cr)<血液>	7	1634	未収載			
クロム(Cr)<部分尿>	7	1635	未収載			

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
血液型ABO式	22	4296	24	免疫	D011 1	ABO血液型
血液型Rh(D)式	22	4301	24	免疫	D011 1	Rh(D)血液型
血液型 Rh-Hr式	22	4303	148	免疫	D011 3	Rh(その他の因子)血液型
血液型不適合妊娠	22	9252	未収載			
血液像[鏡検法]	40	4583	25	血液	D005 6	末梢血液像(鏡検法)
血液像[自動機械法]	40	4581	15	血液	D005 3	末梢血液像(自動機械法)
結核菌群核酸検出(TRC)	100	細3002	410	微生物	D023 14	結核菌群核酸検出
結核菌特異的インターフェロン-γ産生能(クワンフェロン)(QFT-Plus)(TbFN-γ産生能)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
結核菌特異的インターフェロン-γ産生能(T-SPOT.TB)	114	4706	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
血小板関連IgG(PA-IgG)	23	4226	190	免疫	D011 6	血小板関連IgG(PA-IgG)
血小板抗体(APA)	23	4223	261	免疫	D011 8	抗血小板抗体
血小板数(PLT)	40	4570	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
血小板第4因子(PF-4)	44	4773	173	血液	D006 25	血小板第4因子(PF-4)
血小板第4因子ヘパリン複合体抗体(HIT抗体)	23	3416	390	免疫	D011 10	血小板第4因子ヘパリン複合体抗体(IgG,IgM及びIgA抗体)
血清アミロイドA蛋白(SAA蛋白)	28	3251	47	免疫	D015 6	血清アミロイドA蛋白(SAA)
血清中抗BP180/NC16a抗体(抗BP180抗体)	20	4230	270	免疫	D014 36	抗BP180-NC16a抗体
血清補体価(CH50)	18	3150	38	免疫	D015 4	血清補体価(CH <sub>50</sub> )
結晶同定(関節液)	47	5142	50	尿・糞便	D004 2	関節液検査
結石分析(成分比率)	7	2033	117	生(II)	D010 2	結石分析
血中11-OHCS	54	2195	60	生(II)	D008 2	11-ヒドロキシコルチコステロイド(11-OHCS)
血中ケトン体定量(3-ヒドロキシ酪酸)	9	1301	30	生(I)	D007 9	ケトン体
血中ケトン体分画<動脈血>	9	1305	59	生(I)	D007 19	ケトン体分画
血中ケトン体分画<静脈血>	9	1303	59	生(I)	D007 19	ケトン体分画
血中脂肪酸分画	15	1315	393	生(II)	D010 7	脂肪酸分画
血中遊離メタネフリン分画	56	2275	450	生(II)	D008 51	遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画
血沈(赤血球沈降速度)(ESR)	41	4825	9	血液	D005 1	赤血球沈降速度(ESR)
血糖(グルコース)[酵素法]	8	1221	11	生(I)	D007 1	グルコース
血糖(グルコース)[電極法]	8	1222	11	生(I)	D007 1	グルコース
ケトン体「定性」<部分尿>	46	4935	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
ケトン体「定量」	9	1301	30	生(I)	D007 9	ケトン体
ケトン体分画<動脈血>	9	1305	59	生(I)	D007 19	ケトン体分画
ケトン体分画<静脈血>	9	1303	59	生(I)	D007 19	ケトン体分画
嫌気性菌培養 一般細菌	94	細1102・7713	122	微生物	D018 注1	細菌培養同定検査(嫌気性培養加算)
ゲンタマイシン	73	1915	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
抗AChR抗体(抗アセチルコリンレセプター抗体)	21	4188	775	免疫	D014 45	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)

# 索引 (五十音順)

抗ARS抗体(アミノアシルtRNA合成酵素抗体)	19	4029	190	免疫	D014 23	抗ARS抗体
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	20	4230	270	免疫	D014 36	抗BP180-NC16a抗体
抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)	18	4104	193	免疫	D014 24	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
抗CL-β2GPI複合体抗体(抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体)	22	4214	223	免疫	D014 29	抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体
抗DNA抗体「定量」	19	4036	159	免疫	D014 17	抗DNA抗体定量
抗ds-DNA抗体 IgG抗体	19	4049	159	免疫	D014 17	抗DNA抗体定量
抗ds-DNA抗体 IgM抗体	19	4053	未収載			
抗GAD抗体	21・59	1274	134	生(Ⅱ)	D008 19	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)
抗GBM抗体(抗糸球体基底膜抗体)	18	4197	262	免疫	D014 34	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)
抗HIT抗体(血小板第4因子ヘパリン複合体抗体)	23	3416	390	免疫	D011 10	血小板第4因子ヘパリン複合体抗体(IgG,IgM及びIgA抗体)
抗IA-2抗体	21・59	1276	213	生(Ⅱ)	D008 43	抗IA-2抗体
抗Jo-1抗体	19	4088	140	免疫	D014 12	抗Jo-1抗体定量
抗MDA5抗体	19	4091	270	免疫	D014 37	抗MDA5抗体
抗Mi-2抗体	19	4089	270	免疫	D014 37	抗Mi-2抗体
抗LKM1抗体(抗肝/腎ミクロソーム抗体)	20	4241	215	免疫	D014 28	抗LKM-1抗体
抗p53抗体	64	3364	163	生(Ⅱ)	D009 22	抗p53抗体
抗RNP抗体	19	4065	144	免疫	D014 13	抗RNP抗体定量
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	19	4078	170	免疫	D014 19	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体
抗Scl-70抗体	19	4077	157	免疫	D014 16	抗Scl-70抗体定量
抗Sm抗体	19	4062	147	免疫	D014 14	抗Sm抗体定量
抗SS-A/Ro抗体	19	4068	161	免疫	D014 18	抗SS-A/Ro抗体定量
抗SS-B/La抗体	19	4069	157	免疫	D014 16	抗SS-B/La抗体定量
抗ss-DNA IgG抗体	19	4041	159	免疫	D014 17	抗DNA抗体定量
抗ss-DNA IgM抗体	19	4045	未収載			
抗Tg抗体(抗サイログロブリン抗体)	50	4153	136	免疫	D014 10	抗サイログロブリン抗体
抗TIF1-γ抗体	19	4090	270	免疫	D014 37	抗TIF1-γ抗体
抗TPO抗体(抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)	50	4147	138	免疫	D014 11	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
抗TSHレセプター抗体(ヒト)(第2世代)	50	4159	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
抗TSHレセプター抗体(第3世代)	50	4161	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
抗β2グリコプロテインI抗体 IgG	22	4249	226	免疫	D014 30	抗β2グリコプロテインI IgG抗体
抗β2グリコプロテインI抗体 IgM	22	4250	226	免疫	D014 30	抗β2グリコプロテインI IgM抗体
抗アクアポリン4抗体(AQP4抗体)	20	4185	1000	免疫	D014 47	抗アクアポリン4抗体
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	21	4188	775	免疫	D014 45	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)
抗胃壁細胞抗体	18	4112	未収載			
抗インスリン抗体(結合率)	21・59	4175	107	免疫	D014 6	抗インスリン抗体
抗核抗体(ANA)「定性」	18	4030	99	免疫	D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)定性
抗核抗体(ANA)「半定量」	18	4032	99	免疫	D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)半定量
抗ガラクトース欠損IgG抗体(CA-RF)	18	4103	111	免疫	D014 8	抗ガラクトース欠損IgG抗体定量
抗カルジオリピン抗体 IgG	22	4217	226	免疫	D014 30	抗カルジオリピンIgG抗体
抗カルジオリピン抗体 IgM	22	4219	226	免疫	D014 30	抗カルジオリピンIgM抗体
抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体(抗CL-β2GPI複合体抗体)	22	4214	223	免疫	D014 29	抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体
抗肝/腎ミクロソーム抗体(抗LKM-1抗体)	20	4241	215	免疫	D014 28	抗LKM-1抗体
高感度TSH(TSH)(甲状腺刺激ホルモン)	49・50	2082	98	生(Ⅱ)	D008 6	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
高感度前立腺特異抗原(PSA-HS)	66	3336	121	生(Ⅱ)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)
高感度トロポニンI	58	3248	109	生(Ⅰ)	D007 29	心筋トロポニンI
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)	21・59	1274	134	生(Ⅱ)	D008 19	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)
抗血小板抗体(APA)	23	4223	261	免疫	D011 8	抗血小板抗体
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	50	4147	138	免疫	D014 11	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
抗好中球細胞質プロティナーゼ3抗体(PR3-ANCA)	20	4082	252	免疫	D014 33	抗好中球細胞質プロティナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)	20	4080	251	免疫	D014 32	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)
抗サイログロブリン抗体(抗Tg抗体)	50	4153	136	免疫	D014 10	抗サイログロブリン抗体
好酸球数(血中)(EOS)	40	4584	17	血液	D005 4	好酸球数
好酸球(鼻汁)	41	4615	15	血液	D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)
好酸球(喀痰)	41	5037	15	血液	D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)
抗酸菌検査 感受性検査	100	細2007	400	微生物	D022	抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)
抗酸菌検査 塗抹検鏡[蛍光法]	100	細2002	50	微生物	D017 1	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(蛍光顕微鏡、位相差顕微鏡、発芽顕微鏡等を使用するもの)
抗酸菌検査 塗抹検鏡[チールネルゼン染色]	100	細2001	67	微生物	D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)
抗酸菌検査 分離培養1(MGIT)	100	細2010	300	微生物	D020 1	抗酸菌分離培養(液体培地法)
抗酸菌検査 分離培養2(小川)	100	細2003	209	微生物	D020 2	抗酸菌分離培養(それ以外のもの)
抗酸菌抗体定性(MAC抗体)	29	3575	116	免疫	D012 18	抗酸菌抗体定性
抗酸菌同定	100	細3006	361	微生物	D021	抗酸菌同定(種目数にかかわらず一連につき)
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	18	4197	262	免疫	D014 34	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)
抗シトルリン化ペプチド抗体(抗CCP抗体)	18	4104	193	免疫	D014 24	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
甲状腺刺激ホルモン(TSH)刺激性レセプター抗体(TSAb)	50	4155	330	免疫	D014 40	甲状腺刺激抗体(TSAb)
甲状腺刺激ホルモン(TSH)(高感度TSH)	49・50	2082	98	生(Ⅱ)	D008 6	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
抗ストレプトリジン-O(ASO定量)(ASLO)	28	3436	15	免疫	D012 1	抗ストレプトリジンO(ASO)定量
甲状腺ホルモン(TSH)レセプター抗体(ヒト)(第2世代)	50	4159	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
甲状腺ホルモン(TSH)レセプター抗体(第3世代)	50	4161	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)

# 索引 (五十音順)

索引

高精度分染法(染色体検査)(先天性疾患)	111	2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算
抗臍島細胞質抗体(ICA)	21	4162	未収載		
抗精子抗体	18	4207	未収載		
抗セントロメア抗体	20	4092	174	免疫	D014 20 抗セントロメア抗体定量
好中球アルカリフォスファターゼ染色(NAPスコア)	41	4589	37(加算)	血液	D005 6注 末梢血液像(鏡検法)特殊染色加算
抗好中球細胞質プロティナーゼ3抗体(PR3-ANCA)	20	4082	252	免疫	D014 33 抗好中球細胞質プロティナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)	20	4080	251	免疫	D014 32 抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)
抗デスマogleイン1抗体	20	4238	300	免疫	D014 39 抗デスマogleイン1抗体
抗デスマogleイン3抗体	20	4239	270	免疫	D014 36 抗デスマogleイン3抗体
抗トリコスポロン・アサヒ抗体	29	3600	822	免疫	D012 64 抗トリコスポロン・アサヒ抗体
抗パリエタル細胞抗体(抗胃壁細胞抗体)	18	4112	未収載		
抗皮膚抗体	20	4190	未収載		
抗平滑筋抗体(ASMA)	20	4110	未収載		
抗ミトコンドリアM2抗体「定量」	20	4109	189	免疫	D014 22 抗ミトコンドリア抗体定量
抗ミトコンドリア抗体(AMA)「半定量」	20	4108	181	免疫	D014 21 抗ミトコンドリア抗体半定量
抗ミューラー管ホルモン(AMH)	60	4199	597	生(Ⅱ)	D008 52 抗ミューラー管ホルモン(AMH)
抗ランゲルハンス氏島抗体(臍島細胞質抗体)(ICA)	21	4162	未収載		
抗利尿ホルモンADH(バゾプレシリンAVP)	49	2088	224	生(Ⅱ)	D008 47 抗利尿ホルモン(ADH)
コクサッキーウイルスA群2型[NT]	81	3811	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群3型[NT]	81	3813	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群4型[NT]	81	3815	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群5型[NT]	81	3817	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群6型[NT]	81	3818	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群7型[NT]	81	3819	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群9型[CF]	81	3822	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群9型[NT]	81	3821	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群10型[NT]	81	3823	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスA群16型[NT]	81	3825	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群1型[CF]	82	3830	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群1型[NT]	82	3829	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群2型[CF]	82	3832	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群2型[NT]	82	3831	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群3型[CF]	82	3834	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群3型[NT]	82	3833	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群4型[CF]	82	3836	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群4型[NT]	82	3835	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群5型[CF]	82	3838	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群5型[NT]	82	3837	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群6型[CF]	82	3840	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
コクサッキーウイルスB群6型[NT]	82	3839	79	免疫	D012 11 ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(コクサッキーウイルス)
骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	10・53	1049	157	生(Ⅱ)	D008 26 骨型アルカリホスファターゼ(BAP)
骨髄像	41	4586	788	血液	D005 14 骨髄像
コハク酸シベンゾリン	74	1835	特定薬剤治療管理料	B001 2	特定薬剤治療管理料
コプロポルフィリン<血液>	13	1539	210	生(Ⅰ)	D007 52 赤血球コプロポルフィリン
コプロポルフィリン<部分尿>	13	1541	131	尿・糞便	D001 14 コプロポルフィリン(尿)
コプロポルフィリン「定性」<部分尿>	13	1540	未収載		
コリンエステラーゼ(ChE)	10	1055	11	生(Ⅰ)	D007 1 コリンエステラーゼ(ChE)
コルチゾール<血液>	54	2198	121	生(Ⅱ)	D008 14 コルチゾール
コルチゾール<蓄尿>	54	2199	121	生(Ⅱ)	D008 14 コルチゾール
コレステロール HDL	14	1329	17	生(Ⅰ)	D007 3 HDL-コレステロール
コレステロール LDL	14	1335	18	生(Ⅰ)	D007 4 LDL-コレステロール
コレステロール RLP(レムナント様リポ蛋白コレステロール)	14	1333	174	生(Ⅰ)	D007 44 レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)
コレステロール エステル型	14	1324	未収載		
コレステロール 総	14	1323	17	生(Ⅰ)	D007 3 総コレステロール
コレステロール分画	14	1382	57	生(Ⅰ)	D007 18 コレステロール分画
コレステロール 遊離	14	1326	11	生(Ⅰ)	D007 1 遊離コレステロール

さ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	サーファクタントプロテインA(SP-A)	9	4520	130	生(Ⅰ)	D007 35	肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)
	サーファクタントプロテインD(SP-D)	9	4510	136	生(Ⅰ)	D007 39	肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)
	サイクリック-AMP(C-AMP)<血液>	62	2515	165	生(Ⅱ)	D008 32	サイクリック-AMP(cAMP)
	サイクリック-AMP(C-AMP)<蓄尿>	62	2516	165	生(Ⅱ)	D008 32	サイクリック-AMP(cAMP)
	サイトケラチン19-フラグメント(CYFRA)(シフラ)	65	3366	154	生(Ⅱ)	D009 18	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
	サイトメガロウイルス IgG	86	3765	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(サイトメガロウイルス)
	サイトメガロウイルス IgM	86	3766	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(サイトメガロウイルス)
	サイトメガロウイルス[CF]	86	3760	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量・定量)(サイトメガロウイルス)
	サイトメガロウイルスpp65抗原(C7-HRP)	88	9305	356	免疫	D012 57	サイトメガロウイルスpp65抗原定性

# 索引 (五十音順)

細胞種類(髄液一般検査)	48	5070	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
細胞種類(穿刺液検査)	47	5099	未収載			
細胞数(髄液一般検査)	48	5069	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
細胞数(穿刺液検査)	47	5098	未収載			
細胞診検査<喀痰、その他>	104	病2003	190	病理	N004 2	穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの
細胞診 婦人科直接塗抹法<婦人科>[直接塗抹法]	104	病2001	150	病理	N004 1	婦人科材料等によるもの
細胞診 婦人科 LBC法<婦人科>[液状化検体細胞診]	104	病2007	150+45	病理	N004 1+注1	婦人科材料等によるもの+婦人科材料等液状化検体細胞加算
サイロキシン 総(T4)	50	2134	105	生(Ⅱ)	D008 11	サイロキシン(T4)
サイロキシン 遊離(FT4)	50	2138	121	生(Ⅱ)	D008 14	遊離サイロキシン(FT4)
サイロキシン結合グロブリン(TBG)	50	2144	130	生(Ⅱ)	D008 18	サイロキシン結合グロブリン(TBG)
サイログロブリン	50	2142	128	生(Ⅱ)	D008 16	サイログロブリン
サイログロブリン抗体(抗Tg抗体)	50	4153	136	免疫	D014 10	抗サイログロブリン抗体
サリチル酸	75	1875	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
酸化LDL(MDA-LDL)	14	1337	194	生(Ⅰ)	D007 50	マロンジアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
ジアゼパム	72	1705	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
シアルリルTn抗原(STn)	67	3310	146	生(Ⅱ)	D009 16	シアルリルTn抗原(STN)
シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	65	3319	140	生(Ⅱ)	D009 13	シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)
シアル酸	9	1283	未収載			
子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ(顆粒球エラスターゼ)	60	9092	116	尿・糞便	D004 8	顆粒球エラスターゼ(子宮頸管粘液)
糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	18	4197	262	免疫	D014 34	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)
糸球体濾過量 推算(eGFRcreat)	2	1190	未収載			
糸球体濾過量 推算(eGFRcys)	2	3181	未収載			
シクロスポリン	75	1969	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ジゴキシン	73	1811	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
シスタチンC	2	3180	112	生(Ⅰ)	D007 30	シスタチンC
ジシピラミド	74	1819	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
シトルリン化ペプチド抗体(抗CCP抗体)	18	4104	193	免疫	D014 24	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
脂肪酸 遊離(NEFA FFA)	15	1319	59	生(Ⅰ)	D007 19	遊離脂肪酸
シフラ(サイトケラチン19-フラグメント)(CYFRA)	65	3366	154	生(Ⅱ)	D009 18	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
ジフテリア抗体	32	3415	未収載			
脂肪酸分画	15	1315	393	生(Ⅱ)	D010 7	脂肪酸分画
絨毛性ゴナドトロピン定性(妊娠反応)(HCG)「定性」<部分尿>	61	2355	55	生(Ⅱ)	D008 1	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性
絨毛性ゴナドトロピン定量(HCG)「定量」<血液>	61	2356	130	生(Ⅱ)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
絨毛性ゴナドトロピン定量(HCG)「定量」<部分尿>	61	2357	130	生(Ⅱ)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	53・66	4974	156	生(Ⅱ)	D008 25	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)
心筋トロポニンT(TnT)	58	3246	109	生(Ⅰ)	D007 29	心筋トロポニンT(TnT)定性・定量
心筋トロポニンI(高感度)	58	3248	109	生(Ⅰ)	D007 29	心筋トロポニンI
神経特異エノラーゼ(NSE)	65	3350	142	生(Ⅱ)	D009 14	神経特異エノラーゼ(NSE)
心室筋ミオシン軽鎖I(ミオシン軽鎖I)	58	3243	184	生(Ⅰ)	D007 48	心室筋ミオシン軽鎖I
新生児APRスコア	28	3234	191	免疫	D015 20	APRスコア定性
浸透圧<血液>	7	1490	15	血液	D005 3	血液浸透圧
浸透圧<部分尿>	7	1491	16	尿・糞便	D001 3	尿浸透圧
心房性Na利尿ペプチド(HANP)	58	2524	221	生(Ⅱ)	D008 46	心房性Na利尿ペプチド(ANP)

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
腓PLA2(腓ホスホリパーゼA2)(PLA2)	12	1089	204	生(Ⅰ)	D007 51	ホスホリパーゼA2(PLA2)
髄液一般検査 Cl	48	1474	NaClで11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
髄液一般検査 K	48	1469	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム
髄液一般検査 Na	48	1464	NaClで11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
髄液一般検査 細胞種類	48	5070	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄液一般検査 細胞数	48	5069	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄液一般検査 蛋白	48	5060	11	生(Ⅰ)	D007 1	総蛋白
髄液一般検査 糖	48	5062	11	生(Ⅰ)	D007 1	グルコース
髄液一般検査 トリプトファン反応	48	5077	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄液一般検査 ノンネアペルト反応	48	5075	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄液一般検査 バンディー反応	48	5073	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄液一般検査 ケトン体	48	5088	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査
髄膜炎菌培養	99	細6003		微生物		
水銀(Hg)<血液>	7	9340	未収載			
水銀(Hg)<部分尿>	7		未収載			
推算糸球体濾過量(eGFRcreat)	2	1190	未収載			
推算糸球体濾過量(eGFRcys)	2	3181	未収載			
推定1日食塩摂取量	46	6446	未収載			
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG[EIA]	85	3754	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘帯状疱疹ウイルス)

水痘・帯状ヘルペスウイルス IgM[EIA]	85	3757	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘・帯状疱疹ウイルス)
水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG[FIA]	85	3755	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘・帯状疱疹ウイルス)
水痘・帯状ヘルペスウイルス[CF]	85	3748	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(水痘・帯状疱疹ウイルス)
水痘・帯状ヘルペスウイルス抗原[FA]	90	3751	227	免疫	D012 51	水痘ウイルス抗原定性(上皮細胞)
麻疹細胞質抗体(ICA)	21	4162	未収載			
麻疹ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (麻疹PLA <sub>2</sub> )	12	1089	204	生(I)	D007 51	ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (PLA <sub>2</sub> )
スチレペントール	73	1856	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ストレプトリジン-O(ASO定量)(ASLO)	28	3436	15	免疫	D012 1	抗ストレプトリジンO(ASO)定量

セ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
---	------	---	-------	-----	-----	------	-------

精液検査 精液量	48	8017	精液検査として70	尿・糞便	D004 5	精液一般検査
精液検査 精子数	48	8018	精液検査として70	尿・糞便	D004 5	精液一般検査
精液検査 精子運動能率	48	8019	精液検査として70	尿・糞便	D004 5	精液一般検査
精液検査 精子奇形率	48	8020	精液検査として70	尿・糞便	D004 5	精液一般検査
精子抗体	18	4207	未収載			
成長ホルモン(GH)<血液>	49	2053	105	生(II)	D008 12	成長ホルモン(GH)
赤痢アメーバ	32	5036	67	微生物	D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)
赤血球数(RBC)	40	4566	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
赤血球沈降速度(血沈)(ESR)	41	4825	9	血液	D005 1	赤血球沈降速度(ESR)
赤血球プロトポルフィリン	13・92	1549	272	生(I)	D007 58	赤血球プロトポルフィリン
セルロプラスミン	3	3214	90	免疫	D015 9	セルロプラスミン
セレン	6・92	9194	144	生(I)	D007 40	セレン
セロトニン<血液>	57	2291	未収載			
潜血反応	46	4948	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
全血比重	41	4828	未収載			
穿刺液検査 細胞種類	47	5099	未収載			
穿刺液検査 細胞数	47	5098	未収載			
穿刺液検査 蛋白	47	5089	11	生(I)	D007 1	総蛋白
穿刺液検査 糖	47	5092	11	生(I)	D007 1	グルコース
穿刺液検査 比重	47	5095	未収載			
穿刺液検査 リンパ球反応	47	5102	未収載			
染色体検査(血液疾患)(G-Banding)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
染色体検査 先天性疾患(C-Banding)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
染色体検査 先天性疾患(G-Banding)	111	5253	2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
染色体検査 先天性疾患(Q-Banding)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
染色体検査 先天性疾患(高精度分染法)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
セントロメア抗体	20	4092	174	免疫	D014 20	抗セントロメア抗体定量
前立腺特異抗原(PSA)	66	3334	121	生(II)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)
前立腺特異抗原(PSA-HS)(高感度前立腺特異抗原)	66	3336	121	生(II)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)

そ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
---	------	---	-------	-----	-----	------	-------

造血器悪性腫瘍細胞検査(原性リンパ)〔腫瘍検査7AAD解析〕<リンパ節>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
造血器悪性腫瘍細胞検査(原性リンパ)〔腫瘍検査(MLA)CD45ゲートング〕<血液>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
造血器悪性腫瘍細胞検査(多発性骨髄腫解析検査)CD38マルチ解析<骨髄液>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
造血器悪性腫瘍細胞検査(白血球リンパ)〔腫瘍検査(LLA)CD45ゲートング〕<血液>	108	4545	1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
造血器悪性腫瘍細胞検査(白血球リンパ)〔腫瘍検査(LLA)CD45ゲートング〕<骨髄液>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
総コレステロール	14	1323	17	生(I)	D007 3	総コレステロール
総サイロキシン(T <sub>4</sub> )	50	2134	105	生(II)	D008 11	サイロキシン(T <sub>4</sub> )
総三塩化物(テトラクロルエチレン)	93	1578	未収載			
総三塩化物(トリクロルエチレン)	93	1580	未収載			
総三塩化物(1,1,1-トリクロルエタン)	93	1579	未収載			
総水銀(Hg)<血液>	7	9340	未収載			
総水銀(Hg)<部分尿>	7		未収載			
総胆汁酸(TBA)	13	1362	47	生(I)	D007 13	胆汁酸
総蛋白(TP)<血液>	1	1001	11	生(I)	D007 1	総蛋白
総鉄結合能(TIBC)[計算法]	6	1512	11	生(I)	D007 1	総鉄結合能(TIBC)[比色法]
総ビリルビン	13	1530	11	生(I)	D007 1	総ビリルビン
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	4	4221	283	生(II)	D010 5	総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)
総ホモシステイン	4	1202	279	生(II)	D010 4 I	アミノ酸(1種類につき)
ソタロール	74	1853	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ソニサミド	72	1741	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ソマトメジンC	49	2057	212	生(II)	D008 42	ソマトメジンC

た	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
---	------	---	-------	-----	-----	------	-------

第II因子活性因子	42	4725	223	血液	D006 29	凝固因子(第II因子)
-----------	----	------	-----	----	---------	-------------

# 索引 (五十音順)

第V因子活性因子	42	4729	223	血液	D006 29	凝固因子(第V因子)
第VII因子活性因子	42	4731	223	血液	D006 29	凝固因子(第VII因子)
第VIII因子活性因子	42	4733	223	血液	D006 29	凝固因子(第VIII因子)
第VIII因子様抗原定量(Von Willebrand因子抗原定量)	43	4747	147	血液	D006 20	Von Willebrand因子(VWF)抗原
第IX因子抑制因子	42	4749	144	血液	D006 19	凝固因子インヒビター
第IX因子活性因子	42	4735	223	血液	D006 29	凝固因子(第IX因子)
第IX因子抑制因子	42	4751	144	血液	D006 19	凝固因子インヒビター
第X因子活性因子	42	4737	223	血液	D006 29	凝固因子(第X因子)
第XI因子活性因子	42	4739	223	血液	D006 29	凝固因子(第XI因子)
第XII因子活性因子	42	4740	223	血液	D006 29	凝固因子(第XII因子)
第XIII因子活性因子	42	4743	223	血液	D006 29	凝固因子(第XIII因子)
大腸菌血清型別	99	細1213	175	免疫	D012 37	大腸菌血清型別
大腸菌ペロトキシン	99	細1207	184	微生物	D023-2 3	大腸菌ペロトキシン定性
タクロリムス	75	1970	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
多発性骨髄腫解析検査CD38マチン解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)<骨髓液>	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
胆汁酸(TBA)	13	1362	47	生(I)	D007 13	胆汁酸
単純ヘルペスウイルス IgG	86	3730	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヘルペスウイルス)
単純ヘルペスウイルス IgM	86	3732	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヘルペスウイルス)
単純ヘルペスウイルス[CF]	86	3723	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量定量)(単純ヘルペスウイルス)
単純ヘルペスウイルス1型[NT]	86	3727	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量定量)(単純ヘルペスウイルス)
単純ヘルペスウイルス2型[NT]	86	3737	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性半定量定量)(単純ヘルペスウイルス)
単純ヘルペス特異抗原(1,2型タイピング)	90・99	細1203	180	免疫	D012 39	単純ヘルペスウイルス抗原定性
蛋白 総(TP)<血液>	1	1001	11	生(I)	D007 1	総蛋白
蛋白 (髄液一般検査)	48	5060	11	生(I)	D007 1	総蛋白
蛋白 (穿刺液検査)	47	5089	11	生(I)	D007 1	総蛋白
蛋白 尿「定性」<部分尿>	46	4878	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
蛋白 尿「定量」<部分尿>	46	7770	7	尿・糞便	D001 1	尿蛋白
蛋白 尿「定量」<蓄尿>	46	4879	7	尿・糞便	D001 1	尿蛋白
蛋白分画	1	1007	18	生(I)	D007 4	蛋白分画

ち	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
腫トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム核酸同時検出	30	3413	350	微生物	D023 12	腫トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウム核酸同時検出	
中性脂肪(TG)	14	1313	11	生(I)	D007 1	中性脂肪	
虫卵直接塗抹[糞便塗抹顕鏡]	47	4989	20	尿・糞便	D003 2	糞便塗抹顕鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む)	
直接クームス試験	22	4336	34	免疫	D011 2イ	Coombs試験[直接]	
直接ビリルビン	13	1531	11	生(I)	D007 1	直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	

つ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
ツツガムシ抗体 IgG	32	3543	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	
ツツガムシ抗体 IgM	32	3545	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	
ツツガムシギリアム IgG	32	3551	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	
ツツガムシギリアム IgM	32	3553	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	
ツツガムシカーブ IgG	32	3535	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	
ツツガムシカーブ IgM	32	3537	203	免疫	D012 45	ツツガムシ抗体半定量	

て	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	53	2529	154	生(II)	D008 24	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	
テイコプラニン	73	1973	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料	
デオキシピリジノリン(DPD)<部分尿>	53・66	4980	191	生(II)	D008 39	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	
テオフィリン	73	1854	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料	
テストステロン	61	2345	119	生(II)	D008 13	テストステロン	
デスマグレイン1抗体	20	4238	300	免疫	D014 39	抗デスマグレイン1抗体	
デスマグレイン3抗体	20	4239	270	免疫	D014 36	抗デスマグレイン3抗体	
鉄(Fe)<血液>	6	1510	11	生(I)	D007 1	鉄(Fe)	
鉄(Fe)<蓄尿>	6	1511	11	生(I)	D007 1	鉄(Fe)	
鉄染色	41	4607	60(加算)	血液	D005 14注	骨髓像(特殊染色ごとに)	
テトラクロルエチレン(総三塩化物)<部分尿>	93	1578	未収載				
テトラクロルエチレン(トリクロル酢酸)<部分尿>	93	1583	未収載				
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	55	2230	164	生(II)	D008 31	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	
デルタアミノレブリン酸(δアミノレブリン酸)<部分尿>	13・92	1558	106	尿・糞便	D001 11	δアミノレブリン酸(δ-ALA)(尿)	

と	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
銅(Cu)<血液>	6	1518	23	生(I)	D007 5	銅(Cu)	
銅(Cu)<蓄尿>	6	1519	23	生(I)	D007 5	銅(Cu)	

糖「定性」<部分尿>	46	4881	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
糖 (髄液一般検査)	48	5062	11	生 (I)	D007 1	グルコース
糖 (穿刺液検査)	47	5092	11	生 (I)	D007 1	グルコース
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	44	4235	240	血液	D006 32	tPA・PAI-1複合体
トータルP1NP (I型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	53	2532	160	生 (II)	D008 28	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド (P1NP)
トキソプラズマIgG抗体	31	3581	93	免疫	D012 14	トキソプラズマ抗体
トキソプラズマIgM抗体	31	3583	95	免疫	D012 15	トキソプラズマIgM抗体
特異的IgE [Arah2] ビーナッツ由来	24	3047	110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
特異的IgE (IgE-RAST) シングルアレルゲン	24		110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
特異的IgE (CAP-RAST) マルチアレルゲン	24		110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
特異的IgE (MAST36)	24	3072	1430	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
特異的IgE (View39)	24	3071	1430	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
トピラマート	73	4224		特定薬剤治療管理料	B001 2	特定薬剤治療管理料
トブラマイシン	73	1949		特定薬剤治療管理料	B001 2	特定薬剤治療管理料
塗抹鏡検 一般細菌 [グラム染色]	94	細1001	67	微生物	D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 (その他のもの)
塗抹鏡検 抗酸菌検査 [蛍光法]	100	細2002	50	微生物	D017 1	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 (蛍光顕微鏡、位相差顕微鏡、総視野装置等を使用するもの)
塗抹鏡検 抗酸菌検査 [チールネルゼン染色]	100	細2001	67	微生物	D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査 (その他のもの)
トランスサイレチン (プレアルブミン)	1	3193	101	免疫	D015 12	トランスサイレチン (プレアルブミン)
トランスフェリン (Tf)	3	3223	60	免疫	D015 7	トランスフェリン (Tf)
トランスフェリン尿中<部分尿>	46	3225	98	尿・糞便	D001 8	トランスフェリン (尿)
トリクロルエチレン (総三塩化物)<部分尿>	93	1580		未収載		
トリクロルエチレン (トリクロル酢酸)<部分尿>	93	1585		未収載		
トリクロル酢酸 (テトラクロルエチレン)<部分尿>	93	1583		未収載		
トリクロル酢酸 (トリクロルエチレン)<部分尿>	93	1585		未収載		
トリクロル酢酸 (1,1,1-トリクロルエタン)<部分尿>	93	1584		未収載		
トリコスポロン・アサヒ抗体	29	3600	822	免疫	D012 64	抗トリコスポロン・アサヒ抗体
トリコモナス培養	99	細1110	60	微生物	D018 6	簡易培養
鳥特異的IgG抗体	23	3096	873	免疫	D012 65	鳥特異的IgG抗体
トリプシン	12	1086	189	生 (I)	D007 49	トリプシン
トリプトファン反応 (髄液一般検査)	48	5077		髄液検査として62	D004 4	髄液一般検査
トリメタジオン	72	1739		特定薬剤治療管理料	B001 2	特定薬剤治療管理料
トリヨードサイロニン (T3)	50	2119	99	生 (II)	D008 7	トリヨードサイロニン (T <sub>3</sub> )
トリヨードサイロニン 遊離 (FT3)	50	2123	121	生 (II)	D008 14	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )
トロポニンT (TnT)	58	3246	109	生 (I)	D007 29	心筋トロポニンT (TnT) 定性・定量
トロポニンI (高感度トロポニンI)	58	3248	109	生 (I)	D007 29	心筋トロポニンI
トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)	43	4685	171	血液	D006 24	トロンビン・アンチトロンビン複合体 (TAT)
トロンボプラスチン時間 活性化部分 (APTT)	42	4640	29	血液	D006 7	活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)

な	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ナイアシン (ニコチン酸)	16	1429	未収載			
	ナトリウム (Na) <血液>	5	1460	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	ナトリウム (Na) <部分尿>	5	6443	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	ナトリウム (Na) <蓄尿>	5	1461	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	鉛 (Pb) <血液>	6・92	1630	未収載			

に	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ニコチン酸 (ナイアシン)	16	1429	未収載			
	ニトラゼパム	72	1719	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	日本脳炎ウイルス [CF]	83	3934	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (日本脳炎ウイルス)
	日本脳炎ウイルス (JaGAr株) [HI]	83	3933	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (日本脳炎ウイルス)
	乳酸	9	1291	47	生 (I)	D007 13	有機モノカルボン酸
	乳酸脱水素酵素 (LDH) (LD)	10	1016	11	生 (I)	D007 1	乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)
	尿グルコース (尿糖) 「定性」<部分尿>	46	4881	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
	尿グルコース (尿糖) 「定量」<部分尿>	46	7774	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
	尿グルコース (尿糖) 「定量」<蓄尿>	46	4882	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
	尿ケトン体「定性」<部分尿>	46	4935	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
	尿酸 (UA) <血液>	1	1178	11	生 (I)	D007 1	尿酸
	尿酸 (UA) <部分尿>	1	6158	11	生 (I)	D007 1	尿酸
	尿酸 (UA) <蓄尿>	1	1179	11	生 (I)	D007 1	尿酸
	尿素呼気試験	33	4531	70	微生物	D023-2 2	尿素呼気試験 (UBT)
	尿素窒素 (BUN) <血液>	1	1181	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	尿素窒素 (BUN) <部分尿>	1	6162	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	尿素窒素 (BUN) <蓄尿>	1	1182	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	尿蛋白「定性」<部分尿>	46	4878	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
	尿蛋白「定量」<部分尿>	46	7770	7	尿・糞便	D001 1	尿蛋白
	尿蛋白「定量」<蓄尿>	46	4879	7	尿・糞便	D001 1	尿蛋白

# 索引 (五十音順)

尿中NAG(NAG)〈部分尿〉	46	1147	41	尿・糞便	D001 5	N-アセチルグルコサミナーゼ(NAG)(尿)
尿中アルブミン定量〈部分尿〉	46	1005	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
尿中アルブミン定量〈蓄尿〉	46	1009	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
尿中コルチゾール〈蓄尿〉	54	2199	121	生(Ⅱ)	D008 14	コルチゾール
尿中肺炎球菌抗原〈部分尿〉	29	3597	188	免疫	D012 41	肺炎球菌莢膜抗原定性(尿・髄液)
尿中トランスフェリン〈部分尿〉	46	3225	98	尿・糞便	D001 8	トランスフェリン(尿)
尿中レジオネラ抗原〈部分尿〉	32	4225	205	免疫	D012 46	レジオネラ抗原定性(尿)
尿沈渣〈部分尿〉	47	4953	27	尿・糞便	D002	尿沈渣(鏡検法)
尿糖(尿グルコース)「定性」〈部分尿〉	46	4881	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
尿糖(尿グルコース)「定量」〈部分尿〉	46	7774	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
尿糖(尿グルコース)「定量」〈蓄尿〉	46	4882	9	尿・糞便	D001 2	尿グルコース
尿比重〈部分尿〉	46	4873	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
尿PH〈部分尿〉	46	4871	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
妊娠反応(HCG定性)〈部分尿〉	61	2355	55	生(Ⅱ)	D008 1	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性

の	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ノロウイルス(リアルタイムPCR法)	90・99	細1236	未収載			
	ノロウイルス(イムノクロマト法)	90・99	細1227	150	免疫	D012 28	ノロウイルス抗原定性
	ノンアペルト反応(髄液一般検査)	48	5075	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査

は	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	肺炎球菌抗原〈部分尿〉	29	3597	188	免疫	D012 41	肺炎球菌莢膜抗原定性(尿・髄液)
	肺サーファクタントプロテインA(SP-A)	9	4520	130	生(Ⅰ)	D007 35	肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)
	肺サーファクタントプロテインD(SP-D)	9	4510	136	生(Ⅰ)	D007 39	肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)
	梅毒定性(RPR法)(STS)「定性」	38	3484	15	免疫	D012 1	梅毒血清反応(STS)定性
	梅毒半定量(RPR法)(STS)「半定量」	38	3485	34	免疫	D012 5	梅毒血清反応(STS)半定量
	梅毒トレポネーマ抗体(TPHA法)「定性」	38	3487	32	免疫	D012 4	梅毒トレポネーマ抗体定性
	梅毒トレポネーマ抗体(TPHA法)「半定量」	38	3488	53	免疫	D012 6	梅毒トレポネーマ抗体半定量
	梅毒定性(FTA-ABS)「定性」	38	3495	134	免疫	D012 23	梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)定性
	梅毒半定量(FTA-ABS)「半定量」	38	3496	134	免疫	D012 23	梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)半定量
	培養同定 一般細菌〈口腔、気道、呼吸器〉	94	細1101	180	微生物	D018 1	細菌培養同定検査(口腔、気道又は呼吸器からの検体)
	培養同定 一般細菌〈消化管〉	94	細1101	200	微生物	D018 2	細菌培養同定検査(消化管からの検体)
	培養同定 一般細菌〈泌尿器、生殖器〉	94	細1101	190	微生物	D018 4	細菌培養同定検査(泌尿器又は生殖器からの検体)
	培養同定 一般細菌〈血液、穿刺液〉	94	細1101	225	微生物	D018 3	細菌培養同定検査(血液又は穿刺液)
	培養同定 一般細菌〈その他の部位〉	94	細1101	180	微生物	D018 5	細菌培養同定検査(その他の部位からの検体)
	白癬菌塗抹鏡検[KOH法]	94	細1002	67	微生物	D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)
	白癬菌培養	99	細1108	60	微生物	D018 6	簡易培養
	破傷風抗体	32	3469	未収載			
	バゾプレシンAVP(抗利尿ホルモンADH)	49	2088	224	生(Ⅱ)	D008 47	抗利尿ホルモン(ADH)
	白血球数(WBC)	40	4565	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
	白血球リンパ(管解所検査)(LLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)〈血液〉	108	4545	1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	白血球リンパ(管解所検査)(LLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)〈髄液〉	108		1940	血液	D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)
	馬尿酸〈部分尿〉	93	1592	未収載			
	パニールマンデル酸定性(VMA定性)「定性」〈部分尿〉	56	2287	9	尿・糞便	D001 2	VMA定性(尿)
	パニールマンデル酸(VMA)〈部分尿〉	56	2292	90	生(Ⅱ)	D008 4	パニールマンデル酸(VMA)
	パニールマンデル酸(VMA)〈酸性蓄尿〉	56	2290	90	生(Ⅱ)	D008 4	パニールマンデル酸(VMA)
	パニールマンデル酸(VMA)〈血液〉	56	2286	90	生(Ⅱ)	D008 4	パニールマンデル酸(VMA)
	ハプトグロビン	3	3211	129	免疫	D015 14	ハプトグロビン(型補正を含む)
	パラインフルエンザウイルス1型	79	3973	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(パラインフルエンザ型)
	パラインフルエンザウイルス2型	79	3975	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(パラインフルエンザ型)
	パラインフルエンザウイルス3型	79	3977	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(パラインフルエンザ型)
	バルプロ酸Na	72	1735	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	パレコウイルス1型(エコーウイルス22型)[NT]	81	3886	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(エコーウイルス)
	ハロペリドール	73	1761	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	パンコマイシン	73	1953	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	パンディー反応(髄液一般検査)	48	5073	髄液検査として62	尿・糞便	D004 4	髄液一般検査

ひ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ヒアルロン酸(HA)	3・9	1271	179	生(Ⅰ)	D007 46	ヒアルロン酸
	鼻汁好酸球	41	4615	15	血液	D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)
	比重全血〈血液〉	41	4828	未収載			
	比重〈部分尿〉	46	4873	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
	比重(穿刺液検査)	47	5095	未収載			
	ビタミンA(レチノール)	16	1420	未収載			
	ビタミンB1	16	1422	239	生(Ⅰ)	D007 56	ビタミンB1

ビタミンB2	16	1424	235	生 (I)	D007 55	ビタミンB2
ビタミンB6	16	1427	未収載			
ビタミンB12	16	1430	136	生 (I)	D007 39	ビタミンB12
ビタミンC(アスコルビン酸)	16	1436	296		D007 60	ビタミンC
ビタミンE	16	1443	未収載	生 (I)		
ヒト絨毛性ゴナドトロピン定性(HCG)「定性」<部分尿>	61	2355	55	生 (II)	D008 1	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性
ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量(HCG)「定量」<血液>	61	2356	130	生 (II)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量(HCG)「定量」<部分尿>	61	2357	130	生 (II)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量
ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(遊離HCG-β)<血液>	61	2364	129	生 (II)	D008 17	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)
ヒト心房性Na利尿ペプチド(HANP)(ANP)	58	2524	221	生 (II)	D008 46	心房性Na利尿ペプチド(ANP)
ヒト精巢上体蛋白4(HE4)	67	3368	200	生 (II)	D009 29	ヒト精巢上体蛋白4(HE4)
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	58	2526	130	生 (II)	D008 18	脳性Na利尿ペプチド(BNP)
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	58	2536	136	生 (II)	D008 20	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)
ヒトパピローマウイルスDNA(LBC)ハイリスグループ	89	9206	347	微生物	D023 10	HPV核酸検出
ヒトパピローマウイルス核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	89	3761	347	微生物	D023 11	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
ヒトパピローマウイルスジェノタイプ判定	89	9228	2000	微生物	D023 25	HPVジェノタイプ判定
ヒトバルボウイルスB19 IgM	85	4039	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヒトバルボウイルスB19)
ヒトバルボウイルスB19 IgG	85	4038	未収載			
皮膚抗体	20	4190	未収載			
百日咳菌抗体「定量」	33	3463	257	免疫	D012 54	百日咳菌抗体
百日咳抗体IgA	33	3468	80	免疫	D012 12	百日咳菌抗体半定量
百日咳抗体IgM	33	3467	80	免疫	D012 12	百日咳菌抗体半定量
百日咳菌核酸検出	33	3769	360	微生物	D023 13	百日咳菌核酸検出
病理組織検査 組織診 1臓器	102	病1001	860	病理	N000	組織標本作成(1臓器につき)
病理組織検査 組織診 2臓器	102	病1002	1720	病理	N000	組織標本作成(1臓器につき)
病理組織検査 組織診 3臓器	102	病1003	2580	病理	N000	組織標本作成(1臓器につき)
病理組織検査 組織標本作成 1臓器	102	病1004				
病理組織検査 組織標本作成 2臓器	102	病1005				
病理組織検査 組織標本作成 3臓器	102	病1006				
微量アルブミン(尿中アルブミン定量)<部分尿>	46	1005	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
微量アルブミン(尿中アルブミン定量)<蓄尿>	46	1009	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
ビリルビン 総	13	1530	11	生 (I)	D007 1	総ビリルビン
ビリルビン 直接	13	1531	11	生 (I)	D007 1	直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン
ビリルビン 間接	13	1532	未収載			
ビリルビン「定性」<部分尿>	46	4932	尿中一般検査として26		D000	尿中一般物質定性半定量検査
ビルビン酸	9	1293	47	生 (I)	D007 13	有機モノカルボン酸
ビルメノール	74	9334	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ピロリ菌(H.ピロリ)検査	33・99					

ふ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ファディアトープ(アトピー鑑別試験特異的IgE)	24	3093	194	免疫	D015 21	アトピー鑑別試験定性
	フィブリノゲン(FIB)	42	4655	23	血液	D006 4	フィブリノゲン定量
	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)<血漿>	43	4666	80	血液	D006 10	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)定量
	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)<部分尿>	43	4665	72	尿・糞便	D001 7	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)(尿)
	フィブリンモノマー複合体定量	43	4656	215	血液	D006 28	フィブリンモノマー複合体
	風疹ウイルス IgM[EIA]	85	3950	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)
	風疹ウイルス IgG[EIA]	85	3947	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)
	風疹ウイルス IgG[FIA]	85	3945	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)
	風疹ウイルス[HI]	85	3944	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(風疹ウイルス)
	フェニトイン	72	1727	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	フェニルグリオキシリ酸(PGA)	93	1599	未収載			
	フェニルグリオキシリ酸及びマンデル酸(スチレン)の総和	93	820	未収載			
	フェノバルビタール	72	1723	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	フェリチン	6	3249	102	生 (I)	D007 25	フェリチン定量
	不規則性抗体(抗体同定、抗体価測定)	22	4352	159	免疫	D011 4	不規則抗体
	不規則性抗体	22	4351	159	免疫	D011 4	不規則抗体
	副甲状腺関連蛋白-intact(PTHrP-intact)	52	1776	186	生 (II)	D008 38	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
	副甲状腺ホルモンintact(PTH-intact)	52	2164	161	生 (II)	D008 29	副甲状腺ホルモン(PTH)
	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	49	2063	184	生 (II)	D008 37	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)
	不飽和鉄結合能(UIBC)[比色法]	6	1514	11	生 (I)	D007 1	不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)
	プラスミノゲン	43	4696	100	血液	D006 12	プラスミノゲン活性
	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	43	4699	128	血液	D006 16	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)
	プリミドン	72	1731	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	プレアルブミン(トランスサイレチン)	1	3193	101	免疫	D015 12	トランスサイレチン(プレアルブミン)
	フレカイノド	74	1836	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料

# 索引 (五十音順)

プレグナントリオール<蓄尿>	61	2340	232	生(Ⅱ)	D008 48	プレグナントリオール(尿)
プロカインアミド	74	1829	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
フリーテストステロン(遊離テストステロン)	61	2350	159	生(Ⅱ)	D008 27	遊離テストステロン
プロカルシトニン(PCT)「定量」	29	3454	276	生(Ⅰ)	D007 59	プロカルシトニン(PCT)定量
プロゲステロン	60	2333	143	生(Ⅱ)	D008 22	プロゲステロン
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)	3	3258	136	生(Ⅰ)	D007 39	プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)
プロテインC(抗原量)	44	4779	226	血液	D006 30	プロテインC抗原
プロテインC(活性)	44	4778	227	血液	D006 31	プロテインC活性
プロテインS(抗原量)	44	4783	154	血液	D006 22	プロテインS抗原
プロテインS(活性)	44	4242	163	血液	D006 23	プロテインS活性
プロトロンビン時間(PT)	42	4644	18	血液	D006 2	プロトロンビン時間(PT)
プロトロンビンフラグメントF1+2	43	4243	192	血液	D006 26	プロトロンビンフラグメントF1+2
プロパフェノン	74	1840	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
プロプラノロール	74	9380	未収載			
プロムペリドール	73	1763	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
プロラクチン(PRL)	49	2060	98	生(Ⅱ)	D008 6	プロラクチン(PRL)
糞便塗抹顕鏡検査(虫卵直接塗抹)	47	4989	20	尿・糞便	D003 2	糞便塗抹顕鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む)
分離培養1(MGIT)	100	細2010	300	微生物	D020 1	抗酸菌分離培養(液体培地法)
分離培養2(小川)	100	細2003	209	微生物	D020 2	抗酸菌分離培養(それ以外のもの)

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
平滑筋抗体(ASMA)	20	4110	未収載			
ヘパリン	43		108	生(Ⅰ)	D007 28	ヘパリン
ペプシノーゲン	12	1152	未収載			
ペプシジル	74	1850	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ヘマトクリット(Ht)	40	4569	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
ヘモグロビン(Hb)	40	4567	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
ヘモグロビンA1C(HbA1C)	8	1267	49	血液	D005 9	ヘモグロビンA1C(HbA1C)
ペランパネル	73	1832	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ヘリコバクターピロリ抗原	33	4977	142	免疫	D012 25	ヘリコバクターピロリ抗原定性
ヘリコバクターピロリ抗体(Hピロリ抗体)<血液>	33	3471	80	免疫	D012 12	ヘリコバクターピロリ抗体
ヘリコバクターピロリ抗体(Hピロリ抗体)<部分尿>	33	3474	70	免疫	D012 9	ヘリコバクターピロリ抗体定性・半定量
ヘリコバクターピロリ培養	99	細7852	200	微生物	D018 2	細菌培養同定検査(消化管からの検体)
ベルオキシダーゼ染色	41	4604	60	血液	D005 14注	骨髄像(特殊染色加算)
ベンス・ジョーンズ蛋白(Bence Jones蛋白)「同定」<部分尿>	23	4956	201	免疫	D015 22	Bence Jones蛋白同定(尿)
便中カルプロテクチン	21	4523	268	尿・糞便	D003 9	カルプロテクチン(糞便)
便中ヒトヘモグロビン(1本目)	47	5012	37	尿・糞便	D003 5	糞便中ヘモグロビン定性
便中ヒトヘモグロビン(2本目)	47	5018	37	尿・糞便	D003 5	糞便中ヘモグロビン定性
便中ヒトヘモグロビン及びヒトトランスフェリン(1本目)	47	5026	56	尿・糞便	D003 8	糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン定性・定量
便中ヒトヘモグロビン及びヒトトランスフェリン(2本目)	47	5027	56	尿・糞便	D003 8	糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン定性・定量
扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	65	3328	101	生(Ⅱ)	D009 4	扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
ホスホリパーゼA2(麟ホスホリパーゼA2)(麟PLA2)	12	1089	204	生(Ⅰ)	D007 51	ホスホリパーゼA2(PLA2)
補体C3	18	3156	70	免疫	D015 8	C3
補体C4	18	3158	70	免疫	D015 8	C4
補体価(CH50)	18	3150	38	免疫	D015 4	血清補体価(CH50)
ホモシステイン	4	1202	279	生(Ⅱ)	D010 4イ	アミノ酸(1種類につき)
ホモバニリン酸(HVA)<血液>	56	2282	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
ホモバニリン酸(HVA)<髄液>	56		69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
ホモバニリン酸(HVA)<部分尿>	56	2284	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
ホモバニリン酸(HVA)<酸性蓄尿>	56	2285	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
ポリコナゾール	75	1972	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
ポルフォビリノゲン<蓄尿>	13	9174	186	尿・糞便	D001 16	ポルフォビリノゲン(尿)
ボレリア・ブルドルフェリ抗体(ライム抗体)	32	9375	未収載			

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
マイシグナル	119	9818	未収載			
マイクロアレイ血液検査	115	9815	未収載			
マイコバクテリウムアビウム-イントラセラー核酸検出(TRC)	100	細3003	421	微生物	D023 16	マイコバクテリウムアビウム及びイントラセラー(MAC)核酸検出
マイコプラズマ抗体(マイコプラズマニューモニエ)「半定量」[PA]	28	3521	32	免疫	D012 4	マイコプラズマ抗体半定量
マイコプラズマ抗体(マイコプラズマニューモニエ)「半定量」[CF]	28	3522	32	免疫	D012 4	マイコプラズマ抗体半定量
マイコプラズマニューモニエ核酸同定<咽頭、鼻咽頭拭い液>	28	4229	291	微生物	D023 6	マイコプラズマ核酸検出
マイコプラズマニューモニエ核酸同定<喀痰>	28	4228	291	微生物	D023 6	マイコプラズマ核酸検出
マグネシウム(Mg)<血液>	5	1475	11	生(Ⅰ)	D007 1	マグネシウム

マグネシウム(Mg)<蓄尿>	5	1476	11	生 (I)	D007 1	マグネシウム
麻疹ウイルス IgM[EIA]	84	3990	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)
麻疹ウイルス IgG[EIA]	84	3989	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)
麻疹ウイルス IgG[FIA]	84	3992	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)
麻疹ウイルス[NT]	84	3988	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(麻疹ウイルス)
マトリックスメタロプロテイナーゼ3(MMP-3)	18	4100	116	免疫	D014 9	マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)
マラリア原虫	41	4619	40	血液	D005 7	血中微生物検査
マルチアルレルゲン特異的IgE(CAP-RAST)	24		110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
マロンジアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)(酸化LDL)	14	1337	194	生 (I)	D007 50	マロンジアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)
マンガン(Mn)	7	1638	27	生 (I)	D007 8	マンガン(Mn)
マンデル酸(スチレン)<部分尿>	93	1600	未収載			
マンデル酸(エチルベンゼン)<部分尿>	93	1601	未収載			

み	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ミオグロビン<血液>	58	3242	131	生 (I)	D007 36	ミオグロビン定量
	ミオグロビン<部分尿>	58	3241	131	生 (I)	D007 36	ミオグロビン定量
	ミオシン軽鎖I	58	3243	184	生 (I)	D007 48	心室筋ミオシン軽鎖I
	ミコフェノール酸モフェチル	75	1852	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	ミトコンドリア抗体(AMA)[半定量]	20	4108	181	免疫	D014 21	抗ミトコンドリア抗体半定量
	ミトコンドリアM2抗体[定量]	20	4109	189	免疫	D014 22	抗ミトコンドリア抗体定量
	ミュラー管ホルモン(AMH)	60	4199	597	生 (II)	D008 52	抗ミュラー管ホルモン(AMH)

む	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	無機リン(IP)<血液>	5	1486	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	無機リン(IP)<蓄尿>	5	1487	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	ムンプスウイルス IgM[EIA]	84	3998	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)
	ムンプスウイルス IgG[EIA]	84	3997	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)
	ムンプスウイルス IgG[FIA]	84	3999	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)
	ムンプスウイルス [HI]	84	3994	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(ムンプスウイルス)
	ムンプスウイルス [NT]	84	3995	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(ムンプスウイルス)
	ムンプスウイルス [CF]	84	3993	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(ムンプスウイルス)

め	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	メキシレチン	74	1825	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	メタネフリン総<酸性蓄尿>	56	2268	217	生 (II)	D008 44	メタネフリン
	メタネフリン分画(メタネフリン・ノルメタネフリン)<部分尿>	56	2272	220	生 (II)	D008 45	メタネフリン・ノルメタネフリン分画
	メタネフリン分画(メタネフリン・ノルメタネフリン)<酸性蓄尿>	56	2271	220	生 (II)	D008 45	メタネフリン・ノルメタネフリン分画
	メタノール(メチルアルコール)<部分尿>	92	1642	未収載			
	メチルイソブチルケトン(MIBK)	92	1605	未収載			
	メチル馬尿酸<部分尿>	93	1596	未収載			
	メトトレキサート	75	1963	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	免疫電気泳動[抗ヒト全血清による同定]	23	3136	170	免疫	D015 17	免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)
	免疫電気泳動[特異抗血清による同定]	23	3139	218	免疫	D015 24	免疫電気泳動法(特異抗血清)

も	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	網状赤血球数(RET)	40	4576	12	血液	D005 2	網赤血球数
	モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析	108		未収載			

や	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	110	4371		免疫	D016 7	リンパ球刺激試験(LST)
	薬剤感受性検査 一般細菌 1菌種	95		185	微生物	D019 1	1菌種
	薬剤感受性検査 一般細菌 2菌種	95		240	微生物	D019 2	2菌種
	薬剤感受性検査 一般細菌 3菌種以上	95		310	微生物	D019 3	3菌種以上
	薬剤感受性検査 抗酸菌検査	100	細2007	400	微生物	D022	抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)

ゆ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	有機モノカルボン酸(乳酸)	9	1291	47	生 (I)	D007 13	有機モノカルボン酸
	有機モノカルボン酸(ピルビン酸)	9	1293	47	生 (I)	D007 13	有機モノカルボン酸
	遊離コレステロール	14	1326	11	生 (I)	D007 1	遊離コレステロール
	遊離型PSA比(PSA F/T比)	66	3339	150	生 (II)	D009 17	PSA フリー/トータル比
	遊離サイロキシシン(FT4)	50	2138	121	生 (II)	D008 14	遊離サイロキシシン(FT4)
	遊離テストステロン(フリーテストステロン)	61	2350	159	生 (II)	D008 27	遊離テストステロン

# 索引 (五十音順)

遊離脂肪酸 (NEFA, FFA)	15	1319	59	生 (I)	D007 19	遊離脂肪酸
遊離トリヨードサイロニン (FT3)	50	2123	121	生 (II)	D008 14	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )

よ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	葉酸	16	1451	146	生 (I)	D007 41	葉酸
	溶連菌迅速試験 (A群β)	28・98	細1204	121	免疫	D012 19	A群β溶連菌迅速試験定性
	Ⅳ型コラーゲン<血液>	3	3263	131	生 (I)	D007 36	Ⅳ型コラーゲン
	Ⅳ型コラーゲン7S	3	3265	148	生 (I)	D007 42	Ⅳ型コラーゲン7S

ら	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ライム抗体 (ボレリア・ブルドルフェリ抗体)	32	9375	未収載			
	ラコサミド	73	1720	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	ラモトリギン	72	1729	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	卵巣悪性腫瘍推定値 (ROMA)	67	3370	未収載			
	卵巣刺激ホルモン (FSH)	49	2070	105	生 (II)	D008 12	卵巣刺激ホルモン (FSH)
	乱用薬物スクリーニング<部分尿>	76	1996	未収載			

り	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	リウマトイド因子 (RA)	18	4093	未収載			
	リウマトイド因子定量 (RF)「定量」	18	4095	30	免疫	D014 2	リウマトイド因子 (RF) 定量
	リウマチ因子IgG型	18	4097	198	免疫	D014 26	IgG型リウマトイド因子
	リゾチーム<血液>	12	1115	未収載			
	リゾチーム<部分尿>	12	1116	未収載			
	リチウム	73	1769	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	リドカイン	74	1823	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	リパーゼ	11	1082	24	生 (I)	D007 6	リパーゼ
	リバルタ反応 (穿刺液検査)	47	5102	未収載			
	リポ蛋白 (a) (Lp(a))	15	1386	107	生 (I)	D007 27	リポ蛋白 (a)
	リポ蛋白分画	15	1368	49	生 (I)	D007 15	リポ蛋白分画
	リポ蛋白リパーゼ (LPL)	11	9072	219	生 (I)	D007 53	リポ蛋白リパーゼ (LPL)
	淋菌核酸増幅同定検査<分泌液 初尿 初尿 初尿> [リアルタイムPCR法]	30	3419	198	微生物	D023 2	淋菌核酸検出
	淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出	30	800	262	微生物	D023 5	淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出
	淋菌培養	99	細6002	微生物			
	リン (無機リン) <血液>	5	1486	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	リン (無機リン) <蓄尿>	5	1487	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	リン脂質 (PL)	15	1317	15	生 (I)	D007 2	リン脂質

る	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ループスアンチコアグラント [APTT凝固時間法]	44	4215	未収載			
	ループスアンチコアグラント [リン脂質中和法]	44	4213	265	免疫	D014 35	ループスアンチコアグラント定量
	ループスアンチコアグラント [希釈ラッセル蛇毒時間法]	44	4210	265	免疫	D014 35	ループスアンチコアグラント定量

れ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	レジオネラ抗原<部分尿>	32	4225	205	免疫	D012 46	レジオネラ抗原定性 (尿)
	レチノール (ビタミンA)	16	1420	未収載			
	レチノール結合蛋白 (RBP)	2	3195	132	免疫	D015 15	レチノール結合蛋白 (RBP)
	レニン活性 (PRA)	54	2469	100	生 (II)	D008 8	レニン活性
	レニン定量 (活性型) (ARC)	54	2476	102	生 (II)	D008 10	レニン定量
	レベチラセタム	73	4222	特定薬剤治療管理料		B001 2	特定薬剤治療管理料
	レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLPコレステロール)	14	1333	174	生 (I)	D007 44	レムナント様リポ蛋白コレステロール (RLP-C)

ろ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	ロイシニンアミノペプチダーゼ (LAP)	10	1070	11	生 (I)	D007 1	ロイシニンアミノペプチダーゼ (LAP)
	ロイシニンリッチα2グリコ蛋白 (LRG)	21	4245	268	生 (I)	D007 57	ロイシニンリッチα2グリコ蛋白
	ロタウイルス抗原	90・99	細1201	65	免疫	D012 8	ロタウイルス抗原定性 (糞便)

A	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	A/G比	1	1004	未収載			
	ABO-Rh(D)式血液型	22	962	24+24	免疫	D011 1	ABO血液型 Rh(D)血液型

ABO式血液型	22	4296	24	免疫	D011 1	ABO血液型
ACE(アンギオテンシンI転換酵素)	12	1145	136	生 (I)	D007 39	アンギオテンシンI転換酵素(ACE)
AChR抗体(アセチルコリンレセプター抗体)	21	4188	775	免疫	D014 45	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)
ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	49	2063	184	生 (II)	D008 37	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)
ADA(アデノシンデアミナーゼ)(血液)	12	1064	32	生 (I)	D007 11	アデノシンデアミナーゼ(ADA)
ADA(アデノシンデアミナーゼ)(胸水)	12	1164	32	生 (I)	D007 11	アデノシンデアミナーゼ(ADA)
ADH 抗利尿ホルモン(AVP ハンプレシン)	49	2088	224	生 (II)	D008 47	抗利尿ホルモン(ADH)
AFP( $\alpha$ -フェトプロテイン)「定量」	64	3278	98	生 (II)	D009 2	$\alpha$ -フェトプロテイン(AFP)
AFP-L3%( $\alpha$ -フェトプロテインレクチン分画)	64	3282	185	生 (II)	D009 26	$\alpha$ -フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)
Al(アルミニウム)	6	1628	109	生 (I)	D007 29	アルミニウム(Al)
Alb(アルブミン)<血液>	1	1002	11	生 (I)	D007 1	アルブミン(BCP改良法・BCG法)
Alb(アルブミン定量)<部分尿>	46	1005	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
Alb(アルブミン定量)<蓄尿>	46	1009	99	尿・糞便	D001 9	アルブミン定量(尿)
AIRS(男性、女性)	116			未収載		
ALP(アルカリフォスファターゼ)	10	1051	11	生 (I)	D007 1	アルカリホスファターゼ(ALP)
ALPアイソザイム	10	1043	48	生 (I)	D007 14	ALPアイソザイム
ALT(GPT)	10	1034	17	生 (I)	D007 3	アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)
AMA(抗ミトコンドリア抗体)「半定量」	20	4108	181	免疫	D014 21	抗ミトコンドリア抗体半定量
AMH(抗ミュラー管ホルモン)	60	4199	597	生 (II)	D008 52	抗ミュラー管ホルモン(AMH)
AMY(アミラーゼ)<血液>	11	1074	11	生 (I)	D007 1	アミラーゼ
AMY(アミラーゼ)<部分尿>	11	1075	11	生 (I)	D007 1	アミラーゼ
ANA(抗核抗体)「定性」	18	4030	99	免疫	D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)定性
ANA(抗核抗体)「半定量」	18	4032	99	免疫	D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)半定量
ANP(心房性Na利尿ペプチド)(HANP)	58	2524	221	生 (II)	D008 46	心房性Na利尿ペプチド(ANP)
APA(抗血小板抗体)	23	4223	261	免疫	D011 8	抗血小板抗体
APOA2アイソフォーム	64	3317	335	生 (II)	D009 35	アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム
APRスコア(新生児APRスコア)	28	3234	191	免疫	D015 20	APRスコア定性
APTT(活性化部分トロンボプラスチン時間)	42	4640	29	血液	D006 7	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)
AQP4抗体(アクアポリン4抗体)	20	4185	1000	免疫	D014 47	抗アクアポリン4抗体
Arah2(ピーナッツ由来)	24	3047	110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
ARC(レニン定量)(活性型)	54	2476	102	生 (II)	D008 10	レニン定量
ARS抗体(アミノアシルtRNA合成酵素抗体)	19	4029	190	免疫	D014 23	抗ARS抗体
ASMA(抗平滑筋抗体)	20	4110		未収載		
ASO(抗ストレプトリジン-O)「定量」	28	3436	15	免疫	D012 1	抗ストレプトリジンO(ASO)定量
AST(GOT)	10	1031	17	生 (I)	D007 3	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)
ATⅢ(アンチトロンビンⅢ活性値)	43	4683	70	血液	D006 9	アンチトロンビン活性
ATLV抗体(HTLV-I抗体)[CLIA]	88	4014	159	免疫	D012 31	HTLV-I抗体
ATLV抗体(HTLV-I抗体)[ライソプロット法]	88	4012	425	免疫	D012 60	HTLV-I抗体(ウエスタンブロット法及びライソプロット法)
AVP ハンプレシン(抗利尿ホルモン ADH)	49	2088	224	生 (II)	D008 47	抗利尿ホルモン(ADH)
A群 $\beta$ 溶連菌迅速試験	28・99	細1204	121	免疫	D012 19	A群 $\beta$ 溶連菌迅速試験定性

B	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	BAP(骨型アルカリホスファターゼ)	10・53	1049	157	生 (II)	D008 26	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)
	BCA225	65	3363	158	生 (II)	D009 20	BCA225
	Bence Jones蛋白(ベンス・ジョーンズ蛋白)「同定」<部分尿>	23	4956	201	免疫	D015 22	Bence Jones蛋白同定(尿)
	BFP(塩基性フェトプロテイン)	64	3286	150	生 (II)	D009 17	塩基性フェトプロテイン(BFP)
	BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	58	2526	130	生 (II)	D008 18	脳性Na利尿ペプチド(BNP)
	BP180NC16a抗体(抗BP180抗体)	20	4230	270	免疫	D014 36	抗BP180-NC16a抗体
	BTR(総分岐鎖アミノ酸チロシンモル比)	4	4221	283	生 (II)	D010 5	総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)
	BUN(尿素窒素)<血液>	1	1181	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	BUN(尿素窒素)<部分尿>	1	6162	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	BUN(尿素窒素)<蓄尿>	1	1182	11	生 (I)	D007 1	尿素窒素
	B型肝炎ウィルスコア関連抗原(HBcrAg)	34	3662	252	免疫	D013 12	HBVコア関連抗原(HBcrAg)
	B細胞表面免疫グロブリン IgG(Sm-Ig IgG)	108	4381	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン
	B細胞表面免疫グロブリン IgA(Sm-Ig IgA)	108	4382	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン
	B細胞表面免疫グロブリン IgM(Sm-Ig IgM)	108	4383	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン
	B細胞表面免疫グロブリン IgD(Sm-Ig IgD)	108	4384	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン
	B細胞表面免疫グロブリン $\kappa$ 鎖(Sm-Ig $\kappa$ 鎖)	108	4385	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン
	B細胞表面免疫グロブリン $\lambda$ 鎖(Sm-Ig $\lambda$ 鎖)	108	4386	155	免疫	D016 1	B細胞表面免疫グロブリン

C	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	C1インアクチベーター活性(C1エステルゼインヒター活性)(C1-INH)	43	3171	253	免疫	D015 25	C1インアクチベーター
	C <sub>3</sub> 補体	18	3156	70	免疫	D015 8	C <sub>3</sub>
	C <sub>4</sub> 補体	18	3158	70	免疫	D015 8	C <sub>4</sub>
	CA125	67	3292	136	生 (II)	D009 11	CA125
	CA15-3	65	3298	112	生 (II)	D009 6	CA15-3

# 索引 (五十音順)

CA19-9	64	3300	121	生(Ⅱ)	D009 9	CA19-9
CA54/61	67	3308	184	生(Ⅱ)	D009 25	CA54/61
CA602	67	3296	190	生(Ⅱ)	D009 27	CA602
CA72-4	67	3307	146	生(Ⅱ)	D009 16	CA72-4
Ca(カルシウム)〈血液〉	5	1479	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
Ca(カルシウム)〈部分尿〉	5	6459	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
Ca(カルシウム)〈蓄尿〉	5	1480	11	生(Ⅰ)	D007 1	カルシウム
Ca <sup>2+</sup> (イオン化カルシウム)	5	1484	26	生(Ⅰ)	D007 7	イオン化カルシウム
C-AMP(サイクリック-AMP)〈血液〉	62	2515	165	生(Ⅱ)	D008 32	サイクリック-AMP(cAMP)
C-AMP(サイクリック-AMP)〈蓄尿〉	62	2516	165	生(Ⅱ)	D008 32	サイクリック-AMP(cAMP)
CAP-RAST(特異的IgE マルチアレルゲン)	24		110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
CA-RF(抗ガラクトース欠損IgG抗体)	18	4103	111	免疫	D014 8	抗ガラクトース欠損IgG抗体定量
C-Banding(染色体検査 先天疾患)	111		2477+397	遺・染	D006 5+注	染色体検査(すべての費用を含む。) + 分染法加算
CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)	18	4104	193	免疫	D014 24	抗シトルリン化ペプチド抗体定量
Cd(カドミウム)〈血液〉	7	1641	未収載			
Cd(カドミウム)〈部分尿〉	7	1640	未収載			
CEA(癌胎児性抗原)	64	3273	99	生(Ⅱ)	D009 3	癌胎児性抗原(CEA)
CH50(血清補体価)	18	3150	38	免疫	D015 4	血清補体価(CH <sub>50</sub> )
ChE(コリンエステラーゼ)	10	1055	11	生(Ⅰ)	D007 1	コリンエステラーゼ(ChE)
C-ディフィシル培養	99	細7160		微生物		
C反応性蛋白(CRP)「定性」	28	3230	16	免疫	D015 1	C反応性蛋白(CRP)定性
C反応性蛋白(CRP)「定量」	28	3231	16	免疫	D015 1	C反応性蛋白(CRP)
CK(CPK クレアチンキナーゼ)	12	1021	11	生(Ⅰ)	D007 1	クレアチンキナーゼ(CK)
CK・アインザイム	12	1028	55	生(Ⅰ)	D007 17	CKアインザイム
CK-MB(CPK-MB) [免疫阻止-UJV法]	12	1022	未収載			
CK-MB(CPK-MB) [CLIA]	12	1023	90	生(Ⅰ)	D007 22	CK-MB(蛋白量測定)
Cl(クロール)〈血液〉	5	1470	11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
Cl(クロール)〈部分尿〉	5	6451	11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
Cl(クロール)〈蓄尿〉	5	1471	11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
Cl(髄液一般検査)	48	1474	NaClで11	生(Ⅰ)	D007 1	ナトリウム及びクロール
Con-Aによるリンパ球幼若化検査	110	4365	345	免疫	D016 7	リンパ球刺激試験(LST)(1薬剤)
C-ペプチド(CPR)〈血液〉	59	2398	105	生(Ⅱ)	D008 12	C-ペプチド(CPR)
C-ペプチド(CPR)〈蓄尿〉	59	2420	105	生(Ⅱ)	D008 12	C-ペプチド(CPR)
Cr(クロム)〈血液〉	7	1634	未収載			
Cr(クロム)〈部分尿〉	7	1635	未収載			
CRE(クレアチニン)〈血液〉	2	1170	11	生(Ⅰ)	D007 1	クレアチニン
CRE(クレアチニン)〈部分尿〉	2	6154	11	生(Ⅰ)	D007 1	クレアチニン
CRE(クレアチニン)〈蓄尿〉	2	1176	11	生(Ⅰ)	D007 1	クレアチニン
CRP(C反応性蛋白)「定性」	28	3230	16	免疫	D015 1	C反応性蛋白(CRP)定性
CRP(C反応性蛋白)「定量」	28	3231	16	免疫	D015 1	C反応性蛋白(CRP)
Cu(銅)〈血液〉	6	1518	23	生(Ⅰ)	D007 5	銅(Cu)
Cu(銅)〈蓄尿〉	6	1519	23	生(Ⅰ)	D007 5	銅(Cu)
CYFRA(サイトケラチン19-フラグメント)(シフラ)	65	3366	154	生(Ⅱ)	D009 18	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)

D	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	D-Bil(直接ビリルビン)	13	1531	11	生(Ⅰ)	D007 1	直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン
	D ダイマー(D-Dダイマー)	43	4672	127	血液	D006 15	D ダイマー
	DHEA-S(デヒドロエピアンドロステロンサルフェート)	55	2230	164	生(Ⅱ)	D008 31	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)
	DLST(薬剤によるリンパ球刺激試験)	110	4371		免疫	D016 7	リンパ球刺激試験(LST)
	DNA抗体「定量」	19	4036	159	免疫	D014 17	抗DNA抗体定量
	DPD(デオキシピリジノリン)〈部分尿〉	53・66	4980	191	生(Ⅱ)	D008 39	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)
	ds-DNA抗体 IgG抗体	19	4049	159	免疫	D014 17	抗DNA抗体定量
	ds-DNA抗体 IgM抗体	19	4053	未収載			
	DUPAN-2	64	3316	115	生(Ⅱ)	D009 7	DUPAN-2

E	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	E2(エストラジオール)〈血液〉	60	2321	167	生(Ⅱ)	D008 33	エストラジオール(E <sub>2</sub> )
	EBウイルス 抗EA IgG[EIA]	87	3784	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗VCA IgM[EIA]	87	3780	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗VCA IgG[EIA]	87	3776	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗EBNA IgG[EIA]	87	3790	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗EA-DRIgG[FA]	87	3783	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗VCA IgG[FA]	87	3775	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗VCA IgM[FA]	87	3779	200	免疫	D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)
	EBウイルス 抗EA-DRIgA[FA]	87	3785	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(EBウイルス)
	EBウイルス 抗VCA IgA[FA]	87	3777	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(EBウイルス)

EBウイルス 抗EBNA [FA]	87	3789	79	免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量) (EBウイルス)
eGFRcreat (推算糸球体濾過量)	2	1190	未収載			
eGFRcys (推算糸球体濾過量)	2	3181	未収載			
EOS (好酸球数)	40	4584	17	血液	D005 4	好酸球数
ESR (赤血球沈降速度) (血沈)	41	4825	9	血液	D005 1	赤血球沈降速度 (ESR)
E型肝炎ウイルスIgA (IgA-HEV)	36	3638	210	免疫	D013 10	HE-IgA抗体定性

F	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物) <血漿>	43	4666	80	血液	D006 10	フィブリン・フィブリノゲン分解産物 (FDP) 定量
	FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物) <部分尿>	43	4665	72	尿・糞便	D001 7	フィブリン・フィブリノゲン分解産物 (FDP) (尿)
	Fe(鉄) <血液>	6	1510	11	生 (I)	D007 1	鉄 (Fe)
	Fe(鉄) <蓄尿>	6	1511	11	生 (I)	D007 1	鉄 (Fe)
	FFA (遊離脂肪酸)	15	1319	59	生 (I)	D007 19	遊離脂肪酸
	FIB (フィブリノゲン)	42	4655	23	血液	D006 4	フィブリノゲン定量
	FIB-4 index	10	1030	未収載			
	FSH (卵巣刺激ホルモン)	49	2070	105	生 (II)	D008 12	卵巣刺激ホルモン (FSH)
	FT3 (遊離トリヨードサイロニン)	50	2123	121	生 (II)	D008 14	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )
	FT4 (遊離サイロキシン)	50	2138	121	生 (II)	D008 14	遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> )
	FTA-ABS [定性] (梅毒定性)	38	3495	134	免疫	D012 23	梅毒トレポネーマ抗体 (FTA-ABS試験) 定性
	FTA-ABS [半定量] (梅毒半定量)	38	3496	134	免疫	D012 23	梅毒トレポネーマ抗体 (FTA-ABS試験) 半定量

G	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	GA (グリコアルブミン)	8	1264	55	生 (I)	D007 17	グリコアルブミン
	GAD抗体 (抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体)	21・59	1274	134	生 (II)	D008 19	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体 (抗GAD抗体)
	G-Banding (染色体検査 先天性疾患)	111	5253	2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査 (すべての費用を含む。) + 分染法加算
	G-Banding (染色体検査 血液疾患)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査 (すべての費用を含む。) + 分染法加算
	GBM抗体 (抗糸球体基底膜抗体)	18	4197	262	免疫	D014 34	抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体)
	GH (成長ホルモン) <血液>	49	2053	105	生 (II)	D008 12	成長ホルモン (GH)
	GOT (AST)	10	1031	17	生 (I)	D007 3	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)
	GPT (ALT)	10	1034	17	生 (I)	D007 3	アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)

H	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	HA (ヒアルロン酸)	3・9	1271	179	生 (I)	D007 46	ヒアルロン酸
	HA-IgG抗体	34	3897	146	免疫	D013 8	HA抗体
	HA-IgM抗体	34	3899	146	免疫	D013 8	HA-IgM抗体
	HANP (ヒト心房性Na利尿ペプチド)	58	2524	221	生 (II)	D008 46	心房性Na利尿ペプチド (ANP)
	HbA1c (グリコヘモグロビンA1C)	8	1267	49	血液	D005 9	ヘモグロビンA1c (HbA1c)
	Hb (ヘモグロビン)	40	4567	未梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
	HBc抗体 [精密] [CLIA]	34	3642	130	免疫	D013 6	HBc抗体半定量・定量
	HBc抗体 [半定量] [PHA]	34	3640	130	免疫	D013 6	HBc抗体半定量・定量
	HBc-IgM抗体	34	3644	146	免疫	D013 8	HBc-IgM抗体
	HBcrAg (B型肝炎ウイルスコア関連抗原)	34	3662	252	免疫	D013 12	HBVコア関連抗原 (HBcrAg)
	HBe抗原 [精密] [CLIA]	34	3648	98	免疫	D013 4	HBe抗原
	HBe抗体 [精密] [CLIA]	34	3652	98	免疫	D013 4	HBe抗体
	HBs抗原 [定性] [CLEIA]	34	3626	29	免疫	D013 1	HBs抗原定性・半定量
	HBs抗原 [精密] [CLIA]	34	3628	88	免疫	D013 3	HBs抗原
	HBs抗体 [定性] [CLEIA]	34	3630	32	免疫	D013 2	HBs抗体定性
	HBs抗体 [精密] [CLIA]	34	3632	88	免疫	D013 3	HBs抗体
	HBV-DNA [定量] [リアルタイムPCR法]	34	3617	256	微生物	D023 4	HBV核酸定量
	HBVジェノタイプ	35	3651	340	免疫	D013 14	HBVジェノタイプ判定
	HCG (ヒト絨毛性ゴナドトロピン定性) [定性]	61	2355	55	生 (II)	D008 1	ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 定性
	HCG定量 (ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量) <血液> [定量]	61	2356	130	生 (II)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 定量
	HCG定量 (ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量) <部分尿> [定量]	61	2357	130	生 (II)	D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 定量
	HCG-βサブユニット (遊離HCG-β) <血液>	61	2364	129	生 (II)	D008 17	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット (HCG-β)
	HCV抗体	36	3910	102	免疫	D013 5	HCV抗体定性・定量
	HCV群別 (グルーピング)	36	3920	215	免疫	D013 11	HCV血清群別判定
	HCV核酸定量検査 [Taq Man PCR法]	36	3900	412	微生物	D023 15	HCV核酸定量
	HCVコア抗原	36	3931	102	免疫	D013 5	HCVコア蛋白
	HCV-RNAコアジェノタイプ [リアルタイムPCR]	36	3921	未収載			
	HDLコレステロール	14	1329	17	生 (I)	D007 3	HDLコレステロール
	HEV-IgA (E型肝炎ウイルスIgA)	36	3638	210	免疫	D013 10	HE-IgA抗体定性
	HE4 (ヒト精巣上体蛋白4)	67	3368	200	生 (II)	D009 29	HE4
	Hg (総水銀) <血液>	7	9340	未収載			
	Hg (総水銀) <部分尿>	7		未収載			
	HIT抗体 (血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体)	23	3416	390	免疫	D011 10	血小板第4因子ヘパリン複合体抗体 (IgG, IgM及びIgA抗体)

# 索引 (五十音順)

HIV抗原-抗体[CLEIA]	39	4011	109	免疫	D012 16	HIV-1,2抗原-抗体同時測定定性
HIV-1RNA定量[RT-PCR]	39	9342	520	微生物	D023 18	HIV-1核酸定量
HIV-1/2特異抗体	39	4013	660	免疫	D012 63	HIV-1特異抗体-HIV-2特異抗体
HLA-A(DNAタイピング)	111			未収載		
HLA-A,B(血清対応型タイピング)	111	9328		未収載		
HLA-B(DNAタイピング)	111			未収載		
HLA-C(DNAタイピング)	111			未収載		
HLA-DPB1(DNAタイピング)	111			未収載		
HLA-DQB1(DNAタイピング)	111			未収載		
HLA-DR(血清対応型タイピング)	111	9643		未収載		
HLA-DRB1(DNAタイピング)	111			未収載		
H-ピロリ抗原(ヘリコバクター-ピロリ抗原)	33	4977	142	免疫	D012 25	ヘリコバクター-ピロリ抗原定性
H-ピロリ抗体(ヘリコバクター-ピロリ抗体)<血液>	33	3471	80	免疫	D012 12	ヘリコバクター-ピロリ抗体
H-ピロリ抗体(ヘリコバクター-ピロリ抗体)<部分尿>	33	3474	70	免疫	D012 9	ヘリコバクター-ピロリ抗体定性・半定量
HPVDNA(LBC)ハイリスクグループ	89	9206	347	微生物	D023 10	HPV核酸検出
HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	89	3761	347	微生物	D023 11	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
HPVジェノタイプ判定(パピロマジェノタイプ判定)	89	9228	2000	微生物	D023 25	HPVジェノタイプ判定
Ht(ヘマトクリット)	40	4569	未梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
HTLV-1抗体(ATLV抗体)[CLIA]	88	4014	159	免疫	D012 31	HTLV-1抗体
HTLV-1抗体(ATLV抗体)[ラインプロット法]	88	4012	425	免疫	D012 60	HTLV-1抗体(ウエスタンプロット及びラインプロット法)
HVA(ホモバニリン酸)<血液>	56	2282	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
HVA(ホモバニリン酸)<部分尿>	56	2284	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
HVA(ホモバニリン酸)<酸性蓄尿>	56	2285	69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)
HVA(ホモバニリン酸)<髄液>	56		69	生(Ⅱ)	D008 3	ホモバニリン酸(HVA)

項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
IA-2抗体	21・59	1276	213	生(Ⅱ)	D008 43	抗IA-2抗体
ICA(脾島細胞質抗体)	21	4162	未収載			
ICG(消失率)	17	5191	150		D286	肝クリアランステスト
ICG(停滞率)	17	5193	100		D289 2	肝機能テスト(ICG1回・2回法)
IgA-HEV(E型肝炎ウイルスIgA)	36	3638	210	免疫	D013 10	HE-IgA抗体定性
IEP(免疫電気泳動)[抗ヒト全血清による同定]	23	3136	170	免疫	D015 17	免疫電気泳動(抗ヒト全血清)
IEP(免疫電気泳動)[特異抗血清による同定]	23	3139	218	免疫	D015 24	免疫電気泳動(特異抗血清)
IgA	23	3106	38	免疫	D015 4	免疫グロブリン(IgA)
IgE(非特異的IgE)	23	3125	100	免疫	D015 11	非特異的IgE定量
IgE-RAST(特異的IgE シングルアレルゲン)	24		110	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
IgG	23	3103	38	免疫	D015 4	免疫グロブリン(IgG)
IgG-FcR+T細胞百分率	108		193	免疫	D016 3	T細胞・B細胞百分率
IgG-HA抗体	34	3897	146	免疫	D013 8	HA抗体
IgG4	23	3123	377	免疫	D014 41	IgG <sub>4</sub>
IgG型リウマチ因子	18	4097	198	免疫	D014 26	IgG型リウマトイド因子
IGRA(インターフェロン遊離試験)(T-SPOT・TB)	114	4706	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
IGRA(インターフェロン遊離試験)(QFT-Plus)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
IgM	23	3109	38	免疫	D015 4	免疫グロブリン(IgM)
IgM-HA抗体	34	3899	146	免疫	D013 8	HA-IgM抗体
IgM-HBc抗体	34	3644	146	免疫	D013 8	HBc-IgM抗体
IL-2レセプター(可溶性インターロイキン2レセプター)	67	4503	438	生(Ⅱ)	D009 36	可溶性インターロイキン2レセプター(sIL-2R)
IP(無機リン)<血液>	5	1486	17	生(Ⅰ)	D007 3	無機リン及びリン酸
IP(無機リン)<蓄尿>	5	1487	17	生(Ⅰ)	D007 3	無機リン及びリン酸
IRE(エラスターゼ1)	64	1091	120	生(Ⅱ)	D009 8	エラスターゼ1
IRI(インスリン)	59	2369	100	生(Ⅱ)	D008 8	インスリン(IRI)

J	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
Jo-1抗体	19	4088	140	免疫	D014 12	抗Jo-1抗体定量	

K	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
K(カリウム)<血液>	5	1465	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム	
K(カリウム)<部分尿>	5	6447	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム	
K(カリウム)<蓄尿>	5	1466	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム	
K(髄液一般検査)	48	1469	11	生(Ⅰ)	D007 1	カリウム	
KL-6	9	4505	108	生(Ⅰ)	D007 28	KL-6	

L	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)	10	1070	11	生(Ⅰ)	D007 1	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	
LD(LDH)(乳酸脱水素酵素)	10	1016	11	生(Ⅰ)	D007 1	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	

LD(LDH)アインザイム	10	1038	48	生 (I)	D007 14	LDアインザイム
LDLコレステロール	14	1335	18	生 (I)	D007 4	LDL-コレステロール
LE細胞	18	4034	未収載			
L-FABP(L型脂肪酸結合蛋白)<部分尿>	2	4970	210	尿・糞便	D001 19	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)
LH(黄体形成ホルモン)	49	2067	105	生 (II)	D008 12	黄体形成ホルモン(LH)
LKM-1抗体(抗肝/腎ミクロゾーム抗体)	20	4241	215	免疫	D014 28	抗LKM-1抗体
LOX-index <sup>®</sup>	118		未収載			
Lp(a)(リポ蛋白(a))	15	1386	107	生 (I)	D007 27	リポ蛋白(a)
LPL(リポ蛋白リパーゼ)	11	9072	219	生 (I)	D007 53	リポ蛋白リパーゼ(LPL)
LRG(ロイシンリッチα2グリコ蛋白)	21	4245	268	生 (I)	D007 57	ロイシンリッチα2グリコ蛋白
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)<部分尿>	2	4970	210	尿・糞便	D001 19	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)

M	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	MAC抗体(抗酸菌抗体定性)	29	3575	116	免疫	D012 18	抗酸菌抗体定性
	マイコバクテリウムアビウム-イントラセラー-核酸検出(TRC)	100	細3003	421	微生物	D023 16	マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセラー(MAC)核酸検出
	MajorBCR-ABL 高感度 IS%	111	9082	2520	遺・染	D006-3-1	Major BCR-ABL 1(mRNA定量国際標準値)
	MAST36アレルギー(特異的IgE)	24	3072	1430	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
	MCV(→血液一般検査)	40	4571				
	MCH(→血液一般検査)	40	4572				
	MCHC→血液一般検査)	40	4573				
	MDA-LDL(酸化LDL)	14	1337	194	生 (I)	D007 50	マロンジアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)
	Mg(マグネシウム)<血液>	5	1475	11	生 (I)	D007 1	マグネシウム
	Mg(マグネシウム)<蓄尿>	5	1476	11	生 (I)	D007 1	マグネシウム
	MGIT(抗酸菌分離培養)	100	細2010	300	微生物	D020 1	抗酸菌分離培養(液体培地法)
	MHPG(3-メキシヒドロキシフェニルエチルグリコール)<血液>	57		未収載			
	MHPG(3-メキシヒドロキシフェニルエチルグリコール)<髄液>	57		未収載			
	MIBK(メチルイソブチルケトン)	92	1605	未収載			
	MMP-3(マトリックスメタロプロティナーゼ-3)	18	4100	116	免疫	D014 9	マトリックスメタロプロティナーゼ-3(MMP-3)
	Mn(マンガン)	7	1638	27	生 (I)	D007 8	マンガン(Mn)
	MPO-ANCA(抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体)	20	4080	251	免疫	D014 32	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)
	MRSA培養	99	細1106	60	微生物	D018 6	簡易培養
	M2BPGi(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)	3・9	3655	194	生 (I)	D007 50	Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体

N・O	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	Na(ナトリウム)<血液>	5	1460	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	Na(ナトリウム)<部分尿>	5	6443	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	Na(ナトリウム)<蓄尿>	5	1461	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	Na(髄液一般検査)	48	1464	11	生 (I)	D007 1	ナトリウム及びクロール
	NAG<部分尿>	46	1147	41	尿・糞便	D001 5	N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(尿)
	NAPスコア(好中球アルカリフォスファターゼ染色)	41	4589	37(加算)	血液	D005 6注	末梢血液像(鏡検法)特殊染色加算
	NCC-ST-439	64	3322	112	生 (II)	D009 6	NCC-ST-439
	NEFA(遊離脂肪酸)(FFA)	15	1319	59	生 (I)	D007 19	遊離脂肪酸
	NH3(アンモニア)	2	1191	50	生 (I)	D007 16	アンモニア
	NK細胞活性	110	4456	未収載			
	non-HDLコレステロール	14	1338	未収載			
	NSE(神経特異エノラーゼ)	65	3350	142	生 (II)	D009 14	神経特異エノラーゼ(NSE)
	NT-proBNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	58	2536	136	生 (II)	D008 20	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)
	NTX(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)(骨粗鬆症)<部分尿>	53・66	4975	156	生 (II)	D008 25	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)
	NUDT15遺伝子コドン139多型解析	111	9084	2100	遺・染	D006 17	Nudix hydrolase15(NUDT15)遺伝子多型
	N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)<部分尿>	46	1147	41	尿・糞便	D001 5	N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(尿)
	N-メチルホルムアミド<部分尿>	93	1604	未収載			
	OC(オステオカルシン)	53	2530	157	生 (II)	D008 26	オステオカルシン

P	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	P(無機リン)<血液>	5	1486	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	P(無機リン)<蓄尿>	5	1487	17	生 (I)	D007 3	無機リン及びリン酸
	P-III-P(プロコラーゲンⅢペプチド)	3	3258	136	生 (I)	D007 39	プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-III-P)
	p53抗体	64	3364	163	生 (II)	D009 22	抗p53抗体
	PAIgG(血小板関連IgG)	23	4226	190	免疫	D011 6	血小板関連IgG(PA-IgG)
	PAS染色	41	4606	60(加算)	血液	D005 14注	骨髄像(特殊染色加算)
	Pb(鉛)<血液>	6・92	1630	未収載			
	PCT(プロカルシトニン定量)	29	3454	276	生 (I)	D007 59	プロカルシトニン(PCT)定量
	PF-4(血小板第4因子)	44	4773	173	血液	D006 25	血小板第4因子(PF <sub>4</sub> )
	PGA(フェニルグリオキシル酸)	93	1599	未収載			
	PGA及びマンデル酸(スチレン)の総和	93	820	未収載			

# 索引 (五十音順)

索引

pH<部分尿>	46	4871	尿中一般検査として26	D000	尿中一般物質定性半定量検査
PHAによるリンパ球幼若化検査	110	4363	345 免疫	D016 7	リンパ球刺激試験(LST)(1薬剤)
PICテスト( $\alpha$ 2-プラスミンインヒビター-プラスミン複合体)	43	4702	150 血液	D006 21	プラスミン-プラスミンインヒビター複合体(PIC)
PIVKAI	64	3360	131 生(II)	D009 10	PIVKAI定量
PL(リン脂質)	15	1317	15 生(I)	D007 2	リン脂質
PLA2(麟PLA2)(麟フォスホリパーゼA2)(フォスホリパーゼA2)	12	1089	204 生(I)	D007 51	ホスホリパーゼA2(PLA2)
PLT(血小板数)	40	4570	末梢血液一般として21 血液	D005 5	末梢血液一般検査
PR3-ANCA(抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体)	20	4082	252 免疫	D014 33	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)
PRA(レニン活性)	54	2469	100 生(II)	D008 8	レニン活性
PRL(プロラクチン)	49	2060	98 生(II)	D008 6	プロラクチン(PRL)
ProGRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	65	3380	175 生(II)	D009 24	ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)
PSA(前立腺特異抗原)	66	3334	121 生(II)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)
PSA-ACT	66	3342	121 生(II)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)
PSAフリー/トータル比	66	3339	150 生(II)	D009 17	遊離型PSA比(PSA F/T比)
PSA-HS(高感度前立腺特異抗原)	66	3336	121 生(II)	D009 9	前立腺特異抗原(PSA)
PT(プロトロンビン時間)	42	4644	18 血液	D006 2	プロトロンビン時間(PT)
PTD(ヒト癌胎児性フィブロネクチン)	60	3253	204 免疫	D015 23	癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管腔分泌液)
PTH-intact(副甲状腺ホルモンintact)	52	2164	161 生(II)	D008 29	副甲状腺ホルモン(PTH)
PTH関連蛋白-intact(PTHrP-intact)	52	1776	186 生(II)	D008 38	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
P型アミラーゼ	11	1079	48 生(I)	D007 14	アミラーゼアインザイム
P1NP(I型プロコラーゲン-N-プロペプチド)(totalPINP)	53	2532	160 生(II)	D008 28	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)

Q	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	Q-Banding(染色体検査 先天性疾患)	111		2477+397	遺・染	D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む。)+分染法加算
	QFT-Plus(クオンティフェロンプラス)(TBIFN- $\gamma$ 産生能)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能

R	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	RA(リウマトイド因子)	18	4093	未収載			
	RBC(赤血球数)	40	4566	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
	RBP(レチノール結合蛋白)	2	3195	132 免疫	D015 15	レチノール結合蛋白(RBP)	
	RET(網状赤血球数)	40	4576	12 血液	D005 2	網状赤血球数	
	RF(リウマトイド因子定量)	18	4095	30 免疫	D014 2	リウマトイド因子(RF)定量	
	Rh(D)式血液型	22	4301	24 免疫	D011 1	Rh(D)血液型	
	Rh-Hr式血液型	22	4303	148 免疫	D011 3	Rh(その他の因子)血液型	
	RLPコレステロール(レムナント様リポ蛋白コレステロール)	14	1333	174 生(I)	D007 44	レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	
	RNAポリメラーゼIII抗体	19	4078	170 免疫	D014 19	抗RNAポリメラーゼIII抗体	
	RNP抗体	19	4065	144 免疫	D014 13	抗RNP抗体定量	
	ROMA(卵巣悪性腫瘍推定値)	67	3370	未収載			
	RPR法「定性」(梅毒定性)(STS)	38	3484	15 免疫	D012 1	梅毒血清反応(STS)定性	
	RPR法「半定量」(梅毒半定量)(STS)	38	3485	34 免疫	D012 5	梅毒血清反応(STS)半定量	
	RSウイルス[CF]	79	3983	79 免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(RSウイルス)	
	RSウイルス[NT]	79	3984	79 免疫	D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(RSウイルス)	

S	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	S2-3PSA%	66	3343	248 生(II)	D009 31	S2.3PSA%	
	SAA蛋白(血清アミロイドA蛋白)	28	3251	47 免疫	D015 6	血清アミロイドA蛋白(SAA)	
	SARS-CoV-2核酸検出	89	3440	700 微生物	D023 19	SARS-CoV-2核酸検出	
	SARS-CoV-2抗原(唾液)	89	3443	560 免疫	D012 61	SARS-CoV-2抗原定量	
	SARS-CoV-2抗原(鼻咽頭ぬぐい液)	89	3447	560 免疫	D012 61	SARS-CoV-2抗原定量	
	SCC抗原(扁平上皮癌関連抗原)	65	3328	101 生(II)	D009 4	扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	
	SCCA2	24	3095	300 免疫	D015 26	SCCA2	
	Scl-70抗体	19	4077	157 免疫	D014 16	抗Scl-70抗体定量	
	sFlt-1/PIGF比	61	4500	340 免疫	D015 28	sFlt-1/PIGF比	
	sIL-2R(可溶性インターロイキン2レセプター)(IL-2レセプター)	67	4503	438 生(II)	D009 36	可溶性インターロイキン2レセプター(sIL-2R)	
	SLX(シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原)	65	3319	140 生(II)	D009 13	シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	
	Sm抗体	19	4062	147 免疫	D014 14	抗Sm抗体定量	
	SP-A(サーファクタント蛋白-A)	9	4520	130 生(I)	D007 35	肺サーファクタント蛋白-A(SP-A)	
	SPan-1抗原	64	3325	144 生(II)	D009 15	SPan-1	
	SP-D(サーファクタント蛋白-D)	9	4510	136 生(I)	D007 39	肺サーファクタント蛋白-D(SP-D)	
	SS-A/Ro抗体	19	4068	161 免疫	D014 18	抗SS-A/Ro抗体定量	
	SS-B/La抗体	19	4069	157 免疫	D014 16	抗SS-B/La抗体定量	
	ss-DNA抗体 IgG	19	4041	159 免疫	D014 17	抗DNA抗体定量	
	ss-DNA抗体 IgM	19	4045	未収載			
	STn(シアルリルTn抗原)	67	3310	146 生(II)	D009 16	シアルリルTn抗原(STN)	
	STS法「定性」(梅毒定性)(RPR法)	38	3484	15 免疫	D012 1	梅毒血清反応(STS)定性	

T	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	STS法「半定量」(梅毒半定量)(RPR法)	38	3485	34	免疫	D012 5	梅毒血清反応(STS)半定量
	T <sub>3</sub> (トリヨードサイロニン)	50	2119	99	生(Ⅱ)	D008 7	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )
	T <sub>4</sub> (総サイロキシソ)	50	2134	105	生(Ⅱ)	D008 11	サイロキシソ(T <sub>4</sub> )
	TARC(ヒトTARC)(Th2ケモカイン)	24	3094	179	免疫	D015 18	TARC
	TAT(トロンピン・アンチトロンピンⅢ複合体)	43	4685	171	血液	D006 24	トロンピン・アンチトロンピン複合体(TAT)
	TBA(胆汁酸)	13	1362	47	生(Ⅰ)	D007 13	胆汁酸
	TBG(サイロキシソ結合グロブリン)	50	2144	130	生(Ⅱ)	D008 18	サイロキシソ結合グロブリン(TBG)
	TBIFN-γ産生能(クオンティフェロン)(QFT-Plus)	112	4485	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
	T-Bil(総ビリルビン)	13	1530	11	生(Ⅰ)	D007 1	総ビリルビン
	TC(総コレステロール)	14	1323	17	生(Ⅰ)	D007 3	総コレステロール
	Tf(トランスフェリン)	3	3223	60	免疫	D015 7	トランスフェリン(Tf)
	TG(中性脂肪)	14	1313	11	生(Ⅰ)	D007 1	中性脂肪
	Tg(サイログロブリン)	50	2142	128	生(Ⅱ)	D008 16	サイログロブリン
	Tg抗体(抗サイログロブリン抗体)	50	4153	136	免疫	D014 10	抗サイログロブリン抗体
	Th2ケモカイン(TARC)(ヒトTARC)	24	3094	179	免疫	D015 18	TARC
	TIBC(総鉄結合能) [計算法]	6	1512	11	生(Ⅰ)	D007 1	総鉄結合能(TIBC)(比色法)
	TnT(心筋トロポニンT)	58	3246	109	生(Ⅰ)	D007 29	心筋トロポニンT(TnT)定性・定量
	totalPINP(I型プロコラーゲン-N-プロペプチド)	53	2532	160	生(Ⅱ)	D008 28	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)
	TP(総蛋白)<血液>	1	1001	11	生(Ⅰ)	D007 1	総蛋白
	tPA-PAI-1複合体(トータルPAI-1)	44	4235	240	血液	D006 32	tPA-PAI-1複合体
	TPHA法「定性」(梅毒トレポネーマ抗体)	38	3487	32	免疫	D012 4	梅毒トレポネーマ抗体定性
	TPHA法「半定量」(梅毒トレポネーマ抗体)	38	3488	53	免疫	D012 6	梅毒トレポネーマ抗体半定量
	TPO抗体(抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)	50	4147	138	免疫	D014 11	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体
	TRAb(TSHレセプター抗体)(第2世代)	50	4159	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
	TRAb(TSHレセプター抗体)(第3世代)	50	4161	214	免疫	D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAb)
	TRACP-5b(骨型酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ)	53・66	4974	156	生(Ⅱ)	D008 25	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)
	TSAb(甲状腺刺激抗体)	50	4155	330	免疫	D014 40	甲状腺刺激抗体(TSAb)
	TS-B-Ab(TSHレセプター抗体[阻害型])	51	4157	未収載			
	TSH(甲状腺刺激ホルモン)(高感度TSH)	49・50	2082	98	生(Ⅱ)	D008 6	甲状腺刺激ホルモン(TSH)
	T-SPOT.TB(結核菌特異的インターフェロン-γ産生能)	114	4706	593	免疫	D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能
	Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査	108					
	T細胞百分率 B細胞百分率	108	9097	193	免疫	D016 3	T細胞・B細胞百分率
U	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	UA(尿酸)<血液>	1	1178	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿酸
	UA(尿酸)<部分尿>	1	6158	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿酸
	UA(尿酸)<蓄尿>	1	1179	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿酸
	ucOC(低カルボキシル化オステオカルシン)	53	2529	154	生(Ⅱ)	D008 24	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)
	UIBC(不飽和鉄結合能) [比色法]	6	1514	11	生(Ⅰ)	D007 1	不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)
	UN(尿素窒素)<血液>	1	1181	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿素窒素
	UN(尿素窒素)<部分尿>	1	6162	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿素窒素
	UN(尿素窒素)<蓄尿>	1	1182	11	生(Ⅰ)	D007 1	尿素窒素
V	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	View39(特異的IgE)	24	3071	1430	免疫	D015 13	特異的IgE半定量・定量
	VMA定性(バニルマンデル酸)「定性」<部分尿>	56	2287	9	尿・糞便	D001 2	VMA定性(尿)
	VMA(バニルマンデル酸)<血液>	56	2286	90	生(Ⅱ)	D008 4	バニルマンデル酸(VMA)
	VMA(バニルマンデル酸)<部分尿>	56	2292	90	生(Ⅱ)	D008 4	バニルマンデル酸(VMA)
	VMA(バニルマンデル酸)<酸性蓄尿>	56	2290	90	生(Ⅱ)	D008 4	バニルマンデル酸(VMA)
	Von Willebrand因子活性(リストセチンコファクター)	43	4753	126	血液	D006 14	von Willebrand因子(VWF)活性
	Von Willebrand因子抗原(第Ⅷ因子様抗原定量)	43	4747	147	血液	D006 20	von Willebrand因子(VWF)抗原
W	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	WBC(白血球数)	40	4565	末梢血液一般として21	血液	D005 5	末梢血液一般検査
	Whole PTH	52	2165	161	生(Ⅱ)	D008 29	副甲状腺ホルモン(PTH)
Z	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	Zn(亜鉛)<血液>	6	1521	132	生(Ⅰ)	D007 37	亜鉛(Zn)
	Zn(亜鉛)<蓄尿>	6	1522	132	生(Ⅰ)	D007 37	亜鉛(Zn)

# 索引 (五十音順)

α	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	α <sub>1</sub> -アンチトリプシン	2	3199	80	血液	D006 10	α <sub>1</sub> -アンチトリプシン
	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン<血液>	2	3196	129	免疫	D015 14	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン
	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン<部分尿>	2	3197	129	免疫	D015 14	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン
	α <sub>2</sub> -MG(α <sub>2</sub> -マクログロブリン)	3	3208	138	血液	D006 17	α <sub>2</sub> -マクログロブリン
	α <sub>2</sub> -プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	43	4699	128	血液	D006 16	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)
	α <sub>2</sub> -プラスミンインヒビター-プラスミン複合体(PICテスト)	43	4702	150	血液	D006 21	プラスミン-プラスミンインヒビター複合体(PIC)
	α-フェトプロテイン(AFP)「定量」	64	3278	98	生(Ⅱ)	D009 2	α-フェトプロテイン(AFP)
	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)	64	3282	185	生(Ⅱ)	D009 26	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)

β	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(β <sub>2</sub> -MG)<部分尿>	3	3228	98	免疫	D015 10	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン
	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(β <sub>2</sub> -MG)<血液>	3	3226	98	免疫	D015 10	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン
	β-D-グルカン	29	3460	195	免疫	D012 42	(1→3)-β-D-グルカン
	β-カロチン	16	1418	未収載			
	β-トロンボグロブリン(β-TG)	44	4767	171	血液	D006 24	β-トロンボグロブリン(β-TG)

γ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	γ-GT(γ-グルタミルトランスペプチダーゼ)	10	1047	11	生(Ⅰ)	D007 1	γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)
	γ-Sm(γ-セミノプロテイン)	66	3335	192	生(Ⅱ)	D009 28	γ-セミノプロテイン(γ-Sm)

δ	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	δ-アミノレブリン酸<部分尿>	13・92	1558	106	尿・糞便	D001 11	δアミノレブリン酸(δ-ALA)(尿)

数字	項目名称	頁	項目コード	実施料	判断料	保険区分	保険収載名
	1.1.1-トリクロルエタン(トリクロル酢酸)<部分尿>	93	1584	未収載			
	1.1.1-トリクロルエタン(総三塩化物)<部分尿>	93	1579	未収載			
	1.25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	16・52	1439	388	生(Ⅰ)	D007 63	1,25-ジヒドロキシビタミンD <sub>3</sub>
	1-5AG(1-5アンヒドロ-D-グルシトール)	8	1273	80	生(Ⅰ)	D007 21	1,5アンヒドロ-D-グルシトール(1.5AG)
	I型コラーゲンC末端テロペプチド(ICTP)	53・66	1306	腫管		B001 3口	
	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(totalP1NP)	53	2532	160	生(Ⅱ)	D008 28	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)
	I型コラーゲン架橋N-テロペプチドNTx(骨粗鬆症)<部分尿>	53・66	4975	156	生(Ⅱ)	D008 25	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)
	24時間クレアチニンクリアランス	17	5196	未収載			
	2.5-ヘキサンジオン<部分尿>	93	1608	未収載			
	3-メキシヒドロキシフェニルエチルグリコール(MHPG)<血液>	57		未収載			
	3-メキシヒドロキシフェニルエチルグリコール(MHPG)<髄液>	57		未収載			
	IV型コラーゲン<血液>	3	3263	131	生(Ⅰ)	D007 36	IV型コラーゲン
	IV型コラーゲン7S	3	3265	148	生(Ⅰ)	D007 42	IV型コラーゲン7S
	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)<血液>	57	2294	95	生(Ⅱ)	D008 5	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)
	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)<髄液>	57		95	生(Ⅱ)	D008 5	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)
	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)<酸性蓄尿>	57	2295	95	生(Ⅱ)	D008 5	5-ヒドロキシインドール酢酸(5-HIAA)
	11-OHCS(11-ヒドロキシコルチコステロイド)	54	2195	60	生(Ⅱ)	D008 2	11-ヒドロキシコルチコステロイド(11-OHCS)
	25-OHビタミンD(CLIA)	16・52	1438	117	生(Ⅰ)	D007 31	25-ヒドロキシビタミンD
	25-OHビタミンD(ECLIA)	16・52	1441	117	生(Ⅰ)	D007 31	25-ヒドロキシビタミンD
	第II因子 活性因子	42	4725	223	血液	D006 29	凝固因子(第II因子)
	第V因子 活性因子	42	4729	223	血液	D006 29	凝固因子(第V因子)
	第VII因子 活性因子	42	4731	223	血液	D006 29	凝固因子(第VII因子)
	第VIII因子 活性因子	42	4733	223	血液	D006 29	凝固因子(第VIII因子)
	第VIII因子様抗原定量(Von Willebrand因子抗原)	43	4747	147	血液	D006 20	Von Willebrand因子(VWF)抗原
	第VIII因子 抑制因子	42	4749	144	血液	D006 19	凝固因子インヒビター
	第IX因子 活性因子	42	4735	223	血液	D006 29	凝固因子(第IX因子)
	第IX因子 抑制因子	42	4751	144	血液	D006 19	凝固因子インヒビター
	第X因子 活性因子	42	4737	223	血液	D006 29	凝固因子(第X因子)
	第XI因子 活性因子	42	4739	223	血液	D006 29	凝固因子(第XI因子)
	第XII因子 活性因子	42	4740	223	血液	D006 29	凝固因子(第XII因子)
	第XIII因子 活性因子	42	4743	223	血液	D006 29	凝固因子(第XIII因子)



# 索引

(保険収載名称順)

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
<b>尿・糞便等検査</b>								
<b>D000 尿中一般物質定性半定量検査</b>								
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4871	尿pH<部分尿>		46	尿pH
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4873	尿比重<部分尿>		46	尿比重
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4878	尿蛋白「定性」<部分尿>		46	尿蛋白定性
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4881	尿グルコース(尿糖)「定性」<部分尿>		46	尿糖定性
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4926	ウロビリノーゲン「定性」<部分尿>		46	尿ウロビリノーゲン
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4929	ウロビリリン「定性」<部分尿>		46	尿ウロビリリン定性
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4932	ビリルビン「定性」<部分尿>		46	尿ビリルビン
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4935	ケトン体「定性」<部分尿>		46	尿ケトン体定性
D000	尿中一般物質定性半定量検査	尿中一般検査として26		4948	潜血反応<部分尿>		46	尿潜血
<b>D001 尿中特殊物質定性定量検査</b>								
D001 1	尿蛋白	7	尿・糞便	4879	尿蛋白「定量」<蓄尿>		46	尿中蛋白
D001 1	尿蛋白	7	尿・糞便	7770	尿蛋白「定量」<部分尿>		46	尿蛋白
D001 2	尿グルコース	9	尿・糞便	4882	尿グルコース(尿糖)「定量」<蓄尿>		46	尿グルコース
D001 2	尿グルコース	9	尿・糞便	7774	尿グルコース(尿糖)「定量」<部分尿>		46	尿グルコース
D001 2	VMA定性(尿)	9	尿・糞便	2287	パニリルマンデル酸定性(VMA定性)「定性」<部分尿>		56	尿VMA定性
D001 3	尿浸透圧	16	尿・糞便	1491	浸透圧<部分尿>		7	尿浸透圧
D001 5	N-アセチルグルコサミナーゼ(NAG)(尿)	41	尿・糞便	1147	尿中NAG(NAG)<部分尿>		46	尿中NAG
D001 7	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)(尿)	72	尿・糞便	4665	FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物)<部分尿>		43	尿中FDP(LA)
D001 8	トランスフェリン(尿)	98	尿・糞便	3225	尿中トランスフェリン<部分尿>		46	尿トランスフェリン
D001 9	アルブミン定量(尿)	99	尿・糞便	1005	尿中アルブミン定量<部分尿>		46	アルブミン定量(尿)
D001 9	アルブミン定量(尿)	99	尿・糞便	1009	尿中アルブミン定量<蓄尿>		46	アルブミン定量(蓄尿)
D001 10	ウロポルフィリン(尿)	105	尿・糞便	1546	ウロポルフィリン<部分尿>		13	尿ウロポルフィリン
D001 11	δアミノレブリン酸(δ-ALA)(尿)	106	尿・糞便	1558	δ-アミノレブリン酸<部分尿>		13-92	デルタALA
D001 14	コプロポルフィリン(尿)	131	尿・糞便	1541	コプロポルフィリン<部分尿>		13	尿コプロポルフィリン
D001 16	ポルフォビリノゲン(尿)	186	尿・糞便	9174	ポルフォビリノゲン<蓄尿>		13	ポルフォビリノゲン
D001 19	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(尿)	210	尿・糞便	4970	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)<部分尿>		2	L-FABP
<b>D002 尿沈査</b>								
D002	尿沈査(鏡検法)	27	尿・糞便	4953	尿沈査<部分尿>		47	尿沈査
<b>D003 糞便検査</b>								
D003 2	糞便塗抹顕微鏡検査(虫卵、脂肪及び消化状況観察を含む)	20	尿・糞便	4989	糞便塗抹顕微鏡検査(虫卵直接塗抹)		47	糞便塗抹顕微鏡
D003 5	糞便中ヘモグロビン定性	37	尿・糞便	5012	便中ヒトヘモグロビン(1本目)		47	OC ヘモ
D003 5	糞便中ヘモグロビン定性	37	尿・糞便	5018	便中ヒトヘモグロビン(2本目)		47	OC ヘモ 2 回目
D003 8	糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン定性・定量	56	尿・糞便	5026	便中ヒトヘモグロビン及びヒトトランスフェリン(1本目)		47	便NS-Hb&Tf①
D003 8	糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン定性・定量	56	尿・糞便	5027	便中ヒトヘモグロビン及びヒトトランスフェリン(2本目)		47	便NS-Hb&Tf②
D003 9	カルプロテクチン(糞便)	268	尿・糞便	4523	便中カルプロテクチン		21	便中カルプロテクチン
<b>D004 穿刺液・採取液検査</b>								
D004 2	関節液検査	50	尿・糞便	5142	結晶同定		47	結晶同定
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5069	髄液一般検査 細胞数		48	リコール細胞数
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5070	髄液一般検査 細胞種類		48	細胞種類N:L
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5073	髄液一般検査 パンティール反応		48	パンティール反応
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5075	髄液一般検査 ノンネアペルト反応		48	ノンネアペルト反応
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5077	髄液一般検査 トリプトファン反応		48	髄液トリプトファン
D004 4	髄液一般検査	髄液検査として62	尿・糞便	5088	髄液一般検査 ケトン体		48	リコールケトン体
D004 5	精液一般検査	精液検査として70	尿・糞便	8017	精液検査 精液量		48	量
D004 5	精液一般検査	精液検査として70	尿・糞便	8018	精液検査 精子数		48	数(×100万)
D004 5	精液一般検査	精液検査として70	尿・糞便	8019	精液検査 精子運動率		48	運動率
D004 5	精液一般検査	精液検査として70	尿・糞便	8020	精液検査 精子奇形率		48	奇形率
D004 8	顆粒球エラストラーゼ(子宮頸管粘液)	116	尿・糞便	9092	子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ(顆粒球エラストラーゼ)		60	エラストラーゼ頸管粘液中
<b>血液学的検査</b>								
<b>D005 血液形態・機能検査</b>								
D005 1	赤血球沈降速度(ESR)	9	血液	4825	赤血球沈降速度(血沈)(ESR)		41	血沈
D005 2	網状赤血球数	12	血液	4576	網状赤血球数(RET)		40	網状赤血球
D005 3	血液浸透圧	15	血液	1490	浸透圧<血液>		7	血清浸透圧
D005 3	末梢血液像(自動機械法)	15	血液	4581	血液像[自動機械法]		40	血液像
D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)	15	血液	4615	鼻汁好酸球		41	鼻汁好酸球
D005 3	好酸球(鼻汁・喀痰)	15	血液	5037	喀痰好酸球		41	喀痰好酸球
D005 4	好酸球数	17	血液	4584	血中好酸球数(EOS)		40	血中好酸球数
D005 5	末梢血液一般検査	末梢血液一般として21	血液	4565	白血球数(WBC)		40	白血球
D005 5	末梢血液一般検査	末梢血液一般として21	血液	4566	赤血球数(RBC)		40	赤血球
D005 5	末梢血液一般検査	末梢血液一般として21	血液	4567	ヘモグロビン(Hb)		40	ヘモグロビン
D005 5	末梢血液一般検査	末梢血液一般として21	血液	4569	ヘマトクリット(Ht)		40	ヘマトクリット
D005 5	末梢血液一般検査	末梢血液一般として21	血液	4570	血小板数(PLT)		40	血小板
D005 6	末梢血液像(鏡検法)	25	血液	4583	血液像[鏡検法]		40	血液像
D005 6 +注	末梢血液像(鏡検法)特殊染色加算	37	血液	4589	好中球アルカリフォスファターゼ染色(NAPスコア)		41	好中球ALP
D005 7	血中微生物検査	40	血液	4619	マラリア原虫		41	マラリア原虫

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内 項目名称	頁	報告書名称
D005 9	ヘモグロビンA1C(HbA1C)	49	血液	1267	ヘモグロビンA1C(HbA1C)	8	HbA1c(NGSP)
D005 14	骨髓像	788	血液	4586	骨髓像	41	骨髓像
D005 14+注	骨髓像(特殊染色加算)	60	血液	4604	ペルオキシダーゼ染色	41	ペルオキシダーゼ骨髄検査
D005 14+注	骨髓像(特殊染色加算)	60	血液	4606	PAS染色	41	PAS染色
D005 14+注	骨髓像(特殊染色加算)	60	血液	4607	鉄染色	41	鉄染色骨髄像
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液	4545	白血球リンパ(腫瘍検査)(LLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<血液>	108	白血球リンパ(腫瘍検査)
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液		白血球リンパ(腫瘍検査)(LLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<骨髄液>	108	
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液		悪性リンパ(腫瘍検査)(MLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<血液>	108	
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液		悪性リンパ(腫瘍検査)(MLA)CD45ゲートング(造血器悪性腫瘍細胞検査)<リンパ節>	108	
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液		悪性リンパ(腫瘍検査)7AAD解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)<リンパ節>	108	
D005 15	造血器腫瘍細胞抗原検査(一連につき)	1940	血液		多発性骨髄腫検査CD38マルチ解析(造血器悪性腫瘍細胞検査)<骨髄液>	108	
<b>D006 出血・凝固検査</b>							
D006 2	プロトロンビン時間(PT)	18	血液	4644	プロトロンビン時間(PT)	42	PT
D006 4	フィブリノゲン定量	23	血液	4655	フィブリノゲン(FIB)	42	フィブリノゲン
D006 7	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	29	血液	4640	活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	42	APTT
D006 9	アンチトロンビン活性	70	血液	4683	アンチトロンビンⅢ活性値(ATⅢ)	43	ATⅢ活性値
D006 10	$\alpha$ 1-アンチトリプシン	80	血液	3199	$\alpha$ 1アンチトリプシン	2	$\alpha$ 1アンチトリプシン
D006 10	フィブリン・フィブリノゲン分解産物(FDP)定量	80	血液	4666	FDP(フィブリン・フィブリノゲン分解産物)<血漿>	43	FDP(LA)
D006 12	プラスミノゲン活性	100	血液	4696	プラスミノゲン	43	プラスミノゲン
D006 14	von Willebrand因子(VWF)活性	126	血液	4753	von Willebrand因子活性(リストセチンコファクター)	43	フォンウィルブラント因子活性
D006 15	D ダイマー	127	血液	4672	D ダイマー(D-Dダイマー)	43	D-Dダイマー(LA)
D006 16	プラスミンインヒター(アンチプラスミン)	128	血液	4699	アンチプラスミン( $\alpha$ 2プラスミンインヒター)	43	$\alpha$ 2PI
D006 17	$\alpha$ 2-マクログロブリン	138	血液	3208	$\alpha$ 2-MG( $\alpha$ 2マクログロブリン)	3	$\alpha$ 2-MG
D006 19	凝固因子インヒター	144	血液	4749	第Ⅷ因子 抑制因子	42	凝固抑制第8
D006 19	凝固因子インヒター	144	血液	4751	第Ⅸ因子 抑制因子	42	凝固抑制第9
D006 20	von Willebrand因子(VWF)抗原	147	血液	4747	von Willebrand因子抗原(第8因子様抗原定量)	43	第8因子様抗原定量
D006 21	プラスミン・プラスミンインヒター複合体(PIC)	150	血液	4702	$\alpha$ 2-プラスミンインヒター・プラスミン複合体(PICテスト)	43	PICテスト
D006 22	プロテインS抗原	154	血液	4783	プロテインS(抗原量)	44	プロテインS
D006 23	プロテインS活性	163	血液	4242	プロテインS(活性)	44	プロテインS活性
D006 24	$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	171	血液	4767	$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	44	$\beta$ -TG(EIA)
D006 24	トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)	171	血液	4685	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	43	TAT
D006 25	血小板第4因子(PF <sub>4</sub> )	173	血液	4773	血小板第4因子(PF-4)	44	血小板第4因子(PF-4)
D006 26	プロトロンビンフラグメントF1+2	192	血液	4243	プロトロンビンフラグメントF1+2	43	PTフラグメントF1+2
D006 28	フィブリンモノマー複合体	215	血液	4656	フィブリンモノマー複合体定量	43	SFMC定量
D006 29	凝固因子(第Ⅱ因子)	223	血液	4725	第Ⅱ因子 活性因子	42	凝固活性第2
D006 29	凝固因子(第Ⅴ因子)	223	血液	4729	第Ⅴ因子 活性因子	42	凝固活性第5
D006 29	凝固因子(第Ⅶ因子)	223	血液	4731	第Ⅶ因子 活性因子	42	凝固活性第7
D006 29	凝固因子(第Ⅷ因子)	223	血液	4733	第Ⅷ因子 活性因子	42	凝固活性第8
D006 29	凝固因子(第Ⅸ因子)	223	血液	4735	第Ⅸ因子 活性因子	42	凝固活性第9
D006 29	凝固因子(第Ⅹ因子)	223	血液	4737	第Ⅹ因子 活性因子	42	凝固活性第10
D006 29	凝固因子(第Ⅺ因子)	223	血液	4739	第Ⅺ因子 活性因子	42	凝固活性第11
D006 29	凝固因子(第Ⅻ因子)	223	血液	4740	第Ⅻ因子 活性因子	42	凝固活性第12
D006 29	凝固因子(第ⅩⅢ因子)	223	血液	4743	第ⅩⅢ因子 活性因子	42	凝固活性第13
D006 30	プロテインC抗原	226	血液	4779	プロテインC(抗原量)	44	プロテインC抗原
D006 31	プロテインC活性	227	血液	4778	プロテインC(活性)	44	プロテインC活性
D006 32	tPA-PAI-1複合体	240	血液	4235	トータルPAI-1(tPA-PAI-1複合体)	44	トータルPAI-1
D006-3-1	Major BCR-ABL 1(mRNA定量国際標準値)	2520	遺・染	9082	MajorBCR-ABL 高感度 IS%	111	MajorBCR-ABL高感度
D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算	2477+397	遺・染		染色体検査 血液疾患(G-Banding)	111	
D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算	2477+397	遺・染		染色体検査 先天性疾患(C-Banding)	111	
D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算	2477+397	遺・染	5253	染色体検査 先天性疾患(G-Banding)	111	染色体G-Band
D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算	2477+397	遺・染		染色体検査 先天性疾患(Q-Banding)	111	
D006-5+注1	染色体検査(すべての費用を含む)+分染法加算	2477+397	遺・染		染色体検査 先天性疾患(高精度分染法)	111	
D006-17	Nudix hydrolase 15 (NUDT15)遺伝子多型	2100	遺・染	9084	NUDT15遺伝子コドン139多型解析	111	NUDT15遺伝子コドン139多型

### 生化学的検査 I

#### D007 血液化学検査

D007 1	総蛋白	11	生(I)	1001	総蛋白(TP)<血液>	1	総蛋白
D007 1	アルブミン(BCP改良法・BCG法)	11	生(I)	1002	アルブミン(Alb)<血液>	1	アルブミン
D007 1	尿酸	11	生(I)	1178	尿酸(UA)<血液>	1	尿酸
D007 1	尿酸	11	生(I)	6158	尿酸(UA)<部分尿>	1	尿中尿酸
D007 1	尿酸	11	生(I)	1179	尿酸(UA)<蓄尿>	1	尿中尿酸
D007 1	尿素窒素	11	生(I)	1181	尿素窒素(UN)(BUN)<血液>	1	尿素窒素
D007 1	尿素窒素	11	生(I)	6162	尿素窒素(UN)(BUN)<部分尿>	1	尿中尿素窒素
D007 1	尿素窒素	11	生(I)	1182	尿素窒素(UN)(BUN)<蓄尿>	1	尿中尿素窒素
D007 1	クレアチニン	11	生(I)	1170	クレアチニン(CRE)<血液>	2	クレアチニン
D007 1	クレアチニン	11	生(I)	6154	クレアチニン(CRE)<部分尿>	2	尿クレアチニン
D007 1	クレアチニン	11	生(I)	1176	クレアチニン(CRE)<蓄尿>	2	尿中クレアチニン
D007 1	カリウム	11	生(I)	1465	カリウム(K)<血液>	5	カリウム

# 索引

(保険収載名称順)

索引

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D007 1	カリウム	11	生 (I)	6447	カリウム(K)<部分尿>		5	尿中カリウム随
D007 1	カリウム	11	生 (I)	1466	カリウム(K)<蓄尿>		5	尿中カリウム蓄
D007 1	マグネシウム	11	生 (I)	1475	マグネシウム(Mg)<血液>		5	マグネシウム
D007 1	マグネシウム	11	生 (I)	1476	マグネシウム(Mg)<蓄尿>		5	尿中マグネシウム
D007 1	カルシウム	11	生 (I)	1479	カルシウム(Ca)<血液>		5	カルシウム
D007 1	カルシウム	11	生 (I)	6459	カルシウム(Ca)<部分尿>		5	尿中カルシウム
D007 1	カルシウム	11	生 (I)	1480	カルシウム(Ca)<蓄尿>		5	尿中カルシウム
D007 1	鉄(Fe)	11	生 (I)	1510	鉄(Fe)<血液>		6	血清鉄
D007 1	鉄(Fe)	11	生 (I)	1511	鉄(Fe)<蓄尿>		6	尿中鉄(Fe)
D007 1	不飽和鉄結合能(UIBC) [比色法]	11	生 (I)	1514	不飽和鉄結合能(UIBC) [比色法]		6	UIBC
D007 1	総鉄結合能(TIBC) [比色法]	11	生 (I)	1512	総鉄結合能(TIBC) [計算法]		6	TIBC
D007 1	グルコース	11	生 (I)	1221	グルコース(血糖) [酵素法]		8	グルコース
D007 1	グルコース	11	生 (I)	1222	グルコース(血糖) [電極法]		8	グルコース(NaF)
D007 1	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	11	生 (I)	1016	LD(LDH) (乳酸脱水素酵素)		10	LD
D007 1	γ-グルタミルトランスフェラーゼ(γ-GT)	11	生 (I)	1047	γ-GT(γ-グルタミルトランスペプチダーゼ)		10	γ-GT
D007 1	アルカリホスファターゼ(ALP)	11	生 (I)	1051	ALP(アルカリフォスファターゼ)		10	ALP
D007 1	コリンエステラーゼ(ChE)	11	生 (I)	1055	ChE(コリンエステラーゼ)		10	ChE
D007 1	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	11	生 (I)	1070	LAP(ロイシンアミノペプチダーゼ)		10	LAP
D007 1	アミラーゼ	11	生 (I)	1074	アミラーゼ(AMY)<血液>		11	アミラーゼ
D007 1	アミラーゼ	11	生 (I)	1075	アミラーゼ(AMY)<部分尿>		11	尿アミラーゼ
D007 1	クレアチンキナーゼ(CK)	11	生 (I)	1021	CK(クレアチンキナーゼ)		12	CK(CPK)
D007 1	アルドラーゼ	11	生 (I)	1052	アルドラーゼ		12	アルドラーゼ
D007 1	総ビリルビン	11	生 (I)	1530	ビリルビン 総		13	総ビリルビン
D007 1	直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	11	生 (I)	1531	ビリルビン 直接		13	直接ビリルビン
D007 1	中性脂肪	11	生 (I)	1313	中性脂肪(TG)		14	中性脂肪
D007 1	遊離コレステロール	11	生 (I)	1326	遊離コレステロール		14	遊離コレステロール
D007 1	総蛋白	11	生 (I)	5089	穿刺液検査 蛋白		47	穿刺液蛋白
D007 1	グルコース	11	生 (I)	5092	穿刺液検査 糖		47	穿刺液糖定量
D007 1	カリウム	11	生 (I)	1469	髄液一般検査 K		48	リコールK
D007 1	総蛋白	11	生 (I)	5060	髄液一般検査 蛋白		48	リコール蛋白
D007 1	グルコース	11	生 (I)	5062	髄液一般検査 糖		48	リコール糖
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1460	ナトリウム(Na)<血液>		5	ナトリウム
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	6443	ナトリウム(Na)<部分尿>		5	尿中ナトリウム随
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1461	ナトリウム(Na)<蓄尿>		5	尿中ナトリウム蓄
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1470	クロール(Cl)<血液>		5	クロール
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	6451	クロール(Cl)<部分尿>		5	尿中クロール随
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1471	クロール(Cl)<蓄尿>		5	尿中クロール蓄
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1464	髄液一般検査 Na		48	リコールNa
D007 1	ナトリウム及びクロール	NaClで11	生 (I)	1474	髄液一般検査 Cl		48	リコールCl
D007 2	リン脂質	15	生 (I)	1317	リン脂質(PL)		15	リン脂質
D007 3	無機リン及びリン酸	17	生 (I)	1486	無機リン(IP)<血液>		5	無機リン
D007 3	無機リン及びリン酸	17	生 (I)	1487	無機リン(IP)<蓄尿>		5	尿中無機リン
D007 3	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	17	生 (I)	1031	AST(GOT)		10	AST(GOT)
D007 3	アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	17	生 (I)	1034	ALT(GPT)		10	ALT(GPT)
D007 3	総コレステロール	17	生 (I)	1323	総コレステロール		14	総コレステロール
D007 3	HDLコレステロール	17	生 (I)	1329	HDLコレステロール		14	HDLコレステロール
D007 4	蛋白分画	18	生 (I)	1007	蛋白分画		1	蛋白分画
D007 4	LDL-コレステロール	18	生 (I)	1335	LDLコレステロール		14	LDL-コレステロール
D007 5	銅(Cu)	23	生 (I)	1518	銅(Cu)<血液>		6	血清銅
D007 5	銅(Cu)	23	生 (I)	1519	銅(Cu)<蓄尿>		6	尿中銅(Cu)
D007 6	リパーゼ	24	生 (I)	1082	リパーゼ		11	リパーゼ
D007 7	イオン化カルシウム	26	生 (I)	1484	イオン化カルシウム(Ca <sup>2+</sup> )		5	イオン化カルシウム
D007 8	マンガン(Mn)	27	生 (I)	1638	マンガン(Mn)		7	マンガン
D007 9	ケトン体	30	生 (I)	1301	血中ケトン体定量		9	血中ケトン体
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1401	アポリポ蛋白AI		14	アポリポ蛋白A1
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1402	アポリポ蛋白AII		14	アポリポ蛋白A2
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1403	アポリポ蛋白B		14	アポリポ蛋白B
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1404	アポリポ蛋白CII		14	アポリポ蛋白C2
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1405	アポリポ蛋白CIII		14	アポリポ蛋白C3
D007 10	アポリポ蛋白	31	生 (I)	1406	アポリポ蛋白E		14	アポリポ蛋白E
D007 11	アデノシンデアミナーゼ(ADA)	32	生 (I)	1064	ADA(アデノシンデアミナーゼ)(血液)		12	ADA
D007 11	アデノシンデアミナーゼ(ADA)	32	生 (I)	1164	ADA(アデノシンデアミナーゼ)(胸水)		12	ADA
D007 12	グアナーゼ	35	生 (I)	1063	グアナーゼ		12	グアナーゼ
D007 13	有機モノカルボン酸	47	生 (I)	1291	乳酸		9	乳酸
D007 13	有機モノカルボン酸	47	生 (I)	1293	ビルビン酸		9	ビルビン酸
D007 13	胆汁酸	47	生 (I)	1362	胆汁酸(TBA)		13	胆汁酸
D007 14	LDアイソザイム	48	生 (I)	1038	LD(LDH)アイソザイム		10	LD-アイソザイム

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D007 14	ALPアインザイム	48	生 (I)	1043	ALPアインザイム	ALPアインザイム	10	ALPアインザイム
D007 14	アミラーゼアインザイム	48	生 (I)	1072	アミラーゼアインザイム<血液>	アミラーゼアインザイム	11	アミラーゼアインザイム
D007 14	アミラーゼアインザイム	48	生 (I)	1077	アミラーゼアインザイム<部分尿>	アミラーゼアインザイム	11	尿AMYアインザイム
D007 14	アミラーゼアインザイム	48	生 (I)	1079	P型アミラーゼ	P型アミラーゼ	11	P型アミラーゼ
D007 15	リポ蛋白分画	49	生 (I)	1368	リポ蛋白分画	リポ蛋白分画	15	リポ蛋白分画
D007 16	アンモニア	50	生 (I)	1191	アンモニア(NH3)	血液NH3	2	血液NH3
D007 17	グリオアルブミン	55	生 (I)	1264	グリオアルブミン(GA)	グリオアルブミン	8	グリオアルブミン
D007 17	CKアインザイム	55	生 (I)	1028	CKアインザイム	CKアインザイム	12	CKアインザイム
D007 18	コレステロール分画	57	生 (I)	1382	コレステロール分画	コレステロール分画	14	コレステロール分画
D007 19	ケトン体分画	59	生 (I)	1303	血中ケトン体分画<静脈血>	ケトン体分画(静脈)	9	ケトン体分画(静脈)
D007 19	ケトン体分画	59	生 (I)	1305	血中ケトン体分画<動脈血>	血中ケトン体分画(動脈)	9	血中ケトン体分画(動脈)
D007 19	遊離脂肪酸	59	生 (I)	1319	遊離脂肪酸(NEFA-FFA)	遊離脂肪酸	15	遊離脂肪酸
D007 21	1,5-アンヒドロ-D-グルシトール(1,5AG)	80	生 (I)	1273	1-5-AG(1-5アンヒドロ-D-グルシトール)	1-5-AG	8	1-5-AG
D007 22	CK-MB(蛋白量測定)	90	生 (I)	1023	CK-MB(CPK-MB) [CLIA]	CK-MB(CPK-MB)	12	CK-MB(CLIA)
D007 23	総カルニチン	95	生 (I)	(8750)	カルニチン分画	カルニチン分画	16	カルニチン分画
D007 23	遊離カルニチン	95	生 (I)	(8751)	カルニチン分画	カルニチン分画	16	カルニチン分画
D007 25	フェリチン定量	102	生 (I)	3249	フェリチン	フェリチン(CLEIA)	6	フェリチン(CLEIA)
D007 26	エタノール	105	生 (I)	2015	エタノール(エチルアルコール)	エタノール	92	エタノール
D007 27	リポ蛋白(a)	107	生 (I)	1386	Lp(a)(リポ蛋白(a))	リポ蛋白(a)	15	リポ蛋白(a)
D007 28	ヘパリン	108	生 (I)		ヘパリン	ヘパリン	43	ヘパリン
D007 28	KL-6	108	生 (I)	4505	KL-6	KL-6	9	KL-6
D007 29	心筋トロポニンI	109	生 (I)	3248	高感度トロポニンI	高感度トロポニンI	58	高感度トロポニンI
D007 29	アルミニウム(AI)	109	生 (I)	1628	アルミニウム(AI)	アルミニウム	6	アルミニウム
D007 29	心筋トロポニンT(TnT)定性・定量	109	生 (I)	3246	心筋トロポニンT(TnT)	心筋トロポニンT	58	心筋トロポニンT
D007 30	シスタチンC	112	生 (I)	3180	シスタチンC	シスタチンC	2	シスタチンC
D007 31	25-ヒドロキシビタミンD	117	生 (I)	1441	25-OHビタミンD(ECLIA)	25-OHビタミンD	16・52	25-OHビタミンD
D007 31	25-ヒドロキシビタミンD	117	生 (I)	1438	25-OHビタミンD(CLIA)	25-OHビタミンD	16・52	25-OHビタミンD
D007 35	肺サーファクタント蛋白A(SP-A)	130	生 (I)	4520	サーファクタント蛋白A(SP-A)	SP-AサーファクタントPA	9	SP-AサーファクタントPA
D007 36	IV型コラーゲン	131	生 (I)	3263	IV型コラーゲン<血液>	IV型コラーゲン	3	IV型コラーゲン
D007 36	ミオグロビン定量	131	生 (I)	3242	ミオグロビン<血液>	ミオグロビン	58	ミオグロビン
D007 36	ミオグロビン定量	131	生 (I)	3241	ミオグロビン<部分尿>	尿中ミオグロビン	58	尿中ミオグロビン
D007 37	亜鉛(Zn)	132	生 (I)	1521	亜鉛(Zn)<血液>	亜鉛	6	亜鉛
D007 37	亜鉛(Zn)	132	生 (I)	1522	亜鉛(Zn)<蓄尿>	尿中亜鉛	6	尿中亜鉛
D007 39	肺サーファクタント蛋白D(SP-D)	136	生 (I)	4510	サーファクタント蛋白D(SP-D)	SP-DサーファクタントPD	9	SP-DサーファクタントPD
D007 39	プロコラーゲン-Ⅲ-ペプチド(P-Ⅲ-P)	136	生 (I)	3258	P-Ⅲ-P(プロコラーゲンⅢペプチド)	P-Ⅲ-P	3	P-Ⅲ-P
D007 39	アンギオテンシンI転換酵素(ACE)	136	生 (I)	1145	ACE(アンギオテンシンI転換酵素)	ACE	12	ACE
D007 39	ビタミンB <sub>12</sub>	136	生 (I)	1430	ビタミンB <sub>12</sub>	ビタミンB <sub>12</sub>	16	ビタミンB <sub>12</sub>
D007 40	セレン	144	生 (I)	9194	セレン	セレン	6・92	セレン
D007 41	葉酸	146	生 (I)	1451	葉酸	葉酸(CLIA)	16	葉酸(CLIA)
D007 42	IV型コラーゲン7S	148	生 (I)	3265	IV型コラーゲン7S	IV型コラーゲン7S	3	IV型コラーゲン7S
D007 44	レムナト様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	174	生 (I)	1333	レムナト様リポ蛋白コレステロール(RLPコレステロール)	RLPコレステロール	14	RLPコレステロール
D007 46	ヒアルロン酸	179	生 (I)	1271	ヒアルロン酸(HA)	ヒアルロン酸	3・9	ヒアルロン酸
D007 47	アセトアミノフェン	180	生 (I)	1890	アセトアミノフェン	アセトアミノフェン	75	アセトアミノフェン
D007 48	心室筋ミオシン軽鎖I	184	生 (I)	3243	ミオシン軽鎖I	ミオシン軽鎖I	58	ミオシン軽鎖I
D007 49	トリプシン	189	生 (I)	1086	トリプシン	トリプシン	12	トリプシン
D007 50	Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体	194	生 (I)	3655	M2BPGI(Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体)	M2BPGIMAC2結合蛋白	3・9	M2BPGIMAC2結合蛋白
D007 50	マロンジアルデヒド修飾LDL(MDA-LDL)	194	生 (I)	1337	酸化LDL(MDA-LDL)	酸化LDL(MDA-LDL)	14	酸化LDL(MDA-LDL)
D007 51	ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (PLA <sub>2</sub> )	204	生 (I)	1089	膜PLA2(膜ホスホリパーゼA2)(PLA2)	膜PLA2(PLA2)	12	膜PLA2(PLA2)
D007 52	赤血球コプロボルフィリン	210	生 (I)	1539	コプロボルフィリン<血液>	赤血球コプロボルフィリン	13	赤血球コプロボルフィリン
D007 53	リポ蛋白リパーゼ(LPL)	219	生 (I)	9072	リポ蛋白リパーゼ(LPL)	リポ蛋白リパーゼ	11	リポ蛋白リパーゼ
D007 55	ビタミンB <sub>2</sub>	235	生 (I)	1424	ビタミンB <sub>2</sub>	ビタミンB <sub>2</sub>	16	ビタミンB <sub>2</sub>
D007 56	ビタミンB <sub>1</sub>	239	生 (I)	1422	ビタミンB <sub>1</sub>	ビタミンB <sub>1</sub>	16	ビタミンB <sub>1</sub>
D007 57	ロイシンリッチα <sub>2</sub> グリオプロテイン	268	生 (I)	4245	ロイシンリッチα <sub>2</sub> グリオプロテイン(LRG)	LRG	21	LRG
D007 58	赤血球プロトボルフィリン	272	生 (I)	1549	赤血球プロトボルフィリン	赤血球プロトボルフィリン	13・92	赤血球プロトボルフィリン
D007 59	プロカルシトニン(PCT)定量	276	生 (I)	3454	プロカルシトニン(PCT)「定量」	プロカルシトニンPCT	29	プロカルシトニンPCT
D007 60	ビタミンC	296	生 (I)	1436	ビタミンC(アスコルビン酸)	ビタミンC	16	ビタミンC
D007 63	1,25-ジヒドロキシビタミンD <sub>3</sub>	388	生 (I)	1439	1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	1,25(OH) <sub>2</sub> VD	16・52	1,25(OH) <sub>2</sub> VD

## 生化学的検査 II

### D008 内分泌学的検査

D008 1	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定性	55	生 (II)	2355	HCG定性	HCG定性	61	HCG定性
D008 2	11-ヒドロキシコルチコステロイド(11-OHCS)	60	生 (II)	2195	血中11-OHCS	血中11-OHCS	54	血中11-OHCS
D008 3	ホモバニリン酸(HVA)	69	生 (II)	2282	ホモバニリン酸(HVA)<血液>	ホモバニリン酸(HVA)	56	ホモバニリン酸(HVA)
D008 3	ホモバニリン酸(HVA)	69	生 (II)	2284	ホモバニリン酸(HVA)<部分尿>	尿HVA Cre補正	56	尿HVA Cre補正
D008 3	ホモバニリン酸(HVA)	69	生 (II)	2285	ホモバニリン酸(HVA)<酸性蓄尿>	尿HVA	56	尿HVA
D008 3	ホモバニリン酸(HVA)	69	生 (II)		ホモバニリン酸(HVA)<髄液>	尿HVA	56	尿HVA
D008 4	バニルマンデル酸(VMA)	90	生 (II)	2286	バニルマンデル酸(VMA)<血液>	バニルマンデル酸(VMA)	56	バニルマンデル酸(VMA)
D008 4	バニルマンデル酸(VMA)	90	生 (II)	2292	バニルマンデル酸(VMA)<部分尿>	尿VMA Cre補正	56	尿VMA Cre補正

# 索引

(保険収載名称順)

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内 項目名称	頁	報告書名称
D008 4	バニールマンデル酸(VMA)	90	生(Ⅱ)	2290	バニールマンデル酸(VMA)＜酸性蓄尿＞	56	尿中VMA
D008 5	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)	95	生(Ⅱ)	2294	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)＜血液＞	57	5-HIAA
D008 5	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)	95	生(Ⅱ)	2295	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)＜酸性蓄尿＞	57	尿5-HIAA
D008 5	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)	95	生(Ⅱ)		5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)＜髄液＞	57	
D008 6	プロラクチン(PRL)	98	生(Ⅱ)	2060	プロラクチン(PRL)	49	プロラクチン
D008 6	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	98	生(Ⅱ)	2082	甲状腺刺激ホルモン(TSH)(高感度TSH)	49-50	高感度TSH
D008 7	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )	99	生(Ⅱ)	2119	T <sub>3</sub> (トリヨードサイロニン)	50	T <sub>3</sub> (CLIA)
D008 8	レニン活性	100	生(Ⅱ)	2469	レニン活性(PRA)	54	レニン活性
D008 8	インスリン(IRI)	100	生(Ⅱ)	2369	インスリン(IRI)	59	インスリン
D008 9	ガストリン	101	生(Ⅱ)	2431	ガストリン	59	ガストリン
D008 10	レニン定量	102	生(Ⅱ)	2476	レニン定量(ARC)(活性型)	54	レニン定量(活性型)
D008 11	サイロキシン(T <sub>4</sub> )	105	生(Ⅱ)	2134	T <sub>4</sub> (総サイロキシン)	50	T <sub>4</sub> (CLIA)
D008 12	成長ホルモン(GH)	105	生(Ⅱ)	2053	成長ホルモン(GH)＜血液＞	49	成長ホルモン(GH)
D008 12	黄体形成ホルモン(LH)	105	生(Ⅱ)	2067	黄体形成ホルモン(LH)	49	LH
D008 12	卵胞刺激ホルモン(FSH)	105	生(Ⅱ)	2070	卵胞刺激ホルモン(FSH)	49	FSH
D008 12	C-ペプチド(CPR)	105	生(Ⅱ)	2398	C-ペプチド(CPR)＜血液＞	59	血中CPR
D008 12	C-ペプチド(CPR)	105	生(Ⅱ)	2420	C-ペプチド(CPR)＜蓄尿＞	59	尿CPR蓄尿
D008 13	テストステロン	119	生(Ⅱ)	2345	テストステロン	61	テストステロン
D008 14	遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	121	生(Ⅱ)	2123	FT <sub>3</sub> (遊離トリヨードサイロニン)	50	FT <sub>3</sub>
D008 14	遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )	121	生(Ⅱ)	2138	FT <sub>4</sub> (遊離サイロキシン)	50	FT <sub>4</sub>
D008 14	コルチゾール	121	生(Ⅱ)	2198	コルチゾール＜血液＞	54	コルチゾール
D008 14	コルチゾール	121	生(Ⅱ)	2199	コルチゾール＜蓄尿＞	54	コルチゾール蓄尿
D008 15	アルドステロン	122	生(Ⅱ)	2243	アルドステロン＜血液＞	54	アルドステロン(RIA)
D008 16	サイログロブリン	128	生(Ⅱ)	2142	サイログロブリン(Tg)	50	サイログロブリン
D008 17	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)	129	生(Ⅱ)	2364	HCG-βサブユニット(遊離HCG-β)＜血液＞	61	HCGβサブユニット
D008 18	サイロキシン結合グロブリン(TBG)	130	生(Ⅱ)	2144	サイロキシン結合グロブリン(TBG)	50	TBG
D008 18	脳性Na利尿ペプチド(BNP)	130	生(Ⅱ)	2526	BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	58	BNP
D008 18	カルシトニン	130	生(Ⅱ)	2169	カルシトニン	52	カルシトニン
D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	130	生(Ⅱ)	2356	HCG定量(ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量)＜血液＞[定量]	61	血中HCG
D008 18	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	130	生(Ⅱ)	2357	HCG定量(ヒト絨毛性ゴナドトロピン定量)＜部分尿＞[定量]	61	尿中HCG
D008 19	抗グルタミン酸デカルボキラーゼ抗体(抗GAD抗体)	134	生(Ⅱ)	1274	抗GAD抗体	21-59	抗GAD抗体価
D008 20	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	136	生(Ⅱ)	2536	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	58	NT-proBNP
D008 22	プロゲステロン	143	生(Ⅱ)	2333	プロゲステロン	60	プロゲステロン
D008 24	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	154	生(Ⅱ)	2529	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	53	ucOC
D008 25	酒石酸低抗酸性ホスファターゼ(TRACP-5b)	156	生(Ⅱ)	4974	TRACP-5b(骨型酒石酸低抗酸性ホスファターゼ)	53-66	TRACP-5b
D008 25	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)	156	生(Ⅱ)	4975	NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(骨粗鬆症)＜部分尿＞)	53-66	NTx(尿)I型コラーゲン
D008 26	オステオカルシン(OC)	157	生(Ⅱ)	2530	オステオカルシン(OC)	53	オステオカルシン
D008 26	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	157	生(Ⅱ)	1049	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	10-53	骨型ALPBAP
D008 27	遊離テストステロン	159	生(Ⅱ)	2350	遊離テストステロン(フリーテストステロン)	61	遊離テストステロン
D008 28	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)	160	生(Ⅱ)	2532	トータルI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(totalPINP)	53	total PINP
D008 29	副甲状腺ホルモン(PTH)	161	生(Ⅱ)	2164	副甲状腺ホルモンintact(PTH-intact)	52	PTH-INTACT
D008 29	副甲状腺ホルモン(PTH)	161	生(Ⅱ)	2165	Whole PTH	52	Whole PTH
D008 29	カテコールアミン分画	161	生(Ⅱ)	2257	カテコールアミン3分画(アドレナリン)(ノルアドレナリン)(ドーパミン)＜血液＞	56	血中カテコールアミン3分画
D008 29	カテコールアミン分画	161	生(Ⅱ)	2258	カテコールアミン3分画(アドレナリン)(ノルアドレナリン)(ドーパミン)＜酸性蓄尿＞	56	尿中カテコールアミン3分画
D008 31	テヒドロエピアンドロステロン硫酸塩合体(DHEA-S)	164	生(Ⅱ)	2230	テヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	55	DHEA-S
D008 32	サイクリックAMP(cAMP)	165	生(Ⅱ)	2515	サイクリック-AMP(C-AMP)＜血液＞	62	サイクリックAMP(C-AMP)
D008 32	サイクリックAMP(cAMP)	165	生(Ⅱ)	2516	サイクリック-AMP(C-AMP)＜蓄尿＞	62	尿中C-AMP
D008 33	エストラジオール(E <sub>2</sub> )	167	生(Ⅱ)	2321	エストラジオール(E <sub>2</sub> )＜血液＞	60	エストラジオール
D008 37	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	184	生(Ⅱ)	2063	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	49	ACTH
D008 38	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PThrP)	186	生(Ⅱ)	1776	PTH関連蛋白-intact(PThrP-intact)	52	PThrP-INTACT
D008 39	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	191	生(Ⅱ)	4980	デオキシピリジノリン(DPD)＜部分尿＞	53-66	デオキシピリジノリン(DPD)
D008 41	エリスロポエチン	209	生(Ⅱ)	2527	エリスロポエチン	62	エリスロポエチン
D008 42	ソマトメジンC	212	生(Ⅱ)	2057	ソマトメジンC	49	ソマトメジンC
D008 43	抗IA-2抗体	213	生(Ⅱ)	1276	抗IA-2抗体	21-59	抗IA-2抗体
D008 44	メタネフリン	217	生(Ⅱ)	2268	メタネフリン総＜蓄尿＞	56	尿中メタネフリン総
D008 45	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	220	生(Ⅱ)	2272	メタネフリン分画(メタネフリン/ノルメタネフリン)＜部分尿＞	56	尿メタネフリン分画
D008 45	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	220	生(Ⅱ)	2271	メタネフリン分画(メタネフリン/ノルメタネフリン)＜酸性蓄尿＞	56	尿メタネフリン分画
D008 46	心房性Na利尿ペプチド(ANP)	221	生(Ⅱ)	2524	ヒト心房性Na利尿ペプチド(HANP)(ANP)	58	HANP
D008 47	抗利尿ホルモン(ADH)	224	生(Ⅱ)	2088	バソプレシンAVP(抗利尿ホルモン(ADH))	49	バソプレシン(AVP)
D008 48	プレグナントリオール	232	生(Ⅱ)	2340	プレグナントリオール＜蓄尿＞	61	プレグナントリオール
D008 51	遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画	450	生(Ⅱ)	2275	血中遊離メタネフリン分画	56	血中遊離メタネフリン分画
D008 52	抗ミューラー管ホルモン	597	生(Ⅱ)	4199	抗ミューラー管ホルモン(AMH)	60	抗ミューラー管ホルモン(AMH)
<b>D009 腫瘍マーカー</b>							
D009 2	α-フェトプロテイン(AFP)	98	生(Ⅱ)	3278	αフェトプロテイン(AFP)[定量]	64	AFP(CLEIA)
D009 3	癌胎児性抗原(CEA)	99	生(Ⅱ)	3273	CEA(癌胎児性抗原)	64	CEA(CLEIA)
D009 4	扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	101	生(Ⅱ)	3328	SCC抗原(扁平上皮癌関連抗原)	65	SCC抗原
D009 6	NCC-ST-439	112	生(Ⅱ)	3322	NCC-ST-439	64	NCC-ST-439(EIA)

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D009 6	CA15-3	112	生(Ⅱ)	3298	CA15-3	CA15-3	65	CA15-3
D009 7	DUPAN-2	115	生(Ⅱ)	3316	DUPAN-2	DUPAN-2	64	DUPAN-2
D009 8	エラスターゼ1	120	生(Ⅱ)	1091	エラスターゼ1 (IRE)	エラスターゼ1 (IRE)	64	エラスターゼ1 (IRE)
D009 9	CA19-9	121	生(Ⅱ)	3300	CA19-9	CA19-9 (CLEIA)	64	CA19-9 (CLEIA)
D009 9	前立腺特異抗原 (PSA)	121	生(Ⅱ)	3334	PSA (前立腺特異抗原)	PSA	66	PSA
D009 9	前立腺特異抗原 (PSA)	121	生(Ⅱ)	3336	高感度前立腺特異抗原 (PSA-HS)	PSA-HS	66	PSA-HS
D009 9	前立腺特異抗原 (PSA)	121	生(Ⅱ)	3342	PSA-ACT	PSA-ACT	66	PSA-ACT
D009 10	PIVKAⅡ定量	131	生(Ⅱ)	3360	PIVKAⅡ	PIVKAⅡ	64	PIVKAⅡ
D009 11	CA125	136	生(Ⅱ)	3292	CA125	CA125	67	CA125
D009 13	シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原 (SLX)	140	生(Ⅱ)	3319	SLX (シアルリルLe <sup>x</sup> -i抗原)	SLX (IRMA)	65	SLX (IRMA)
D009 14	神経特異エノラーゼ (NSE)	142	生(Ⅱ)	3350	NSE (神経特異エノラーゼ)	NSE (ECLIA)	65	NSE (ECLIA)
D009 15	Span-1	144	生(Ⅱ)	3325	SPan-1 抗原	SPan-1 抗原	64	SPan-1 抗原
D009 16	CA72-4	146	生(Ⅱ)	3307	CA72-4	CA72-4	67	CA72-4
D009 16	シアルリルTn抗原 (STn)	146	生(Ⅱ)	3310	STn (シアルリルTn抗原)	STn (RIA)	67	STn (RIA)
D009 17	塩基性フェトプロテイン (BFP)	150	生(Ⅱ)	3286	BFP (塩基性フェトプロテイン)	BFP (EIA)	64	BFP (EIA)
D009 17	遊離型PSA比 (PSA F/T比)	150	生(Ⅱ)	3339	PSAフリー/トータル比	PSAフリー/トータル比	66	PSAフリー/トータル比
D009 18	サイトケラチン19フラグメント (シフラ)	154	生(Ⅱ)	3366	サイトケラチン19-フラグメント (CYFRA) (シフラ)	サイトケラチン19フラグメント	65	サイトケラチン19フラグメント
D009 20	BCA225	158	生(Ⅱ)	3363	BCA225	BCA225	65	BCA225
D009 22	抗p53抗体	163	生(Ⅱ)	3364	抗p53抗体	抗p53抗体	64	抗p53抗体
D009 24	ガストリン放出ペプチド前駆体 (ProGRP)	175	生(Ⅱ)	3380	ProGRP (ガストリン放出ペプチド前駆体)	ProGRP (ガストリン放出)	65	ProGRP (ガストリン放出)
D009 25	CA54/61	184	生(Ⅱ)	3308	CA54/61	CA54/61	67	CA54/61
D009 26	α-フェトプロテインレクチン分画 (AFP-L3%)	185	生(Ⅱ)	3282	α-フェトプロテインレクチン分画 (AFP-L3%)	AFPレクチン分画AFP-L3%	64	AFPレクチン分画AFP-L3%
D009 27	CA602	190	生(Ⅱ)	3296	CA602	CA602	67	CA602
D009 28	γ-セミノプロテイン (γ-Sm)	192	生(Ⅱ)	3335	γ-Sm (γ-セミノプロテイン)	γ-Sm (EIA)	66	γ-Sm (EIA)
D009 29	ヒト精巣上体蛋白4 (HE4)	200	生(Ⅱ)	3368	HE4 (ヒト精巣上体蛋白4)	HE4	67	HE4
D009 31	S2-3PSA%	248	生(Ⅱ)	3343	S2-3PSA%	S2-3PSA%	66	S2-3PSA%
D009 35	アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム	335	生(Ⅱ)	3317	APOA2 アイソフォーム	APOA2 アイソフォーム	64	APOA2 アイソフォーム
D009 36	可溶性インターロイキン2レセプター (sIL-2R)	438	生(Ⅱ)	4503	可溶性インターロイキン2レセプター (IL-2レセプター)	IL-2レセプター	67	IL-2レセプター
<b>D010 特殊分析</b>								
D010 2	結石分析	117	生(Ⅱ)	2033	結石分析 (成分比率)	結石分析	7	結石分析
D010 4 イ	アミノ酸 (1種類につき)	279	生(Ⅱ)	1202	総ホモシステイン	総ホモシステイン	4	総ホモシステイン
D010 4 イ	アミノ酸	279+279	生(Ⅱ)	1194	アミノ酸分析 (2種類チロシン、フェニルアラニン) [LC/MS] <血液>	アミノ酸分析2種	4	アミノ酸分析2種
D010 4 ロ	アミノ酸 (5種類以上)	1107	生(Ⅱ)	1195	アミノ酸分析 (アミノ酸分析9種類) <血液>	血中アミノ酸9	4	血中アミノ酸9
D010 4 ロ	アミノ酸 (5種類以上)	1107	生(Ⅱ)	1197	アミノ酸分析 (アミノ酸分析39種類) <血液>	血中アミノ酸39	4	血中アミノ酸39
D010 4 ロ	アミノ酸 (5種類以上)	1107	生(Ⅱ)	1198	アミノ酸分析 (アミノ酸分析41種類) <酸性畜尿>	尿中アミノ酸41	4	尿中アミノ酸41
D010 5	総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比 (BTR)	283	生(Ⅱ)	4221	BTR (総分岐鎖アミノ酸チロシンモル比)	BCAA/チロシンモルBTR	4	BCAA/チロシンモルBTR
D010 7	脂肪酸分画	393	生(Ⅱ)	1315	血中脂肪酸分画	脂肪酸分画	15	脂肪酸分画
<b>免疫学的検査</b>								
<b>D011 免疫血液学的検査</b>								
D011 1	ABO血液型	24	免疫	4296	血液型ABO式	ABO血液型	22	ABO血液型
D011 1	Rh(D)血液型	24	免疫	4301	血液型Rh(D)式	Rh(抗D)	22	Rh(抗D)
D011 1	ABO血液型 Rh(D)血液型	24+24	免疫	962	血液型 (ABO・Rh式)	ABO血液型/Rh(抗D)	22	ABO血液型/Rh(抗D)
D011 2 イ	Coombs試験 [直接]	34	免疫	4336	直接クームス試験	直接クームス	22	直接クームス
D011 2 ロ	Coombs試験 [間接]	47	免疫	4338	間接クームス試験 [定性]	間接クームス	22	間接クームス
D011 2 ロ	Coombs試験 [間接]	47	免疫	4337	間接クームス試験 [定量]	間接クームス定量	22	間接クームス定量
D011 3	Rh (その他の因子) 血液型	148	免疫	4303	Rh-Hr式血液型	Rh-Hr血液型	22	Rh-Hr血液型
D011 4	不規則抗体	159	免疫	4351	不規則抗体	不規則抗体	22	不規則抗体
D011 4	不規則抗体	159	免疫	4352	不規則抗体 (抗体同定、抗体価測定)	不規則抗体同定	22	不規則抗体同定
D011 6	血小板関連IgG (PA-IgG)	190	免疫	4226	PAIgG (血小板関連IgG)	PAIgG	23	PAIgG
D011 8	抗血小板抗体	261	免疫	4223	抗血小板抗体 (APA)	抗血小板抗体	23	抗血小板抗体
D011 10	血小板第4因子ヘリン複合体抗体 (IgG、IgM及びIgA抗体)	390	免疫	3416	HIT抗体 (血小板第4因子ヘリン複合体抗体)	抗ヘリン抗HIT抗体	23	抗ヘリン抗HIT抗体
<b>D012 感染症免疫学的検査</b>								
D012 1	抗ストレプトリジンO (ASO) 定量	15	免疫	3436	ASO (抗ストレプトリジン-O) [定量]	ASO価	28	ASO価
D012 1	梅毒血清反応 (STS) 定性	15	免疫	3484	RPR法 [定性] 梅毒血清反応 (STS)	RPR法定性	38	RPR法定性
D012 4	マイコプラズマ抗体半定量	32	免疫	3521	マイコプラズマ抗体 (マイコプラズマニューモニイ) [半定量] [PA]	マイコプラズマ (PA)	28	マイコプラズマ (PA)
D012 4	マイコプラズマ抗体半定量	32	免疫	3522	マイコプラズマ抗体 (マイコプラズマニューモニイ) [半定量] [CF]	マイコプラズマ (CF)	28	マイコプラズマ (CF)
D012 4	梅毒トレポネーマ抗体定性	32	免疫	3487	TPHA法 [定性] (梅毒トレポネーマ抗体)	TPHA定性	38	TPHA定性
D012 5	梅毒血清反応 (STS) 半定量	34	免疫	3485	RPR法 [半定量] (梅毒半定量) (STS)	RPR法定量	38	RPR法定量
D012 6	梅毒トレポネーマ抗体半定量	53	免疫	3488	TPHA法 [半定量] (梅毒トレポネーマ抗体)	TPHA試験	38	TPHA試験
D012 8	口タウウイルス抗原定性 (糞便)	65	免疫	細1201	口タウウイルス抗原	90-99		
D012 9	クラミドフィラニューモニイIgG抗体	70	免疫	3507	クラミジアニューモニイIgG	31	クラミジアニューモニイIgG (ELISA)	
D012 9	ヘリコバクターピロリ抗体定性・半定量	70	免疫	3474	Hピロリ抗体 (ヘリコバクターピロリ抗体) 定性<部分尿>	33	Hピロリ抗体 (尿)	
D012 10	クラミドフィラニューモニイIgA抗体	75	免疫	3508	クラミジアニューモニイIgA	31	クラミジアニューモニイIgA (ELISA)	
D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (オーム病クラミジア)	79	免疫	3423	オーム病クラミジア (クラミジアシタシ) [CF]	31	オーム病クラミジア (CF)	
D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (アデノウイルス)	79	免疫	3673	アデノウイルス [CF]	79	アデノ (CF)	
D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (アデノウイルス)	79	免疫	3675	アデノウイルス1型 [NT]	79	アデノ1型 (NT)	
D012 11	ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (アデノウイルス)	79	免疫	3677	アデノウイルス2型 [NT]	79	アデノ2型 (NT)	



保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(風疹ウイルス)	79	免疫	3944	風疹ウイルス [HI]		85	風疹 (HI)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(単純ヘルペスウイルス)	79	免疫	3723	単純ヘルペスウイルス [CF]		86	単純ヘルペス (CF)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(単純ヘルペスウイルス)	79	免疫	3727	単純ヘルペスウイルス1型 [NT]		86	単純ヘルペス1型 (NT)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(単純ヘルペスウイルス)	79	免疫	3737	単純ヘルペスウイルス2型 [NT]		86	単純ヘルペス2型 (NT)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(サイトメガロウイルス)	79	免疫	3760	サイトメガロウイルス [CF]		86	サイトメガロウイルス (CF)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(EBウイルス)	79	免疫	3777	EBウイルス 抗VCA IgA [FA]		87	EBウイルス抗VCAIgA (FA)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(EBウイルス)	79	免疫	3785	EBウイルス 抗EA-DR IgA [FA]		87	EBV抗EA-DR IgA (FA)
D012 11	ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(EBウイルス)	79	免疫	3789	EBウイルス 抗EBNA [FA]		87	EBウイルス抗EBNA (FA)
D012 12	ヘリコバクター・ピロリ抗体	80	免疫	3471	Hピロリ抗体(ヘリコバクター・ピロリ抗体)<血液>		33	H.ピロリ抗体(血清)
D012 12	クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性	80	免疫	細1202	クロストリジオイデス・ディフィシルトキシン		99	
D012 12	百日咳菌抗体半定量	80	免疫	3468	百日咳抗体IgA		33	百日咳抗体IgA
D012 12	百日咳菌抗体半定量	80	免疫	3467	百日咳抗体IgM		33	百日咳抗体IgM
D012 14	トキソプラズマ抗体	93	免疫	3581	トキソプラズマIgG抗体		31	トキソプラズマIgG (ELISA)
D012 15	トキソプラズマIgM抗体	95	免疫	3583	トキソプラズマIgM抗体		31	トキソプラズマIgM (ELISA)
D012 16	HIV-1、2抗原・抗体同時測定定性	109	免疫	4011	HIV抗原・抗体(HIV-1、HIV-2) [CLEIA]		39	HIV抗原抗体 (HIV1、HIV2)
D012 18	抗酸菌抗体定性	116	免疫	3575	MAC抗体(抗酸菌抗体定性)		29	MAC抗体
D012 19	A群β溶連菌迅速試験定性	121	免疫	細1204	A群β溶連菌迅速試験		28-99	A群β溶連菌迅速試験
D012 23	カンジダ抗原定量	134	免疫	3567	カンジダマンナン抗原(定量)		29	カンジダマンナンAg
D012 23	梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)定性	134	免疫	3495	FTA-ABS(梅毒定性)		38	FTA-ABS定性
D012 23	梅毒トレポネーマ抗体(FTA-ABS試験)半定量	134	免疫	3496	FTA-ABS(梅毒半定量)		38	FTA-ABS定量
D012 25	ヘリコバクター・ピロリ抗原定性	142	免疫	4977	ヘリコバクター・ピロリ抗原(Hピロリ抗原)		33	H.ピロリ抗原
D012 28	ノロウイルス抗原定性	150	免疫	細1227	ノロウイルス[イムノクロマト法]		90-99	
D012 29	クラミドフィラ・ニューモニエIgM抗体	152	免疫	3509	クラミジアニューモニエIgM		31	クラミジアニューモニエIgM (ELISA)
D012 30	アスペルギルス抗原	157	免疫	3571	アスペルギルス抗原		29	アスペルギルスAg
D012 31	HTLV-I 抗体	159	免疫	4014	ATLV抗体(HTLV-I抗体) [CLIA]		88	HTLV-I抗体 (CLIA)
D012 34	クリプトコックス抗原半定量	166	免疫	3557	クリプトコックス・ネオフォルムス抗原[半定量]		29	クリプトコックス・ネオフォルムス抗原
D012 37	大腸菌血清型別	175	免疫	細1213	大腸菌血清型別		99	
D012 39	単純ヘルペスウイルス抗原定性	180	免疫	細1203	単純ヘルペス特異抗原(1、2型タイプング)		90-99	
D012 41	肺炎球菌荚膜抗原定性(尿・髄液)	188	免疫	3597	肺炎球菌抗原<部分尿>		29	肺炎球菌抗原
D012 42	(1→3)-β-D-グルカン	195	免疫	3460	β-Dグルカン		29	β-Dグルカン
D012 43	グロブリンクラス別クラミジアトラコマチス抗体	200	免疫	3403	クラミジアトラコマチスIgG		31	クラミジアトラコマチスIgG (ELISA)
D012 43	グロブリンクラス別クラミジアトラコマチス抗体	200	免疫	3404	クラミジアトラコマチスIgA		31	クラミジアトラコマチスIgA (ELISA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)	200	免疫	3989	麻疹ウイルス IgG (EIA)		84	麻疹IgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)	200	免疫	3992	麻疹ウイルス IgG (FIA)		84	麻疹IgG (FIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(麻疹ウイルス)	200	免疫	3990	麻疹ウイルス IgM (EIA)		84	麻疹IgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)	200	免疫	3997	ムンプスウイルス IgG (EIA)		84	ムンプスIgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)	200	免疫	3999	ムンプスウイルス IgG (FIA)		84	ムンプスIgG (FIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ムンプスウイルス)	200	免疫	3998	ムンプスウイルス IgM (EIA)		84	ムンプスIgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘・帯状ヘルペスウイルス)	200	免疫	3754	水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (EIA)		85	水痘帯状ヘルペスIgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘・帯状ヘルペスウイルス)	200	免疫	3755	水痘・帯状ヘルペスウイルス IgG (FIA)		85	水痘帯状ヘルペスIgG (FIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(水痘・帯状ヘルペスウイルス)	200	免疫	3757	水痘・帯状ヘルペスウイルス IgM (EIA)		85	水痘帯状ヘルペスIgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)	200	免疫	3947	風疹ウイルス IgG (EIA)		85	風疹IgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)	200	免疫	3945	風疹ウイルス IgG (FIA)		85	風疹IgG (FIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(風疹ウイルス)	200	免疫	3950	風疹ウイルス IgM (EIA)		85	風疹IgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヒトパルボウイルスB19)	200	免疫	4039	ヒトパルボウイルスB19 IgM		85	ヒトパルボウイルスB19 IgM
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヘルペスウイルス)	200	免疫	3730	単純ヘルペスウイルス IgG		86	単純ヘルペスIgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(ヘルペスウイルス)	200	免疫	3732	単純ヘルペスウイルス IgM		86	単純ヘルペスIgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(サイトメガロウイルス)	200	免疫	3765	サイトメガロウイルス IgG		86	サイトメガロウイルスIgG (CLIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(サイトメガロウイルス)	200	免疫	3766	サイトメガロウイルス IgM		86	サイトメガロウイルスIgM (CLIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3775	EBウイルス 抗VCA IgG [FA]		87	EBウイルス抗VCAIgG (FA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3776	EBウイルス 抗VCA IgG [EIA]		87	EB抗VCAIgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3779	EBウイルス 抗VCA IgM [FA]		87	EBウイルス抗VCAIgM (FA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3780	EBウイルス 抗VCA IgM [EIA]		87	EB抗VCAIgM (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3783	EBウイルス 抗EA-DR IgG [FA]		87	EBV抗EA-DR IgG (FA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3784	EBウイルス 抗EA IgG [EIA]		87	EBウイルス抗EA-IgG (EIA)
D012 44	グロブリンクラス別ウイルス抗体価(EBウイルス)	200	免疫	3790	EBウイルス 抗EBNA IgG [EIA]		87	EBウイルス抗EBNAIgG (EIA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3535	ツツガムシカーブ IgG		32	ツツガムシカーブIgG (FA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3537	ツツガムシカーブ IgM		32	ツツガムシカーブIgM (FA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3543	ツツガムシカトー IgG		32	ツツガムシカトーIgG (FA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3545	ツツガムシカトー IgM		32	ツツガムシカトーIgM (FA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3551	ツツガムシギリアム IgG		32	ツツガムシギリアムIgG (FA)
D012 45	ツツガムシ抗体半定量	203	免疫	3553	ツツガムシギリアム IgM		32	ツツガムシギリアムIgM (FA)
D012 46	レジオネラ抗原定性(尿)	205	免疫	4225	尿中レジオネラ抗原<部分尿>		32	尿レジオネラ抗原
D012 51	水痘ウイルス抗原定性(上皮細胞)	227	免疫	3751	水痘・帯状ヘルペスウイルス抗原 [FA]		90	水痘帯状ヘルペス抗原 (FA)
D012 52	エンドトキシン	229	免疫	3453	エンドトキシン検査<血液>		29	エンドトキシン検査
D012 54	百日咳菌抗体	257	免疫	3463	百日咳菌抗体[定量]		33	百日咳菌抗体 (EIA)
D012 57	サイトメガロウイルスpp65抗原定性	356	免疫	9305	サイトメガロウイルスpp65抗原 (C7-HRP)		88	サイトメガロウイルスPP65抗原

# 索引

(保険収載名称順)

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D012 60	HTLV-抗体(ウエスタンブロット法及びラインブロット法)	425	免疫	4012	HTLV-I抗体(ATLV抗体)[ラインブロット法]		88	HTLV-1(LIA)
D012 61	SARS-CoV-2抗原定量	560	免疫	3443	SARS-CoV-2抗原(唾液)		89	SARS CoV2抗原 唾液
D012 61	SARS-CoV-2抗原定量	560	免疫	3447	SARS-CoV-2抗原(鼻咽頭ぬぐい)		89	SARS CoV2抗原 鼻咽頭ぬぐい
D012 63	HIV-1特異抗体 HIV-2特異抗体	660	免疫	4013	HIV-1/2特異抗体		39	HIV-1/2特異抗体
D012 64	抗トリコスポロン・アサヒ抗体	822	免疫	3600	トリコスポロン・アサヒ抗体		29	トリコスポロンアサヒ抗体
D012 65	鳥特異的IgG抗体	873	免疫	3096	鳥特異的IgG抗体		23	鳥特異的IgG
<b>D013 肝炎ウイルス関連検査</b>								
D013 1	HBs抗原定性・半定量	29	免疫	3626	HBs抗原「定性」[CLEIA]		34	HBs抗原定性
D013 2	HBs抗体定性	32	免疫	3630	HBs抗体「定性」[CLEIA]		34	HBs抗体定性
D013 3	HBs抗原	88	免疫	3628	HBs抗原[CLIA]		34	HBs抗原精密
D013 3	HBs抗体	88	免疫	3632	HBs抗体[CLIA]		34	HBs抗体精密
D013 4	HBe抗原	98	免疫	3648	HBe抗原[CLIA]		34	HBe抗原精密
D013 4	HBe抗体	98	免疫	3652	HBe抗体[CLIA]		34	HBe抗体精密
D013 5	HCV抗体定性・定量	102	免疫	3910	HCV抗体		36	HCV抗体
D013 5	HCVコア蛋白	102	免疫	3931	HCVコア抗原(HCVコア蛋白)		36	HCVコア抗原
D013 6	HBc抗体半定量・定量	130	免疫	3640	HBc抗体「半定量」[PHA]		34	HBc抗体(PHA)
D013 6	HBc抗体半定量・定量	130	免疫	3642	HBc抗体[CLIA]		34	HBc抗体精密
D013 8	HBc-IgM抗体	146	免疫	3644	IgM-HBc抗体		34	IgM-HBcAb
D013 8	HA抗体	146	免疫	3897	IgG-HA抗体		34	IgG-HA抗体
D013 8	HA-IgM抗体	146	免疫	3899	IgM-HA抗体		34	IgM-HA抗体価
D013 10	HE-IgA抗体定性	210	免疫	3638	IgA-HEV(E型肝炎ウイルスIgA)		36	IgA-HEV
D013 11	HCV血清群別判定	215	免疫	3920	HCV群別判定(グルーピング)		36	HCVグルーピング
D013 12	HBVコア関連抗原(HBcrAg)	252	免疫	3662	B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcr抗原)		34	HBcr抗原
D013 14	HBVジェノタイプ判定	340	免疫	3651	HBVジェノタイプ		35	HBVジェノタイプ
<b>D014 自己抗体検査</b>								
D014 1	寒冷凝集反応	11	免疫	3518	寒冷凝集反応		28	寒冷凝集反応
D014 2	リウマトイド因子(RF)定量	30	免疫	4095	リウマトイド因子定量(RF定量)「定量」		18	リウマトイド因子
D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)定性	99	免疫	4030	抗核抗体(ANA)「定性」		18	抗核抗体定性(FA)
D014 5	抗核抗体(蛍光抗体法)半定量	99	免疫	4032	抗核抗体(ANA)「半定量」		18	抗核抗体(FA)
D014 6	抗インスリン抗体	107	免疫	4175	インスリン抗体		21-59	インスリン抗体(RIA)
D014 8	抗ガラクトース欠損IgG抗体定量	111	免疫	4103	抗ガラクトース欠損IgG抗体(CA-RF)		18	抗ガラクトース欠損IgG抗体価
D014 9	マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)	116	免疫	4100	MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ)		18	MMP-3
D014 10	抗サイログロブリン抗体	136	免疫	4153	抗サイログロブリン抗体(抗Tg抗体)		50	抗サイログロブリン抗体
D014 11	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	138	免疫	4147	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)		50	抗TPO抗体
D014 12	抗Jo-1抗体定量	140	免疫	4088	抗Jo-1抗体		19	抗Jo-1抗体
D014 13	抗RNP抗体定量	144	免疫	4065	抗RNP抗体		19	抗RNP抗体
D014 14	抗Sm抗体定量	147	免疫	4062	抗Sm抗体		19	抗Sm抗体
D014 16	抗Scl-70抗体定量	157	免疫	4077	抗Scl-70抗体		19	抗Scl-70抗体
D014 16	抗SS-B/La抗体定量	157	免疫	4069	抗SS-B/La抗体		19	抗SSB/La抗体
D014 17	抗DNA抗体定量	159	免疫	4036	抗DNA抗体「定量」		19	抗DNA抗体(RIA)
D014 17	抗DNA抗体定量	159	免疫	4041	抗ss-DNA抗体 IgG抗体		19	抗ss-DNA-IgG抗体(ELISA)
D014 17	抗DNA抗体定量	159	免疫	4049	抗ds-DNA抗体 IgG抗体		19	抗ds-DNA-IgG抗体(ELISA)
D014 18	抗SS-A/Ro抗体定量	161	免疫	4068	抗SS-A/Ro抗体		19	抗SSA/Ro抗体
D014 19	抗RNAポリメラーゼIII抗体	170	免疫	4078	抗RNAポリメラーゼIII抗体		19	抗RNAポリメラーゼIII抗体
D014 20	抗セントロメア抗体定量	174	免疫	4092	抗セントロメア抗体		20	抗セントロメア抗体
D014 21	抗ミトコンドリア抗体半定量	181	免疫	4108	抗ミトコンドリア抗体(AMA)「半定量」		20	抗ミトコンドリア抗体(FA)
D014 22	抗ミトコンドリア抗体定量	189	免疫	4109	抗ミトコンドリアM2抗体「定量」		20	抗ミトコンドリアM2
D014 23	抗ARS抗体	190	免疫	4029	抗ARS抗体		19	抗ARS抗体
D014 24	抗シトルリン化ペプチド抗体定量	193	免疫	4104	抗CCP抗体(抗シトルリン化ペプチド抗体)		18	抗CCP抗体
D014 26	IgG型リウマチ因子	198	免疫	4097	IgG型リウマチ因子		18	IgG型リウマチ因子(EIA)
D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAAb)	214	免疫	4159	TSHレセプター抗体(ヒト)(第2世代)		50	TSHレセAb(ヒト)
D014 27	抗TSHレセプター抗体(TRAAb)	214	免疫	4161	TSHレセプター抗体(第3世代)		50	TSHレセAb-3rd抗体第3世代
D014 28	抗LKM-1抗体	215	免疫	4241	抗LKM-1抗体(抗肝/腎ミクロソーム抗体)		20	抗肝/腎ミクロソーム抗体
D014 29	抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン複合体抗体	223	免疫	4214	抗カルジオリピン $\beta_2$ グリコプロテイン複合体抗体(抗CL $\beta_2$ GPI複合体抗体)		22	抗CL $\beta_2$ GPI
D014 30	抗カルジオリピンIgG抗体	226	免疫	4217	抗カルジオリピン抗体 IgG		22	抗カルジオリピンIgG抗体
D014 30	抗カルジオリピンIgM抗体	226	免疫	4219	抗カルジオリピン抗体 IgM		22	抗カルジオリピンIgM抗体
D014 30	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgG抗体	226	免疫	4249	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgG抗体		22	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgG抗体
D014 30	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgM抗体	226	免疫	4250	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgM抗体		22	抗 $\beta_2$ グリコプロテインI IgM抗体
D014 32	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)	251	免疫	4080	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)		20	MPO-ANCA
D014 33	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)	252	免疫	4082	抗好中球細胞質プロテイナーゼ3抗体(PR3-ANCA)		20	C-ANCA/PR3-ANCA
D014 34	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	262	免疫	4197	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)		18	抗GBM抗体
D014 35	ループスアンチコアグラント定量	265	免疫	4210	ループスアンチコアグラント[希釈ラッセル蛇毒時間法]		44	ループスアンチコアグラント
D014 35	ループスアンチコアグラント定量	265	免疫	4213	ループスアンチコアグラント[リン脂質中和法]		44	ループスアンチコアグラント
D014 36	抗BP180-NC16a抗体	270	免疫	4230	抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)		20	抗BP180抗体
D014 36	抗デスマグレイン3抗体	270	免疫	4239	抗デスマグレイン3抗体		20	抗デスマグレイン3
D014 37	抗MDA5抗体	270	免疫	4091	抗MDA5抗体		19	抗MDA5抗体
D014 37	抗TIF1- $\gamma$ 抗体	270	免疫	4090	抗TIF1- $\gamma$ 抗体		19	抗TIF1 $\gamma$ 抗体

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D014 37	抗Mi-2抗体	270	免疫	4089	抗Mi-2抗体	抗Mi-2抗体	19	抗Mi-2抗体
D014 39	抗デスモグレイン1抗体	300	免疫	4238	抗デスモグレイン1抗体	抗デスモグレイン1抗体	20	抗デスモグレイン1
D014 40	甲状腺刺激抗体(TSAb)	330	免疫	4155	甲状腺刺激抗体	甲状腺刺激抗体	50	TSAb
D014 41	IgG <sub>4</sub>	377	免疫	3123	IgG <sub>4</sub>	IgG <sub>4</sub>	23	IgG <sub>4</sub>
D014 45	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	775	免疫	4188	抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	抗AChレプター結合抗体(RIA)	21	抗AChレプター結合抗体(RIA)
D014 47	抗アクアポリン4抗体	1000	免疫	4185	抗アクアポリン4(AQP4)抗体	抗アクアポリン4抗体	20	抗アクアポリン4抗体
<b>D015 血漿蛋白免疫学的検査</b>								
D015 1	C反応性蛋白(CRP)定性	16	免疫	3230	CRP(C反応性蛋白)「定性」	CRP(C反応性蛋白)「定性」	28	CRP定性
D015 1	C反応性蛋白(CRP)	16	免疫	3231	CRP(C反応性蛋白)「定量」	CRP(C反応性蛋白)「定量」	28	CRP
D015 4	免疫グロブリン(IgG)	38	免疫	3103	IgG	IgG	23	IgG
D015 4	免疫グロブリン(IgA)	38	免疫	3106	IgA	IgA	23	IgA
D015 4	免疫グロブリン(IgM)	38	免疫	3109	IgM	IgM	23	IgM
D015 4	血清補体価(CH50)	38	免疫	3150	血清補体価(CH50)	補体価CH50	18	補体価CH50
D015 6	血清アミロイドA蛋白(SAA)	47	免疫	3251	SAA蛋白(血清アミロイドA蛋白)	SAA蛋白精密測定	28	SAA蛋白精密測定
D015 7	トランスフェリン(Tf)	60	免疫	3223	トランスフェリン(Tf)	トランスフェリン	3	トランスフェリン
D015 8	C <sub>3</sub>	70	免疫	3156	補体C <sub>3</sub>	C3蛋白(免疫比濁法)	18	C3蛋白(免疫比濁法)
D015 8	C <sub>4</sub>	70	免疫	3158	補体C <sub>4</sub>	C4蛋白(免疫比濁法)	18	C4蛋白(免疫比濁法)
D015 9	セルロプラスミン	90	免疫	3214	セルロプラスミン	セルロプラスミン	3	セルロプラスミン
D015 10	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン	98	免疫	3226	β <sub>2</sub> -MG(β <sub>2</sub> -マイクログロブリン)<血液>	β <sub>2</sub> -MG	3	β <sub>2</sub> -MG
D015 10	β <sub>2</sub> -マイクログロブリン	98	免疫	3228	β <sub>2</sub> -MG(β <sub>2</sub> -マイクログロブリン)<部分尿>	尿中β <sub>2</sub> -MG	3	尿中β <sub>2</sub> -MG
D015 11	非特異的IgE定量	100	免疫	3125	IgE(非特異的IgE)	IgE(RIST)	23	IgE(RIST)
D015 12	トランスサイレチン(プレアルブミン)	101	免疫	3193	プレアルブミン(トランスサイレチン)	プレアルブミン	1	プレアルブミン
D015 13	特異的IgE半定量・定量	110	免疫		特異的IgE(IgE-RAST)シングルアレルゲン	特異的IgE(IgE-RAST)シングルアレルゲン	24	特異的IgE(IgE-RAST)シングルアレルゲン
D015 13	特異的IgE半定量・定量	110	免疫		特異的IgE(CAP-RAST)マルチアレルゲン	特異的IgE(CAP-RAST)マルチアレルゲン	24	特異的IgE(CAP-RAST)マルチアレルゲン
D015 13	特異的IgE半定量・定量	110	免疫	3047	特異的IgE Arah2(ピーナッツ由来)	特異的IgE Arah2(ピーナッツ由来)	24	[Arah2]ピーナッツ由来
D015 13	特異的IgE半定量・定量	1430	免疫	3072	特異的IgE(MAST36アレルゲン)	特異的IgE(MAST36アレルゲン)	24	MAST36
D015 13	特異的IgE半定量・定量	1430	免疫	3071	特異的IgE(View39)	特異的IgE(View39)	24	View39
D015 14	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン	129	免疫	3196	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン<血液>	血中α <sub>1</sub> -MG	2	血中α <sub>1</sub> -MG
D015 14	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン	129	免疫	3197	α <sub>1</sub> -マイクログロブリン<部分尿>	尿中α <sub>1</sub> -MG	2	尿中α <sub>1</sub> -MG
D015 14	ハプトグロビン(型補正を含む)	129	免疫	3211	ハプトグロビン	ハプトグロビン	3	ハプトグロビン
D015 15	レチノール結合蛋白(RBP)	132	免疫	3195	レチノール結合蛋白(RBP)	レチノール結合TPRBP	2	レチノール結合TPRBP
D015 17	免疫電気泳動法(抗ヒト全血清)	170	免疫	3136	免疫電気泳動[抗ヒト全血清による同定]	免疫電気泳動抗ヒト全血清	23	免疫電気泳動抗ヒト全血清
D015 18	TARC	179	免疫	3094	TARC(ヒトTARC)(Th2ケモカイン)	TARC(Th2ケモカイン)	24	TARC(Th2ケモカイン)
D015 20	APRスコア定性	191	免疫	3234	新生児APRスコア	APRスコア	28	APRスコア
D015 21	アトピー 鑑別試験定性	194	免疫	3093	アトピー 鑑別試験特異的IgE(ファディアトープ)	アトピー 鑑別試験特異的IgE(ファディアトープ)	24	ファディアトープ
D015 22	Bence Jones蛋白同定(尿)	201	免疫	4956	ベンス・ジョーンズ蛋白(Bence Jones蛋白)「同定」<部分尿>	尿B <sub>2</sub> JTP同定	23	尿B <sub>2</sub> JTP同定
D015 23	癌胎児性フィブロネクチン定性(頸管腔分泌液)	204	免疫	3253	癌胎児性フィブロネクチン(PTD)	頸管フィブロネクチン	60	頸管フィブロネクチン
D015 24	免疫電気泳動法(特異抗血清)	218	免疫	3139	免疫電気泳動[特異抗血清による同定]	免疫電気泳動特異抗血清	23	免疫電気泳動特異抗血清
D015 25	C <sub>1</sub> インアクチベーター	253	免疫	3171	C <sub>1</sub> インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒター活性)	C <sub>1</sub> インアクチベーター	43	C <sub>1</sub> インアクチベーター
D015 26	SCCA2	300	免疫	3095	SCCA2	SCCA2	24	SCCA2
D015 28	sFlt-1/PIGF比	340	免疫	4500	sFlt-1/PIGF	sFlt-1/PIGF	61	sFlt-1/PIGF
D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能	593	免疫	4706	T-SPOT.TB(結核菌特異的インターフェロン-γ産生能)	T-SPOT.TB	114	T-SPOT.TB
D015 30	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能	593	免疫	4485	クオンティフェロン(QFT-plus)(TbIFN-γ産生能)	クオンティフェロンQFT-plus	112	クオンティフェロンQFT-plus
<b>D016 細胞機能検査</b>								
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4381	B細胞表面免疫グロブリン IgG(Sm-Ig IgG)	B細胞表面免疫グロブリン IgG(Sm-Ig IgG)	108	SmIlgG
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4382	B細胞表面免疫グロブリン IgA(Sm-Ig IgA)	B細胞表面免疫グロブリン IgA(Sm-Ig IgA)	108	SmIlgA
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4383	B細胞表面免疫グロブリン IgM(Sm-Ig IgM)	B細胞表面免疫グロブリン IgM(Sm-Ig IgM)	108	SmIlgM
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4384	B細胞表面免疫グロブリン IgD(Sm-Ig IgD)	B細胞表面免疫グロブリン IgD(Sm-Ig IgD)	108	SmIlgD
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4385	B細胞表面免疫グロブリン κ(Sm-Ig κ)	B細胞表面免疫グロブリン κ(Sm-Ig κ)	108	SmIlgK(Kappa)
D016 1	B細胞表面免疫グロブリン	155	免疫	4386	B細胞表面免疫グロブリン λ(Sm-Ig λ)	B細胞表面免疫グロブリン λ(Sm-Ig λ)	108	SmIlgλ(Lambda)
D016 3	T細胞・B細胞百分率	193	免疫	9097	T細胞百分率 B細胞百分率	T細胞百分率 B細胞百分率	108	T細胞百分率 B細胞百分率
D016 3	T細胞・B細胞百分率	193	免疫		IgG-FcR+T細胞百分率	IgG-FcR+T細胞百分率	108	IgG-FcR+T細胞百分率
D016 7	リンパ球刺激試験(LST)(一薬剤)	345	免疫	4363	PHAによるリンパ球幼若化検査	PHAによるリンパ球幼若化検査	110	リンパ球幼若化PHA
D016 7	リンパ球刺激試験(LST)(一薬剤)	345	免疫	4365	Con-Aによるリンパ球幼若化検査	Con-Aによるリンパ球幼若化検査	110	リンパ球幼若化Con-A
<b>微生物学的検査</b>								
<b>D017 排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査</b>								
D017 1	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(蛍光顕微鏡、位相顕微鏡、免疫蛍光顕微鏡等を使用するもの)	50	微生物	細2002	抗酸菌検査 塗抹鏡検[蛍光法]	抗酸菌検査 塗抹鏡検[蛍光法]	100	抗酸菌検査 塗抹鏡検[蛍光法]
D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)	67	微生物	5036	赤痢アメーバ	赤痢アメーバ	32	赤痢アメーバ
D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)	67	微生物	細1001	一般細菌検査 塗抹鏡検[グラム染色]	一般細菌検査 塗抹鏡検[グラム染色]	94	一般細菌検査 塗抹鏡検[グラム染色]
D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)	67	微生物	細1002	白癬菌 塗抹鏡検[KOH法]	白癬菌 塗抹鏡検[KOH法]	94	白癬菌 塗抹鏡検[KOH法]
D017 3	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査(その他のもの)	67	微生物	細2001	抗酸菌検査 塗抹鏡検[チールネルゼン法]	抗酸菌検査 塗抹鏡検[チールネルゼン法]	100	抗酸菌検査 塗抹鏡検[チールネルゼン法]
<b>D018 細菌培養同定検査</b>								
D018 1	細菌培養同定検査(口腔、気道又は呼吸器からの検体)	180	微生物	細1101	一般細菌 培養同定<口腔、気道、呼吸器>	一般細菌 培養同定<口腔、気道、呼吸器>	94	一般細菌 培養同定<口腔、気道、呼吸器>
D018 2	細菌培養同定検査(消化管からの検体)	200	微生物	細1101	一般細菌 培養同定<消化管>	一般細菌 培養同定<消化管>	94	一般細菌 培養同定<消化管>
D018 2	細菌培養同定検査(消化管からの検体)	200	微生物	細7852	ヘリコバクター・ピロリ培養	ヘリコバクター・ピロリ培養	99	ヘリコバクター・ピロリ培養
D018 3	細菌培養同定検査(血液又は穿刺液)	225	微生物	細1101	一般細菌 培養同定<血液、穿刺液>	一般細菌 培養同定<血液、穿刺液>	94	一般細菌 培養同定<血液、穿刺液>
D018 4	細菌培養同定検査(泌尿器又は生殖器からの検体)	190	微生物	細1101	一般細菌 培養同定<泌尿器、生殖器>	一般細菌 培養同定<泌尿器、生殖器>	94	一般細菌 培養同定<泌尿器、生殖器>

# 索引

(保険収載名称順)

索引

保険区分	保険収載名	実施料	判断料	項目コード	総合検査案内	項目名称	頁	報告書名称
D018 5	細菌培養同定検査(その他の部位からの検体)	180	微生物	細1101	一般細菌 培養同定<その他の部位>		94	
D018 6	簡易培養	60	微生物	細1108	白癬菌培養		99	
D018 6	簡易培養	60	微生物	細1106	MRSA培養		99	
D018 6	簡易培養	60	微生物	細1109	カンジダ簡易培養		99	
D018 6	簡易培養	60	微生物	細1110	トリコモナス培養		99	
D018 +注1	細菌培養同定検査(嫌気性培養加算)	122	微生物	細1102・細1113	一般細菌 嫌気性菌培養		94	
<b>D019 細菌薬剤感受性検査</b>								
D019 1	1菌種	185	微生物		一般細菌検査 1菌種 感受性検査		95	
D019 2	2菌種	240	微生物		一般細菌検査 2菌種 感受性検査		95	
D019 3	3菌種以上	310	微生物		一般細菌検査 3菌種以上 感受性検査		95	
<b>D020 抗酸菌分離培養検査</b>								
D020 1	抗酸菌分離培養(液体培地法)	300	微生物	細2010	抗酸菌検査 分離培養 1 (MGIT)		100	
D020 2	抗酸菌分離培養(それ以外のもの)	209	微生物	細2003	抗酸菌検査 分離培養 2 (小川)		100	
<b>D021 抗酸菌同定(種目数にかかわらず一連につき)</b>								
D021	抗酸菌同定(種目数にかかわらず一連につき)	361	微生物	細3006	抗酸菌同定		100	
<b>D022 抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)</b>								
D022	抗酸菌薬剤感受性検査(培地数に関係なく)	400	微生物	細2007	抗酸菌検査 感受性検査		100	
<b>D023 微生物核酸同定・定量検査</b>								
D023 1	クラミジアトラコマチス核酸検出	188	微生物	3418	クラミジアトラコマチス核酸増幅同定検査<分泌物 初尿うがい液>	30	クラミジアトラコマチス核酸同定PCR	
D023 2	淋菌核酸検出	198	微生物	3419	淋菌核酸増幅同定検査<分泌物 初尿うがい液>[リアルタイムPCR法]	30	淋菌核酸同定(PCR)	
D023 4	HBV核酸定量	256	微生物	3617	HBV-DNA[定量][リアルタイムPCR法]	34	HBV-DNA定量リアルタイムPCR	
D023 5	淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸検出	262	微生物	800	淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸検出	30		
D023 6	マイコプラズマ核酸検出	291	微生物	4228	マイコプラズマニューモニエ核酸同定<喀痰>	28	マイコプラズマLAMP法(喀痰)	
D023 6	マイコプラズマ核酸検出	291	微生物	4229	マイコプラズマニューモニエ核酸同定<咽頭、鼻咽頭拭い液>	28	マイコプラズマLAMP法(咽頭)	
D023 10	HPV核酸検出	347	微生物	9206	HPV-DNA(LBC)ハイリスクグループ	89	HPV-DNA(LBC)ハイリスクグループ	
D023 11	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	347	微生物	3761	HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	89	HPVウイルスDNA16型18型	
D023 12	腫トリコモナス及びマイコプラズマジェニタリウム核酸同時検出	350	微生物	3413	腫トリコモナス/マイコプラズマジェニタリウム核酸同時検出	30	腫トリコモナス/ジェニタリウムPCR	
D023 13	百日咳菌核酸検出	360	微生物	3769	百日咳菌核酸検出	33	百日咳菌核酸検出LAMP法	
D023 14	結核菌群核酸検出	410	微生物	細3002	結核菌群核酸検出(TRC)	100		
D023 15	HCV核酸定量	412	微生物	3900	HCV核酸定量[TaqMan PCR法]	36	HCV RNA定量TaqMan法	
D023 16	マイコバクテリウムアビウム及びイントラセルラー(MAC)核酸検出	421	微生物	細3003	マイコバクテリウムアビウムイントラセルラー核酸検出(TRC)	100		
D023 18	HIV-1核酸定量	520	微生物	9342	HIV-1 RNA定量[RT-PCR法]	39	HIV-1 RNA定量	
D023 19	SARS-CoV-2核酸検出	700	微生物	3440	SARS-CoV-2核酸検出	89	SARS-CoV-2(PCR)	
D023 25	HPVジェノタイプ判定	2000	微生物	9228	ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	89	ヒトパピローマジェノタイプ判定	
<b>D023-2 その他の微生物学的検査</b>								
D023-2 2	尿素呼気試験(UBT)	70	微生物	4531	尿素呼気試験	33	尿素呼気試験	
D023-2 3	大腸菌ペロトキシン定性	184	微生物	細1207	大腸菌ペロトキシン	99		
<b>病理標本作製料</b>								
<b>N000 病理組織標本作製(1臓器につき)</b>								
N000	病理組織標本作製(1臓器につき)	860	病理	病1001	病理組織検査 1臓器	102		
N000	病理組織標本作製(1臓器につき)	1720	病理	病1002	病理組織検査 2臓器	102		
N000	病理組織標本作製(1臓器につき)	2580	病理	病1003	病理組織検査 3臓器	102		
<b>N004 細胞診(1部位につき)</b>								
N004 1	婦人科材料等によるもの	150	病理	病2001	細胞診 婦人科直接塗抹法<婦人科>[直接塗抹法]	104		
N004 1+注1	婦人科材料等によるもの+液状化検体:細胞診加算	150+45	病理	病2007	細胞診 婦人科 LBC法<婦人科>[液状化検体細胞診]	104		
N004 2	穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等によるもの	190	病理	病2003	細胞診検査 <喀痰、その他>	104		
<b>医学管理等</b>								
<b>B001 [2] 特定薬剤治療管理料</b>								
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1699	カルバマゼピン	72	カルバマゼピン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1703	クロナゼパム	72	クロナゼパム	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1705	ジアゼパム	72	ジアゼパム	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1707	エトサクシミド	72	エトサクシミド	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1719	ニトラゼパム	72	ニトラゼパム	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1723	フェノバルビタール	72	フェノバルビタール	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1727	フェニトイン	72	フェニトイン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1729	ラモトリギン	72	ラモトリギン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1731	プリミドン	72	プリミドン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1735	バルプロ酸Na	72	バルプロ酸Na	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1739	トリメタジオン	72	トリメタジオン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1741	ゾニサミド	72	ゾニサミド	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1827	クロバザム	72	クロバザム	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1831	ガバペンチン	72	ガバペンチン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1761	ハロペリドール	73	ハロペリドール	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1763	プロムペリドール	73	プロムペリドール	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1769	リチウム	73	リチウム	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1811	ジゴキシシン	73	ジゴキシシン	
B001 2	特定薬剤治療管理料		特定薬剤治療管理料	1854	テオフィリン	73	テオフィリン	



# 包括項目と項目ごとの点数

## 出血・凝固検査

Dダイマー定性	121点	von Willebrand因子(VWF)抗原	147点	トロンボモジュリン	204点
von Willebrand因子(VWF)活性	126点	プラスミン・プラスミンインヒター複合体(PIC)	150点	フィブリンモノマー複合体	215点
Dダイマー	127点	プロテインS抗原	154点	凝固因子(第II因子、第V因子、第VII因子、第VIII因子、第IX因子、第X因子、第XI因子、第XII因子、第XIII因子)	223点
プラスミンインヒター(アンチプラスミン)	128点	プロテインS活性	163点	プロテインC抗原	226点
Dダイマー半定量	128点	$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	171点	プロテインC活性	227点
$\alpha$ 2-マクログロブリン	138点	トロンピン・アンチトロンピン複合体(TAT)	171点	tPA・PAI-1複合体	240点
PIVKA-II	143点	血小板第4因子(PF <sub>4</sub> )	173点		
凝固因子インヒター	144点	プロトロンビンフラグメントF1+2	192点		

3項目又は4項目 530点      5項目以上 722点

## 生化学的検査 I (血液化学検査)

総ビリルビン	11点	マグネシウム	11点	リン脂質	15点
直接ビリルビン又は抱合型ビリルビン	11点	クレアチン	11点	HDLコレステロール	17点
総蛋白	11点	グルコース	11点	無機リン及びリン酸	17点
アルブミン(BCP改良法・BCG法)	11点	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	11点	総コレステロール	17点
尿素窒素	11点	アミラーゼ	11点	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ(AST)	17点
クレアチニン	11点	ロイシナミノパプチダーゼ(LAP)	11点	アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)	17点
尿酸	11点	クレアチンキナーゼ(CK)	11点	LDLコレステロール	18点
アルカリホスファターゼ(ALP)	11点	アルドラーゼ	11点	蛋白分画	18点
コリンエステラーゼ(ChE)	11点	遊離コレステロール	11点	銅(Cu)	23点
$\gamma$ -グルタミルトランスフェラーゼ( $\gamma$ -GT)	11点	鉄(Fe)	11点	リパーゼ	24点
中性脂肪	11点	血中ケトン体・糖・クロール検査(試験紙法・アンブル法・固定化酵素電極によるもの)	11点	イオン化カルシウム	26点
ナトリウム及びブフロール	11点	不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)	11点	マンガン(Mn)	27点
カリウム	11点	総鉄結合能(TIBC)(比色法)	11点		
カルシウム	11点				

5項目以上7項目以下 93点      8項目又は9項目 99点      10項目以上 103点

## 生化学的検査 II (内分泌学的検査)

卵巣刺激ホルモン(FSH)	105点	グルカゴン	150点	エストロゲン定量	180点
C-ペプチド(CPR)	105点	低カルポキシ化オステオカルシン(ucOC)	154点	副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)	180点
黄体形成ホルモン(LH)	105点	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)	156点	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	184点
成長ホルモン(GH)	105点	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	156点	カテコールアミン	184点
テストステロン	119点	オステオカルシン(OC)	157点	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	186点
遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )	121点	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	157点	デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	191点
遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	121点	遊離テストステロン	159点	17-ケトジェニックステロイド(17-KGS)	200点
コルチゾール	121点	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(PINP)	160点	エリスロポエチン	209点
アルドステロン	122点	副甲状腺ホルモン(PTH)	161点	ソマトメジンC	212点
サイログロブリン	128点	カテコールアミン分画	161点	プレグナンジオール	213点
ヒト絨毛性ゴナドトロピン- $\beta$ サブユニット(HCG- $\beta$ )	129点	インタクト I 型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact PINP)	163点	17-ケトステロイド分画(17-KS分画)	213点
サイロキシン結合グロブリン(TBG)	130点	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	164点	17 $\alpha$ -ヒドロキシprogステロン(17 $\alpha$ -OHP)	213点
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	130点	サイクリックAMP(cAMP)	165点	抗IA-2抗体	213点
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	130点	低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	165点	メタネフリン	217点
脳性Na利尿ペプチド(BNP)	130点	エストラジオール(E <sub>2</sub> )	167点	17-ケトジェニックステロイド分画(17-KGS分画)	220点
カルシトニン	130点	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド- $\beta$ 異性体( $\beta$ -CTX)(尿)	169点	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	220点
抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)	134点	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド- $\beta$ 異性体( $\beta$ -CTX)	170点	心房性Na利尿ペプチド(ANP)	221点
脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	136点	エストリオール(E <sub>3</sub> )	180点	抗利尿ホルモン(ADH)	224点
ヒト胎盤性ラクトーゲン(HPL)	136点	エストロゲン半定量	180点	プレグナントリオール	232点
サイロキシン結合能(TBC)	137点			ノルメタネフリン	250点
プロゲステロン	143点			インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)	280点
				遊離メタネフリン・遊離ノルメタネフリン分画	450点

3項目以上5項目以下 410点      6項目又は7項目 623点      8項目以上 900点

# 包括項目と項目ごとの点数

## 腫瘍マーカー

α-フェトプロテイン(AFP) …………… 98点	シアリルLex-i抗原(SLX)…………… 140点	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%) 185点
癌胎児性抗原(CEA)…………… 99点	神経特異エノラーゼ(NSE)…………… 142点	CA602 …………… 190点
扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)…………… 101点	Span-1 …………… 144点	組織因子経路インヒビター2(TFPI2) 190点
組織ポリペプチド抗原(TPA) …………… 110点	CA72-4…………… 146点	γ-セミノプロテイン(γ-Sm) …………… 192点
NCC-ST-439 …………… 112点	シアリルTn抗原(STN)…………… 146点	ヒト精巢上体蛋白4(HE4) …………… 200点
CA15-3…………… 112点	塩基性フェトプロテイン(BFP) …………… 150点	可溶性メソレリン関連ペプチド …………… 220点
DUPAN-2…………… 115点	遊離型PSA比(PSA F/T比)…………… 150点	S2、3PSA% …………… 248点
エラスターゼ1 …………… 120点	サイトケラチン19フラグメント(シフラ) 154点	プロステートヘルスインデックス(phi) 281点
前立腺特異抗原(PSA)…………… 121点	シアリルLex抗原(CSLEX) …………… 156点	癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液) 305点
CA19-9…………… 121点	BCA225 …………… 158点	癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液) 305点
PIVKA-II半定量 …………… 131点	サイトケラチン8・18(尿)…………… 160点	HER2蛋白…………… 320点
PIVKA-II定量 …………… 131点	抗p53抗体…………… 163点	アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム 335点
CA125 …………… 136点	I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP) 170点	可溶性インターロイキン-2レセプター(sil-2R) 438点
核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿) 139点	ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP) 175点	
核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿) 139点	CA54/61 …………… 184点	

2項目 230点      3項目 290点      4項目以上 385点

※核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)・定量(尿)は尿路上皮癌の診断が確定した後にいった場合でも悪性腫瘍特異物質治療管理料は算定できない。  
 ※I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP)、HER2蛋白は悪性腫瘍と既に確定診断された患者が対象となるので、腫瘍マーカーの区分では算定されることはない。

## 肝炎ウイルス関連検査

HBs抗原 …………… 88点	HCVコア抗体 …………… 143点	HCV血清群別判定 …………… 215点
HBs抗体 …………… 88点	HA-IgM抗体…………… 146点	HBVコア関連抗原(HBcrAg)…………… 252点
HBe抗原 …………… 98点	HA抗体 …………… 146点	デルタ肝炎ウイルス抗体 …………… 330点
HBe抗体 …………… 98点	HBc-IgM抗体 …………… 146点	HCV特異抗体価 …………… 340点
HCV抗体定性・定量 …………… 102点	HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性 160点	HBVジェノタイプ判定 …………… 340点
HCVコア蛋白 …………… 102点	HCV構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量 160点	
HBc抗体半定量・定量 …………… 130点	HE-IgA抗体定性 …………… 210点	

3項目 290点      4項目 360点      5項目以上 425点

## 自己抗体検査

抗サイログロブリン抗体 …………… 136点	抗Sm抗体半定量 …………… 147点	抗SS-A/Ro抗体定性 …………… 161点
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 …………… 138点	抗Sm抗体定量 …………… 147点	抗SS-A/Ro抗体半定量 …………… 161点
抗Jo-1抗体定性 …………… 140点	C <sub>1</sub> q結合免疫複合体 …………… 153点	抗SS-A/Ro抗体定量 …………… 161点
抗Jo-1抗体半定量 …………… 140点	抗Scl-70抗体定性 …………… 157点	抗RNAポリメラーゼIII抗体 …………… 170点
抗Jo-1抗体定量 …………… 140点	抗Scl-70抗体半定量 …………… 157点	抗ARS抗体 …………… 190点
抗RNP抗体定性 …………… 144点	抗Scl-70抗体定量 …………… 157点	抗MDA5抗体 …………… 270点
抗RNP抗体半定量 …………… 144点	抗SS-B/La抗体定性 …………… 157点	抗Mi-2抗体 …………… 270点
抗RNP抗体定量 …………… 144点	抗SS-B/La抗体半定量 …………… 157点	抗TIF-γ抗体 …………… 270点
抗Sm抗体定性 …………… 147点	抗SS-B/La抗体定量 …………… 157点	

2項目 320点      3項目以上 490点

### ●実施料・判断料

実施料・判断料は、項目ページ、下段をご参照下さい。

尿・糞	尿・糞便等検査判断料	34点
遺・染	遺伝子関連・染色体検査判断料	100点
血	血液学的検査判断料	125点
生I	生化学的検査(I)判断料	144点
生II	生化学的検査(II)判断料	144点
免	免疫学的検査判断料	144点
微	微生物学的検査判断料	150点
病	病理判断料	130点

### ●輸血に係る検査の加算点数

検査項目	加算点数
輸血に伴って行った、患者の 血液型検査(ABO式及びRh式)	54
不規則抗体検査 (検査回数にかかわらず1月につき)	197
(頻回に輸血を行う場合は、1週間に1回を限度として)	197
※頻回に輸血を行う場合は、週1回以上、当該月で3週以上にわたり行われるものである。	
輸血に伴って行った 血液交叉試験 (1回につき)	30
間接クームス試験 (1回につき)	47
※自家採血を使用する場合は供血者ごとに、保存血を使用する場合は血液バッグ(袋)1バッグごとに加算する。	

# 腫瘍マーカー検体検査実施料と悪性腫瘍特異物質治療管理料

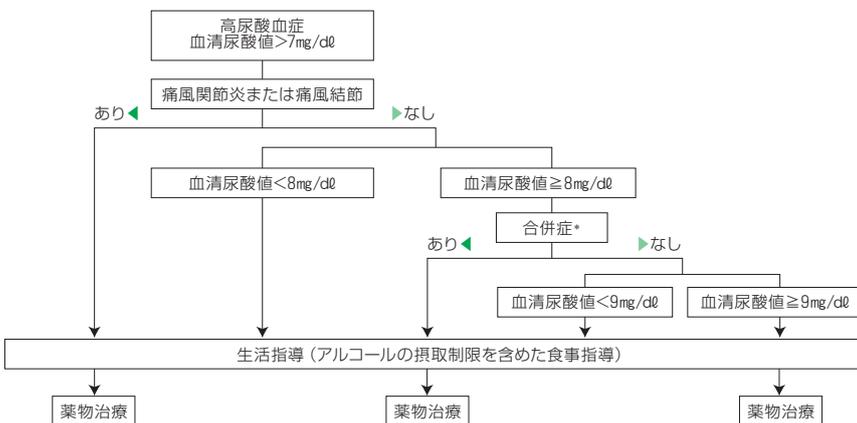
検査項目名	検体検査実施料	悪性腫瘍特異物質治療管理料
尿中BTA ※1	80	220点
α-フェトプロテイン(AFP)	98	<p>1項目360点</p> <p>2項目以上400点</p> <p>初回月加算150点 ※3</p> <p><b>【悪性腫瘍特異物質治療管理料について】</b></p> <p>(1)悪性腫瘍であると既に確定診断がされた患者について、腫瘍マーカー検査を行い、当該検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り算定する。</p> <p>(2)腫瘍マーカー検査、当該検査に係る採血及び当該検査の結果に基づく治療管理に係る費用が含まれるものであり、1月のうち2回以上腫瘍マーカー検査を行っても、それに係る費用は別に算定できない。</p> <p>(3)腫瘍マーカー検査の結果及び治療計画の要点を診療録に添付又は記載する。</p> <p>(4)D009腫瘍マーカー検査において、併算定が制限されている項目を同一月に併せて実施した場合には、1項目とみなして、本管理料を算定する。</p> <p>※1 「悪性腫瘍特異物質治療管理料」としてのみ算定可。</p> <p>※2 「検体検査実施料」としてのみ算定可。「悪性腫瘍特異物質治療管理料」は算定できない。</p> <p>※3 当該初回月の先月に腫瘍マーカー検査実施料の所定点数を算定している場合は、当該初回月加算は算定できない。</p>
癌胎児性抗原(CEA)	99	
扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	101	
組織ポリペプチド抗原(TPA)	110	
NCC-ST-439	112	
CA15-3		
DUPAN-2	115	
エラスターゼ1	120	
CA19-9	121	
前立腺特異抗原(PSA)		
PIVKA II 半定量	131	
PIVKA II 定量		
CA125	136	
核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)※2	139	
核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)※2		
シアリルLex-i抗原(SLX)	140	
神経特異エノラーゼ(NSE)	142	
Span-1	144	
CA72-4	146	
シアリルTn抗原(STN)		
塩基性フェトプロテイン(BFP)	150	
遊離型PSA比(PSA F/T比)		
サイトケラチン19フラグメント(シフラ)	154	
シアリルLex抗原(CSLEX)	156	
BCA225	158	
サイトケラチン8・18(尿) ※2	160	
抗p53抗体	163	
I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP) ※1	170	
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	175	
CA54/61	184	
α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%)	185	
CA602	190	
組織因子経路インヒビター2(TFPI2)		
γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	192	
ヒト精巢上体蛋白4(HE4)	200	
可溶性メソテリン関連ペプチド	220	
S2,3PSA%	248	
プロステートヘルスインデックス(phi)	281	
癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)	305	
癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液)		
HER2蛋白 ※1	320	
アポリポ蛋白A2(APOA2)アイソフォーム	335	
可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)	438	
I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)		
デオキシピリジノリン(DPD)(尿)		
酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)		

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1001	総蛋白(TP)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	6.6~8.1 g/dℓ	Biuret法		肝硬変症 劇症肝炎 ネフローゼ症候群 多発性骨髄腫
1002	アルブミン(Alb)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	4.1~5.1 g/dℓ	BCP改良法		栄養失調症 肝硬変症 ネフローゼ症候群
1004	A/G比	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3		1 ⑤	1.32~2.23	Biuret法 BCP改良法		肝障害 ネフローゼ症候群 蛋白異常症
3193	プレアルブミン (トランスサイレチン)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	101 免	3~6 s	22.0~40.0 mg/dℓ	免疫比濁法		栄養失調症 食事摂取不足 肝障害
1007	蛋白分画	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	18 生 I	2 ⑤	A/G 1.44~2.39 Alb 59.0~70.5 α <sub>1</sub> 1.8~3.8 α <sub>2</sub> 5.8~10.5 β 6.5~10.9 γ 10.5~20.5 %	電気泳動法		ネフローゼ症候群 劇症肝炎 M蛋白血症 肝硬変症
1181	尿素窒素 (UN) (BUN)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	8.0~20.0 mg/dℓ	ウレアーゼ GLDH法		尿毒症 慢性腎不全 肝不全
6162		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2 ①	mg/dℓ			
1182		蓄尿 5.0 K-5			7.00~14.00 g/day		尿量を記入して下さい。	
1178	尿酸(UA)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	M: 3.7~7.8 F: 2.6~5.5 mg/dℓ	ウリカーゼ POD法		痛風 白血病 慢性腎炎
6158		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2 ①	mg/dℓ			
1179		蓄尿 5.0 K-5			0.40~1.00 g/day		尿量を記入して下さい。	

蛋白・含窒素成分・膠質反応

生化学的検査

## ●高尿酸血症の治療方針



\*腎障害、尿路結石、高血圧、虚血性心疾患、糖尿病、メタボリックシンドロームなど 参考文献：高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン

■「蛋白分画」、「総蛋白」及び「アルブミン(BCP改良法)」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。

■アルブミン(BCP改良法・BCG法)のうち、BCG法によるもの 経過措置(令和8年5月31日までの間に限り、算定できるものとする。)

### 実施料について(生化I)

一回に 〇印の項目を5項目以上行った場合	
1) 5項目以上7項目以下	生化I 93点
2) 8項目又は9項目	生化I 99点
3) 10項目以上	生化I 103点

S-1



生化学・免疫学用汎用容器

K-5



滅菌スピッツ

## 2 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1191	アンモニア (NH <sub>3</sub> )	血液 1.0 S-4 冷 ↓ 遠心 上澄液 3.0	50 生 I	1 ㊟	30~86 μg/dL	藤井 奥田 変法	除蛋白液4.0mLに血液1.0mLを混合し、充分攪拌し、ただちに遠心分離します。その上清を提出して下さい。	肝性脳症 肝硬変症 劇症肝炎 尿毒症
1170	クレアチニン (CRE)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ㊟	M: 0.65~1.07 F: 0.46~0.79 mg/dL	酵素法		腎機能低下 尿路結石症 腎炎 腎不全
6154		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2 ㊟	mg/dL			
1176		蓄尿 5.0 K-5	1~2 ㊟	1.00~1.50 g/day	蓄尿量を記入して下さい。			
1190	eGFRcreat (推算糸球体濾過量)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5		1~2 ㊟	mL/min/1.73m <sup>2</sup>		年齢・血清クレアチニン値・性別にて計算	
3180	シスタチンC	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	112 生 I	1 ㊟	M: 0.63~0.95 F: 0.56~0.87 mg/L	金コロイド 比色法		急性腎炎 腎機能低下 腎障害 慢性腎炎
3181	eGFRcys (推算糸球体濾過量)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5		1~2 ㊟	mL/min/1.73m <sup>2</sup>		年齢・血清シスタチンC値・性別にて計算	
4970	L型脂肪酸結合蛋白 (L-FABP)	部分尿 1.0 冷 K-5(G-3)	210 尿糞	4~6 s	8.4以下 μg/g-Cr	CLEIA	凍結保存は避けて下さい	糸球体腎炎 薬剤性腎障害 糖尿病性腎症
3195	レチノール 結合蛋白 (RBP)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	132 免	3~6 s	M: 2.7~6.0 F: 1.9~4.6 mg/dL	ラテックス 比濁法		ビタミンA欠乏症 クワシオルコル 肝疾患
3196	α <sub>1</sub> -マイクログロ ブリン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	129 免	3~6 s	M: 12.5~25.5 F: 11.0~19.0 mg/L	ラテックス 凝集法		糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 IgA型多発性骨髄腫
3197		部分尿 1.0 G-3 冷	129 免	3~6 s	M: 1.0~15.5 F: 0.5~9.5 mg/L			
3199	α <sub>1</sub> アンチトリプシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	80 血	3~6 s	94~150 mg/dL	ネフェロ メトリー		膠原病 悪性腫瘍 劇症肝炎 肝硬変症



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3208	$\alpha_2$ -MG ( $\alpha_2$ マクログロブリン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	138 血	3~6 s	M: 100~200 F: 130~250 mg/dL	ネフェロ メトリー		ネフローゼ症候群 DIC 先天性 $\alpha_2$ マクログロブリン欠乏症
3211	ハプトグロビン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	129 免	3~6 s	1-1型 83~209 2-1型 66~218 2-2型 25~176 mg/dL	ネフェロ メトリー		自己免疫性溶血性貧血 鎌状赤血球症 肝硬変症
3214	セルロプラスミン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	90 免	3~6 s	21~37 mg/dL	ネフェロ メトリー		ウィルソン病 メッケル症候群 肝内胆汁うっ滞
3223	トランスフェリン (Tf)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	60 免	1 s	230~360 mg/dL	TIA		肝硬変症 ヘモクロマトーシス 膠原病 鉄欠乏性貧血
3226	$\beta_2$ -MG ( $\beta_2$ マイクログロブリン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	98 免	2~4 m	0.8~2.4 mg/L	ラテックス 凝集法		腎機能不全 多発性骨髄腫 悪性腫瘍
3228		部分尿 1.0 K-5 冷	98 免	2~4 l	17.0~340.0 $\mu$ g/L		尿はPH5.5~7.5 を確認し、提出して 下さい。	糸球体腎炎 尿管細管障害 重金属中毒
3258	P-III-P (プロコラー ゲンIIIペプチド)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	136 生 I	4~7 B	1.0以下 U/mL	IRMA (RIA固相法)		肝硬変症 急性肝炎 慢性活動性肝炎
3263	IV型コラーゲン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	131 生 I	3~6 s	150以下 ng/mL	ラテックス 凝集比濁法		肝硬変症
3265	IV型コラーゲン7S	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.7	148 生 I	4~7 B	4.4以下 ng/mL	CLEIA		肝硬変症
1271	ヒアルロン酸(HA)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	179 生 I	3~5 L	50以下 ng/mL	ラテックス 凝集法	肝硬変の判定基準 130ng/mL以上	肝硬変症 慢性肝炎
3655	M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖 修飾異性体) (M2BP糖鎖修飾異性体)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	194 生 I	3~7 B	(-) 1.00未満	CLEIA	(-)1.00未満 (1+)1.00~3.00未満 (2+)3.00以上	肝硬変症

蛋白・含窒素成分・膠質反応

生化学的検査

- 「シスタチンC」は、尿素窒素又はクレアチニンにより腎機能低下が疑われた場合に、3月に1回に限り算定できる。ただし、「ペントシジン」を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。
- 「L-FABP (尿)」は、原則として3月に1回に限り算定する。ただし、医学的な必要からそれ以上算定する場合においてはその詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- 「尿中トランスフェリン (46頁)」、「尿中アルブミン定量 (46頁)」及び「尿中IV型コラーゲン」は糖尿病又は、糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの(糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。)に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。
- 「IV型コラーゲン」又は「IV型コラーゲン7S」は「P-III-P」又は、「M2BPGi」と併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。
- 「ヒアルロン酸」は、慢性肝炎の患者に対して、慢性肝炎の経過観察及び肝生検の適応の確認を行う場合に算定できる。
- 「M2BPGi」は慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。「P-III-P」もしくは「IV型コラーゲン」「IV型コラーゲン-7s」又は「ヒアルロン酸」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

### 実施料について (生化 I)

一回に  印の項目を 5 項目以上行った場合	
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I 93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I 99点
3) 10項目以上	生化 I 103点

### 実施料について (出血・凝固)

一回に  印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目又は 4 項目	出血・凝固 530点
2) 5 項目以上	出血・凝固 722点

# 4 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1194	アミノ酸分析(2種類) チロシン・フェニルアラニン	血液 1.5 S-3 冷 遠心 血漿 0.5 凍	279+279 生II	4~7 s	下記参照	LC/MS	血漿の場合 抗凝固剤:EDTA2Na 蓄尿の場合 6N塩酸約20mLを入 れた蓄尿瓶へ24時 間蓄尿し、よく混和 後必要量を必ず凍 結保存し、尿量を 記入して提出して 下さい。 尿量が少ない場合 には尿100mLに對し て6N塩酸1mLの割 合で入れて下さい。	肝性脳症 劇症肝炎 肝硬変症 糖尿病性昏睡 アミノ酸代謝異常症
1195	アミノ酸分析(9種類)	血液 1.5 S-3 冷 遠心 血漿 0.5 凍	1107 生II	4~7 s	下記参照	LC/MS		
1197	アミノ酸分析(39種類)	血液 1.5 S-3 冷 遠心 血漿 0.5 凍	1107 生II	5~8 s	下記参照	LC/MS		
1198	アミノ酸分析(41種類)	酸性蓄尿 3.0 G-3 凍	1107 生II	8~12 s	下記参照	HPLC		
1202	総ホモシステイン	血液 1.0 S-3 冷 遠心 血漿 0.3	279 生II	4~7 s	M 7.0~17.8 F 5.3~15.2 nmol/mL	LC/MS/MS		
4221	BTR (総分岐鎖アミノ酸 チロシンモル比)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5 凍	283 生II	3~5 B	下記参照	酵素法	溶血は高値の影響が あります。	慢性肝炎 肝硬変症 肝不全

## ●アミノ酸分析(41種類(尿)、39種類・9種類(血漿))基準値

単位 血漿：nmol/mL、尿：μmol/day(ただし◎印(Urea)はmmol/day)

アミノ酸名	略号	基準値	
		血漿	尿
Taurine	Tau	39.5~93.2	322.2~5214.5
Phosphoethanolamine ★	PEA		31.0~110.0
Urea ★	Urea		◎130.3~493.2
Aspartic acid	Asp	2.4以下	12.7以下
Hydroxyproline	Hypro	21.6以下	ND
Threonine	Thr	66.5~188.9	79.9~528.3
Serine	Ser	72.4~164.5	208.8~1020.0
Asparagine	Asn	44.7~96.8	60.7~372.3
Glutamic acid	Glu	12.6~62.5	11.3~42.7
Glutamine	Gln	422.1~703.8	207.0~1357.3
Sarcosine	Sarco	TR	99.0以下
α-Amino adipic acid	α-AAA	ND	16.7~118.6
Proline	Pro	77.8~272.7	ND
Glycine	Gly	151.0~351.0	652.1~3670.6
Alanine	Ala	208.7~522.7	141.2~833.9
Citrulline	Cit	17.1~42.6	13.5~55.6
α-Aminobutyric acid	α-ABA	7.9~26.6	27.1以下
※Valine	Val	147.8~307.0	24.8~82.2
Cystine	Cys	13.7~28.3	23.7~170.9
Cystathionine	Cysthio	TR	TR~44.7
※Methionine	Met	18.9~40.5	TR~20.2
※Isoleucine	Ileu	43.0~112.8	7.5~23.5
※Leucine	Leu	76.6~171.3	24.6~89.3
※Tyrosine	Tyr	40.4~90.3	50.6~308.4
※Phenylalanine	Phe	42.6~75.7	27.2~110.2

※印はアミノ酸分析(9種類)の実施アミノ酸名

ND: 測定感度以下 TR: 痕跡

★印は「アミノ酸」ではありませんが、本項目に含めて測定いたします。



アミノ酸名	略号	基準値	
		血漿	尿
γ-Amino β-hydroxy butyric acid	γ-A β-HBA	ND	ND
β-Alanine	β-Ala	TR	TR~153.0
β-Amino-iso-butyric acid	β-AIBA	TR	TR~1623.9
γ-Aminobutyric acid	γ-ABA	ND	ND
Monoethanolamine ★	MEA	10.4以下	195.3~606.2
Homocystine	Homocys	ND	ND
※Histidine	His	59.0~92.0	436.4~2786.5
3-Methylhistidine	3-Me His	5.0以下	113.4~480.9
1-Methylhistidine	1-Me His	18.5以下	59.3~2816.2
Carnosine ★	Carno	ND	87.6以下
Anserine ★	Ans	ND	231.4以下
Tryptophan	Trp	37.0~74.9	20.7~150.7
Hydroxylysine	Hylys	ND	22.9以下
Ornithine	Omi	31.3~104.7	6.9~43.9
※Lysine	Lys	108.7~242.2	51.6~1639.6
※Arginine	Arg	53.6~133.6	11.6~54.8
Total AA(総アミノ酸・非必須アミノ酸の和+必須アミノ酸の和)		2068.2~3510.3	
NEAA(非必須アミノ酸の和)		1381.6~2379.4	
EAA(必須アミノ酸の和)		660.0~1222.3	
BCAA(分岐鎖アミノ酸の和)		265.8~579.1	
EAA/NEAA(必須アミノ酸の和/非必須アミノ酸の和)		0.40~0.63	
BCAA/Total AA(分岐鎖アミノ酸の和/総アミノ酸)		0.11~0.18	
フィッシャー比		2.43~4.40	

EAA/NEAA, BCAA/Total AA, フィッシャー比においては単位なし

●総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR) (基準値)	
BCAA(分岐鎖アミノ酸)	379~688
チロシン	53~104
(単位: μmol/L)	
BTR	4.99~9.45

■アミノ酸 1種類につき279点、5種類以上1107点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1460	ナトリウム(Na)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1 ㊟	138~145 mmol/ℓ	電極法		脱水症 嘔吐症 下痢症
6443		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2	mmol/ℓ		尿量を記入して下さい。	
1461		蓄尿 5.0 K-5	11 生 I	1 ㊟	4.0~8.0 g/day			
1470	クロール(Cl)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1 ㊟	101~108 mmol/ℓ	電極法		クッシング症候群 腎障害 腎炎
6451		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2	mmol/ℓ		尿量を記入して下さい。	
1471		蓄尿 5.0 K-5	11 生 I	1 ㊟	10.0~15.0 g/day			
1465	カリウム(K)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1 ㊟	3.6~4.8 mmol/ℓ	電極法		腎不全 尿細管性アシドーシス 嘔吐症 熱傷
6447		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2	mmol/ℓ		尿量を記入して下さい。	
1466		蓄尿 5.0 K-5	11 生 I	1 ㊟	1.5~2.5 g/day			
1479	カルシウム(Ca)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ㊟	8.8~10.1 mg/dℓ	アルセナソ Ⅲ法		骨軟化症 転移性骨腫瘍 ビタミンD欠乏症 副甲状腺機能低下症
6459		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1~2	mg/dℓ		尿量を記入して下さい。	
1480		蓄尿 5.0 K-5	11 生 I	1 ㊟	0.05~0.36 g/day			
1484	イオン化カルシウム (Ca <sup>2+</sup> )	血液 3.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 1.0	26 生 I	3~5 B	2.25~2.50 mEq/ℓ (4.5~5.0mg/dℓ)	イオン電極法		副甲状腺機能亢進症 甲状腺機能亢進症 ビタミンD欠乏症
1475	マグネシウム(Mg)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1~2 ㊟	1.4~2.6 mg/dℓ	酵素法	EDTA血漿測定不可	Mg剤過剰投与 腎不全 アジソン病
1476		蓄尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	3~6 S	0.02~0.13 g/day	キシリジリ ブルー法	尿量を記入して下さい。凍結保存は避けて下さい。	
1486	無機リン(IP)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	17 生 I	1 ㊟	2.7~4.6 mg/dℓ	酵素法		ビタミンD欠乏症 ファンコニー症候群 腎不全
1487		蓄尿 1.0 K-5 冷	17 生 I	3~5 B	0.50~2.00 g/day		尿量を記入して下さい。	

- 「ナトリウム」及び「クロール」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。
- 「カルシウム」及び「イオン化カルシウム」を同時に測定した場合には、いずれか一方についてのみ所定点数を算定する。
- 「無機リン」及び「リン酸」については、両方を測定した場合も、いずれか一方のみを測定した場合も、同一の所定点数により算定する。



### 実施料について (生化 I)

一回に ㊟印の項目を 5 項目以上行った場合		
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I	93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I	99点
3) 10 項目以上	生化 I	103点

# 6 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1510	鉄(Fe)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ㊟	40~188 μg/dℓ	ニトロソ PSAP法		鉄欠乏性貧血 小球性貧血 鉄芽球性貧血 多血症
1511		蓄尿 10 G-2 冷	11 生 I	7~13 s	0.10~0.20 mg/day	原子吸光法	尿量を記入して下さい。	
1512	総鉄結合能 (TIBC)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1~2 ㊟	M: 250~400 F: 260~410 μg/dℓ	ニトロソ PSAP法 (計算法)	鉄とUIBCより計算	鉄欠乏性貧血 真性多血症 ネフローゼ症候群 肝硬変症
1514	不飽和鉄結合能 (UIBC)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	1~2 ㊟	M: 120~280 F: 130~315 μg/dℓ	ニトロソ PSAP法		
3249	フェリチン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	102 生 I	2~4	M: 10.0~200.0 F: 10.0~150.0 ng/ml	CLEIA		悪性腫瘍 悪性リンパ腫 鉄欠乏性貧血
1518	銅(Cu)	血液 1.5 G-2 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	23 生 I	3~6 s	68~128 μg/dℓ	比色法		ウィルソン病 閉塞性黄疸 細胆管炎 肝硬変症
1519		蓄尿 5 G-2 冷	23 生 I	3~8 s	M: 4.2~33.0 F: 2.5~20.0 μg/day	原子吸光 分析法	尿量を記入して下さい。	
1521	亜鉛(Zn)	血液 3.0 G-2 冷 ↓ 遠心 血清 1.0	132 生 I	3~6 H	80~130 μg/dℓ	原子吸光 分析法		亜鉛欠乏症 亜鉛欠乏性味覚障害 赤血球増加症
1522		蓄尿 5 G-2 冷	132 生 I	3~10 s	M: 260~1000 F: 160~620 μg/day		尿量を記入して下さい。	
1630	鉛(Pb)	血液 3.0 G-1 冷		3~5 ㊟	92頁参照	原子吸光 分析法		鉛中毒
1628	アルミニウム(Al)	血液 1.5 G-4 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	109 生 I	5~7 L	0.9以下 μg/dℓ	原子吸光 分析法		慢性腎不全 急性腎不全 高アルミニウム血症
9194	セレン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	144 生 I	4~18 B	107~171 μg/ℓ	原子吸光 分光光度計		セレン欠乏症

- 「総鉄結合能 (TIBC) (比色法)」と「不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法)」を同時に実施した場合は、「不飽和鉄結合能 (UIBC) (比色法)」又は「総鉄結合能 (TIBC) (比色法)」の所定点数を算定する。
- 「セレン」長期静脈栄養管理若しくは長期成分栄養剤を用いた経腸栄養管理を受けている患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者又は重症心身障害児(者)に対して、診察及び他の検査の結果からセレン欠乏症が疑われる場合の診断及び診断後の経過観察を目的として実施した場合に限り算定する。

電解質・金属

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1638	マンガン(Mn)	血液 0.7 G-16	27 生 I	8~22 B	0.8~2.5 μg/dℓ	原子吸光 分光光度法	凍結不可	マンガン欠乏症 マンガン中毒
1634	クロム(Cr)	血液 0.7 G-16		7~21 S	1.0以下 μg/dℓ	原子吸光 分光光度法	凍結不可	クロム中毒 腎炎 糖尿病
1635		部分尿 1 G-2		7~21 S	2以下 μg/ℓ			
1641	カドミウム(Cd)	血液 0.5 G-16		5~12 L	0.5以下 μg/dℓ	ICP-MS法	凍結不可	カドミウム曝露 中毒
1640		部分尿 1 G-2		5~12 L	3.8以下 μg/ℓ			
9340	総水銀(Hg)	血液 0.5 G-16		6~12 L	5以下 μg/dℓ	原子吸光法	凍結不可	水銀曝露
		部分尿 1 G-2		6~12 L	25以下 μg/ℓ			
1490	浸透圧	血液 3.0 S-1 遠心 血清 1.0	15 血	1~2 Ⓢ	275~290 mOsm/kg·H <sub>2</sub> O	氷点降下法		尿崩症 腎不全 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群
1491		部分尿 2.0 K-5	16 尿糞	1~2 Ⓢ	50~1300 mOsm/kg·H <sub>2</sub> O			
2033	結石分析 (成分比率)	結石 10mg K-5	117 生 II	5~8 S	(%)	赤外線吸収 ペクトロフォ トメトリー	検体は乾燥させ、ポリス ピッツで提出して下さい。 血液等の付いた検体は蒸 留水で洗浄後、乾燥させ て提出して下さい。	尿路結石症 胆のう結石症 腎結石症

■ 「マンガン」は1月以上（胆汁排泄能の低下している患者については2週間以上）高カロリー静脈栄養法が行われている患者に対して、3月に1回に限り算定することができる。



### 実施料について（生化 I）

一回に  印の項目を 5 項目以上行った場合		
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I	93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I	99点
3) 10 項目以上	生化 I	103点

# 8 生化学的検査

生化学的検査

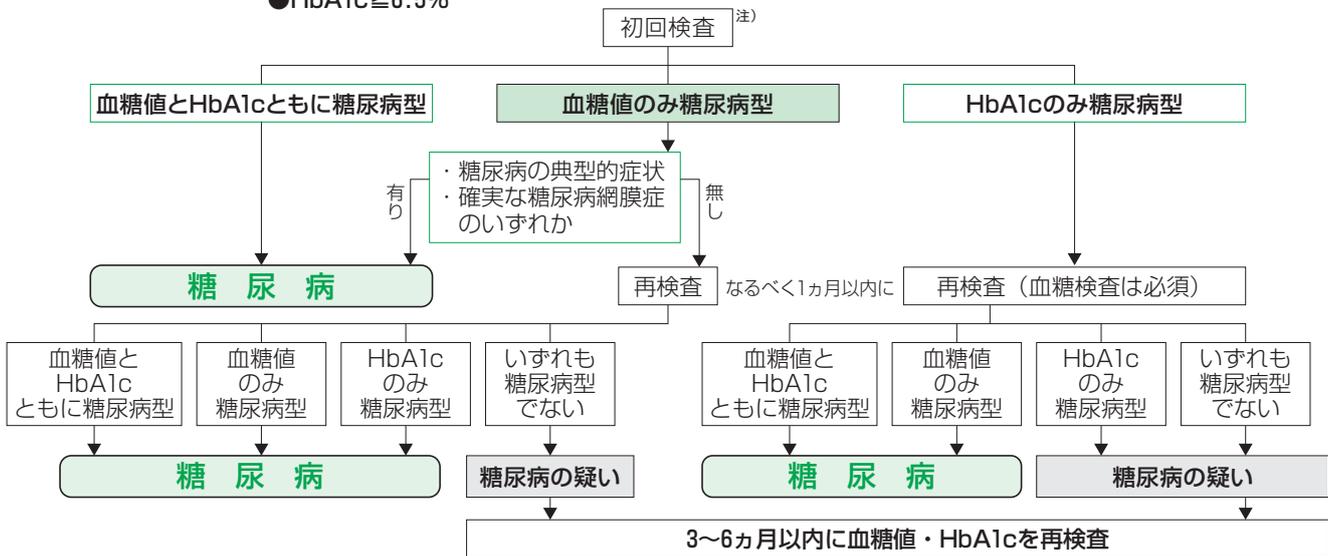
検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1222	グルコース (血糖)	血液 2.0 S-2 <b>冷</b> 遠心 血漿 0.5	11 生 I	1 Ⓢ	73~109 mg/dℓ	電極法 酵素法	解糖阻止剤：NaF	糖尿病 胃切除後低血糖 インスリン異常症 インスリノーマ
		血液 2.0 S-1 <b>冷</b> 遠心 血清 0.5	11 生 I ※	1 Ⓢ	73~109 mg/dℓ	酵素法		
1267	ヘモグロビンA1c (HbA1c) (NGSP)	血液 2.0 S-2 <b>冷</b>	49 血	1~2 Ⓢ	4.9~6.0 %	HPLC LA		糖尿病
1264	グリコアルブミン (GA)	血液 3.0 S-1 <b>冷</b> 遠心 血清 1.0	55 生 I	1~2 Ⓢ	11.0~16.0 %	酵素法		糖尿病
1273	1-5-AG (1-5アンヒドロ-D- グルシトール)	血液 1.0 S-1 <b>冷</b> 遠心 血清 0.3	80 生 I	1~2 Ⓢ	M: 15.0以上 F: 12.0以上 μg/ml	酵素法		耐糖能異常 糖尿病 腎性糖尿

■「HbA1c」、「グリコアルブミン」又は「1, 5AG」のうちいずれかを同一月中に併せて2回以上実施した場合は、月1回に限り主たるもののみ算定する。ただし、妊娠中の患者、1型糖尿病患者、経口血糖降下薬の投与を開始して6月以内の患者、インスリン治療を開始して6月以内の患者等については、いずれか1項目を月1回に限り別に算定できる。また、クロザピンを投与中の患者については、ヘモグロビンA1c(HbA1c)を月1回に限り別に算定できる。

※「グルコース(血糖)」負荷試験実施時は別算定：糖負荷試験(下記参照)

## 糖尿病の臨床診断のフローチャート

糖尿病型 ●血糖値(空腹時 $\geq 126$ mg/dL, OGTT 2時間 $\geq 200$ mg/dL, 随時 $\geq 200$ mg/dLのいずれか)  
●HbA1c $\geq 6.5\%$



注) 糖尿病が疑われる場合は、血糖値と同時にHbA1cを測定する。  
同日に血糖値とHbA1cが糖尿病型を示した場合には、初回検査だけで糖尿病と診断する。

日本糖尿病学会糖尿病診断基準に関する調査検討委員会：糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告(国際標準化対応版)。糖尿病55：494、2012より一部改変

### 【糖負荷試験】

1. 常用負荷試験(血糖、尿糖検査を含む) 200点
  2. 耐糖能精密検査(常用負荷試験及び血中インスリン測定又は常用負荷試験及び血中C-ペプチド測定を行った場合) 900点
- (注) 注射、採血及び検査測定の費用は、採血回数及び測定回数にかかわらず、所定点数に含まれるものとする。なお、注射とは、注射実施料をいい、施用した薬剤の費用は別途算定する。
- (1) 負荷の前後に係る血中又は尿中のホルモン等測定に際しては、測定回数、測定間隔等にかかわらず、一連のものとして扱い、当該負荷検査の項により算定するものであり、検体検査実施料における生化学的検査(Ⅰ)又は生化学的検査(Ⅱ)の項では算定できない。
  - (2) 耐糖能精密検査は、常用負荷試験及び負荷前後の血中インスリン測定又は血中C-ペプチド測定を行った場合に算定する。
  - (3) 乳糖を服用させて行う耐糖試験は、糖負荷試験により算定する。また、使用した薬剤は、区分番号D500薬剤により算定する。
  - (4) ブドウ糖等を1回負荷し、負荷前後の血糖値等の変動を把握する検査は、糖負荷試験の所定点数により算定する。

#### 実施料について(生化I)

一回に	●印の項目を5項目以上行った場合	
1)	5項目以上7項目以下	生化I 93点
2)	8項目又は9項目	生化I 99点
3)	10項目以上	生化I 103点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1301	血中ケトン体定量	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	30 生 I	3~5 B	131以下 μmol/ℓ	酵素サイク リング法		
1305	血中ケトン体分画	動脈血 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	59 生 I	3~6 L	アセト酢酸/ 3-ヒドロキシ 酪酸比 0.7以上	酵素法	食事1時間後または ブドウ糖投与後採血 (血中グルコース 120~200mg/dℓ)	糖尿病性ケトアシドーシス 糖尿病 嘔吐
1303		静脈血 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	59 生 I	3~6 L	アセト酢酸 13~69 3-ヒドロキシ酪酸 76以下 総ケトン体 26~122 μmol/ℓ		早朝空腹時採血 総ケトン体にアセ トン体は含まれま せん	
1291	乳酸	血液 2.0 G-9 冷 ↓ 遠心 除蛋白上澄液 0.5 K-5	47 生 I	3~6 s	(全血中) 3.0~17.0 mg/dℓ	乳酸オキシタ ーゼによる酵 素法	採血後直ちに正確に 血液2.0mℓを専用容器 (G-9)に加え、十分攪 拌後3000rpm5分間遠 心分離し、その上清を K-5(滅菌スピッツ)に 入れてご提出下さい。	組織循環不全 ショック 心筋梗塞
1293	ピルビン酸	血液 2.0 G-9 冷 ↓ 遠心 除蛋白上澄液 0.5 K-5	47 生 I	3~6 s	(全血中) 0.30~0.94 mg/dℓ	ピルビン酸オ キシダーゼに よる酵素法		肝硬変症 肝性昏睡 糖尿病
1271	ヒアルロン酸(HA)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	179 生 I	3~5 L	50以下 ng/mℓ	ラテックス 凝集法	肝硬変の判定基準 130ng/mℓ以上	肝硬変症 慢性肝炎
1283	シアル酸	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5		3~7 s	44~71 mg/dℓ	酵素法		炎症 悪性腫瘍
4505	KL-6	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	108 生 I	2~3 Ⓜ	500未満 U/mℓ	ラテックス 凝集法		
4510	サーファクタント プロテインD (SP-D)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	136 生 I	3~5 B	110.0未満 ng/mℓ	CLEIA		間質性肺炎
4520	サーファクタント プロテインA (SP-A)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	130 生 I	3~5 B	43.8未満 ng/mℓ	CLEIA		
3655	M2BPGi (Mac-2結合蛋白糖鎖 修飾異性体) (M2BP糖鎖修飾異性体)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	194 生 I	3~7 B	(-) 1.00未満	CLEIA	(-)1.00未満 (1+)1.00~3.00未満 (2+)3.00以上	肝硬変症

糖代謝・有機酸・他

生化学的検査

- 「ヒアルロン酸」は、慢性肝炎の患者に対して、慢性肝炎の経過観察及び肝生検の適応の確認を行う場合に算定できる。
- 「ケトン体」及び「ケトン体分画」の検査を併せて実施した場合は、「ケトン体分画」の所定点数のみ算定する。
- 「KL-6」「SP-A」「SP-D」のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「M2BPGi」は慢性肝炎又は肝硬変の患者(疑われる患者を含む)に対して、肝臓の線維化進展の診断補助を目的に実施した場合に算定する。  
「P-Ⅲ-P」もしくは「Ⅳ型コラーゲン」「Ⅳ型コラーゲン-7s」又は「ヒアルロン酸」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



# 10 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1031	AST(GOT)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	17 生 I	緊急報告 1 ⑤	13~30 U/ℓ	JSCC標準化 対応法	溶血により高値傾向 を示す	急性肝炎 劇症肝炎 脂肪肝 アルコール性肝疾患
1034	ALT(GPT)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	17 生 I	緊急報告 1 ⑤	M: 10~42 F: 7~23 U/ℓ	JSCC標準化 対応法		急性肝炎 劇症肝炎 急性心筋梗塞 脂肪肝
1030	FIB-4 index			1~2	1.30未満 下記参照	計算	AST、ALT、血小板、 年齢より算出のため、 同時にご依頼ください。	肝繊維症 脂肪肝 アルコール性肝疾患
1016	LD(LDH) (乳酸脱水素酵素)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	緊急報告 1 ⑤	124~222 U/ℓ	IFCC法	溶血により高値傾向 を示す	悪性腫瘍 心筋梗塞 急性肝炎 白血病
1038	LD(LDH) アイソザイム	血液 1.0 S-1 室 ↓ 遠心 血清 0.3	48 生 I	3~6 s	LDH1 21~31 LDH2 28~35 LDH3 21~26 LDH4 7~14 LDH5 5~13 %	アガロース 電気泳動法	溶血によりLDH1-2:3 に高値傾向を示す。 凍結不可	心筋梗塞 白血病 悪性リンパ腫 悪性貧血
1051	ALP (アルカリフォスファターゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	緊急報告 1 ⑤	38~113 U/ℓ	IFCC法		胆汁うっ滞 肝炎 副甲状腺機能亢進症 骨疾患
1043	ALP アイソザイム (IFCC)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	48 生 I	3~6 s	ALP-1 0.0~5.3 ALP-2 36.6~69.2 ALP-3 25.2~54.2 ALP-4 - ALP-5 0.0~18.1 %	アガロース 電気泳動法	血液型BまたはOで Lewis分泌型の人では ALP総活性値および ALP-5の出現率が高く なることがあります。	骨転移悪性腫瘍 胆のう結石症 急性肝炎
1049	骨型アルカリホス ファターゼ (BAP)	血液 2.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.8	157 生 II	3~6 s	M: 3.7~20.9 F: (閉経前)2.9~14.5 (閉経後)3.8~22.6 μg/ℓ	CLEIA		骨転移癌 原発性副甲状腺機能亢進症 骨軟化症
1047	γ-GT (γ-グルタミルトランスペ プチダーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	緊急報告 1 ⑤	M: 13~64 F: 9~32 U/ℓ	JSCC標準化 対応法		脂肪肝 アルコール性肝炎 薬物性肝障害 肝硬変症
1070	LAP (ロイシンアミノペプチ ダーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1~2 ⑤	30~70 U/ℓ	L-ロイシル-P- ニトロアニ リド基質法		胆のう炎 肝管炎 急性肝炎 胆のう結石症
1055	ChE (コリンエステラーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	M: 240~486 F: 201~421 U/ℓ	JSCC標準化 対応法		肝炎 肝硬変症 脂肪肝 ネフローゼ症候群

■ 「BAP」、「Intact PINP」、「P1NP (53頁)」、「ALPアイソザイム (PAG電気泳動法)」のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

低リスク	1.30 未満
中リスク	1.30 ~ 2.66
高リスク	2.67 以上

一回に  印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目以上 5 項目以下	内分泌 410点
2) 6 項目又は 7 項目	内分泌 623点
3) 8 項目以上	内分泌 900点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1082	リパーゼ	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	24 生 I	1~2 ⑤	1~45 U/ℓ	MGLP、 カラーレート法		急性膵炎 膵癌 膵切除術
9072	リポ蛋白リパーゼ (LPL)	血液 1.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3 凍	219 生 I	3~10 s	164~284 ng/mL	ELISA	早朝空腹時にヘパリンを体重 1kg当たり30単位静注し10分 後に指定の容器G-16に採取し、 4℃で遠心分離後、上清の血漿 を凍結にて提出してください。 EDTA採血不可	家族性LPL欠損症 高トリグリセライド血症
1074	アミラーゼ (AMY)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ⑤	44~132 U/ℓ	酵素法		急性膵炎 唾液腺腫瘍 マクロアミラーゼ血症
1075		部分尿 5.0 K-5 冷	11 生 I	1 ①	200~1100 IU/ℓ			
1072	アミラーゼ アイソザイム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	48 生 I	3~6 s	P型 15.7~64.0 S型 36.0~84.3 %	アガロース 電気泳動法		急性膵炎 唾液腺疾患 肺癌
1077		部分尿 0.5 K-5 冷	48 生 I	3~6 s	P型 38.7~82.3 S型 17.7~61.3 %			
1079	P型アミラーゼ	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	48 生 I	1~2 ⑤	16~52 U/ℓ	免疫阻害法		急性膵炎

検査コード	項目名称	疾患・病態	掲載頁	
1028	CPKアイソザイム	CK-BBの増加 CK-MBの増加	急性脳損傷、中枢神経手術後、悪性腫瘍 心筋梗塞、心筋炎、開心術後、筋ジストロフィー	12
1038	LDHアイソザイム	LD1、LD2優位 LD2、LD3優位 LD5優位	心筋梗塞、溶血性貧血、悪性貧血、 腫瘍（セミノーマ）など 白血病、リンパ腫、筋ジストロフィー、多発性筋炎、 皮膚筋炎、膠原病、ウイルス感染症、間質性肺炎、 肺癌、胃癌など 急性肝炎、肝細胞癌、急性の筋崩壊、前立腺癌など	10
1043	ALPアイソザイム	ALP1の出現 ALP2の増加 ALP3の増加 ALP4の出現 ALP5の出現	肝：閉塞性黄疸、限局性肝障害 肝：各種肝疾患、胆道疾患 骨：骨疾患、副甲状腺機能亢進症 胎盤：妊娠後期、悪性腫瘍の一部 小腸：肝硬変、慢性肝炎、慢性腎不全	10
1072	アミラーゼアイソザイム	P型増加 S型増加	急性膵炎、慢性膵炎再燃時、マクロアミラーゼ血症など 唾液腺疾患、アミラーゼ産生腫瘍、耳下腺炎、外科手術後、 肝胆道疾患、肺疾患、糖尿病性ケトアシドーシスなど	11

■ 「LPL」は高トリグリセライド血症及びLPL欠損症が疑われる場合の鑑別のために測定した場合に限り算定できる。  
また、ヘパリン負荷が行われた場合、投与したヘパリンは区分番号「D500」の薬剤として算定できるが、注射料は算定できない。



実施料について（生化 I）		
一回に  印の項目を 5 項目以上行った場合		
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I	93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I	99点
3) 10 項目以上	生化 I	103点

生化学的検査

# 12 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1021	CK(CPK) (クレアチンキナーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 Ⓢ	M: 59~248 F: 41~153 U/ℓ	JSCC標準化 対応法		急性心筋梗塞 進行性筋ジストロフィー 多発性筋炎
1028	CK・ アインザイム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	55 生 I	3~6 s	BB:2以下 MB:6以下 MM:93~99%	アガロース 電気泳動法		心筋梗塞 進行性筋ジストロフィー 甲状腺機能亢進症
1022	CK-MB (CPK-MB)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	90 生 I	3~6 s	25以下 U/ℓ	免疫阻止 UV法		急性心筋梗塞 進行性筋ジストロフィー 多発性筋炎
1023		血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍		3~6 s	5.0以下 ng/mL	CLIA		
1115	リゾチーム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4		3~6 s	5.0~10.2 μg/mL	比濁法		単球性白血病 肝疾患 消化器疾患
1116		部分尿 0.4 G-3 冷		3~6 s	0.1未満 μg/mL		単球性白血病 尿細管疾患	
1089	膵PLA2 (膵ホスホリパーゼA2)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	204 生 I	3~7 s	130~400 ng/dℓ	RIA固相法		急性膵炎 慢性膵炎 膵癌
1052	アルドラーゼ	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	11 生 I	3~6 s	2.1~6.1 U/ℓ	UV-酵素法		筋ジストロフィー ギランバレー症候群
1086	トリプシン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	189 生 I	3~6 H	210~570 ng/mL	ラテックス 凝集比濁法		急性膵炎 慢性膵炎 膵癌
1152	ペプシノーゲン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3		3~5 Ⓜ	下記参照 ※1	ラテックス 凝集法		胃・十二指腸腫瘍 急性胃炎
1064	ADA (アデノシンデアミナーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	32 生 I	1~2 Ⓢ	6.8~18.2 U/ℓ	アデノシン 基質酵素法		癌性胸膜炎 結核性胸膜炎 肝炎 アルコール性肝疾患
1164		胸水 1.0 K-5 冷	32 生 I	3~6 Ⓢ				
1063	グアナーゼ	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	35 生 I	3~5 B	0.4~1.1 U/ℓ	酵素法		肝硬変症 急性肝炎 慢性肝炎
1145	ACE (アンギオテンシン I 転換酵素)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	136 生 I	3~6 H	8.3~21.4 U/ℓ	笠原法		サルコイドーシス ACE阻害薬服用

※1 ペプシノーゲン判定基準

		ペプシノーゲンI	ペプシノーゲンI/II比
強陽性	2+	30ng/mL以下	かつ 2.0以下
陽性	+	70ng/mL以下	かつ 3.0以下
偽陽性	±	40ng/mL以下	または 2.5以下
陰性	-	上記以外	

### 実施料について (生化 I)

一回に ○印の項目を 5 項目以上行った場合	
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I 93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I 99点
3) 10項目以上	生化 I 103点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1530	(総) T-BiL	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ㊟	0.4~1.5 mg/dℓ	酵素法		黄疸 胆石症 胆道閉鎖 胆汁うっ帯
1531	ビリルビン (直接) D-BiL	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1 ㊟	0.2以下 mg/dℓ		遮光して下さい。	
1532	(間接) ID-BiL	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	11 生 I	1	0.2~0.8 mg/dℓ	酵素法 (計算法)		溶血性貧血 新生児黄疸 体質性黄疸 (シャント高ビリルビン血症)
1545	ウロポルフィリン	血液 1.5 G-16 冷		4~11 B	(赤血球) 1以下 μg/dℓRBC	HPLC	抗凝固剤:ヘパリンNa 遮光して下さい。	ポルフィリン症
1546		部分尿 3.0 G-3 冷	105 尿糞	5~12 B	2~25 μg/g-CRE		遮光して下さい。	
1539	コプロポルフィリン	血液 1.5 G-16 冷	210 生 I	4~11 B	(赤血球) 1以下 μg/dℓRBC	HPLC	遮光して下さい。	遺伝性コプロポルフィリン症 鉛中毒 貧血
1541		部分尿 2.0 G-3 冷	131 尿糞	4~8 S	170以下 μg/g-CRE			
1540		定性 部分尿 2.0 G-3 冷		4~8 S	(-)			
9174	ポルフォビリノゲン	蓄尿 3.0 G-3 冷	186 尿糞	6~13 B	2.0以下 mg/day	比色法	遮光して下さい。 尿量を記入して下さい。	遺伝性コプロポルフィリン症 急性間欠性ポルフィリン症 鉛中毒
1549	赤血球プロトポル フィリン	血液 1.0 G-16 冷	272 生 I	8~30 B	92頁参照 μg/dℓRBC	蛍光法 (Piomelli法)	抗凝固剤:ヘパリンNa 遮光して下さい。	先天性ポルフィリン症 鉄芽球形貧血 鉛中毒
1558	δ-アミノレブリン酸	部分尿 1.0 G-3 冷	106 尿糞	4~9 ㊟	92頁参照 mg/ℓ	HPLC	遮光して下さい。	ポルフィリン症 鉛中毒
1362	胆汁酸 (TBA)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	47 生 I	1~2 ㊟	10.0以下 μmol/ℓ	酵素法		急性肝炎 慢性肝炎 胆管閉塞症



# 14 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1313	中性脂肪 (TG)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	11 生 I	緊急報告 1 ⑤	M: 40~234 F: 30~117 mg/dL	酵素法 (遊離グリセロ ール消去法)		脂質異常症 高脂血症 高トリグリセライド血症
1323	総コレステロール (TC)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	17 生 I	緊急報告 1 ⑤	142~248 mg/dL	酵素法		脂質異常症 高脂血症 閉塞性黄疸
1329	HDL コレステロール	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	17 生 I	1 ⑤	M: 38~90 F: 48~103 mg/dL	直接法		脂質異常症 高脂血症 肝硬変症
1335	LDL コレステロール	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	18 生 I	1 ⑤	65~163 mg/dL	直接法		脂質異常症 高コレステロール血症
1338	non-HDL コレステロール	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3		1 ⑤	mg/dL	計算法	総コレステロール HDLコレステロール non-HDLコレステロール 上記3項目を同時に ご依頼下さい。	
1337	酸化LDL (MDA-LDL) (マロンジアルデヒド 修飾LDL)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3 凍	194 生 I	4~16 s	M: 45才未満 46~82 45才以上 61~105 F: 55才未満 46~82 55才以上 61~105 U/L	ELISA	採血後冷蔵保存にて 6時間以内に血清分 離し、速やかに凍結 保存	冠動脈疾患 糖尿病
1333	RLPコレステロール (レムナント様リポ蛋白 コレステロール)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.6	174 生 I	1~2 ⑤	7.5以下 mg/dL	免疫吸着法 酵素法	凍結不可	高脂血症 脂質異常症 高コレステロール血症
1324	エステル型 コレステロール	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5		3~6 s	90~200 mg/dL	コレステロール 酸化酵素(COD -POD)法 酵素法		脂質異常症 ネフローゼ症候群 閉塞性黄疸
1326	遊離 コレステロール	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	11 生 I	3~6 s	30~60 mg/dL	酵素法		脂質異常症 高脂血症 肝疾患
1382	コレステロール分画	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	57 生 I	3~6 s	HDLC:23~48 LDLC:47~69 VLDLC:2~15 %	アガロース 電気泳動法	凍結不可	
1401	アポリポ蛋白	血液 各1.0 S-1 遠心 血清 各0.3 冷	1項目 31 2項目 62 3項目以上 94 生 I	⑤	A I M: 105~153 F: 118~164 A II M: 25.9~35.7 F: 24.6~33.3 B M: 69~101 F: 67~97 C II M: 1.8~4.6 F: 1.5~3.8 C III M: 5.8~10.0 F: 5.4~9.0 E M: 3.1~4.7 F: 3.3~5.1 mg/dL	TIA	アポリポ蛋白Bは 凍結不可	高脂血症 脂質異常症 高コレステロール血症
1402				s				
1403				⑤				
1404				s				
1405				s				
1406				⑤				

- 「HDLコレステロール」、「総コレステロール」及び「LDLコレステロール」を併せて測定した場合は、主たるもの2つの所定点数を算定する。
- 「MDA-LDL」は、冠動脈疾患既往歴のある糖尿病患者で、冠動脈疾患発症に関する予後予測の補助の目的で測定する場合に3月に1回に限り算定できる。ただし、糖尿病患者の経皮的冠動脈形成術治療時に治療後の再狭窄に関する予後予測の目的で測定する場合、上記と別に術前1回に限り算定できる。
- 「アポリポ蛋白」は、「A I」「A II」「B」「C II」「C III」、及び「E」のうち、測定した項目数に応じて、所定点数を算定する。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1368	リポ蛋白分画	血液 1.0 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.2	49 生 I	3~6 s	α M: 26.9~50.5 F: 32.6~52.5 Preβ M: 7.9~23.8 F: 6.6~20.8 β M: 35.3~55.5 F: 33.6~52.0 %	アガロース 電気泳動法	凍結不可	高脂血症 脂質異常症 高コレステロール血症
1386	Lp(a) (リポ蛋白(a))	血液 1.0 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.4	107 生 I	3~6 H	(参考値) 30.0以下 mg/dL	TIA	凍結不可	脂質異常症 高脂血症 高コレステロール血症
1315	血中脂肪酸分画 (脂肪酸4分画)	血液 1.5 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	393 生 II	5~8 s	DHLA: 22.6~72.5 AA: 135.7~335.3 EPA: 10.2~142.3 DHA: 54.8~240.3 μg/mL EPA/AA比 0.05~0.61 DHA/AA比 0.27~1.07 (EPA+DHA)/AA比 0.32~1.66	GC	DHLA: (ジホモ-γ-リ ノレン酸) AA: (アラキドン酸) EPA: (エイコサペン タエン酸) DHA: (ドコサヘキサ エン酸)	脳血栓症 動脈硬化症 高脂血症
1416	アポ蛋白Eフェノタイプ	血液 1.0 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.2		5~22 s		等電点電気泳動 法によるイムノ プロット法	凍結不可	家族性Ⅲ型高脂血症
1317	リン脂質 (PL)	血液 1.5 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.5	15 生 I	3~6 s	160~260 mg/dL	酵素法		閉塞性黄疸 胆道閉塞症 高脂血症
1319	遊離脂肪酸 (NEFA, FFA)	血液 1.0 S-1 冷蔵 ↓ 遠心 血清 0.3	59 生 I	1 S	172~586 μEq/L	酵素法		糖尿病 アジソン病 下垂体機能低下症

■ 「Lp (a)」 「RLPコレステロール」 は、3月に1回を限度に算定できる。

脂質異常症の診断基準(日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版)

LDLコレステロール	140mg/dL以上	高LDLコレステロール血症
	120~139mg/mL	境界域高LDLコレステロール血症**
HDLコレステロール	40mg/dL未満	低HDLコレステロール血症
トリグリセライド	150mg/dL以上(空腹時採血*)	高トリグリセライド血症
	175mg/dL以上(随時採血*)	
Non-HDLコレステロール	170mg/dL以上	高non-HDLコレステロール血症
	150~169mg/dL	境界域高non-HDLコレステロール血症**

\* 基本的に10時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。空腹時であることが確認できない場合を「随時」とする。

\*\* スクリーニングで境界域高LDL-C血症、境界域高non-HDL-C血症を示した場合は、高リスク病態がないか検討し、治療の必要性を考慮する。

● LDL-CはFriedewald式(TC-LDL-C-TG/5)で計算する(ただし空腹時採血の場合のみ)、または直接法で求める。  
● TGが400mg/dL以上で随時採血の場合はnon-HDL-C(=TC-HDL-C)からLDL-C直説法を使用する。ただしスクリーニングでnon-HDL-Cを用いる時は、高TG血症を伴わない場合はLDL-Cとの差が+30mg/dLより小さくなる可能性を念頭においてリスクを評価する。

● TGの基準値は空腹時採血と随時採血により異なる。

● HDL-Cは単独では薬物介入の対象とはならない。

● 小児の基準は動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版第9章を参照。

リスク区分別脂質管理目標値(日本動脈硬化学会(編):動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版)

治療方針の原則	管理区分	脂質管理目標値 (mg/dL)			
		LDL-C	Non-HDL-C	TG	HDL-C
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後 薬物療法の適否を考慮する	低リスク	<160	<190	<150(空腹時)*** <175(随時)	≥40
	中リスク	<140	<170		
	高リスク	<120 <100*	<150 <130*		
二次予防 生活習慣の是正とともに 薬物治療を考慮する	冠動脈疾患またはアテローム 血栓性脳梗塞(明らかなアテ ローム****を伴うその他の脳 梗塞を含む)の既往	<100 <70**	<130 <100**		

● \*糖尿病において、末梢動脈疾患(PAD)、細小血管症(網膜症、腎症、神経障害)合併時、または喫煙ありの場合に考慮する。

● \*\*「急性冠症候群」、「家族性高コレステロール血症」、「糖尿病」、「冠動脈疾患とアテローム血栓性脳梗塞(明らかなアテロームを伴うその他の脳梗塞を含む)」の4病態のいずれかを合併する場合に考慮する。

● 一次予防における管理目標達成の手段は非薬物療法が基本であるが、いずれの管理区分においてもLDL-Cが180mg/dL以上の場合には薬物治療を考慮する。家族性高コレステロール血症の可能性も念頭に置いておく。

● まずLDL-Cの管理目標値を達成し、次にnon-HDL-Cの達成を目指す。LDL-Cの管理目標を達成してもnon-HDL-Cが高い場合は高TG血症を伴うことが多く、その管理が重要となる。低HDL-Cについては基本的には生活習慣の改善で対処すべきである。

● これらの値はあくまでも達成努力目標であり、一次予防(低・中リスク)においてはLDL-C低下率20~30%も目標値としてなり得る。

● \*\*\*10時間以上の絶食を「空腹時」とする。ただし水やお茶などカロリーのない水分の摂取は可とする。それ以外の条件を「随時」とする。

● \*\*\*\*頭蓋内外動脈の50%以上の狭窄、または弓部大動脈粥種(最大肥厚4mm以上)

● 高齢者については動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版第7章を参照。



実施料について(生化I)

一回に  印の項目を5項目以上行った場合

1) 5項目以上7項目以下 生化I 93点

2) 8項目又は9項目 生化I 99点

3) 10項目以上 生化I 103点

# 16 生化学的検査

生化学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1418	β-カロテン	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.6 凍		6~13 s	M: 6.6~47.6 F: 20.4~105.2 μg/dℓ	HPLC	遮光してください。	食事性相皮症
1420	ビタミンA (レチノール)	血液 1.0 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.3 凍		6~12 B	27.2~102.7 μg/dℓ	HPLC	遮光してください。	ビタミンA欠乏症 ビタミンA過剰症 腎不全 高脂血症
1422	ビタミンB <sub>1</sub>	血液 0.5 G-29 冷蔵 凍	239 生 I	4~7 s	24~66 ng/mL	LC/MS/MS	抗凝固剤: EDTA2K	脚気 ビタミンB <sub>1</sub> 欠乏症
1424	ビタミンB <sub>2</sub>	血液 0.5 G-29 冷蔵 凍	235 生 I	4~7 s	66.1~111.4 ng/mL	HPLC	抗凝固剤: EDTA2K 遮光してください。	ビタミンB <sub>2</sub> 欠乏症 舌炎 口内炎
1427	ビタミンB <sub>6</sub>	血液 3.0 S-1 冷蔵 遠心 血清 1.0 凍		4~11 B	M: PAM 0.6以下 PAL 6.0~40.0 PIN 3.0以下 F: PAM 0.6以下 PAL 4.0~19.0 PIN 3.0以下 ng/mL	HPLC	遮光してください。 PAM:ピリドキサミン PAL:ピリドキサル PIN:ピリドキシン	ビタミンB <sub>6</sub> 欠乏症
1428	カルニチン分画	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.5 凍	95+95 生 I	3~5 B	総カルニチン 45.0~91.0 遊離カルニチン 36.0~74.0 アシルカルニチン 6.0~23.0 μmol/L	酵素 サイクリング法		原発性カルニチン血症
1430	ビタミンB <sub>12</sub>	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.6 凍	136 生 I	2~4 B	233~914 pg/mL	CLIA	血清以外不可 遮光してください。	巨赤芽球性貧血 悪性貧血 吸収不良症候群
1451	葉酸	血液 2.0 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.7 凍	146 生 I	2~4 B	3.6~12.9 ng/mL	CLIA	溶血により高値傾向 を示す	巨赤芽球性貧血 慢性下痢症
1429	ニコチン酸 (ナイアシン)	血液 1.5 G-16 冷蔵		8~15 s	4.7~7.9 μg/mL	Bioassay		ペラグラ 先天性トリプトファン尿症
1436	ビタミンC (アスコルビン酸)	血液 2.0 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.5 G-5 冷蔵 遠心 上澄液 G-3 凍	296 生 I	4~7 s	5.5~16.8 μg/mL	HPLC	「G-5」に血清(S-1で採 血遠心)0.5mℓを加えて よく混和してください。 混和後、遠心分離し、そ の上清を遮光ポリスビツ ツで提出してください。 遠心処理ができない場 合はご相談ください。	ビタミンC欠乏症 壊血病
1441	25-OHビタミンD (ECLIA)	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.5 凍	117 生 I	3~6 B	ng/mL ※1	ECLIA	依頼の際は必ず 「25-OHVD ECLIA」 とご記入ください。	原発性骨粗鬆症 ビタミンD欠乏症 くる病
1438	25-OHビタミンD (CLIA)	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.6 凍	117 生 I	3~7 B	ng/mL ※1	CLIA	依頼の際は必ず 「25-OHVD CLIA」 とご記入ください。	
1439	1.25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	血液 3.0 S-1 冷蔵 遠心 血清 1.0 凍	388 生 I	4~8 B	20~60 pg/mL	RIA 2抗体法		ビタミンD抵抗性くる病 慢性腎不全 副甲状腺機能低下症
1443	ビタミンE	血液 1.5 S-1 冷蔵 遠心 血清 0.5 凍		9~15 H	0.75~1.41 mg/dℓ	蛍光法	遮光してください。	高脂血症 妊婦 クワシオールコル

※1 ビタミンD不足・欠乏の判定指針 (25-OHビタミンD濃度による)

ビタミンD充足状態	30.0ng/mL以上
ビタミンD不足	20.0ng/mL以上30.0ng/mL未満
ビタミンD欠乏	20.0ng/mL未満

日本小児内分泌学会の「ビタミンD欠乏症くる病・低カルシウム血症の診断の手引き」には、診断基準(血清25OHD低値)として下記が記載されています。  
・20 ng/mL 以下  
・15 ng/mL 以下であればより確実

- 「1,25ジヒドロキシビタミンD<sub>3</sub>」は慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症 I 型若しくは低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の診断時又はそれらの疾患に対する活性型ビタミンD<sub>3</sub>剤による治療中に測定した場合に限り算定できる。ただし、活性型ビタミンD<sub>3</sub>剤による治療開始後1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。
- 「総カルニチン及び遊離カルニチン」先天性代謝異常症の診断補助又は経過観察のために実施する場合は、月に1回を限度として算定する。静脈栄養管理若しくは経腸栄養管理を長期に受けている筋ジストロフィー、筋萎縮性側索硬化症若しくは小児の患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者、バルプロ酸ナトリウム製剤投与中の患者、Fanconi症候群の患者又は慢性維持透析の患者におけるカルニチン欠乏症の診断補助若しくは経過観察のために、本検査を実施する場合は、6月に1回を限度として算定する。
- 「25-OHビタミンD」ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中に測定した場合は診断時においては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定できる。原発性骨粗鬆症の患者に対して測定した場合は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定できる。なお、本検査を実施する場合は関連学会が定める実施方針を遵守すること。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
クリアランス検査	5191 ICG (消失率)	血液 各5.0 S-1 冷 遠心 血液4本 血清 各2.0	150	1~2 ②	0.168~0.206	比色法	遮光して下さい。 採取方法は下記参照	肝硬変症 体質性黄疸 デュビン・ジョソン症候群
	5193 ICG (停滞率)	血液 各5.0 S-1 冷 遠心 血液2本 血清 各2.0	100	1~2 ②	10以下 %	比色法		肝炎 肝硬変症 体質性黄疸
	5197 クレアチンクリアランス	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5 及び尿 5.0 K-5		1~2 ①	70~130 mL/min	酵素法	採取方法は下記参照	身長・体重・ 採血時間：尿量、 採尿時間を 記入して下さい。
	5196 24時間 クレアチンクリアランス	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5 及び尿 5.0 K-5		1~2 ①	M: 88.5~155.4 F: 82.3~111.6 L/day	酵素法	採取方法は下記参照	身長・体重、 蓄尿量を記入して 下さい。

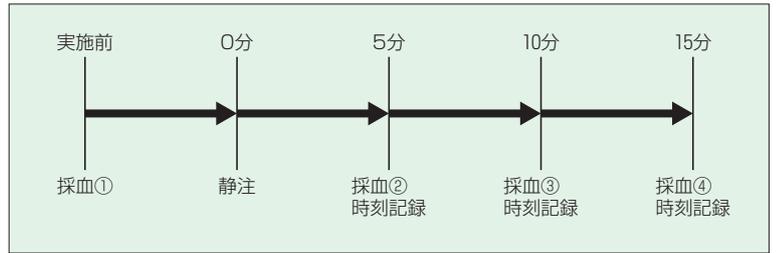
■ 「ICG」検査に伴って行った注射、採血及び検体測定のコストは、所定点数に含まれるものとする。なお、注射とは、注射実施料をい、施用した薬剤のコストは、別途算定する。

## クリアランス検査実施方法

### 1 インドシアニングリーン試験 (ICG)

1. 早朝空腹時に採血5mL…①
2. ジアグノグリーン25mgを注射用蒸留水5mLに溶かし体重10kgにつき1mLを約30秒かけて静注。  
(時間測定開始)
3. 静注開始後、5分ごとに5mL採血を3回。…②③④  
注意) 早朝空腹時に実施、検査終了まで安静仰臥がよい。  
採血は、注射と反対側の腕からおこなう。  
検体は遮光する。

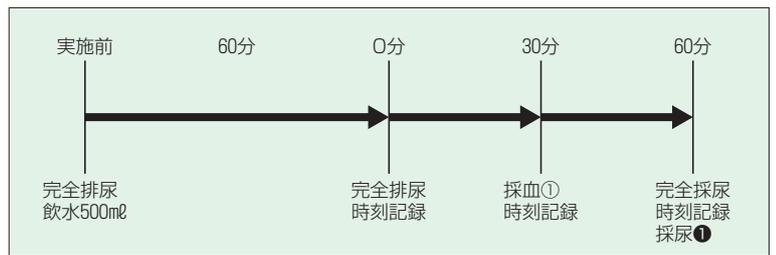
提出) 消失率：採血時間を明記した容器①②③④の4本  
停滞率：容器①と④の2本



### 2 クレアチンクリアランス

1. 完全排尿後、水500mLを飲水。
2. 飲水60分後に完全排尿し、この時刻を正確に記録。  
(時間測定開始)
3. 測定開始30分後、採血1.5mL実施…①
4. 測定開始60分後、完全採尿して正確に尿量及び終了時刻を記録し、一部を出検。…①

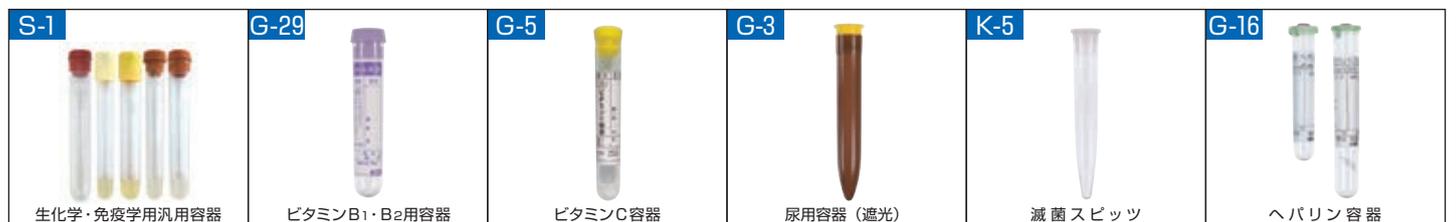
提出) 身長・体重・採血時間を明記した容器①と、  
全尿量・採尿時間を明記した容器①。



### 3 24時間内因性クレアチンクリアランス

1. 一定時刻に完全排尿後、以後の尿を翌日の同時刻まで蓄尿。  
(冷所にて蓄尿)  
よく混和して尿量測定後、一部を出検。…①
2. 早朝空腹時に採血1.5mL実施。…①

提出) 身長・体重を明記した容器①と、  
全尿量を明記した容器①。



# 18 免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
補 体	3150 血清補体価 (CH <sub>50</sub> )	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	38 免	2~3 ⑤	31~58 U/mL	リボソーム 免疫測定法		SLE 肝硬変症 先天性補体異常症
	3156 補体C <sub>3</sub>	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	70 免	2~3 ⑤	73~138 mg/dL	TIA		SLE 急性糸球体腎炎 慢性肝炎、肝硬変
	3158 補体C <sub>4</sub>	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	70 免	2~3 ⑤	11~31 mg/dL	TIA		SLE 慢性肝炎、肝硬変
自 己 免 疫	4093 リウマトイド因子 (RA)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3		1~2 ⑥	(-)	LA		関節リウマチ SLE シェーグレン症候群
	4095 リウマトイド因子(定量) (RF定量)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	30 免	1~2 ⑤	15以下 IU/mL	LA		間質性肺炎 全身性強皮症 皮膚筋炎
	4097 IgG型 リウマチ因子	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	198 免	3~6 s	2.00未満	ELISA		
	4103 抗ガラクトース欠損 IgG抗体 (CA・RF)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	111 免	6~10 H	6.0未満 AU/mL	ECLIA		関節リウマチ
	4104 抗CCP抗体 (抗シトルリン化ペプチド抗体)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	193 免	2~4 ⑥	4.5未満 U/mL	CLIA		
	4100 MMP-3 (マトリックスメタロ プロティナーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	116 免	1~3 ⑤	M:36.9~121.0 F:17.3~59.7 ng/mL	LA		
	4034 LE細胞	血液 5.0 S-1 室 遠心しない(分離剤なし)		2~4 ⑦	(-)	ギムザ 染色鏡検	抗凝固剤の入っていない 容器で採取後速やかに提 出して下さい。 単独依頼をお願いします。	SLE シェーグレン症候群 強皮症
	4030 抗核抗体 (定性)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心	99 免	3~5 ⑥	(-)	FA		SLE 混合性結合組織病 シェーグレン症候群
	4032 抗核抗体 (半定量)	血清 0.3	99 免	3~7 ⑥	20以下 倍	FA		多発性筋炎/皮膚筋炎 強皮症 薬剤誘発性ループス オーバーラップ症候群
	4197 抗糸球体基底膜抗体 (抗GBM抗体)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	262 免	3~5 B	7.0未満 U/mL	FEIA	(-)7.0未満 (±)7.0~10.0 (+)10.1以上	グッドパスチャー症候群 急速進行性糸球体腎炎
4112 抗胃壁細胞抗体 (抗パリエタル細胞抗体)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2		3~6 B	10未満 倍	FA		悪性貧血 萎縮性胃炎 甲状腺疾患	
4207 抗精子抗体	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍		6~9 s	(-)	不動化法	溶血検体不可 SIV値= 陰性コントロールの運動率 患者血清の運動率	不妊症	

- 「リウマトイド因子 (RF) 定量」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体」、「MMP-3」、「免疫複合体 (C1q)」、「免疫複合体 (モノクローナルRF)」及び「IgG型リウマチ因子」のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
- 「抗ガラクトース欠損IgG抗体」と「リウマトイド因子 (RF) 定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「抗シトルリン化ペプチド (CCP) 抗体」、「抗ガラクトース欠損IgG抗体」、「MMP-3」、「免疫複合体 (C1q)」、「免疫複合体 (モノクローナルRF)」及び「IgG型リウマチ因子」のうち2項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの1つに限り算定する。
- 「抗CCP抗体」は関節リウマチと確定診断できない者に対して診断の補助として検査を行った場合に、原則として1回を限度として算定できる。ただし、当該検査結果が陰性の場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。別に、関節リウマチに対する治療薬の選択のために行う場合においては、患者1人につき原則として1回に限り算定する。ただし、当該検査結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、再度治療薬を選択する必要がある場合においては、3月に1回に限り算定できる。なお、当該検査を2回以上算定するに当たっては、その医学的な必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- 「抗GBM抗体」抗糸球体基底膜抗体腎炎及び、グッドパスチャー症候群の診断又は、治療方針の決定を目的として行った場合に限り算定する。

実施料について (自己抗体)		
一回に	印の項目を2項目以上行った場合	
1)	2項目	自己抗体 320点
2)	3項目以上	自己抗体 490点



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4036	抗DNA抗体(定量)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2	159 免	3~7 H	6.0以下 IU/mL	RIA 硫酸塩折法	乳び検体は測定できない場合があります。	SLE オーバーラップ症候群 混合性結合組織病
4041	抗ss-DNA	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	159 免	3~6 S	25以下 AU/mL	ELISA		SLE オーバーラップ症候群 混合性結合組織病
4045								
4049	抗ds-DNA	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	159 免	3~6 S	12以下 IU/mL	ELISA		SLE オーバーラップ症候群 混合性結合組織病
4053								
4065	抗RNP抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	144 免	4~7 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		混合性結合組織病 SLE 全身性強皮症
4062	抗Sm抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	147 免	4~7 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		SLE
4077	抗Scl-70抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	157 免	4~6 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		全身性強皮症
4068	抗SS-A /Ro抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	161 免	4~7 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		シェーグレン症候群 SLE 混合性結合組織病
4069	抗SS-B /La抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	157 免	4~7 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		シェーグレン症候群 SLE オーバーラップ症候群
4088	抗Jo-1抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	140 免	4~9 H	10.0未満(-) 10.0以上(+) U/mL	CLEIA		多発性筋炎 皮膚筋炎
4029	抗ARS抗体 (アミノアシル-t-RNA合成酵素抗体)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	190 免	3~6 S	25.0未満 (-)	ELISA	不活化(非動化) 検体不可	多発性筋炎 皮膚筋炎
4078	抗RNAポリメラーゼ Ⅲ抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	170 免	3~6 S	28未満 Index	ELISA	28未満 陰性(-) 28~50未満 判定保留(±) 50以上 陽性(+)	強皮症 膠原病
4089	抗Mi-2抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	270 免	3~10 B	53未満(-) 53以上(+) Index	EIA		皮膚筋炎(DM)
4090	抗TIF1-γ抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	270 免	3~10 B	32未満(-) 32以上(+) Index	EIA		皮膚筋炎(DM)
4091	抗MDA5抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	270 免	3~10 B	32未満(-) 32以上(+) Index	EIA		皮膚筋炎(CADM)

自己免疫

- 「抗ARS抗体」と「抗Jo-1抗体(定性・半定量・定量)」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「抗RNAポリメラーゼⅢ抗体」びまん性型強皮症の確定診断を目的として行った場合に、1回を限度として算定できる。また、その際陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、また、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合に、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。
- 「抗Mi-2抗体」「抗TIF1-γ抗体」「抗MDA5抗体」厚生労働省難治性疾患克服研究事業自己免疫疾患に関する調査研究班による「皮膚筋炎診断基準」を満たす患者において測定した場合に算定できます。

# 20 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4092	抗セントロメア抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.6	174 免	5~10 s	10.0未満 U/mL	CLEIA		全身性強皮症 原発性胆汁性肝硬変 クレスト症候群
4108	抗ミトコンドリア 抗体 (AMA) (半定量)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	181 免	3~6 s	陰性 (20未満) 倍	FA		原発性胆汁性肝硬変
4109	抗ミトコンドリアM2 抗体 (定量)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	189 免	4~7 H	7.0未満 Index	CLEIA	不活化(非動化) 検体不可	
4110	抗平滑筋抗体 (ASMA)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3		3~6 s	陰性 (40未満) 倍	FA		自己免疫性肝炎 原発性胆汁性肝硬変
4241	抗肝/腎ミクロ ゾーム抗体 (抗LKM-1抗体)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	215 免	3~7 B	17.0未満(-) Index	EIA	17.0未満(-) 17.0~50.0未満(±) 50.0以上(+)	自己免疫性肝炎
4080	抗好中球細胞質 (ミエロペルオキシダーゼ)抗体 (MPO-ANCA) (P-ANCA)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	251 免	3~6 s	3.5未満 U/mL	CLEIA		急速進行性糸球体腎炎
4082	抗好中球細胞質 (プロティナーゼ3)抗体 (PR3-ANCA) (C-ANCA)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	252 免	3~6 s	3.5未満 U/mL	CLEIA		ウェゲナー肉芽腫症 急速進行性糸球体腎炎
4185	抗アクアポリン4抗体 (AQP4抗体)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3 凍	1000 免	4~11 L	3.0未満 U/mL	EIA		視神経脊髄炎 視神経炎 急性脊髄炎
4190	抗皮膚抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5 凍		6~11 s	10未満(-) 倍	IFA		皮膚水疱症
4230	抗BP180抗体 (血清中抗BP180NC 16a抗体)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	270 免	3~6 s	9.0未満 U/mL	CLEIA	不活化(非動化) 検体不可	水疱性類天疱瘡
4238	抗デスマグレイン 1抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	300 免	3~6 s	20.0未満 U/mL	CLEIA	不活化(非動化) 検体不可	天疱瘡 薬剤誘発性天疱瘡
4239	抗デスマグレイン 3抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	270 免	3~6 s	20.0未満 U/mL	CLEIA		

- 「抗セントロメア抗体」 原発性胆汁性肝硬変、又は強皮症の診断又は治療方針の決定を目的に用いた場合に限り算定できる。
- 「MPO-ANCA」 急速進行性糸球体腎炎の診断又は経過観察のために測定した場合に算定する。
- 「抗LKM1抗体」は、ウイルス肝炎、アルコール性肝障害及び薬剤性肝障害のいずれでもないことが確認され、かつ、抗核抗体陰性の自己免疫性肝炎が強く疑われる患者を対象として測定した場合に限り算定できる。  
本検査を実施した場合は、診療報酬明細書の摘要欄に抗核抗体陰性を確認した年月日を記載する。
- 「抗BP180-NC16a抗体」は、水疱性類天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。
- 「抗デスマグレイン1抗体」、「抗デスマグレイン3抗体」は、天疱瘡の鑑別診断又は経過観察中の治療効果判定を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生労働省難治性疾患政策研究事業研究班による「天疱瘡診断基準」により、天疱瘡が強く疑われる患者とする。
- 「抗デスマグレイン1抗体」は、落葉状天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、本検査と抗デスマグレイン3抗体を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「抗デスマグレイン3抗体」は、尋常性天疱瘡の患者に対し、経過観察中の治療効果判定の目的で、本検査と抗デスマグレイン1抗体を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「抗アクアポリン4抗体」 視神経脊髄炎の診断(治療効果判定を除く)を目的として測定した場合に算定できる。当該検査の結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、視神経脊髄炎が強く疑われる患者に対して、疾患の診断を行う必要があり、当該検査を再度実施した場合においても算定できる。ただし、この場合、前回の検査実施日及び検査を再度実施する医学的な必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載する。



実施料について (内分泌)		
一回に●印の項目を3項目以上行った場合		
1) 3項目以上5項目以下	内分泌	410点
2) 6項目又は7項目	内分泌	623点
3) 8項目以上	内分泌	900点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4175	インスリン抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	107 免	5~9 s	0.4未満 U/mℓ	RIA法		インスリン自己免疫症候群 1型糖尿病
4162	膵島細胞質抗体 (ICA) (抗ランゲルハンス氏島抗体)	血液 3.0 S-1 冷 遠心 血清 1.0 凍		17~25 B	(-)	FA		1型糖尿病
1274	抗GAD抗体 (抗グルタミン酸デカル ボキシラーゼ抗体)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	134 生II	3~6 H	5.0未満 U/mℓ	ELISA		1型糖尿病
1276	抗IA-2抗体	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	213 生II	4~8 B	0.6未満 U/mℓ	EIA		1型糖尿病 2型糖尿病(約5%)
4188	抗アセチルコリン レセプター抗体 (抗AChR抗体)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	775 免	4~9 s	0.2以下 nmol/ℓ	RIA		重症筋無力症
4245	LRG (ロイシンリッチα2 グリコプロテイン)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	268 生I	2~4 Ⓜ	16.0未満 μg/mL	LA	基準値 16.0 未満 μg/mLは炎症性腸 疾患の活動期の判 定補助における参 考基準値	潰瘍性大腸炎 クローン病
4523	便中 カルプロテクチン	専用容器にて 冷 便を採取 G-23 凍	268 尿糞	5~9 s	下記参照 mg/kg	FEIA		

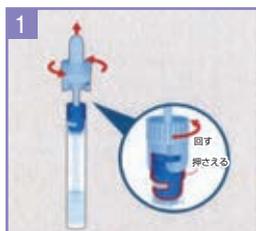
### ●便中カルプロテクチン基準値

疾患別臨床的カットオフ値としては、次の数値が示されています。

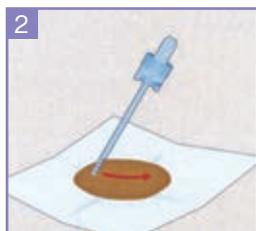
- ・炎症性腸疾患の診断補助の指標：50以下
- ・潰瘍性大腸炎の内視鏡的非活動状態のカットオフ値：300以下
- ・クローン病の内視鏡的非活動状態のカットオフ値：80以下

- 「抗GAD抗体」すでに糖尿病の診断が確定した患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合又は、自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。
- 「抗IA-2抗体」すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、「抗GAD抗体」の結果、陰性が確認された患者に対し1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。なお、「抗GAD抗体」の結果、陰性が確認された年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- 「抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)重症筋無力症の診断又は診断後の経過観察の目的で行った場合に算定できる。「抗筋特異的アセチルコリンエステラーゼ抗体」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「LRG」潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合は、3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から、本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- 「便中カルプロテクチン」慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として測定した場合に算定できる。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施すること。また、その要旨を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。潰瘍性大腸炎又はクローン病の病態把握を目的として測定する場合、それぞれ3月に1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から本検査を1月に1回行う場合には、その詳細な理由及び検査結果を診療録及び診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- 「LRG」、「便中カルプロテクチン」又は「大腸内視鏡検査」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

### 便中カルプロテクチン採取方法



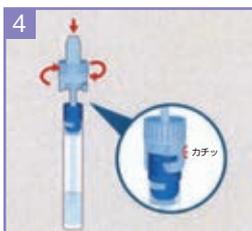
1 キャップの青色部分を押しさえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。



2 スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をごすり取ります。



3 スティックの先端についた便をトイレトーパー等で取り除きます。



4 スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッと合はまるまで右に回します。



# 22 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
自己免疫	4217	抗カルジオリピン抗体 IgG	血液 1.0 S-1 冷蔵	226 免	4~7 <sub>s</sub>	12.3以下 U/mL	ELISA	抗リン脂質抗体症候群 動(静)脈血栓症 習慣性流産
	4219	抗カルジオリピン抗体 IgM	血清 0.4 遠心	226 免	4~7 <sub>s</sub>	20.8以下 U/mL	ELISA	
	4249	抗β <sub>2</sub> グリコ プロテイン IgG	血液 1.5 S-1 冷蔵	226 免	4~7 <sub>s</sub>	0.7未満 U/mL	CLEIA	
	4250	抗β <sub>2</sub> グリコ プロテイン I 抗体 IgM	血清 0.5 遠心	226 免	4~7 <sub>s</sub>	17.5以下 U/mL	CLEIA	
	4214	抗カルジオリピンβ <sub>2</sub> グリコプロテインI 複合体抗体 (抗CL・β <sub>2</sub> GPI複合体抗体)	血液 1.0 S-1 冷蔵 血清 0.3 凍	223 免	3~6 <sub>L</sub>	3.5以下 U/mL	EIA	
免疫血液	4296	ABO式血液型 *	血液 2.0 K-1 冷蔵	24 免	1~2 <sub>Ⓜ</sub>		カラム凝集法 抗凝固剤:EDTA2K	血液型判定 新生児溶血性貧血 輸血
	4301	Rh(D) 式血液型	血液 2.0 K-1	24 免	1~2 <sub>Ⓜ</sub>		カラム凝集法 抗凝固剤:EDTA2K	
	4303	Rh-Hr式血液型	血液 2.0 S-3 冷蔵	148 免	3~6 <sub>s</sub>		カラム凝集法 抗凝固剤:EDTA2Na 年齢、輸血歴、疾患名を記入してください。 月~金曜日の昼集配で提出してください。	血液型判定 新生児溶血性貧血 輸血 不適合妊娠
	4336	直接クームス試験 (直接Coombs試験)	血液 2.0 K-1 室温	34 免	緊急報告 1~2 <sub>Ⓜ</sub>	(-)	カラム凝集法 抗凝固剤:EDTA2K	自己免疫性溶血性貧血 新生児溶血性貧血
	4338	間接クームス試験 (定性) (間接Coombs試験)	血液 7.0 S-1 冷蔵	47 免	1~2 <sub>Ⓜ</sub>	(-)	カラム凝集法 必ず単独依頼で提出してください。	自己免疫性溶血性貧血 血液型不適合妊娠の母体
	4337	間接クームス定量	血液 7.0 S-1 冷蔵	47 免	3~7 <sub>B</sub>	1未満 倍	試験管法 必ず単独依頼で提出してください。	
	4351	不規則性抗体	血液 7.0 S-1 冷蔵	159 免	3~10 <sub>Ⓜ</sub>	(-)	カラム凝集法 必ず単独依頼で提出してください。	輸血時 輸血反応(副作用) 妊婦
	4352	不規則性抗体 (抗体同定、抗体価測定)	血液 10.0 S-1 冷蔵	159 免	2~7 <sub>B</sub>		カラム凝集法 必ず単独依頼で提出してください。	
9252	血液型不適合妊娠	血液 2.0 S-3 室温 血液 10.0 S-1 冷蔵 血清 4.0 遠心		4~7 <sub>s</sub>		2-メルカプト エタノール法 年齢、輸血歴、疾患名を明記して下さい。また、妊婦・ベビー・移植のいずれかを明記して下さい。	血液型不適合妊娠	

\*ABO血液型

生後1歳未満の乳幼児の場合は、抗A、抗B抗体の産生が不十分なため、表試験のみのご報告となります。成長後の再検査をお勧めいたします。

- 「抗カルジオリピンβ<sub>2</sub>グリコプロテインI複合体抗体」と「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgG抗体」又は「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「抗カルジオリピンIgM抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として実施した場合、一連の治療につき2回に限り算定する。
- 「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgG抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として実施した場合、一連の治療につき2回に限り算定する。
- 「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgM抗体」は、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として実施した場合、一連の治療につき2回に限り算定する。
- 「抗カルジオリピンIgG抗体」、「抗カルジオリピンIgM抗体」、「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgG抗体」及び「抗β<sub>2</sub>グリコプロテインI IgM抗体」を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。
- 「Rh-Hr式(その他の因子)血液型」については、同一検体による検査の場合は因子の種類及び数にかかわらず、所定点数を算定する。
- 「不規則性抗体」は、輸血歴又は妊娠歴のある患者に対し、胸部手術、心・脈管手術、腹部手術又は子宮全摘術、子宮悪性腫瘍手術、子宮附属器悪性腫瘍手術(両側)、帝王切開術若しくは異所性妊娠手術が行われた場合に、手術の当日に算定する。また、手術に際して輸血が行われた場合は、本検査又は輸血に定める不規則抗体検査加算のいずれかを算定する。この場合、診療報酬明細書の摘要欄に輸血歴がある患者又は妊娠歴がある患者のいずれに該当するかを記載する。なお、輸血料の加算点数として算定する場合は、不規則抗体の費用として検査回数にかかわらず1月につき197点を所定点数に加算する。ただし、頻回に輸血を行う場合にあっては、1週間に1回に限り、所定点数に197点加算する。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
免疫血液	4223 抗血小板抗体 (APA)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	261 免	4~8 s	陰性	MPHA	採血後、室温で静置し、完全に血餅凝固後、血清分離してください。年齢、輸血歴、疾患名を明記してください。	特発性血小板減少性紫斑病 血小板輸血不応状態 輸血後紫斑病
	4226 PAIgG (血小板関連IgG)	血液 7.5 G-30 冷	190 免	4~7 s	46以下 ng/10 <sup>7</sup> cells	ELISA	月曜日～金曜日の昼集配で提出してください。祝前日不可。末梢血の血小板数が3万/mm <sup>3</sup> 以下の場合は、必ず10mL以上(2本)採血してください。	特発性血小板減少性紫斑病
	3416 HIT抗体 (血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体)	血液 2.7 K-3 冷 遠心 血漿 0.5 凍 ※	390 免	3~5 L	1.0未満 U/mL	ラテックス凝集法	HIT抗体 (IgG-IgMおよびIgA) を測定し、その濃度を報告しますが、免疫グロブリンの各クラス別の濃度報告は行いません。血清検体測定不可	ヘパリン起因性血小板減少症
免疫成分・血清蛋白成分	3136 免疫電気泳動 (抗ヒト全血清による同定)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	170 免	5~8 s	*	免疫電気泳動法		単クローン性免疫グロブリン血症 多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症
	3139 免疫電気泳動 (特異抗血清による同定)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	218 免	5~8 s	*	免疫固定法	年齢、病歴を明記してください。抗異抗血清の検査は異常蛋白を中心に行います。	M蛋白の重鎖クラスおよび軽鎖の型の同定
	4956 ベンス・ジョーンズ蛋白同定 (Bence Jones 蛋白)	部分尿 10 K-5 冷	201 免	5~8 s		免疫固定法		多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症 原発性アミロイドーシス
	3103 IgG	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	38 免	1~2 ⑤	861~1747 mg/dL	TIA		IgG型多発性骨髄腫 原発性マクログロブリン血症
	3106 IgA	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	38 免	1~2 ⑤	93~393 mg/dL	TIA		IgA型多発性骨髄腫 IgA腎症
	3109 IgM	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	38 免	1~2 ⑤	M: 33~183 F: 50~269 mg/dL	TIA		膠原病 原発性マクログロブリン血症 肝疾患
	3125 IgE (RIST) (非特異的IgE)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	100 免	2~3 ⑥	350以下 IU/mL	FEIA	小児基準 前頁参照	アトピー性皮膚炎 気管支喘息 アレルギー性鼻炎
	3123 IgG4	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	377 免	3~6 s	11~121 mg/dL	ラテックス免疫比濁法		自己免疫性膵炎
3096 鳥特異的IgG抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	873 免	4~11 s	陰性 ※ 8.00未満 ハト 24.0未満 mgA/L	FEIA	両方またはいずれか一方がカットオフ値以上となった場合に陽性と判定します。	鳥関連過敏性肺炎	

免疫血清学的検査

- [PA-IgG] 特発性血小板減少性紫斑病の診断又は経過判定の目的で行った場合に算定する。
- [HIT抗体] ヘパリン起因性血小板減少症の診断を目的として行った場合に算定する。一連の検査で、血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG、IgM及びIgA抗体) 及び血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (IgG抗体) を測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- ※ [HIT抗体] : 3.2%クエン酸ナトリウム液入り容器に血液2.7mLを正確に入れ、よく混和後1,500xg、15分間、冷却(2~4℃) 遠心分離し、血漿を凍結してご提出ください。
- 免疫グロブリン [IgG]、[IgA]、[IgM] 及び [IgD] を測定した場合に、それぞれ所定点数を算定する。
- 「免疫電気泳動法 (抗ヒト全血清)」 「免疫電気泳動法 (特異抗血清)」 同一検体につき1回に限り算定する。
- 同一検体について「免疫電気泳動法 (抗ヒト全血清)」及び「免疫電気泳動法 (特異抗血清)」を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。
- 「鳥特異的IgG抗体」診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として測定した場合に算定する。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。



# 24 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
	特異的IgE (IgE-RAST) シングルアレルゲン	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.3	110 免	3~6 Ⓜ L	クラス0 0.35未満 UA/mL	FEIA	アレルゲン名は26・ 27頁参照	
	特異的IgE (CAP-RAST) マルチアレルゲン	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.3	110 免	3~6 Ⓜ	クラス0 0.35未満 UA/mL	FEIA	アレルゲン名は下記 参照	アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 気管支喘息
3047	特異的IgE Ara h 2(ピーナッツ由来)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	110 免	3~5 L	(+)4.00以上 (±)0.35~3.99 (-)0.35未満 UA/mL	FEIA	「特異的IgEピーナツ」 の陽性者が対象 です	
3093	アトピー鑑別試験 特異的IgE (ファディアトープ)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	194 免	3~6 Ⓜ	(-)	FEIA	アレルゲン名は下記 参照。	アレルギー性鼻炎 気管支喘息 アレルギー性結膜炎
3072	特異的IgE (MAST36)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	1430 免	4~7 S	MASTクラス0 1.39以下	CLEIA	アレルゲン名は下記 参照。	アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 気管支喘息
3071	特異的IgE (View39)	血液 3.0 S-1 冷 遠心 血清 1.0	1430 免	3~8 B	Viewクラス:0 0.27未満 Index	FEIA	アレルゲン名は次頁 参照	
3094	TARC (ヒトTARC) (Th2ケモカイン)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	179 免	3~7 H	次頁参照	CLEIA		アトピー性皮膚炎 じんま疹 炎症性角化症
3095	SCCA2	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	300 免	14~28 L	※1 1.6未満 ng/mL	EIA	唾液、フケ、皮膚(表皮)、 毛髪、爪などの混入により 高値傾向を示すことがあります。	15才以下の小児 アトピー性皮膚炎

※1 SCCA2重症度の目安 軽症:1.6~2.6未満/中等症:2.6~6.0未満/重症:6.0以上

■「MAST36」「View39」は〈特異的IgE1430点〉で算定する。

■特異的IgEは、特異抗原の種類ごとに所定点数を算定する。ただし、患者から1回に採取した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度として算定する。

■「TARC」は、以下のいずれかの場合に算定できる。

- ・アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合に、月1回を限度として算定できる。
- ・COVID-19と診断された患者(呼吸不全管理を要する中等症以上の患者を除く。)の重症化リスクの判定補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合は、一連の治療につき1回を限度として算定できる。

■「SCCA2」15才以下の小児におけるアトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として測定した場合に、月1回を限度として算定する。アトピー性皮膚炎の重症度評価を行うことを目的として本検査及び「TARC」を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定する。

## ●CAP-RAST マルチアレルゲンの構成

マルチアレルゲン (混合物) ※構成アレルゲンのいずれかが陽性であれば反応するが、アレルゲンの特定は不可。											
2708	カビ	2561	イネ科	2599	雑草	2651	動物上皮	2776	食物	2777	穀物
ペニシリウム クラドスポリウム アスペルギルス	カンジダ アルテルナリア ヘルミントスポリウム	ハルガヤ ギョウギシバ カモガヤ	オオアワガエリ アシ	ブタクサ ヨモギ フランスギク	タンポポ(属) アキノキリンソウ	ネコ皮膚 イヌ皮膚 モルモット上皮	ラット マウス	卵白 ミルク(牛乳) 小麦	ピーナッツ 大豆	小麦 トウモロコシ 米	ゴマ ソバ

## ●アトピー鑑別試験 (ファディアトープ) 12種類の吸入性アレルゲン構成

家屋ダニ	ヤケヒョウヒダニ、コナヒョウヒダニ
動物	ネコ皮膚、イヌ皮膚
真菌	カンジダ、アルテルナリア
雑草花粉	ブタクサ、ヨモギ
イネ科花粉	ギョウギシバ、カモガヤ
樹木花粉	スギ、シラカンバ(属)

## ●特異的IgE (MAST36アレルゲン) (判定基準)

MASTクラス	ルミカウント(LC)	判定
6	160~200	陽性
5	120~159	
4	58.1~119	
3	13.5~58.0	
2	2.78~13.4	
1	1.40~2.77	
0	0~1.39	陰性

## ●MAST36アレルゲンの構成

食餌系	食餌系		花粉系	環境関連	真菌等
	動物系	植物系			
ソバ	牛肉	オオアワガエリ	コナヒョウヒダニ		
小麦	鶏肉	カモガヤ	ハウスダスト1		
ピーナッツ	豚肉	ブタクサ混合物1	ネコ皮膚		
大豆	トマト	ヨモギ	イヌ皮膚		
米	卵白	スギ	カンジダ		
マグロ	オボムコイド	ヒノキ	アルテルナリア		
サケ	ゴマ	ハンノキ	ラテックス		
エビ	キウイ	シラカンバ	アスペルギルス		
カニ	バナナ				
牛乳	モモ				



## ●TARC アトピー性皮膚炎の基準値 (pg/mL)

小児 (6~12ヶ月)	1367未満
小児 (1~2歳)	998未満
小児 (2歳以上)	743未満
成人	450未満

## ●TARC アトピー性皮膚炎の重症度判定の目安 (pg/mL)

	血清TARC値	アトピー性皮膚炎の重症度の目安
成人	700未満	軽症
	700以上	中等症以上
小児 (2歳以上)	760未満	軽症
	760以上	中等症以上

参考文献：試薬メーカー資料（添付文書）より引用

## ※1 特異的IgE(RAST)セット (12-13項目)

採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料
血液 4.5 遠心 血清 2.0	1320(12項目) 1430(13項目) 免

## ●TARC SARS-CoV-2陽性患者の重症化リスクの判定補助におけるカットオフ値

成人	95.0pg/mL
----	-----------

※SARS-CoV-2陽性患者において、重症化（呼吸不全を伴う中等症Ⅱ以上）する患者は、発症初期からカットオフ値以下の値を示すことが確認されています。

## ●特異的IgE (RAST) 固定12セット ※1

学童成人 (吸入)	乳幼児 (食餌)
<b>661</b>	<b>662</b>
ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ ネコ皮膚 イヌ皮膚 スギ カモガヤ ブタクサ ヨモギ ガ アスペルギルス カンジダ アルテルナリア	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ ネコ皮膚 イヌ皮膚 カビ [マルチ] 卵白 ミルク (牛乳) 小麦 ソバ 大豆 サバ

## ●特異的IgE (RAST) 可変セット 13項目 ※1 (不要項目は一で消してください)

食餌系	乳幼児	喘息	鼻炎	皮膚炎
<b>663</b>	<b>664</b>	<b>665</b>	<b>666</b>	<b>667</b>
卵白 オボムコイド ミルク(牛乳) 小麦 ソバ エビ ピーナッツ 大豆 キウイ 牛肉 チーズ サバ イカ	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ ネコ皮膚 イヌ皮膚 卵白 オボムコイド ミルク (牛乳) 小麦 米 大豆 ソバ ゼラチン カビ [マルチ]	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ ネコ皮膚 イヌ皮膚 アスペルギルス カンジダ アルテルナリア ガ ユスリカ (成虫) ゴキブリ スギ カモガヤ 雑草 [マルチ]	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ 動物上皮 [マルチ] カビ [マルチ] スギ ヒノキ ハンノキ (属) カモガヤ ブタクサ ヨモギ ガ ユスリカ (成虫) ゴキブリ	ハウスダスト1 ヤケヒョウヒダニ 動物上皮 [マルチ] カビ [マルチ] マラセチア (属) スギ 卵白 ミルク (牛乳) オボムコイド 小麦 大豆 黄色ブドウ球菌A 黄色ブドウ球菌B

## ●Viewアレルギー-39の構成アレルゲン

吸入系その他アレルゲン	食餌系アレルゲン	
室内塵 ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1	卵 卵白 オボムコイド	
動物 ネコ皮膚 イヌ皮膚	牛乳 ミルク	
昆虫 ガ ゴキブリ	小麦 小麦	
樹木 スギ ヒノキ ハンノキ(属) シラカンバ(属)	豆・穀種実類 ピーナッツ 大豆 ソバ ゴマ 米	
		甲殻類 カモガヤ ブタクサ ヨモギ オオアワガエリ
		空中真菌 アルテルナリア(ススカビ) アスペルギルス(コウジカビ) カンジダ
真菌その他 マラセチア(属) ラテックス		

※各39項目について、個々のindex値とクラスをご報告致します。判定基準は、従来の「特異的IgE」とは異なります。

## ●Viewアレルギー-39 (判定基準)

判定	クラス	View39
陽性	6	29.31以上
	5	17.35~29.30
	4	7.05~17.34
	3	1.80~7.04
	2	0.50~1.79
疑陽性	1	0.27~0.49
陰性	0	0.27未満

## ●IgE(非特異的IgE)小児基準値

年齢 (歳)	(IU/mL)
1歳未満	20以下
1~3歳	30以下
4~6歳	110以下
7歳以上	170以下

### アレルゲン検査報告書

〒470-0001 中津市医師会健康管理センター 中津

受付No. 受付日 平成 25年 11月 4日  
 氏名 氏名 性別 男 受付No. 09001 報告日 平成 26年 7月 9日

アトピー鑑別試験(ファティートープ)

非特異的Ig-E 510 IU/mL

アレルゲン名	測定値 (IU/mL)	クラス
カモガヤ	21.80	4.1
ブタクサ	0.35	1.0
スギ	39.10	4.6
ネコ皮膚	50.60	5.0
糞	1.14	2.1
卵白	0.23	0.0
カンジダ	0.10未満	0.0
ハウスダスト1	9.55	3.4

判定される原因アレルゲン

イナ科植物花粉

雑草花粉

豚肉花粉

豚肉

室内塵-ダニ

黄麻類(カビ)

動物上皮

判定	陽性	疑陽性	陽性
特異的IgE (CAPシグナルアレルゲン)	クラス 0	1	2, 3, 4, 5, 6
測定値 (IU/mL)	0.35	0.35	0.70, 3.50, 17.5, 50.0, 100
	未満	0.69	3.49, 17.49, 49.9, 99.9

検査担当 宇藤 俊明  
 検査読取者 渡会 修

一般社団法人 中津市医師会健康管理センター 中津市医師会 知多郡医師会 西尾市医師会 刈谷医師会 東海市医師会

## 特異的IgE (シングルアレルゲン)

### RAST アレルゲン一覧

項目コード	略語	アレルゲン名
<b>室内塵</b>		
• 2925	H1	ハウスダスト 1
• 2926	H2	ハウスダスト 2
<b>ダニ</b>		
• 2993	D1	ヤケヒョウヒダニ (ダニ)
• 2994	D2	コナヒョウヒダニ (ダニ2)
3014	D70	アシトコナダニ
3015	D71	サヤアシコナダニ
3016	D72	クナガコナダニ
<b>雑草花粉</b>		
• 2586	W1	ブタクサ
2587	W2	ブタクサモドキ
2588	W3	オオブタクサ
2590	W5	ニガヨモギ
• 2591	W6	ヨモギ
2592	W7	フランスギク
2593	W8	タンポポ (属)
2594	W9	ヘラオオバコ
2595	W10	シロザ
• 2597	W12	アキノキリンソウ
2603	W18	ヒメスイバ
2605	W20	イラクサ (属)
2607	W22	カナムグラ
<b>樹木花粉</b>		
2627	T1	カエデ (属)
• 2628	T2	ハンノキ (属)
• 2629	T3	シラカンバ (属)
2631	T5	ブナ (属)
2632	T6	ジャコウソク (属)
2633	T7	コナラ (属)
2634	T8	ニレ (属)
2635	T9	オリーブ
2636	T10	くるみ (属)
2638	T12	ヤナギ (属)
• 2642	T16	マツ (属)
• 2643	T17	スギ
2645	T19	アカシア (属)
• 2650	T24	ヒノキ
2671	T70	クワ (属)
<b>昆虫</b>		
• 2946	I1	ミツバチ
• 2948	I3	スズメバチ
• 2949	I4	アシナガバチ
• 2951	I6	ゴキブリ
• 2973	I7	ユスリカ (成虫)
• 2698	I8	蛾
2971	I71	ヤブカ (属)
<b>薬品</b>		
3050	C73	ヒトインスリン
3045	C74	ゼラチン
<b>寄生虫</b>		
2902	P1	回虫
2905	P4	アニサキス
<b>イネ科植物花粉</b>		
• 2550	G1	ハルガヤ
2551	G2	ギョウギシバ
• 2552	G3	カモガヤ
2553	G4	ヒロハウシノケグサ
2554	G5	ホソムギ
• 2555	G6	オオアワガエリ
2556	G7	アシ
2557	G8	ナガハグサ
2558	G9	コメカグサ (属)
2559	G10	セイバンモロコシ
• 2564	G15	小麦 (属)
2565	G16	オオスズメノテッポウ
2566	G17	スズメノヒエ (属)

実施料：1アレルゲンにつき110点算定できます。ただし1回につき1430点を限度とします。  
※算定保険点数を越えるような多項目をご依頼の場合の検体量についてはご相談ください。

項目コード	略語	アレルゲン名
<b>真菌/細菌</b>		
2867	M1	ペニシリウム
2868	M2	クラドスポリウム
• 2869	M3	アスペルギルス
2870	M4	ムコール
• 2871	M5	カンジダ
• 2872	M6	アルテルナリア
2874	M8	ヘルミントスポリウム
2875	M80	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA
2876	M81	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンB
2877	M205	トリコフィトン
• 2906	M227	マラセチア (属)
3051	M218	Asp f 1 (アスペルギルス由来)
<b>職業性アレルゲン</b>		
3037	K72	オオバコ種子
3038	K75	イソシアネートTDI
3039	K76	イソシアネートMDI
3040	K77	イソシアネートHDI
3041	K78	エチレンオキシド
3042	K79	無水フタル酸
3046	K80	ホルマリン
• 3022	K82	ラテックス
3089	K220	Hev b 6.02 (ラテックス由来)
<b>食餌性アレルゲン</b>		
• 2749	F1	卵白
• 2750	F2	牛乳 (ミルク)
2751	F3	タラ
• 2752	F4	小麦
2753	F5	ライ麦
2754	F6	大麦
2755	F7	オート麦
2756	F8	トウモロコシ
• 2757	F9	米
• 2758	F10	ゴマ
• 2759	F11	そば
2760	F12	エンドウ
• 2761	F13	ピーナッツ
• 2762	F14	大豆
2763	F15	インゲン
• 2765	F17	ハシバミ (ヘーゼルナッツ)
2766	F18	ブラジルナッツ
• 2768	F20	アーモンド
• 2771	F23	カニ
• 2772	F24	エビ
• 2773	F25	トマト
2774	F26	豚肉
• 2775	F27	牛肉
• 2779	F31	にんじん
2781	F33	オレンジ
2783	F35	ジャガイモ (ポテト)
2784	F36	ココナッツ
2785	F37	ムラサキイガイ
• 2788	F40	マグロ
• 2789	F41	サケ
2792	F44	イチゴ
2793	F45	ビール酵母
2795	F47	ニンニク
2796	F48	タマネギ
• 2797	F49	リンゴ
• 2798	F50	サバ
2799	F51	たけのこ
2802	F54	さつまいも
2803	F55	きび
2804	F56	あわ
• 2806	F58	イカ
2807	F59	タコ
• 2808	F60	アジ
• 2809	F61	イワシ
• 2823	F75	卵黄
2824	F76	α-ラクトアルブミン
2825	F77	β-ラクトグロブリン
• 2826	F78	カゼイン

項目コード	略語	アレルゲン名
<b>食餌性アレルゲン</b>		
2827	F79	グルテン
2828	F80	ロブスター
• 2829	F81	チーズ (チェダーチーズ)
2830	F82	モールドチーズ
• 2831	F83	鶏肉
• 2832	F84	キウイ
2833	F85	セロリ
2834	F86	パセリ
• 2835	F87	メロン
2836	F88	羊肉
2837	F89	マスタード
2838	F90	麦芽
2839	F91	マンゴ
• 2840	F92	バナナ
2841	F93	カカオ
2853	F94	洋ナシ
• 2848	F95	もも
2849	F96	アボカド
2846	F97	ヤマモ
• 2767	F202	カシューナッツ
2814	F207	アサリ
2856	F209	グレープフルーツ
2854	F214	ホウレンソウ
2855	F225	カボチャ
• 2857	F233	オボムコイド
2851	F254	カレイ
• 2844	F256	クルミ
2812	F290	カキ (貝)
• 2847	F329	スイカ
2813	F338	ホタテ
• 2810	F349	イクラ
2811	F350	たらこ
3088	F353	Gly m 4 (大豆由来)
• 2820	F416	ω-5グリアジン (小麦由来)
• 3047	F423	Ara h 2 (ピーナッツ由来) ※1
• 3048	F441	Jug r 1 (クルミ由来)
• 3049	F443	Ana o 3 (カシューナッツ由来)
<b>動物表皮</b>		
• 2680	E1	ネコの皮膚
2693	E3	ウマの皮膚
2694	E4	ウシの皮膚
• 2695	E5	イヌの皮膚
2696	E6	モルモット上皮
2718	E70	ガチョウ羽毛
• 2715	E77	セキセイインコのフン
2726	E78	セキセイインコ羽毛
2728	E80	やぎ上皮
2729	E81	羊上皮
2730	E82	家兎上皮
• 2731	E83	豚上皮
2732	E84	ハムスター上皮
• 2733	E85	ニワトリ羽毛
2734	E86	アヒル羽毛
2735	E87	ラット
2736	E88	マウス
<b>その他</b>		
3043	O1	綿
<b>特異的IgE (シングルアレルゲン) (判定基準)</b>		
クラス	特異的IgE抗体価 (UA/ml)	判定
6	100以上	陽 性
5	50.0 ~ 99.9	
4	17.5 ~ 49.9	
3	3.50 ~ 17.4	
2	0.70 ~ 3.49	
1	0.35 ~ 0.69	疑陽性
0	0.10 ~ 0.34 0.10未満	陰 性

※1「Ara h 2」は他のシングルアレルゲンとは判定基準・報告形態が異なります。24頁を参照下さい。(クラス報告は行いません。)

## 特異的IgE (シングルアレルゲン) 索引

項目コード	アレルゲン名
α	2824 α-ラクトアルブミン
β	2825 β-ラクトグロブリン
ω	2820 ω-5グリアジン (小麦由来)
ア	2768 アーモンド
	2645 アカシア (属)
	2597 アキノキリンソウ
	2814 アサリ
	2556 アシ
	2808 アジ
	2949 アシナガバチ
	3014 アシブトコナダニ
	2869 アスペルギルス
	2905 アニサキス
	2734 アヒル羽毛
	2849 アボガド
	2872 アルテルナリア
	2804 あわ
イ	2806 イカ
	2810 イクラ
	3040 イソシアネートHDI
	3039 イソシアネートMDI
	3038 イソシアネートTDI
	2792 イチゴ
	2695 イヌ皮膚
	2605 イラクサ (属)
	2809 イワシ
	2763 インゲン
ウ	2694 ウシ皮膚
	2693 ウマ皮膚
エ	3041 エチレンオキサイド
	2772 エビ
	2760 エンドウ
オ	2875 黄色ブドウ球菌エンテロトキシンA
	2876 黄色ブドウ球菌エンテロトキシンB
	2555 オオアワガエリ
	2565 オオスズメノテッポウ
	2755 オート麦
	3037 オオバコ種子
	2588 オオブタクサ
	2754 大麦
	2857 オボムコイド
	2635 オリーブ
	2781 オレンジ
カ	2698 蛾
	2902 回虫
	2627 カエデ (属)
	2841 カカオ
	2812 カキ (貝)
	2767 カシューナッツ
	2826 カゼイン
	2718 ガチョウ羽毛
	2607 カナムグラ
	2771 カニ
	2855 カボチャ
	2552 カモガヤ
	2851 カレイ
	2871 カンジダ
キ	2832 キウイ
	2803 きび
	2775 牛肉
	2750 牛乳 (ミルク)
	2551 ギョウギシバ
ク	2868 クラドスポリウム
	2827 グルテン
	2844 クルミ
	2636 くるみ (属)
	2856 グレープフルーツ
	2671 クワ (属)

項目コード	アレルゲン名
ケ	3016 ケナガコナダニ
コ	2951 ゴキブリ
	2784 ココナッツ
	2994 コナヒョウヒダニ (ダニ2)
	2633 コナラ (属)
	2558 コメカグサ (属)
	2758 ゴマ
	2752 小麦
	2564 小麦 (属)
	2757 米
サ	2789 サケ
	2802 さつまいも
	2798 サバ
	3015 サヤアシニクダニ
シ	2783 ジャガイモ (ポテト)
	2629 シラカンパ (属)
	2595 シロザ
ス	2847 スイカ
	2643 スギ
	2566 スズメヒエ (属)
	2848 スズメバチ
セ	2559 セイバンモロコシ
	2726 セキセイインコの羽毛
	2725 セキセイインコのフン
	3045 ゼラチン
	2833 セロリ
ソ	2759 そば
タ	2762 大豆
	2799 たけのこ
	2807 タコ
	2796 タマネギ
	2751 タラ
	2811 タラコ
	2593 タンポポ (属)
チ	2829 チーズ (チェダーチーズ)
ト	2756 トウモロコシ
	2773 トマト
	2831 鶏肉
	2877 トリコフィトン
ナ	2557 ナガハグサ
ニ	2590 ニガヨモギ
	2634 ニレ (属)
	2733 ニワトリ羽毛
	2779 にんじん
	2795 ニンニク
ネ	2680 ネコ皮膚
ハ	2925 ハウスダスト1
	2926 ハウスダスト2
	2838 麦芽
	2765 ハシバミ (ヘーゼルナッツ)
	2834 パセリ
	2840 パナナ
	2732 ハムスター上皮
	2550 ハルガヤ
	2628 ハンノキ (属)
ヒ	2761 ピーナッツ
	2793 ビール酵母
	2729 羊上皮
	2836 羊肉
	3050 ヒトインスリン
	2650 ヒノキ
	2603 ヒメスイバ
	2632 ビャクシン (属)
	2553 ヒロハウシノケグサ
フ	2586 フタクサ
	2587 フタクサモドキ
	2731 豚上皮
	2774 豚肉
	2631 ブナ (属)
	2766 ブラジルナッツ
	2592 フランスギク

項目コード	アレルゲン名
ヘ	2867 ペニシリウム
	2594 ヘラオオバコ
	2874 ヘルミントスポリウム
ホ	2854 ホウレンソウ
	2554 ホソムギ
	2813 ホタテ
	3046 ホルマリン
マ	2736 マウス
	2788 マグロ
	2837 マスタード
	2642 マツ (属)
	2906 マラセチア (属)
	2839 マンゴ
ミ	2946 ミツバチ
ム	2870 ムコール
	3042 無水フタル酸
	2785 ムラサキイガイ
メ	2835 メロン
モ	2830 モールドチーズ
	2848 もも
	2696 モルモット上皮
ヤ	2728 やぎ上皮
	2993 ヤケヒョウダニ (ダニ1)
	2730 家兎上皮
	2638 ヤナギ (属)
	2971 ヤブカ (属)
	2846 ヤマイモ
ユ	2973 ユスリカ (成虫)
ヨ	2853 洋ナシ
	2591 ヨモギ
ラ	2753 ライ麦
	2735 ラット
	3022 ラテックス
	2823 卵黄
	2749 卵白
リ	2797 リンゴ
ロ	2828 ロブスター
ワ	3043 綿
A	3047 Ara h 2 (ピーナッツ由来)
A	3049 Ana o 3 (カシューナッツ由来)
A	3051 Asp f 1 (アスペルギルス由来)
G	3088 Gly m 4 (大豆由来)
H	3089 Hev b 6.02 (ラテックス由来)
J	3048 Jug r 1 (クルミ由来)

# 28 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(ml) 保存 提出量(ml) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3230	(定性) CRP (C反応性蛋白)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	16 免	1 ⑤	(-)	LA		悪性腫瘍 細菌感染症 心筋梗塞
3231	(定量)		16 免	1 ⑤	0.14以下 mg/dL	LA		
3251	SAA蛋白(血清アミ ロイドA蛋白)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	47 免	3~6 s	3.0以下 mg/L	ラテックス 凝集免疫法		細菌感染症 ウイルス感染症 炎症性疾患
3234	新生児APRスコア	血液 0.5 冷 毛細管 4~5本	191 免	1 ④	スコア0点	LA	出生日時、採血日 時、出生体重を明 記して下さい。	新生児の細菌感染症
3436	ASO定量 (抗streptolysin-O)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	15 免	1 ⑤	240以下 IU/mL	ラテックス 凝集比濁法		リウマチ熱 猩紅熱 急性糸球体腎炎 急性扁桃炎 溶連菌感染症
細1204	A群β溶連菌 迅速試験	咽頭分泌物 適量 冷 D-2	121 免	1~2 ⑥	(-)	イムノク マトグラ フィー法		
3518	寒冷凝集反応	血液 1.5 S-1 室 ↓ 遠心 血清 0.5	11 免	2~4 ④	32以下 倍	赤血球 凝集反応	凍結、冷蔵不可	マイコプラズマ肺炎 自己免疫性溶血性貧血 寒冷凝集素症
3521	マイコプラズマ抗体 (マイコプラズマ ニューモニエ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	32 免	2~4 ④	血清: 40以下 倍	PA		マイコプラズマ肺炎 ギラン・バレー症候群
3522	(半定量)		32 免	5~8 s	血清: 4未満 倍	CF		
4229	マイコプラズマ・ ニューモニエ 核酸同定	咽頭・鼻咽頭 凍 拭い液 P-4	291 微	1~2 ⑥	(-)	LAMP法	培養検査との共用 は不可。 必ず専用容器で提 出して下さい。 採取方法は下記を 参照して下さい。	マイコプラズマ肺炎
4228		喀痰 1.0 D-1 冷	291 微					

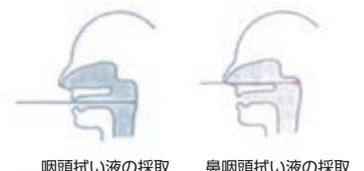
- 「マイコプラズマ抗体」マイコプラズマ抗原定性を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「A群β溶連菌迅速試験定性」細菌培養同定検査を同時に実施した場合は、A群β溶連菌迅速試験定性の所定点数のみを算定する。この場合においてA群β溶連菌迅速試験定性の結果が陰性のため、引き続いて細菌培養同定検査を実施した場合であっても、A群β溶連菌迅速試験定性の所定点数のみ算定する。
- 「SAA蛋白」「CRP」と併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。



## マイコプラズマ検査依頼時の検体採取方法

検体：咽頭拭い液、鼻咽頭拭い液

- 1) 咽頭拭い液の場合は、スワブを用い、口腔から唾液に触れないように舌を避けて咽頭後壁に強くこすりつけ拭い液を採取します。採取した咽頭拭い液は、容器に入れキャップを閉めます。
- 2) 鼻咽頭拭い液の場合は、スワブを用い、鼻腔から口蓋と平行になるように挿入します。咽頭後壁に適宜強くこすりつけ拭い液を採取します。採取した鼻咽頭拭い液は、容器に入れキャップを閉めます。検体採取後、凍結保存して下さい。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名	
3597	肺炎球菌抗原 (肺炎球菌荚膜抗原定性)	部分尿 1.0 K-5	188 免	2~3 	(-)	イムノ クロマト法	単独で依頼して下さい。	肺炎球菌肺炎 急性肺炎	
3575	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性)	血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.2	116 免	5~8 B	(-) 抗体濃度(参考値) 0.70未満 U/mL	EIA		結核 非定型抗酸菌感染症	
3574	アスペルギルス抗体 IgG	血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3		4~7 S	5.0未満 AU/mL	ELISA	5.0未満:陰性 5.0~9.9:判定保留 10.0以上:陽性	アスペルギルス感染症	
3571	アスペルギルス抗原	血液 2.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.7	157 免	5~9 H	(-) 0.5未満 index	EIA (ELISA)	カットオフインデックス 0.5未満(-) 0.5以上(+)		
3567	カンジダマンナン抗原 (定量)	血液 2.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.8	134 免	3~6 S	0.05未満 U/mL	ELISA		カンジダ症 肺カンジダ症	
3600	トリコスポロン・ アサヒ抗体	血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3	822 免	8~16 S	0.15未満 (CAI)	Antigen- captured ELISA	CAI <sup>W</sup> Corrected Absorbance Index 0.15未満 0.15~0.30未満 0.30以上	判定 陰性 判定保留 陽性	夏型過敏性肺炎
3557	クリプトコッカス・ネオ フォルマンス抗原 (半定量)	血液 2.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.8 髄液 0.8 K-5	166 免	3~5 B	(-)	ラテックス 凝集法	陽性の場合、1倍・2 倍・4倍…倍々で報 告します。	クリプトコッカス性髄膜炎 急性肺クリプトコッカス症	
3453	エンドトキシン検査	血液 2.0 G-7	229 免	3~6 S	1.0以下 (敗血症診断 カットオフ値) pg/mL	比濁時間 分析法	採取方法は下記を 参照して下さい。	敗血症 エンドトキシン血症 エンドトキシンショック	
		透析液 4.0 専用容器		3~6 S	EU/mL	発色合成 基質法	専用容器のためご依 頼の際はお電話にて ご注文下さい。		
3460	β-D-グルカン	血液 2.0 G-7	195 免	3~6 S	20.0以下 (深在性真菌症 カットオフ値) pg/mL	発色合成 基質法	採取方法は下記を 参照して下さい。	深在性真菌症	
3454	プロカルシトニン (PCT) (定量)	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.4	276 生 I	3~6 B	0.05以下 ng/mL	ECLIA	敗血症(細菌性)鑑 別診断のカットオフ 値:0.50ng/mL未満 敗血症(細菌性)重症 度判定のカットオフ 値:2.00ng/mL以上	細菌性敗血症	

### エンドトキシン、β-D-グルカン採取方法

1. G-7の専用容器を使用する。
2. G-7容器は「開栓厳禁」のため、注射針をそのままG-7専用容器に差し込み血液2.0mLを採取する。
3. 血液採取後は容器をよく混和する。
4. 混和後、密栓のまま速やかに冷蔵保存して下さい。



- 「PCT」は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定する。
- 「PCT」「エンドトキシン」「プレセプシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「β-D-グルカン」を「カンジダ抗原」、「D-アラビノール」、「アスペルギルス抗原」、「クリプトコッカス抗原」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「カンジダ抗原」カンジダ血症又はカンジダ肺炎の診断の目的で行った場合に算定する。
- 「アスペルギルス抗原」侵襲性肺アスペルギルス症の診断のために実施した場合にのみ算定できる。
- 「β-D-グルカン」深在性真菌感染症が疑われる患者に対する治療法の選択又は、深在性真菌感染症に対する治療効果の判定に使用した場合に算定する。グルカン製剤(抗悪性腫瘍剤)、セルロース膜で精製した血液製剤などの投与、セルロース膜での透析後の血液などは、データが高値を示す可能性があります。また、多発性骨髄腫・高γ-グロブリン血症では非特異的反応を示す可能性があります。溶血検体では、溶血の度合いにより検査不能となる場合があります。
- 「トリコスポロン・アサヒ抗体」夏型過敏性肺炎の鑑別診断を目的として測定した場合に算定できる。なお、鑑別診断目的の対象患者は、厚生省特定疾患びまん性肺疾患調査研究班による「過敏性肺炎の診断の手引と診断基準」により、夏型過敏性肺炎が疑われる患者とする。

# 30 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

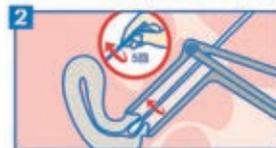
検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3419	淋菌核酸増幅同定検査	分泌物 P-3-1 (冷) 初尿・うがい液 P-3-2	198 徴	2~3 (b)	(-)	リアルタイムPCR	採取方法は下記参照 男性は初尿をお勧めします	淋病 尿道炎 子宮頸管炎
3418	クラミジアトラコマチス核酸増幅同定検査	分泌物 P-3-1 (冷) 初尿・うがい液 P-3-2	188 徴	2~3 (b)	(-)	リアルタイムPCR	採取方法は下記参照 男性は初尿をお勧めします	尿道炎 慢性前立腺炎 子宮頸管炎
800	淋菌及びクラミジアトラコマチス同時核酸検出	分泌物 P-3-1 (冷) 初尿・うがい液 P-3-2	262 徴	2~3 (b)	(-)	リアルタイムPCR	採取方法は下記参照 男性は初尿をお勧めします	淋病 尿道炎 子宮頸管炎 慢性前立腺炎
3413	膣トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出	分泌物 P-3-1 (室) 初尿 P-3-2	350 徴	5~7 B	陰性	リアルタイムPCR	淋菌核酸同定、クラミジアトラコマチス核酸同定を同時依頼の場合は、別途単独検体で提出してください。 うがい液での検査不可。	尿道炎 子宮頸管炎

## PCR法用検体の処置方法

### ●分泌物（容器P-3-1）



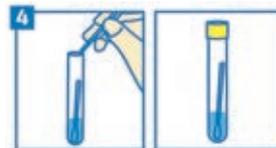
1 スワブ検体採取セット付属の粘液除去用ドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を充分拭い取ります。  
【注意】 粘液を拭ったスワブは廃棄します。



2 付属されている検体採取用フロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。（まわし過ぎないでください。）スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意してください。



3 コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したフロックスワブをコバスPCRメディアチューブに入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



4 コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、キャップで黒い線をはさむようにして折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。  
【注意】 手元に残った折られた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

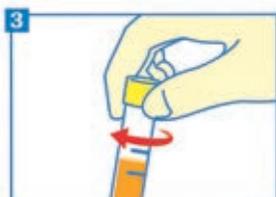
### ●初尿：最後の排尿から1時間以上経過していることを確認してください。（容器P-3-2）



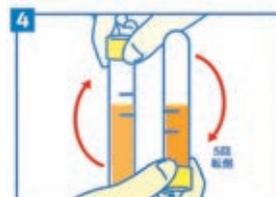
1 滅菌済み容器に初尿を採取します。滅菌済みスポイトを用いて、初尿をコバスPCRメディアに移します。  
【注意】 初尿は採取後2~30℃で24時間以内にPCRメディアに移してください。



2 コバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように初尿を加えてください。



3 コバスPCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。



4 コバスPCRメディアを5回転倒混和させてください。

### ●うがい液：検体採取前の食事・うがい・歯磨き・ガムを噛むことは避けてください。（容器P-3-2）



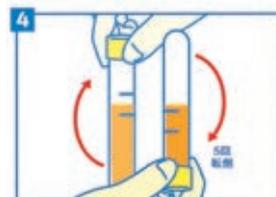
1 生理食塩水（日局方など）をコップに15~20ml入れてください。生理食塩水15~20mlを口に含み、顔を上に向けて10~20秒間、勢いよく“ガラガラ”とうがいを行います。  
【注意】 口に含んで吐き出した液とうがい用容器に残した液を合わせて“うがい液”とします。



2 “うがい液”全量とうがい用容器に回収し、スポイトでコバスPCRメディア（尿・うがい用）に必要量添加します。  
【注意】 “うがい液”はコバスPCRメディアに記載されている2つのラインの間に収まるように加えてください。



3 PCRメディアの蓋をしっかりと閉めてください。



4 PCRメディアを5回転倒混和させてください。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名	
3403	クラミジア トラコマチス	血液 各1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 各0.2	200 免	3~6 s	0.90未満 陰性 Cut off Index	EIA	0.90未満(-) 0.90~1.09(±) ※2 1.10以上(+)	乳児肺炎 新生児肺炎 骨盤内炎症性疾患 尿道炎	
3404									200 免
3507	クラミジア ニューモニエ	血液 各1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 各0.2	70 免	3~6 s	30未満 陰性 EIU	ELISA	30未満(-) 30~45(±) ※1 45以上(+)	クラミジア肺炎 クラミジア感染症 咽頭炎	
3508									75 免
3509									152 免
3425	クラミジア シッタシ	血液 各1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 各0.2 又は 髄液 各0.4 K-5	79 免	4~11 s	血清:10倍未満 髄液:1倍未満	FA	出発希釈 血清 10倍 髄液 1倍	間質性肺炎	
3428									79 免
3423	オーム病クラミジア (クラミジアシッタシ)	血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3	79 免	5~8 s	4未満 倍	CF		間質性肺炎 異型肺炎 心筋炎	
3581	トキソプラズマ IgG抗体	血液 各1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 各0.3	93 免	3~6 s	6未満 IU/mL	ELISA	6未満 陰性 6~8 判定保留 9以上 陽性	トキソプラズマ症 先天性トキソプラズマ症	
3583	トキソプラズマ IgM抗体								95 免

- クラミジア・トラコマチス核酸検出は、泌尿器・生殖器又は咽頭からの検体により実施した場合に限り算定できる。
- 淋菌核酸増幅同定検査とクラミジア・トラコマチス核酸増幅同定検査を同時依頼していただいた場合、実施料は262点となります。
- 淋菌核酸検出は、泌尿器・生殖器又は咽頭からの検体（尿検体を含む。）により実施した場合に限り算定できる。
- 淋菌核酸検出、淋菌抗原定性又は細菌培養同定検査（淋菌感染を疑って実施するもの）を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。
- クラミジアトラコマチス抗体「IgG」、IgA及び「IgM」のうち2項目以上を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「グロブリンクラス別クラミジアトラコマチス抗体」クラミジアトラコマチス抗原検出不能又は検体採取の困難な疾患（骨盤内感染症、卵管炎、副睾丸炎、新生児・乳児肺炎等）の診断に際し、IgG抗体価又はIgA抗体価を測定した場合又は新生児・乳幼児肺炎の診断に際し、IgM抗体価を測定した場合に算定する。
- 「クラミジアニューモニエ」「クラミジアトラコマチス」  
(±)：判定保留 ※1：28日以降に採血した血清による再検査をお勧めします。 ※2：10日以降に採血した血清による再検査をお勧めします。
- クラミジアニューモニエ「IgM」を「IgG」又は「IgA」と併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。
- 「臍トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出」臍トリコモナス感染症を疑う患者であって、鏡検が陰性又は実施できないもの又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症を疑う患者に対して治療選択のために実施した場合及び臍トリコモナス感染症又はマイコプラズマ・ジェニタリウム感染症の患者に対して治療効果判定のために実施した場合に算定する。



# 32 免疫血清学的検査

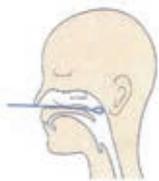
免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名		
3551	ツツガムシ ギリアム	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	203 免	4~8 s	10未満 倍	FA	感染の有無はペア血清で判断してください。	ツツガムシ病		
3553									IgM	
3543	ツツガムシ カトー	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	203 免	4~8 s	10未満 倍	FA				
3545									IgM	
3535	ツツガムシ カーブ	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	203 免	4~8 s	10未満 倍	FA				
3537									IgM	
9375	ボレリア・ブルドフェリ抗体 (ライム抗体)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍		15~23 L	陰性 (Negative)	ELISA イムノブロット			ELISA法にて陽性または判定保留の場合、イムノブロット法による確認試験を実施しIgG・IgM抗体をご報告します。	ライム病ボレリア感染症
5036	赤痢アメーバ	生鮮便 K-6 室	67 微	2~3 ①	(-)	鏡検 (ヨード染色)				アメーバ赤痢
4225	尿中レジオネラ抗原	部分尿 1.0 K-5 凍	205 免	3~6 H	(-)	イムノ クロマト法				レジオネラ感染症 レジオネラ肺炎
3469	破傷風抗体	血液 3.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 1.0 凍		14~19 s	有効抗体価 0.10以上 IU/mL	EIA			健康者のワクチン接種による抗体価獲得のスクリーニング検査であり、罹患者のモニタリングには不適です。	破傷風
3415	ジフテリア抗体	血液 3.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 1.0 凍		14~19 s	0.10以上 IU/mL	EIA		ジフテリア		

- 「レジオネラ抗原定性(尿)」症状や所見からレジオネラ症が疑われる患者に対して実施した場合に限り1回を限度として算定する。
- 「百日咳菌核酸検出」関連学会が定めるガイドラインの百日咳診断基準における臨床判断例の定義を満たす患者に対して、LAMP法により測定した場合に算定できる。

## 百日咳菌核酸検出 専用容器と検体採取方法

〈専用容器 P-5〉 〈検体採取方法〉 FLOQスワブを使用して後鼻腔拭い液を採取します



### 後鼻腔拭い液

被験者の頭を動かさないようによく押さえ、その後、綿棒を後鼻腔に静かに挿入して粘液を採取します。

- (注1) コンタミネーションの影響が大きい為、検体採取にあたっては取扱いにご注意下さい。
- (注2) 必ず専用容器でご提出下さい。専用容器は予めご依頼下さい。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名	
3463	百日咳菌抗体	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	257 免	3~6 s	PT-IgG 10未満 FHA-IgG 10未満 EU/mL	EIA		百日咳	
3468	百日咳抗体IgA	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	80 免	3~6 s	8.5未満 NTU値	ELISA法	(-) : <8.5 (+) : 8.5~11.5 (+) : >11.5		
3467	百日咳抗体IgM	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2	80 免	3~6 s	8.5未満 NTU値	ELISA法	(-) : <8.5 (+) : 8.5~11.5 (+) : >11.5		
3769	百日咳菌核酸検出	後鼻腔拭い液 P-5 凍	360 微	5~9 H	(-)	LAMP法	採取方法は32頁参照		
3471	H・ピロリ抗体	血清 血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.6	80 免	1~3 m	(-)	LA	(-)10.0U/mL未満	H.ピロリ感染症 胃潰瘍 十二指腸潰瘍	
3474		尿中 (定性)	部分尿 2.0 K-5 冷	70 免	3~8 B	(-)	EIA		
4977		ヘリコバクターピロリ 抗原 (H・ピロリ抗原)	糞便適量 G-24 冷	142 免	4~7 H	(-)	EIA		
4531	尿素呼気試験	呼気 S-5 室 約200~250	70 微	1~2 S	(-) Δ <sup>13</sup> C2.5未満 %	赤外分光 分析法	呼気の採取(前・後)は、 深呼吸せずに息を数秒 (5~10秒)程度止め、ゆ っくりと排気(採取)して ください。 下記参照ください。		

### 尿素呼気試験の呼気採取方法【錠剤用】



- ①ユービット錠の服用前に呼気を採取してください※。
- ②ユービット錠（1錠）をつぶしたりせず、空腹時に水100mlとともに噛まずに速やかに（5秒以内に）服用してください。
- ③服用後、5分間体の左側を下にして横になってください。
- ④その後は15分間座ってください。
- ⑤ユービット錠服用後20分にもう一度呼気を採取してください。

#### ※呼気採取方法のポイント

- 1) 呼気採取バッグを口にあて、（鼻から）息を吸って、5~10秒程息を止めてください。
- 2) その後呼気採取バッグにゆっくりと息を入れてください。
- 3) 息止めが苦しい場合は2~3回に分けて入れても大丈夫です。
- 4) 呼気採取バッグには肺の中の息を入れるようにしてください。

①と⑤で採取したバッグをご提出ください。

呼気を採取したバッグには必ずしっかりとキャップをしてください。

#### ■除菌前の感染診断

(1) 除菌前の感染診断については次の6項目の検査法のうちいずれかの方法を実施した場合に1項目のみ算定できる。ただし、検査の結果、ヘリコバクター・ピロリ陰性となった患者に対して、異なる検査法により再度検査を実施した場合に限り、さらに1項目に限り算定できる。

- ①迅速ウレアーゼ試験
- ②鏡検法
- ③培養法
- ④抗体測定
- ⑤尿素呼気試験
- ⑥糞便中抗原測定

(2) (1)に掲げる①及び②の検査を同時に実施した場合又は④、⑤及び⑥のうちいずれか2つの検査を同時に実施した場合にあっては、(1)の規定にかかわらずそれぞれの所定点数（①+②、④+⑤、④+⑥、⑤+⑥）を初回実施に限り算定することができる。（平成12年10月31日保険発第180号参照）

項目名	コード	材 料	実施料	所要日数
鏡検法	-	胃生検組織	860点(病)	4~8日
培養法	-	胃組織	190点(微)	6~10日



# 34 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3897	IgG-HA抗体	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.6	146 免	3~5 B	(-) 1.00未満 S/CO	CLIA		A型肝炎
3899	IgM-HA抗体	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5	146 免	2~3 M	(-) 0.8未満 (±) 0.8以上 1.2未満 (+) 1.2以上 S/CO	CLIA		
3626	HBs抗原	(定性) 血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3	29 免	2~3 M	(-)	CLEIA		B型肝炎
3628		(精密) 血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5	88 免	2~4 M	(-) 0.05未満 (+) 0.05以上 IU/mL	CLIA		
3630	HBs抗体	(定性) 血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3	32 免	2~3 M	(-)	CLEIA		
3632		(精密) 血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5	88 免	2~4 M	(-) 10.0未満 (+) 10.0以上 mIU/mL	CLIA		
3648	HBe抗原 (精密)	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.6	98 免	2~4 M	(-) 1.00未満 (+) 1.00以上 S/CO	CLIA		
3652	HBe抗体 (精密)	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.6	98 免	2~4 M	(-) 50.00未満 (+) 50.00以上 % INH	CLIA		
3640	HBc抗体	(半定量) 血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3	130 免	4~6 B	64未満 倍	PHA		
3642		(精密) (定量) 血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.4	130 免	2~4 M	(-) 1.00未満 (+) 1.00以上 S/CO	CLIA		
3644	IgM-HBc抗体	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5	146 免	2~5 B	(-) 1.0未満 S/CO	CLIA		
3617	HBV-DNA定量 (PCR)	血液 5.0 P-1 ↓ 遠心 血清 1.8	256 微	4~7 S	検出せず Log IU/mL	リアルタイム PCR	必ず単独依頼で提出して下さい。	
3662	B型肝炎ウイルス コア関連抗原 (HBcrAg)	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5	252 免	3~7 S	2.1未満 LogU/mL	CLEIA		

- 「IgG-HA抗体」と「HA-IgM抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数のみ算定する。
- 「HBcrAg」 HBV感染の診断の補助及び治療効果の判定の目的で血中のHBcrAgを測定した場合に1月に1回に限り算定する。
- 「HBc抗体」と「IgM-HBc抗体」を同時に測定した場合は、一方の所定点数を算定する。
- 「HBcrAg」を「HBV核酸定量」と同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「HBs抗原 (精密)」「HBs抗体 (精密)」「HBc抗体 (半定量)」「HBc抗体 (精密)」免疫抑制剤の投与や化学療法を行う患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、当該治療開始前にHBs抗原、HBs抗体及びHBc抗体半定量・定量を同時に測定した場合は、患者1人につきそれぞれ1回に限り算定できる。
- 「HBV-DNA定量」 B型肝炎ウイルス既感染者であって、免疫抑制剤の投与や化学療法を行っている悪性リンパ腫等の患者に対して、B型肝炎の再活性化を考慮し、HBV核酸定量を行った場合は、当該治療中及び治療終了後1年以内に限り、月1回を限度として算定できる。



### 実施料について (肝炎)

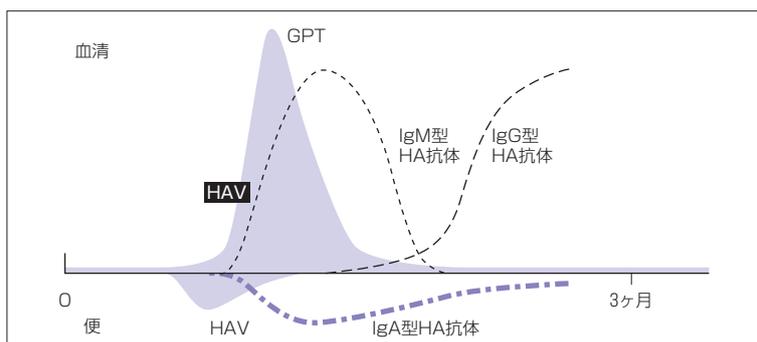
一回に  印の項目を3項目以上行った場合	
1) 3項目	肝炎 290点
2) 4項目	肝炎 360点
3) 5項目以上	肝炎 425点

検査コード	検査項目	採取量(ml) 提出量(ml)	保存容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3651	HBVジェノタイプ	血液 1.5 遠心 血清 0.5	S-1 冷 凍	340 免	4~11 L		EIA	報告形式 A、B、C、Dまたは 「判定保留」※1	B型肝炎

※1 「HBVジェノタイプ」HBs抗原量が少なく型判定が不能な場合、「判定保留」とご報告します。抗原量が十分に存在する場合でも、重複感染や抗体の非特異反応の問題により、「判定保留」となる場合があります。国内ではまれな遺伝子型E、F、G、Hの検体における測定結果は検証されていません。

■ 「HBVジェノタイプ」B型肝炎の診断が確定した患者に対して、B型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に、患者1人につき1回に限り算定できる。

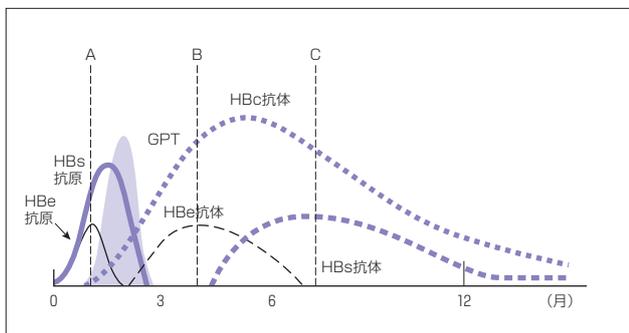
## ①A型肝炎における主なマーカーの推移



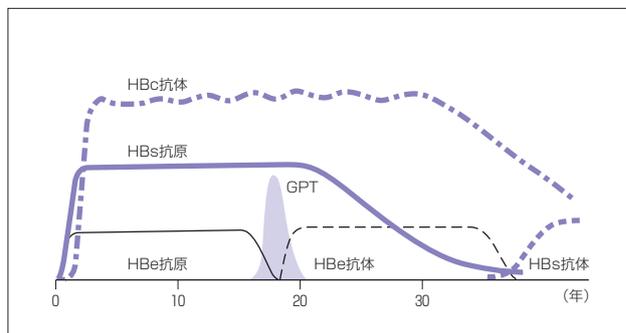
参考：ウイルス肝炎 診断、予防、治療のてびき

## ②B型肝炎における主なマーカーの推移

### 1) 急性肝炎



### 2) HBVキャリア



参考：ウイルス肝炎 診断、予防、治療のてびき

### 【HBV感染の診断】

B型肝炎ウイルス（HBV）感染の診断は、他の免疫測定法等と同じく、本製品による陽性または陰性の検査結果のみにより行わず、HBc抗体測定、HBV-DNA定量検査等、他の検査結果および臨床結果を考慮して総合的に判断してください。

## A型肝炎およびB型肝炎感染の指標

指標	解説
IgM-HA抗体	急性A型肝炎の初期から回復期に陽性となる。
IgG-HA抗体	急性A型肝炎の初期から回復期および感染既往で陽性を示す。
HBs抗原	B型肝炎ウイルス（HBV）の表面抗原。初感染最初の指標。持続感染の指標でもある。
HBs抗体	HBs抗原に対する抗体。通常、臨床上的回復とその後のHBVに対する免疫を示す。B型肝炎ワクチンによる免疫獲得の指標となり、またHB免疫グロブリン（HBIG）の投与により一過性で血中に存在する。また、輸血によっても受動性のHBs抗体を得ることがある。
HBe抗原	HBVのe抗原。急性期の活動性感染の早期指標であり、最も活動性が高く、感染性の高い時期を表し、HBs抗原出現後まもなく現れる。HBVキャリアにおけるHBe抗原の存在は、感染性が高いことを示す。
HBe抗体	HBe抗原に対する抗体。急性期のe抗原からe抗体へのセロコンバージョンは、感染性の消失を示す徴候である。HBVキャリアにおけるHBe抗体の存在は、感染性が低いことを示す。
HBc抗体	HBVのコア抗原に対する抗体。通常、急性/慢性期における感染とともに過去の暴露を表す生涯を通じた指標である。
IgM-HBc抗体	B型肝炎の急性期に、高力価のIgM-HBc抗体が検出される。この抗体は、過去のHBV感染か現在の感染かを識別する指標となる。
HBV-DNA	血中HBV-DNA量。病態把握や抗ウイルス剤の適応決定および効果判定に用いられる。

# 36 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3910	HCV抗体 *	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	102 免	2~3 Ⓜ	(-)1.0未満 (+)1.0以上 C.O.I	CLEIA		C型肝炎
3931	HCVコア抗原 (HCVコア蛋白)	血液 2.0 S-1 冷 遠心 血清 0.8	102 免	3~6 s	3未満 fmol/ℓ	CLIA		
3920	HCV群別判定 (グルーピング)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	215 免	3~6 s	(グループ)	CLEIA	不活化(非働化)検 体は避けて下さい。	
3921	HCV-RNA コアジェノタイプ	血液 2.0 P-1 冷 遠心 血清 0.5 凍		4~7 s	検出せず	RT-PCR	必ず単独依頼で提 出して下さい。	
3900	HCV核酸定量 (HCV-RNA定量) (TaqMan PCR法)	血液 5.0 P-1 冷 遠心 血清 2.1 凍	412 微	4~6 L	検出せず LogIU/mL	RT-PCR (TaqMan-PCR)	必ず単独依頼で提 出して下さい。	
3638	IgA-HEV (E型肝炎ウイルスIgA) (定性)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	210 免	3~7 s	陰性	EIA		E型肝炎

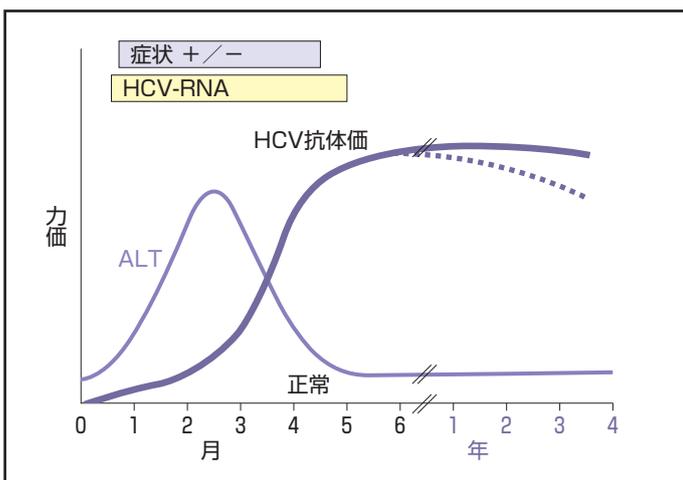
\*HCV抗体 (3910) : 本検査に用いている試薬の添付文書には重要な基本的注意点として、「C型肝炎ウイルス (HCV) 感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、HCV-RNA測定等、他の検査結果および臨床経過を考慮して総合的に判断すること。」が記載されております。

- 「HCV群別判定」 C型肝炎の診断が確定した患者に対して、C型肝炎の治療法の選択の目的で実施した場合に患者1人につき1回限り算定できる。
- 「HCV核酸定量」 急性C型肝炎の診断、C型肝炎の治療法の選択及び治療経過の観察に用いた場合のみ算定する。治療経過の観察の場合において「HCV核酸検出」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

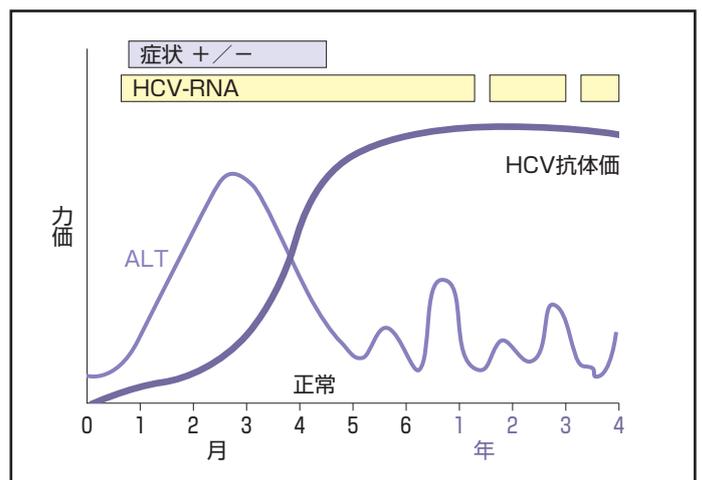


実施料について (肝炎)	
一回に 〇印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目	肝炎 290点
2) 4 項目	肝炎 360点
3) 5 項目以上	肝炎 425点

## C型肝炎ウイルス (HCV) 急性感染の経過

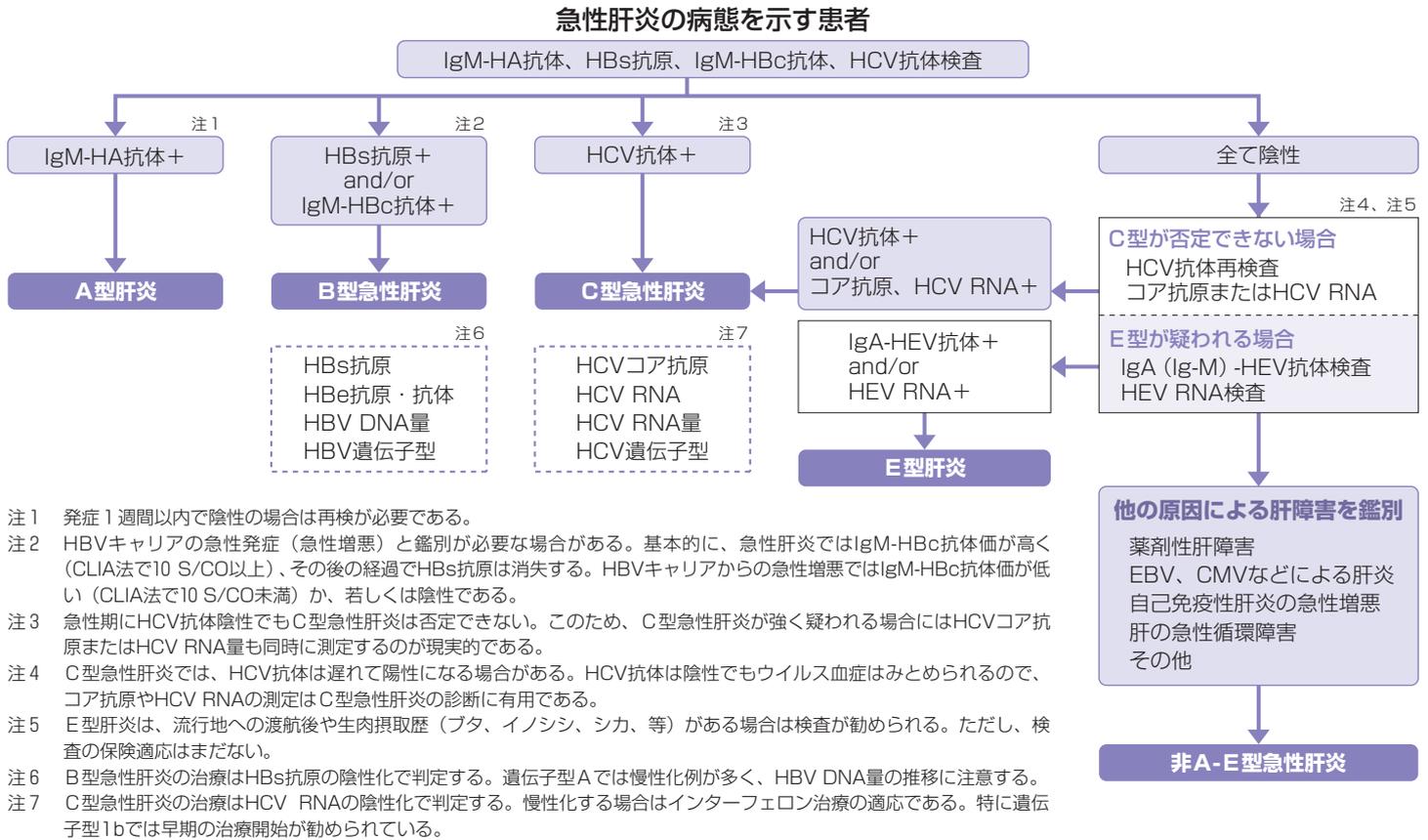


## C型肝炎ウイルス (HCV) 慢性感染の経過



ウイルス肝炎の診断手順

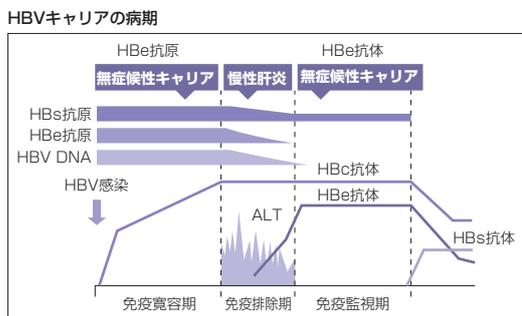
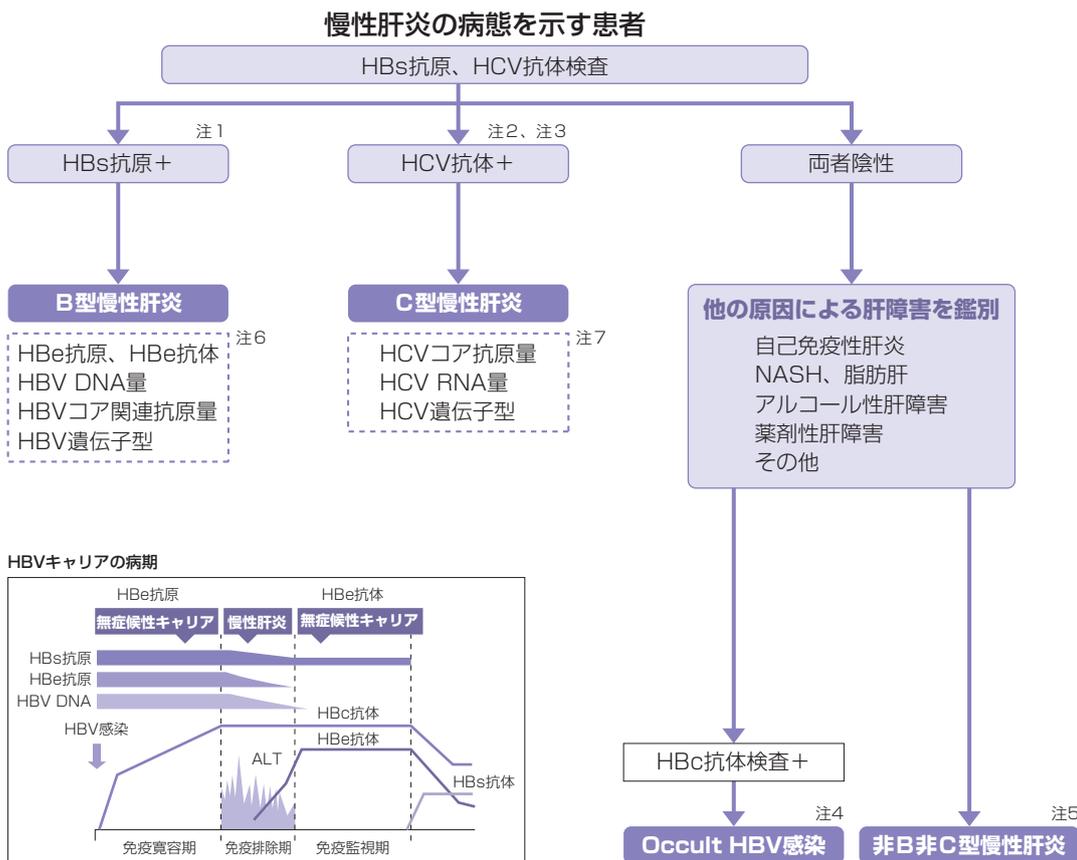
急性肝炎の病態を示す患者の肝炎ウイルスマーカーの選択基準と結果の解釈



免疫血清学的検査

監修：信州大学医学部 第二内科 准教授 田中榮司

慢性肝炎の病態を示す患者の肝炎ウイルスマーカーの選択基準と結果の解釈



# 38 免疫血清学的検査

免疫血清学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3484	(定性) 梅毒RPR法 (STS)	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.3	15 免	2~5 Ⓜ	(-)	ラテックス法		梅毒
3485	(半定量)	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.3	34 免	2~5 Ⓜ	1未満 倍	カーボン法		
3487	(定性) 梅毒TPHA法 (梅毒トレポ ネーマ抗体)	血液 各1.5 S-1 冷 遠心 血清 各0.5 又は 髄液 各1.0 K-5	32 免	2~3 Ⓜ	(-)	ラテックス法		
3488	(半定量)	血液 各1.5 S-1 冷 遠心 血清 各0.5 又は 髄液 各1.0 K-5	53 免	2~3 Ⓜ	血清:80未満 髄液:10未満 倍	PA (粒子凝集反応)		
3495	(定性) 梅毒FTA-ABS	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.4	134 免	5~9 H	(-)	FA		
3496	(半定量)	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.4	134 免	3~5 H	血清:20未満 倍			

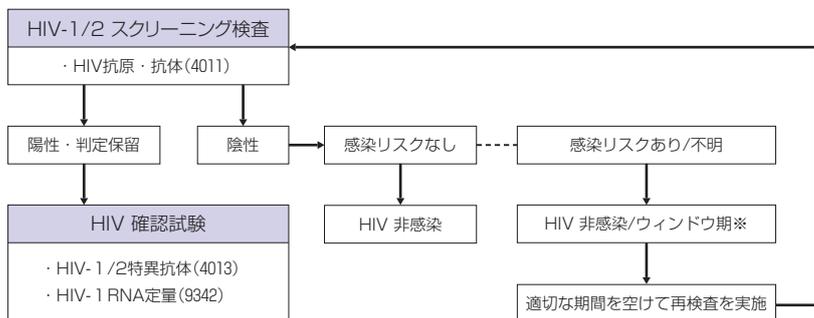
## 検査結果と判定の目安

STS	TP抗体・TPHA法	結果の解釈	確認の方法
-	-	非梅毒 感染初期の梅毒 早期梅毒治療後	一定期間後の再検またはFTA-ABS法 既往歴などの問診
-	+	早期梅毒治療後 非常に古い梅毒 地域現象（フロゾン現象） 非特異反応	問診 問診 FTA-ABS法 歯槽膿漏など
+	-	BFP (Biological false positive) 感染初期の梅毒	一定期間後の再検やFTA-ABS法 臨床症状・問診と一定期間後の再検やFTA-ABS法
+	+	梅毒 梅毒治療後 Pinta、Yawsなど	問診 臨床症状



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
HIV 検査	4011 HIV抗原・抗体 (HIV-1、HIV-2)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	109 免	3~5 M	陰性	CLEIA	保険収載名は、 「HIV-1,2抗原・抗体 同時測定定性」です。	HIV感染症 後天性免疫不全症候群
	4013 HIV-1/2特異抗体	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	660 免	4~7 S	陰性	イムノクロマト グラフィ法	他項目との重複不可	HIV感染症 後天性免疫不全症候群
	9342 HIV-1RNA定量 (HIV-1核酸定量)	血液 5.0 G-31 冷 遠心 血漿 2.0 凍	520 微	4~7 S	検出せず (コピー/mL)	RT-PCR	他項目との重複不可 開封厳禁 専用容器 EDTA-2K+ 血漿分離剤入り	HIV感染症 後天性免疫不全症候群 HIV-1感染症

## HIV検査のすすめ方



※ 感染暴露後から約13~42日間

### 〈留意事項〉

- スクリーニング検査は、非特異反応によって偽陽性を呈することがあります。スクリーニング検査が陽性の場合は、必ず確認検査を実施してください。
- HIV-1 RNA定量は、血中ウイルスが微量の場合、検出感度以下(定量下限値以下)かつ増幅反応シグナルが検出されない場合があります。

HIV-1 RNA定量 (リアルタイムPCR法) の測定範囲  
2.0 x 10<sup>3</sup> ~ 1.0 x 10<sup>7</sup> コピー/mL

- \* 測定結果が定量下限値以下であっても、増幅反応シグナルが検出の場合は、ウイルスの存在を示しているため、判定は陽性となります。

抗体確認検査法			総合判定 HIV-1 核酸増幅検査法	
HIV-1	HIV-2	判定	陽性あるいは検出感度未満	検出せず
陽性	陽性①	HIV-1,2 感染	HIV-1 および HIV-2 重複感染	HIV-1 感染 (治療中または低ウイルス量)② HIV-2 感染
	判定保留	HIV-1 感染	HIV-1 感染	HIV-1 感染 (治療中または低ウイルス量)②
	陰性	HIV-1 感染	HIV-1 感染	HIV-1 感染 (治療中または低ウイルス量)②
判定保留	陽性①	HIV-2 感染	急性 HIV-1 および HIV-2 重複感染	HIV-2 感染
	判定保留	HIV-1,2 判定保留	急性 HIV-1 感染	HIV-1,2 判定保留 (2週間後再検査)
	陰性	HIV-1 判定保留	急性 HIV-1 感染	HIV-1 判定保留 (2週間後再検査)
陰性	陽性①	HIV-2 感染	急性 HIV-1 および HIV-2 重複感染	HIV-2 感染
	判定保留	HIV-2 判定保留	急性 HIV-1 感染	HIV-2 判定保留 (2週間後再検査)
	陰性	HIV 陰性	急性 HIV-1 感染	HIV 非感染③

- ① HIV-2核酸増幅検査法は保険収載されていないため、専門機関に相談してください。
- ② HIV-1治療中または低ウイルス量感染が考えられます。
- ③ 感染リスクがある場合または不明の場合は、数週間後に再検査を実施してください。

日本エイズ学会・日本臨床検査医学会「診療におけるHIV-1/2感染症の診断ガイドライン2020版」より一部改変

■ 「HIV抗原・抗体」の保険収載上の名称は「HIV-1,2抗原・抗体同時測定定性」です。

■ 「HIV抗原・抗体」診療録等から非加熱血液凝固因子製剤の投与歴が明らかでない者および診療録等が確認できないため血液凝固因子製剤の投与歴は不明であるが、昭和53年から昭和63年の間に入院し、かつ、次のいずれかに該当するものに対して本検査を実施した場合は、HIV感染症を疑われる自覚症状の有無に関わらず所定点数を算定できる。ただし、保険医療機関において採血した検体の検査を保健所に委託した場合は、算定できない。

ア 新生児出血症 (新生児メレナ、ビタミンK欠乏症等)等の病気で「血が止まりにくい」との指摘を受けた者

イ 肝硬変や劇症肝炎で入院し、出血の著しかった者

ウ 食道静脈瘤の破裂、消化器系疾患により大量の吐下血があった者

エ 大量に出血するような手術を受けた者 (出産時の大量出血も含む。)

なお、間質性肺炎等後天性免疫不全症候群の疾病と識別が難しい疾病が認められる場合やHIVの感染に関連しやすい性感染症が認められる場合、既往がある場合又は疑われる場合でHIV感染症を疑う場合は、本検査を算定できる。

自己血輸血を除く「K920」輸血料を算定した患者又は血漿成分製剤 (新鮮液状血漿、新鮮凍結人血漿等)の輸注を行った患者に対して、一連として行われた当該輸血又は輸注の最終日から起算して、概ね2か月後に本検査の測定が行われた場合は、HIV感染症を疑わせる自覚症状の有無に関わらず、当該輸血又は輸注につき1回に限り、所定点数を算定できる。(他の保険医療機関において輸血料の算定又は血漿成分製剤の輸注を行った場合であっても同様に算定できる。)なお、この場合は、診療報酬明細書の摘要欄に当該輸血又は輸注が行われた最終日を記載する。

■ 「HIV-1/2特異抗体」スクリーニング検査としてHIV-1,2抗原・抗体同時測定定性によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的として測定した場合に算定する。なお、本検査を実施した場合、HIV-1抗体 (ウエスタンブロット法)およびHIV-2抗体 (ウエスタンブロット法)は、別に算定できない。本項目は日本エイズ学会・日本臨床検査医学会の標準推奨法 (参考文献参照)で、HIV-1/2スクリーニング検査で陽性または判定保留となった場合に実施する抗体確認検査法です。従来のウエスタンブロット (WB) 法による抗体確認検査法では低い感度や交差反応による判定困難な事例が知られ、本項目で検出感度の改善およびHIV-1とHIV-2同時測定が可能となり、HIV抗体検査として有用です。

■ 「HIV-1核酸定量」HIV感染者の経過観察に用いた場合又は、「HIV-1,2抗原・抗体同時測定定性」が陽性の場合の確認診断に用いた場合のみ算定する。

■ 「HIV-1核酸定量」、「HIV-1抗体 (ウエスタンブロット法)」を併せて実施した場合は、それぞれを算定することができる。

# 40 血液学的検査

血液学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4565	白血球数 (WBC)	血液 2.0 K-1 <span style="color:blue">冷</span>	21※1 血	1	3300~8600 /μℓ	フローサイト メトリー法	抗凝固剤：EDTA2K 溶血、凝固測定不可。	白血病 感染症 炎症性疾患
4566	赤血球数 (RBC)				M: 435~555 F: 386~492 ×10 <sup>4</sup> /μℓ	シースフロー 電気抵抗検出法		
4567	ヘモグロビン (Hb)				M: 13.7~16.8 F: 11.6~14.8 g/dℓ	SLS-Hb法		
4569	ヘマトクリット (Ht)				M: 40.7~50.1 F: 35.1~44.4 %	赤血球パルス波 高値検出法		
4571	MCV				83.6~98.2 fℓ	計算 $\frac{Ht}{RBC} \times 1000$		
4572	MCH				27.5~33.2 PG	計算 $\frac{Hb}{RBC} \times 1000$		
4573	MCHC				31.7~35.3 g/dℓ	計算 $\frac{Hb}{Ht} \times 100$		
4570	血小板数 (PLT)				15.8~34.8 ×10 <sup>4</sup> /μℓ	シースフロー 電気抵抗検出法		
4576	網状赤血球数 (RET)	血液 2.0 K-1 <span style="color:blue">冷</span>	12 血	1	2~25 %	フローサイト メトリー法	溶血性貧血 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血	
4581	(自動機械法)	血液 2.0 K-1 又は 末血塗抹標本 1枚 <span style="color:blue">冷</span>	15 血	1~2	好中球 48.0~61.0% 好酸球 1.0~3.0% 好塩基球 0.0~1.0% 単球 4.0~6.0% リンパ球 26.0~43.0%	フローサイトメ トリー法(及びペル オキシダーゼ染 色自動機器分類)	抗凝固剤：EDTA2K	白血病 感染症 アレルギー性疾患
4583	(鏡検法)							
4584	血中好酸球数 (EOS)	血液 2.0 K-1 <span style="color:blue">冷</span>	17 血	1~2	100~300 /μℓ	フローサイトメ トリー法(及びペル オキシダーゼ染 色自動機器分類)		寄生虫症 好酸球増加症 膠原病

■「好酸球数」「血液像」同一検体について、好酸球数及び末梢血液像（自動機械法）又は末梢血液像（鏡検法）を行った場合は、主たる検査の所定点数のみを算定する。

※1「末梢血液一般検査」で算定

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4825	赤血球沈降速度 (血沈) (ESR)	血液 1.6 K-2 <span style="color:blue">冷</span>	9 血	1 Ⓚ	1時間値 0~10mm	Westergren法	抗凝固剤：クエン酸Na	膠原病 悪性腫瘍 心筋梗塞 ネフローゼ症候群
4828	全血比重	血液 2.0 K-1 <span style="color:blue">冷</span>		1 Ⓚ	M: 1.055~1.063 F: 1.052~1.060	ノモグラム法		貧血 赤血球増加症
4586	骨髓像	骨髓塗抹標本 4枚 <span style="color:orange">室</span> 末血塗抹標本 1枚	788 血	8~12 B		May-Giemsa 染色鏡検	電話にてお知らせいた だき、昼集配で提出く ださい。 専用依頼箋に必要事項 を必ず記入して下さい。	骨髓腫 白血病 再生不良性貧血 悪性リンパ腫
4604	ペルオキシダーゼ 染色	骨髓塗抹標本 2枚 <span style="color:orange">室</span>	60 血 <small>※1</small>	8~12 B	(+) 顆粒球と その幼若型 単球 (-) リンパ球系	DAB染色法		急性白血病
4607	鉄染色	骨髓塗抹標本 2枚 <span style="color:orange">室</span>	60 血 <small>※1</small>	8~12 B	Siderocyte 0~3% Sideroblast 20~90% (I~II型)	ベルリンブ ルー法		鉄芽球性貧血 ピリドキシン欠乏症 鉛中毒
4606	PAS染色	骨髓塗抹標本 2枚 <span style="color:orange">室</span>	60 血 <small>※1</small>	8~12 B		過ヨウ素酸 シッフ染色法		急性白血病
4589	好中球アルカリフォス ファターゼ染色 (NAPスコア)	新鮮血末固定 <span style="color:orange">室</span> 塗抹標本 3枚 <small>※2</small>	37 血 <small>※1</small>	8~12 B	NAP-score 170~367	アソ色素法		慢性骨髓性白血病 骨髓線維症 真性多血症
4615	鼻汁好酸球	鼻汁塗抹標本 1枚 <span style="color:orange">室</span>	15 血	3~4 Ⓚ	(一)	May-Giemsa 染色鏡検		アレルギー性鼻炎 気管支喘息 アレルギー性呼吸器疾患
5037	喀痰好酸球	喀痰塗抹標本 1枚 <span style="color:orange">室</span>	15 血					
4619	マラリア原虫	血液 2.0 K-1 <span style="color:blue">冷</span>	40 血	2~3 Ⓚ	(一)	May-Giemsa 染色鏡検	抗凝固剤：EDTA2K	マラリア

※1 末梢血液像（鏡検法）と特殊染色を併せて行った場合は、特殊染色加算として、特殊染色ごとにそれぞれ37点を加算する。  
骨髓像と特殊染色を併せて行った場合は、特殊染色加算として、特殊染色ごとにそれぞれ60点を加算する。

※2 抗凝固剤の入らない新鮮な生血でスライド作製（抗凝固剤は酵素を抑制しますので染色性が変化します。したがってデータがでないこともありま  
すのでご了承ください。）スライドは必ず一項目につき3枚以上ご提出ください。

■ 「TK活性」造血器腫瘍の診断又は治療効果判定のために行った場合に算定する。



# 42 血液学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4644	プロトロンビン時間 (PT)		18 血		時間 9.6~13.1秒 * 活性値 70.0~130.0%	透過光度法 (Quick 一段法)	*PTをご依頼いただく とINRも併記して報 告いたします。	外因系及び共通系凝固因子の 先天性欠乏症及び分子異常症 薬剤投与(ワーファリン等) ビタミンK欠乏症 肝障害
4640	活性化部分トロンボ プラスチン時間 (APTT)	血液 2.7 K-3 冷 ↓ 遠心 血漿 各0.5	29 血	1 Ⓚ	27.0~40.0 秒	透過光度法 (エラジン酸 活性化法)		内因系及び共通系凝固因子の 先天性欠乏症及び分子異常症 肝障害 DIC
4655	フィブリノゲン (FIB)		23 血		150~380 mg/dℓ	透過光度法 (トロンビン 時間法)		脳血管障害 心筋梗塞 重度肝障害 DIC
4725	第Ⅱ因子		223 血		75~135 %			プロトロンビン欠乏症 ビタミンK欠乏症
4729	第Ⅴ因子		223 血		70~135 %			第Ⅴ因子欠乏症
4731	第Ⅷ因子		223 血		75~140 %			第Ⅷ因子欠乏症 ビタミンK欠乏症
4733	凝固因子 第Ⅷ因子 活性検査		223 血		60~150 %		抗凝固剤:クエン酸Na (抗凝固剤:血液=1:9、 真空採血にて止まるま で採血してください)	血友病A フォンウィルブランド病
4735	第Ⅸ因子	血液 2.7 K-3 冷 ↓ 遠心 血漿 各0.4 凍	223 血	3~6 s	70~130 %	凝固時間法		血友病B ビタミンK欠乏症
4737	第Ⅹ因子		223 血		70~130 %			第Ⅹ因子欠乏症 ビタミンK欠乏症
4739	第Ⅺ因子		223 血		75~145 %			先天性第Ⅺ因子欠乏症
4740	第Ⅻ因子		223 血		50~150 %			先天性第Ⅻ因子欠乏症
4743	第Ⅻ因子	血液 2.7 K-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.4 凍	223 血		70~140 %	合成基質法		先天性第Ⅻ因子欠乏症
4749	凝固抑制因子 第Ⅷ因子	血液 2.7 K-3 冷 ↓ 遠心	144 血	3~6 s	検出せず(-) (ベセスダ U/ml)			血友病A
4751	第Ⅸ因子	血漿 各1.0 凍	144 血		検出せず(-) (ベセスダ U/ml)	ベセスダ法		血友病B

■「凝固因子インヒビター(抑制因子)」は、第Ⅷ因子又は第Ⅸ因子の定量測定を行った場合に、それぞれの測定1回につきこの項で算定する。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4753	von Willebrand 因子活性 (リストセチンコファクター)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 126 血	3~6 s	60~170 %	固定血小板 凝集法		フォンウィルブランド病 出血傾向
4747	von Willebrand 因子抗原 第8因子様抗原定量	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.2	冷 凍 147 血	3~6 s	50~155 %	ラテックス 凝集反応		フォンウィルブランド病 出血傾向
4696	プラスミノゲン	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 100 血	3~6 s	75~125 %	発色性 合成基質法		DIC 肝障害 プラスミノゲン欠損症
4699	アンチプラスミン ( $\alpha_2$ プラスミンインヒビ ター) $\alpha_2$ PI	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 128 血	3~6 s	85~115 %	発色性 合成基質法	抗凝固剤：クエン酸Na	DIC 肝障害 線溶亢進
4683	アンチトロンビンⅢ 活性値(ATⅢ)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 70 血	1 Ⓚ	79~121 %	発色性 合成基質法		DIC 肝障害 アンチトロンビンⅢ欠乏症：異常症
3171	C1インアクチベ ーター活性 (C1エステラーゼインヒ ビター活性)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.2	冷 凍 253 免	3~10 s	70~130 %	発色性 合成基質法		血管性浮腫 遺伝性血管性浮腫
	ヘパリン	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.3	冷 凍 108 生 I	5~10 s		発色性 合成基質法		ヘパリン投与時の血中モニター 人工透析
4666	FDP (フィブリン・フィブリ ノゲン分解産物)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 80 血	1 Ⓚ	5.0未満 $\mu\text{g}/\text{mL}$	ラテックス 免疫比濁法		DIC 血栓性血小板減少性紫斑病
4665		部分尿 1.0 K-5	冷 凍 72 尿糞	3~6 B	0.1以下 $\mu\text{g}/\text{mL}$	ラテックス 凝集法	蓄尿は不可	DIC 血栓性血小板減少性紫斑病 糸球体腎炎
4656	フィブリンモノマー 複合体定量 (SFMC定量)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 215 血	3~6 s	6.1以下 $\mu\text{g}/\text{mL}$	ラテックス 免疫比濁法		DIC 血栓症
4672	D ダイマー (D-Dダイマー)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 127 血	1~2 Ⓚ	1.0以下 $\mu\text{g}/\text{mL}$	ラテックス 免疫比濁法		DIC 動脈瘤 血栓症
4702	$\alpha_2$ -プラスミンインヒビ ター・プラスミン複合体 (PICテスト)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.2	冷 凍 150 血	3~6 s	0.8以下 $\mu\text{g}/\text{mL}$	LPPIA	抗凝固剤：クエン酸Na	DIC 線溶亢進状態
4685	トロンビン・アンチ トロンビンⅢ複合体 (TAT)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 171 血	3~6 s	3.0以下 $\text{ng}/\text{mL}$	CLEIA		DIC 急性心筋梗塞 脳梗塞
4243	プロトロンビン フラグメントF1+2 (PTフラグメントF1+2)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.3	冷 凍 192 血	3~6 s	69~229 $\text{pmol}/\text{L}$	ELISA		静脈血栓症 DIC

凝  
固  
系  
検  
査



- 「ヘパリン」は1月以内に2回以上行った場合においては、算定は1回とし、1回目の測定を行ったときに算定する。
- 「SFMC」、「TAT」、「プロトロンビンフラグメントF1+2」のうちいずれか複数数を同時に測定した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「SFMC」DIC、静脈血栓症又は、肺動脈血栓症の診断及び治療経過の観察のために実施した場合に算定する。

実施料について (出血・凝固)

一回に  印の項目を 3項目以上行った場合	
1) 3項目又は4項目	出血・凝固 530点
2) 5項目以上	出血・凝固 722点

# 44 血液学的検査

血液学的検査

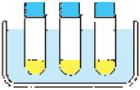
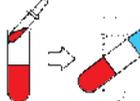
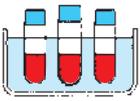
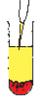
検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4779	プロテインC (抗原量)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.3	冷 凍 226 血	3~7 s	70~150 %	LPIA		プロテインC欠乏症 DIC 抗ビタミンK製剤投与 肝障害
4778	プロテインC (活性)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.4	冷 凍 227 血	3~6 s	64~146 %	凝固時間法	抗凝固剤: クエン酸Na	
4783	プロテインS (抗原量)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.2	冷 凍 154 血	3~6 s	M: 73~137 F: 59~143 %	ラテックス 凝集法		プロテインS欠乏症 DIC 抗ビタミンK製剤投与 肝障害
4242	プロテインS (活性)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.4	冷 凍 163 血	3~6 s	M: 67~164 F: 56~126 %	凝固時間法		
4235	トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 0.5	冷 凍 240 血	3~7 s	50以下 ng/mL	LPIA	採血後、速やかに低温(4℃)で血漿分離して下さい。室温遠心ではデータが高値となるため避けて下さい。速やかに分離できない場合は、氷水中に保存し、1時間以内に血漿分離して下さい。測定対象はトータルPAI-1(tPA・PAI-1複合体および活性型、潜在型PAI-1)です。	DIC 心筋梗塞 深部静脈血栓症
4215			冷	3~6 s	46.5以下 秒	APTT 凝固時間法		
4213	ループスアンチ コアグラント	血液 2.7 K-3 ↓ 遠心 血漿 各1.0	凍	3~6 s	1.16以下 秒	リン脂質 中和法	抗凝固剤: クエン酸Na	抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産
4210			凍	3~6 s	1.2以下	希釈ラッセル 蛇毒時間法		
4773	血小板第4因子 (PF-4)	血液 3.0 G-8 ↓ 次頁参照 乏血小板血漿 0.3	冷 凍 173 血	3~11 s	20以下 ng/mL	EIA	抗血小板剤入り専用容器で提出して下さい。採取方法は次頁参照	DIC 心筋梗塞 脳梗塞 血小板減少症
4767	β-トロンボグロブリン (β-TG)	血液 3.0 G-8 ↓ 次頁参照 乏血小板血漿 0.3	冷 凍 171 血	3~11 s	50以下 ng/mL	EIA	抗血小板剤入り専用容器で提出して下さい。採取方法は次頁参照	

■ 「ループスアンチコアグラント」抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。



実施料について (出血・凝固)	
一回に <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">○</span> 印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目又は 4 項目	出血・凝固 530点
2) 5 項目以上	出血・凝固 722点

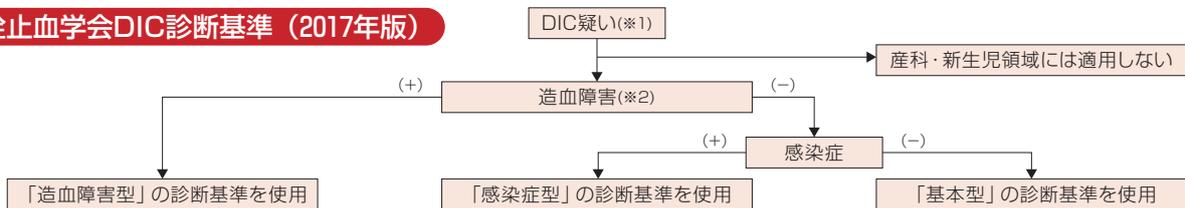
## ●β-トロンボグロブリン(β-TG)・血小板第4因子(PF-4)

採取方法		注意事項																												
	あらかじめ専用容器G-8を冷却しておいてください。	砕氷水の水面より専用容器中の液面が下になるようにしてください。 角氷は使用しないでください。																												
	できるだけ20ゲージ (19~21ゲージでも可)の針を用いたプラスチック注射器で血液3.0mlを採取してください。 〔採血にあたって、専用容器G-8を使用しての直接採血は絶対にしないでください。〕	真空採血管、カテーテルおよび他の方法は使用しないでください。 また、駆血帯も使用しないでください。 10ml以上の採血は避け、出来るだけ血管壁を損傷しないようにスムーズに採取してください。																												
	針を取って静かに専用容器G-8のフタを開け、血液2.7mlを静かに移し、ゆっくり2~3回転倒混和してください。	指定の専用容器以外は使用しないでください。 専用容器は振とうさせないでください。																												
	専用容器を速やかに砕氷と水の入ったラックに入れてください。	砕氷水の水面より専用容器中の血液の液面が下になるようにしてください。																												
<b>以上の操作を2分以内に行ってください。</b>																														
	砕氷水に15~30分間放置後、採取血液を2,000Gで30分間、2~4℃で遠心分離してください。(右表は2,000Gにおけるローターの回転半径と回転数との関係を示します。) *遠心機回転数の計算式 $G=1.118 \times 10^{-4} \times r \times n^2$ r : 遠心機のローター半径 (cm) n : 1分間あたりの回転数 (rpm)	1時間以内に必ず冷却下で遠心分離してください。  換算表 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <thead> <tr> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> <th>半径 (cm)</th> <th>回転数 (rpm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10</td><td>4,200</td><td>22</td><td>2,800</td></tr> <tr><td>12</td><td>3,800</td><td>24</td><td>2,700</td></tr> <tr><td>14</td><td>3,500</td><td>26</td><td>2,600</td></tr> <tr><td>16</td><td>3,300</td><td>28</td><td>2,500</td></tr> <tr><td>18</td><td>3,100</td><td>30</td><td>2,400</td></tr> <tr><td>20</td><td>3,000</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)	10	4,200	22	2,800	12	3,800	24	2,700	14	3,500	26	2,600	16	3,300	28	2,500	18	3,100	30	2,400	20	3,000		
半径 (cm)	回転数 (rpm)	半径 (cm)	回転数 (rpm)																											
10	4,200	22	2,800																											
12	3,800	24	2,700																											
14	3,500	26	2,600																											
16	3,300	28	2,500																											
18	3,100	30	2,400																											
20	3,000																													
	上清の表面よりやや下の部分をマイクロピペットで1項目につき各0.3ml検体容器へ採取してください。 血餅に近い部分からの採取は絶対に避けてください。 (血漿の全量採取は避けてください。) 検体は必ず凍結保存してください。 (1ヵ月安定)																													



血液学的検査

### 日本血栓止血学会DIC診断基準 (2017年版)



- ・ DIC疑い(※1) : DICの基礎疾患を有する場合、説明の付かない血小板減少・フィブリノゲン低下・FDP上昇などの検査値異常がある場合、静脈血栓塞栓症などの血栓性疾患がある場合など。
- ・ 造血障害(※2) : 骨髄抑制・骨髄不全・末梢循環における血小板破壊や凝集など、DIC以外にも血小板数低下の原因が存在すると判断される場合に(+)と判断。寛解状態の造血器腫瘍は(-)と判断。
- ・ 基礎病態を特定できない(または複数ある)あるいは「造血障害」「感染症」のいずれにも相当しない場合は基本型を使用する。例えば、固形癌に感染症を合併し基礎病態が特定できない場合には「基本型」を用いる。
- ・ 肝不全では3点減じる。

項目	基本型	造血障害型	感染症型	
一般止血検査	血小板数 (×10 <sup>4</sup> /μL)	12 < 0点 8 < ≤12 1点 5 < ≤8 2点 5 ≤ 3点 24時間以内に30%以上の減少 +1点	/	12 < 0点 8 < ≤12 1点 5 < ≤8 2点 5 ≤ 3点 24時間以内に30%以上の減少 +1点
	FDP (μg/ml)	<10 0点 10 ≤ <20 1点 20 ≤ <40 2点 40 ≤ 3点	<10 0点 10 ≤ <20 1点 20 ≤ <40 2点 40 ≤ 3点	<10 0点 10 ≤ <20 1点 20 ≤ <40 2点 40 ≤ 3点
	フィブリノゲン (mg/dL)	150 < 0点 100 < ≤150 1点 ≤100 2点	150 < 0点 100 < ≤150 1点 ≤100 2点	/
	プロトロンビン時間比	<1.25 0点 1.25 ≤ <1.67 1点 1.67 ≤ 2点	<1.25 0点 1.25 ≤ <1.67 1点 1.67 ≤ 2点	<1.25 0点 1.25 ≤ <1.67 1点 1.67 ≤ 2点
分子マーカー	アンチトロンビン (%)	70 < 0点 ≤70 1点	70 < 0点 ≤70 1点	70 < 0点 ≤70 1点
	TAT, SFまたはF1+2	基準範囲上限の2倍未満 0点 2倍以上 1点	基準範囲上限の2倍未満 0点 2倍以上 1点	基準範囲上限の2倍未満 0点 2倍以上 1点
肝不全	なし 0点 あり -3点	なし 0点 あり -3点	なし 0点 あり -3点	
DIC診断	6点以上	4点以上	5点以上	

# 46 一般検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
4871	尿pH				5~7	pH 試験紙		
4873	尿比重				1.015~1.020	屈折 比重計		
4878	尿蛋白 定性				(-)	試験紙法		
4881	尿グルコース 定性 (尿糖)				(-)	試験紙法		
4948	潜血反応	部分尿 5.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	26 ※1	1 ①	(-)	試験紙法		腎盂腎炎 腎炎 ネフローゼ症候群 急性尿細管壊死 尿路感染症
4926	ウロビリノーゲン 定性				(±)	試験紙法		
4929	ウロビリリン 定性				(-)	シュレージン ガー法		
4932	ビリルビン 定性				(-)	試験紙法		
4935	ケトン体 定性				(-)	試験紙法		
7770	尿蛋白 定量	部分尿 5.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	7 尿糞	1 ①	9.0以下 mg/dℓ	ピロガロール レッド法	実測値 尿中クレアチニン値 クレアチニン補正值 蓄尿量を記入して下さい。	糸球体腎炎 ネフローゼ症候群 急性尿細管壊死
4879		蓄尿 5.0 K-5			0.12未満 g/day			
7774	尿グルコース 定量 (尿糖)	部分尿 5.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	9 ※2 尿糞	1 ①	0.03以下 g/dℓ	グルコース ヘキソキナー ゼ法	蓄尿量を記入して下さい。	糖尿病 腎性糖尿病 肥満症
4882		蓄尿 5.0 K-5			0.03~0.26 g/day			
1005	尿中 アルブミン定量	部分尿 5.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	99 尿糞	1 ①	30.0以下 mg/g・Cr	TIA	蓄尿量を記入して下さい。	糖尿病性腎症 糖尿病
1009		蓄尿 5.0 K-5			22.0以下 mg/day			
3225	尿中 トランスフェリン	部分尿 1.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	98 尿糞	3~5 B	0.9以下 mg/g・Cr	ラテックス 凝集法		糖尿病性腎症 糖尿病
1147	尿中NAG (NAG) (N-アセチルグルコサミナーゼ)	部分尿 5.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>	41 尿糞	1 ①	0.9~5.0 IU/ℓ	合成基質 MPT法		糸球体腎炎 急性腎不全 薬物による腎障害
6446	推定1日食塩摂取量			1~2		計算	尿中Na、尿中Cre、 身長、体重、年齢よ り算出。	

※1 「尿中一般物質定性半定量検査」で算定

※2 「尿糖」負荷試験実施時は、別算定：糖負荷試験（8頁参照）

■ 「トランスフェリン(尿)」、「アルブミン定量(尿)」及び「IV型コラーゲン(尿)（3頁）」は、糖尿病又は糖尿病性早期腎症患者であって微量アルブミン尿を疑うもの（糖尿病性腎症第1期又は第2期のものに限る。）に対して行った場合に、3月に1回に限り算定できる。なお、これらを同時に行った場合は、主たるもののみ算定する。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
尿 糞 便 検 査	4953 尿沈渣	部分尿 10 K-5	27 尿糞	1~2 ①	赤血球: 4以下/HPF 白血球: 4以下/HPF	遠沈鏡検法 (および フローサイト メトリー法)		腎機能障害 尿路系炎症
	4989 糞便塗抹顕鏡検査 (虫卵直接塗抹)	糞便 拇指頭大 K-6	20 尿糞	1~2 ①	(-)	直接塗抹法		寄生虫症
	5012 便中ヒトヘモグロ 5018 ビン	専用容器にて 便を採取 K-7	37 尿糞	1~2 ①	(-)	ラテックス 凝集法	採取方法は下記参照	大腸癌 大腸ポリープ 直腸癌
	5026 便中ヒトヘモグロビン 5027 及び ヒトトランスフェリン	専用容器にて 便を採取 K-8	56 尿糞	1~2 ①	便Hb&TF判定(-) 便中Hb(-) トランスフェリン(-)	金コロイド 比色法		大腸癌 大腸ポリープ 直腸癌
穿 刺 液 検 査	5089 蛋白	穿刺液 5.0 K-5	生 I	1 ①	滲出液4.0以上 漏出液2.5以下 g/dL	ビウレット法 (Biuret法)		[胸水・腹水] ネフローゼ症候群 肝硬変 うっ血性心不全 [関節液] 関節炎 関節リウマチ
	5092 糖	穿刺液 5.0 K-5	生 I	1 ①	g/dL	グルコース ヘキシキナ ーゼ法		
	5095 比重	穿刺液 5.0 K-5		1 ①	滲出液 1.018以上 漏出液 1.015以下	屈折計法		
	5102 リバルタ反応	穿刺液 5.0 K-5		1 ①	滲出液(+) 漏出液(-)	リバルタ 反応		
	5098 細胞数	穿刺液 5.0 K-5		1 ①		Burker-Turk 計算盤法		
	5099 細胞種類	穿刺液 5.0 K-5		1 ①		鏡検法		
5142 結晶同定 (関節液)	関節液 1.0 K-5	50 尿糞	2~4 H	ピロリン酸Ca(-) 尿酸Na(-) コレステロール(-)	鏡検法			

●便潜血スクリーニング

■「尿沈渣(鏡検法)」尿中一般物質定性半定量検査若しくは尿中特殊物質定性定量検査において何らかの所見が認められ、又は診察の結果からその実施が必要と認められ、実施した場合に算定する。なお、同一検体について、排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて行った場合は、主たる検査の所定点数のみ算定する。

■関節液検査については、関節水腫を有する患者であって、結晶性関節炎が疑われる者に対して実施した場合、一連につき1回に限り算定する。なお、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

**1** ラベルに氏名等を記入

※必ず、採便した日・時を記入して下さい。

①キャップを回して、②引きぬく

**2** 便をとりすぎると、正しい検査ができません

表面をまんべんなくこすり取る

先端のみぞに埋まるくらい

**3** さし込んで、キャップを強く押す

パチンと音がするまで

※1回さし込んだら、ぬがないこと

提出用袋に入れ、すぐに提出

※保存は冷蔵所で



実施料について (生化 I)	
一回に  印の項目を 5 項目以上行った場合	
1) 5 項目以上 7 項目以下	生化 I 93点
2) 8 項目又は 9 項目	生化 I 99点
3) 10 項目以上	生化 I 103点

# 48 一般検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
5075	ノンネアペルト反応				(-)	Nonne-Apert反応		
5073	パンディー反応				(-)	パンディー反応		
5069	細胞数	髄液 2.0 K-5	62 ※1 尿糞	1	15/3以下 個/mm <sup>3</sup>	Fuchs-Rosenthal 鏡検法		髄膜炎 脳炎 日本脳炎
5070	細胞種類			①	主に小リンパ	鏡検法		
5077	トリプトファン反応				(-)	里見変法		
5088	ケトン体				(-)	試験紙法		
5060	蛋白	髄液 2.0 K-5	11 生 I	1	15~40 mg/dL	ピロガロール レッド法		
5062	糖	髄液 2.0 K-5	11 生 I	1	50~75 mg/dL	グルコース ヘキソキナーゼ法		髄膜炎 糖尿病 尿毒症
1464	Na	髄液 2.0 K-5	11 生 I	1	Na 130~150 mmol/L	電極法		
1474	Cl		(NaClで)	①	Cl 120~128 mmol/L	電極法		各種髄膜炎 低クロール血症 多発性神経炎
1469	K	髄液 2.0 K-5	11 生 I	1	K 2.5~3.5 mmol/L	電極法		
8017	精液量				2~4.5 mL	肉眼的測定		
8018	精子数	精液全量 D-1又はK-5	70 ※2 尿糞	1	50以上 10 <sup>6</sup> 個/mL	Thoma法	採取後速やかに提出 して下さい。	男性不妊症 精子減少症 無精子症
8019	精子運動率			①	(30~60分以内) 70以上 %	鏡検法		
8020	精子奇形率				15以下 %	鏡検法		

※1 「髄液一般検査」で算定

※2 「精液一般検査」で算定

### 実施料について (生化 I)

一回に●印の項目を5項目以上行った場合		
1) 5項目以上7項目以下	生化 I	93点
2) 8項目又は9項目	生化 I	99点
3) 10項目以上	生化 I	103点



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2053	成長ホルモン(GH)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	105 生II *1	3~6 s	M:2.47以下 F:0.13~9.88 ng/mL	ECLIA		下垂性巨人症 先端巨大症 下垂性機能低下症
2057	ソマトメジンC	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.5 凍	212 生II	4~7 B	下記参照	ECLIA		成長ホルモン分泌不全性低身長症 下垂性巨人症 先端巨大症
2082	甲状腺刺激ホルモン (TSH) 高感度TSH	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	98 生II *1	2~4 M	0.56~4.26 μIU/mL	ECLIA		原発性甲状腺機能低下症 (橋本病) 原発性甲状腺機能亢進症 (バセドウ病)
2063	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	血液 1.0 S-3 冷 遠心 血漿 0.4 凍	184 生II *1	4~7 H	7.2~63.3 pg/mL	ECLIA	日内変動があるため、 早朝に安静臥位にて 採血してください。 抗凝固剤: EDTA2Na	アジソン病 異所性ACTH産生腫瘍 Cushing症候群
2067	黄体形成ホルモン (LH)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.4	105 生II *1	2~4 M	M:1.3~10.0 F: 卵胞期 1.4~12.8 排卵期 3.9~57.9 黄体期 0.7~18.8 閉経後 14.0~56.4 mIU/mL	ECLIA		クラインフェルター症候群 ターナー症候群 下垂性機能低下症
2070	卵胞刺激ホルモン (FSH)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.4	105 生II *1	2~4 M	M:1.6~11.0 F: 卵胞期 2.7~9.8 排卵期 2.0~19.3 黄体期 1.0~8.4 閉経後 9.2~124.7 mIU/mL	ECLIA		
2060	プロラクチン (PRL)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	98 生II *1	2~4 M	M:1.5~10.0 F:1.4~16.0 ng/mL	ECLIA		下垂性機能低下症 下垂性腫瘍 シーハン症候群
2088	バゾプレシン(AVP) (抗利尿ホルモン(ADH))	血液 3.0 S-3 冷 遠心 血漿 1.2 凍	224 生II	6~9 L	水制限:4.0以下 自由飲水:2.8以下 pg/mL	RIA	デモプレシンとの 交差性は低い。 溶血の影響により値 が高値となる可能性 があります。	中枢性尿崩症 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群

■ 「ソマトメジンC」 インスリン様成長因子結合蛋白3型 (IGFBP-3) を実施した場合は、主たるもののみ算定する。

## ●ソマトメジン-C

男性

| 年齢:-2SD~+2SD |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 0: 11~149    | 13: 133~579  | 26: 119~329  | 39: 95~266   | 52: 86~242   | 65: 72~221   |              |              |
| 1: 14~148    | 14: 138~570  | 27: 116~322  | 40: 94~263   | 53: 85~240   | 66: 70~219   |              |              |
| 2: 18~154    | 15: 141~552  | 28: 114~315  | 41: 94~261   | 54: 84~239   | 67: 68~216   |              |              |
| 3: 24~164    | 16: 142~543  | 29: 111~309  | 42: 93~259   | 55: 84~238   | 68: 66~213   |              |              |
| 4: 32~176    | 17: 142~540  | 30: 109~303  | 43: 92~257   | 56: 83~237   | 69: 65~209   |              |              |
| 5: 44~193    | 18: 142~526  | 31: 107~297  | 44: 92~255   | 57: 82~236   | 70: 63~206   |              |              |
| 6: 55~215    | 19: 143~501  | 32: 105~292  | 45: 91~253   | 58: 81~235   | 71: 61~202   |              |              |
| 7: 63~247    | 20: 142~470  | 33: 103~287  | 46: 90~250   | 59: 80~233   | 72: 58~198   |              |              |
| 8: 72~292    | 21: 139~436  | 34: 102~283  | 47: 90~250   | 60: 79~232   | 73: 56~194   |              |              |
| 9: 84~350    | 22: 135~405  | 35: 100~279  | 48: 89~248   | 61: 77~230   | 74: 54~190   |              |              |
| 10: 99~423   | 23: 131~379  | 36: 99~275   | 49: 88~246   | 62: 76~228   | 75: 52~185   |              |              |
| 11: 113~499  | 24: 128~356  | 37: 97~272   | 50: 87~245   | 63: 75~226   | 76: 50~181   |              |              |
| 12: 125~557  | 25: 125~337  | 38: 96~269   | 51: 87~243   | 64: 73~224   | 77: 48~177   |              |              |

(単位: ng/mL)

女性

| 年齢:-2SD~+2SD |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 0: 15~154    | 13: 193~643  | 26: 146~336  | 39: 100~250  | 52: 78~213   | 65: 64~188   |              |              |
| 1: 23~186    | 14: 193~625  | 27: 141~328  | 40: 98~245   | 53: 77~212   | 66: 62~186   |              |              |
| 2: 32~213    | 15: 192~614  | 28: 137~320  | 41: 95~240   | 54: 76~211   | 67: 61~183   |              |              |
| 3: 40~227    | 16: 192~611  | 29: 133~312  | 42: 93~236   | 55: 75~210   | 68: 60~180   |              |              |
| 4: 48~238    | 17: 191~599  | 30: 129~304  | 43: 90~233   | 56: 74~208   | 69: 59~177   |              |              |
| 5: 56~252    | 18: 188~574  | 31: 126~297  | 44: 88~229   | 57: 73~207   | 70: 57~175   |              |              |
| 6: 69~287    | 19: 182~539  | 32: 122~290  | 45: 87~226   | 58: 72~205   | 71: 56~172   |              |              |
| 7: 89~357    | 20: 175~499  | 33: 119~283  | 46: 85~224   | 59: 71~203   | 72: 55~170   |              |              |
| 8: 111~438   | 21: 168~459  | 34: 115~277  | 47: 83~221   | 60: 70~201   | 73: 54~167   |              |              |
| 9: 133~517   | 22: 161~425  | 35: 112~271  | 48: 82~219   | 61: 69~198   | 74: 53~165   |              |              |
| 10: 155~588  | 23: 155~397  | 36: 109~265  | 49: 81~218   | 62: 68~196   | 75: 52~163   |              |              |
| 11: 175~638  | 24: 151~375  | 37: 106~260  | 50: 80~216   | 63: 66~194   | 76: 50~160   |              |              |
| 12: 188~654  | 25: 147~358  | 38: 103~254  | 51: 79~215   | 64: 65~191   | 77: 49~158   |              |              |

(単位: ng/mL)



### 実施料について (内分泌)

一回に <b>○</b> 印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目以上 5 項目以下	内分泌 410点
2) 6 項目又は 7 項目	内分泌 623点
3) 8 項目以上	内分泌 900点

\* 1 負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験

下垂体前葉負荷試験 (51頁参照)

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2082	甲状腺刺激ホルモン (TSH) 高感度TSH	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	98 生II *1	2~4 Ⓜ	0.56~4.26 μIU/mL	ECLIA		原発性甲状腺機能低下症 (橋本病) 原発性甲状腺機能亢進症 (バセドウ病)
2119	T <sub>3</sub> (トリヨードサイロニン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	99 生II *2	2~4 Ⓜ	58~159 ng/dL	CLIA		
2134	T <sub>4</sub> (総サイロキシン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	105 生II *2	2~4 Ⓜ	4.9~11.7 μg/dL	CLIA		甲状腺機能低下症 (橋本病) 甲状腺機能亢進症 (バセドウ病) 破壊性甲状腺炎
2123	FT <sub>3</sub> (遊離トリヨードサイロニン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	121 生II *2	2~4 Ⓜ	2.30~4.00 pg/mL	ECLIA		
2138	FT <sub>4</sub> (遊離サイロキシン)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	121 生II *2	2~4 Ⓜ	1.00~1.70 ng/dL	ECLIA		
2144	サイロキシン結合 グロブリン(TBG)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2	130 生II	3~6 s	14~31 μg/mL	CLEIA		TBG異常症 甲状腺機能低下症 甲状腺機能亢進症
2142	サイログロブリン (Tg)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	128 生II	2~4 Ⓜ	33.70以下 ng/mL	ECLIA		甲状腺分化癌 甲状腺腺腫 バセドウ病
4159	TSHレセプター抗体 (第2世代)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	214 免	3~7 s	1.0未満 IU/L 下記参照	RRA法	ヒトTSHレセプター 使用	
4161	TSHレセプター抗体 (第3世代)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	214 免	2~4 Ⓜ	2.0未満 IU/L 下記参照	ECLIA	M22抗体(抗TSHレ セプターヒトモノク ローナル抗体)使用	バセドウ病 橋本病
4155	甲状腺刺激抗体(TSAb)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	330 免	3~6 s	110未満 %	Bioassay	溶血により低値傾向 を示す	
4153	抗サイログロブリン 抗体(抗Tg抗体)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	136 免	3~6 Ⓜ	28未満 IU/mL	ECLIA		橋本病 甲状腺機能低下症 バセドウ病 無病性甲状腺炎
4147	抗甲状腺ペルオキシ ダーゼ抗体 (抗TPO抗体)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	138 免	2~5 Ⓜ	16未満 IU/mL	ECLIA		

■ 「抗TPO抗体」を「マイクロゾームテスト」と併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

■ 「TSHレセプター抗体」、「TSAb」を同時に行った場合は、いずれか一方のみ算定する。

<TSHレセプター抗体(第2世代)基準値について>

少数の健常人において、1.0IU/Lを超える結果を示すことがあるため、欧米では1.0~1.5IU/Lをグレーゾーンと設定することを推奨しています。

<TSHレセプター抗体(第3世代)基準値について>

未治療バセドウ病診断における推奨カットオフ値

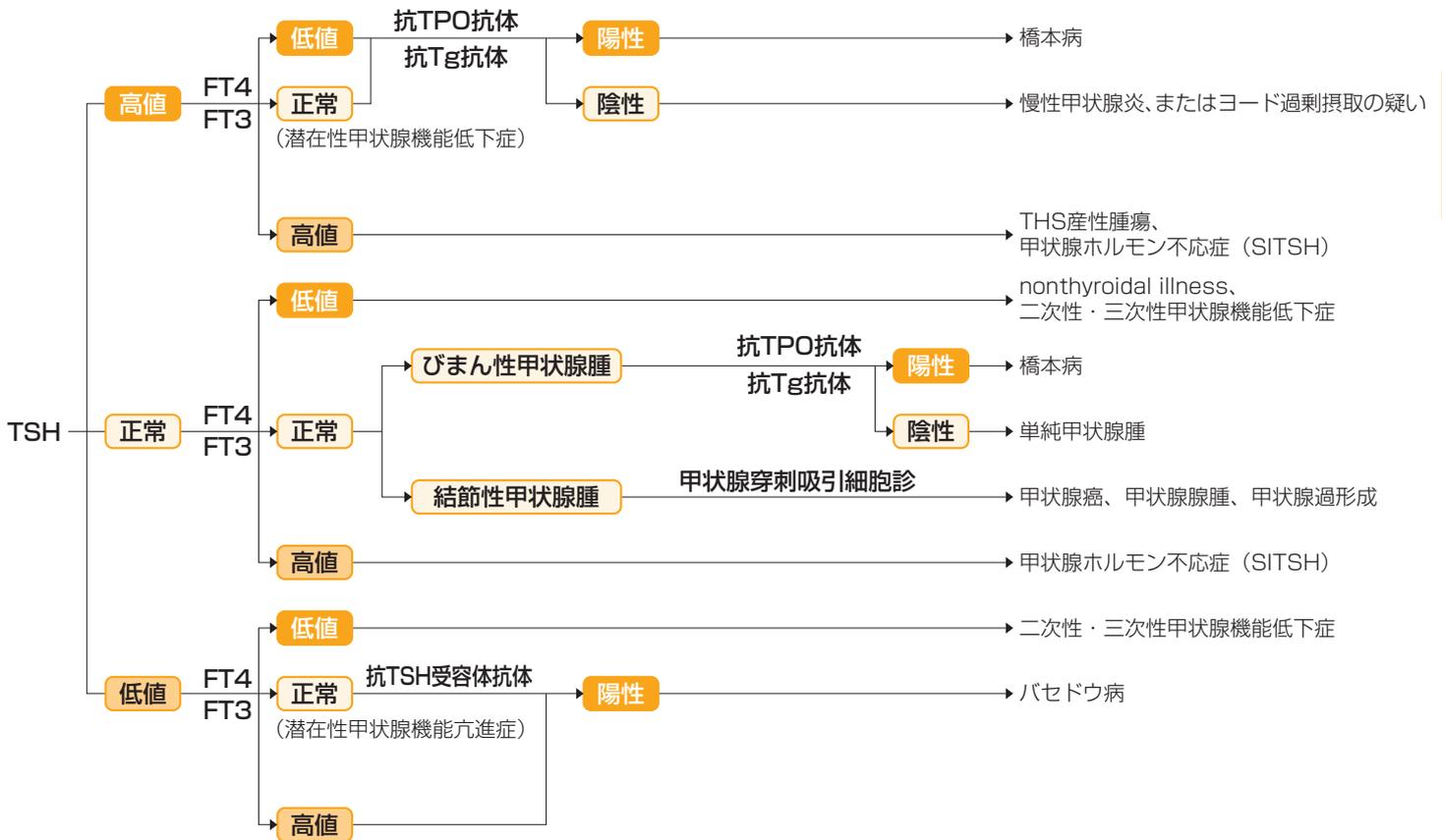
検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
甲状腺 4157	TSBAb (TSHレセプター抗体[阻害型])	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4		3~6 s	下記参照	Bioassay	溶血により高値傾向を示す	特発性粘液水腫

## ● TSBAb (TSHレセプター抗体 [阻害型]) の基準値について

名称	指標内容	参考基準値
TSBAb	TSHレセプター抗体 [阻害型]	13.1未満 (%)
SI (Stimulation Index)	甲状腺刺激ホルモン受容体への刺激活性の指標	設定なし
BI (Blocking Index)	刺激活性を排除したTSBAb阻害活性の指標	8.0未満 (単位なし)

参考基準値につき、報告書への記載はありません。

## 甲状腺疾患・診断用フローチャート



- \* 1 負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験 下垂体前葉負荷試験
  - イ. 成長ホルモン (GH) (一連として) 1,200点 (注: 患者1人につき月2回に限り算定する)
  - ロ. ゴナドトロピン (LH及びFSH) (一連として月1回) 1,600点
  - ハ. 甲状腺刺激ホルモン (TSH) (一連として月1回) 1,200点
  - ニ. プロラクチン (PRL) (一連として月1回) 1,200点
  - ホ. 副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) (一連として月1回) 1,200点 (62頁参照)
- \* 2 負荷試験実施の時は別算定→内分泌負荷試験 甲状腺負荷試験 (一連として月1回) 1,200点 (62頁参照)



実施料について (内分泌)	
一回に  印の項目を 3項目以上行った場合	
1) 3項目以上 5項目以下	内分泌 410点
2) 6項目又は 7項目	内分泌 623点
3) 8項目以上s	内分泌 900点

実施料について (自己抗体)	
一回に  印の項目を 2項目以上行った場合	
1) 2項目	自己抗体 320点
2) 3項目以上	自己抗体 490点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2164	副甲状腺ホルモン intact (PTH-intact)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	161 生II *	2~4 Ⓜ	10~65 pg/mL	ECLIA		副甲状腺機能亢進症 副甲状腺機能低下症 高カルシウム血症
2165	Whole PTH	血液 1.5 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.5	161 生II *	3~6 s	8.3~38.7 pg/mL	CLEIA		
1776	PTH関連蛋白- intact (PTHrP-intact)	血液 1.5 G-15 冷 ↓ 遠心 血漿 0.5 凍	186 生II	5~9 B	1.1未満 pmol/L	IRMA (ビーズ固相法)	抗凝固剤: EDTA 2 Na +アプロチニン 血清は測定不可	悪性腫瘍に伴う 高カルシウム血症
2169	カルシトニン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	130 生II	3~6 s	M 9.52以下 F 6.40以下 pg/mL	ECLIA		甲状腺髄様癌 各種悪性腫瘍
1441	25-OHビタミンD (ECLIA)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	117 生I	3~6 B	ng/mL	ECLIA	依頼の際は必ず 「25-OHVD ECLIA」 とご記入ください。	原発性骨粗鬆症 ビタミンD欠乏症 くる病
1438	25-OHビタミンD (CLIA)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	117 生I	3~7 B	ng/mL	CLIA	依頼の際は必ず 「25-OHVD CLIA」 とご記入ください。	
1439	1.25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	血液 3.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 1.0 凍	388 生I	4~8 B	20~60 pg/mL	RIA 2抗体法		ビタミンD抵抗性くる病 慢性腎不全 副甲状腺機能低下症

●NTX(尿)基準値・判定基準 (単位:nmol BCE/mmol CRE)

男性	13.0~66.2
女性(閉経前)	9.3~54.3
女性(閉経後)	14.3~89.0
骨吸収亢進の指標	55以上
副甲状腺摘出術の適応	200以上
悪性腫瘍の骨転移の指標	100以上
骨粗鬆症薬剤 治療の指標	骨折リスク カットオフ値 54.3 骨量低下 カットオフ値 35.3

●骨粗鬆症薬剤治療の指標

	尿中NTx	尿中デオキシ ピリジノリン
骨折 高リスクの指標	54.3超	7.6超
骨量減少 高リスクの指標	35.3以上	5.9以上
単位	nM BCE/mM-Cre	nM/mM-Cre

※1 ビタミンD不足・欠乏の判定指針(25-OHビタミンD濃度による)

ビタミンD充足状態	30.0ng/mL以上
ビタミンD不足	20.0ng/mL以上30.0ng/mL未満
ビタミンD欠乏	20.0ng/mL未満

日本小児内分泌学会の「ビタミンD欠乏症くる病・低カルシウム血症の診断の手引き」には、診断基準(血清25OHD低値)として下記が記載されています。

- ・20 ng/mL 以下
- ・15 ng/mL 以下であればより確実

■「副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)」高カルシウム血症の鑑別並びに悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症に対する治療効果の判定のために測定した場合に限り算定する。

■「1.25-(OH)<sub>2</sub>ビタミンD」慢性腎不全、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、ビタミンD依存症I型若しくは低リン血症性ビタミンD抵抗性くる病の診断時又はそれらの疾患に対する活性型ビタミンD<sub>3</sub>剤による治療中に測定した場合に限り算定できる。ただし、活性型ビタミンD<sub>3</sub>剤による治療開始後1月以内においては2回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定する。

■「25-OHビタミンD」ビタミンD欠乏性くる病若しくはビタミンD欠乏性骨軟化症の診断時又はそれらの疾患に対する治療中に測定した場合は診断時においては1回を限度とし、その後は3月に1回を限度として算定できる。原発性骨粗鬆症の患者に対して測定した場合は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回に限り算定できる。なお、本検査を実施する場合は関連学会が定める実施方針を遵守すること。

\*負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験 副甲状腺負荷試験(1連として月1回) 1,200点(62頁参照)



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2529	低カルボキシ化 オステオカルシン (ucOC)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	154 生Ⅱ	3~6 s	4.50未満 ng/mL <small>(骨粗鬆症者における骨のピタ ミンK不足状態のカットオフ値)</small>	ECLIA	溶血により低値傾向 を示す。	骨粗鬆症 (ビタミンK不足による)
2530	オステオカルシン (OC)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	157 生Ⅱ	3~6 s	M: 8.4~33.1 F: (閉経前) 7.8~30.8 (閉経後) 14.2~54.8 ng/mL	ECLIA		副甲状腺機能低下症 副甲状腺機能亢進症 骨粗鬆症
4975	NTx I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (骨粗鬆症)	部分尿 3.0 K-5 冷	156 生Ⅱ 腫管	3~7 L	前頁参照 nmol BCE/mmol-CRE	CLEIA	早期第2尿をご提出 ください。	原発性副甲状腺機能亢進症 骨粗鬆症 転移性骨腫瘍
4980	デオキシピリジノリン (DPD)	部分尿 2.0 K-5 冷	191 生Ⅱ 腫管	4~7 B	M: 2.1~5.4 F: 2.8~7.6 nmol/mmol-CRE	EIA	早期第2尿をご提出 ください。	原発性副甲状腺機能亢進症 副甲状腺機能亢進症 骨粗鬆症 転移性骨腫瘍
4974	TRACP-5b (骨型酒石酸抵抗性 酸フォスファターゼ)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	156 生Ⅱ 腫管	3~6 s	M: 170~590 F: 120~420 * mIU/dL	EIA	* 健常閉経前女性 (30~44歳)、閉 経後女性に適用	骨粗鬆症 副甲状腺機能亢進症 転移性骨腫瘍
1049	骨型アルカリホス ファターゼ (BAP)	血液 2.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.8	157 生Ⅱ	3~6 s	M: 3.7~20.9 F: (閉経前) 2.9~14.5 (閉経後) 3.8~22.6 μg/L	CLEIA		骨粗鬆症 骨転移癌 副甲状腺機能亢進症
2532	total P1NP (I型プロコラーゲン -N-プロペプチド)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	160 生Ⅱ	2~4 M	M: 18.1~74.1 閉経前 F 16.8~70.1 閉経後 F 26.4~98.2 μg/L	ECLIA	溶血により低値傾 向を示す	骨粗鬆症
1306	I型コラーゲンC末端 テロペプチド (ICTP)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	腫管	3~6 s	4.5未満 * ng/mL	RIA2抗体法	* 腫瘍マーカーとし てのカットオフ値	癌骨転移 副甲状腺機能亢進症

- 「低カルボキシ化オステオカルシン (ucOC)」骨粗鬆症におけるビタミンK<sub>2</sub>剤の治療選択目的で行った場合又は治療経過観察を行った場合に算定できる。ただし、治療開始前においては1回、その後は6月以内に1回に限り算定できる。
- 「オステオカルシン (OC)」続発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定及び原発性又は続発性の副甲状腺機能亢進症による副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術後の治療効果判定に際して実施した場合に限り算定できる。
- 「I型コラーゲン架橋N-テロペプチド (NTx)」・「尿中デオキシピリジノリン (DPD)」 原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときは変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- 「TRACP-5b」代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助として実施した場合に1回、その後6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。乳癌、肺癌、又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために当該検査を行い、当該検査に基づいて計画的な治療管理を行った場合は、悪性腫瘍特異物質治療管理料の「□ その他のもの (63頁参照)」を算定する。
- 「NTx」、「オステオカルシン (OC)」、「尿中DPD」、又は「TRACP-5b」を併せて実施した場合は、いずれか一つのみ算定する。
- 「BAP」、「P1NP」及び「ALPアイソザイム」(PAG電気泳動法)のうち2項目以上を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

● 腫管印: 悪性腫瘍特異物質治療管理料「□ その他のもの」(63頁参照)

### 実施料について (内分泌)

一回に	●印の項目を3項目以上行った場合
1)	3項目以上5項目以下 内分泌 410点
2)	6項目又は7項目 内分泌 623点
3)	8項目以上 内分泌 900点

# 54 内分泌学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2198	コルチゾール	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	121 生II*	2~4 B	4.5~21.1 μg/dℓ	CLIA	原則として 午前8時~10時に 採血してください。	クッシング症候群 アジソン病 異所性ACTH産生腫瘍
2199		蓄尿 5.0 G-3 冷	121 生II	3~8 B	4.3~176.0 μg/day	CLIA	尿量を記入してくだ さい。 非抱合型コルチゾー ルを測定	
2195	血中11-OHCS (11-ヒドロキシコルチコステロイド)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	60 生II	3~10 s	午前10時採血 7.0~23.0 μg/dℓ	蛍光法 (DeMoor変法)		アジソン病 クッシング症候群 ACTH単独欠損症
2243	アルドステロン	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3 凍	122 生II*	2~4 Ⓜ	4.0~82.1 pg/ml	CLEIA	EDTA2Na血漿で も測定可能です。 採血時刻、安静度、 体位によって測定値 に差が出ますので、 採血時間は午前中、 座位で15分安静後を お勧めいたします。	原発性アルドステロン症 続発性アルドステロン症 バーター症候群
2469	レニン活性 (PRA)	血液 2.0 S-3 冷 遠心 血漿 0.7 凍	100 生II*	3~7 B	座位 0.2~3.9 臥位 0.2~2.3 立位 0.2~4.1 ng/ml/hr	EIA	抗凝固剤：EDTA2Na	高レニン性本態性高血圧症 腎血管性高血圧症 原発性アルドステロン症 バーター症候群 悪性高血圧
2476	レニン定量(活性型) (ARC)	血液 1.5 S-3 冷 遠心 血漿 0.5 凍	102 生II*	3~7 H	2.21~39.49 pg/ml	CLEIA	抗凝固剤：EDTA2Na 採血時刻、安静度、体 位によって測定値に 差が出ますので、 採血時間は午前中、 座位で15分安静後を お勧めいたします。	

■ 「レニン活性」、「レニン定量」を併せて行った場合は、一方の所定点数のみ算定する。

腎・副腎皮質機能検査

内分泌学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
腎・副腎皮質機能検査 2230	デヒドロエピアンドロ ステロンサルフェート (DHEA-S)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	164 生Ⅱ*	3~6 s	下記参照	CLEIA	性別・年齢を明記し てください。	クッシング病 アジソン病 副腎腺腫によるクッシング症候群

## ●デヒドロエピアンドロステロンサルフェート (DHEA-S) 基準値 (単位: $\mu\text{g}/\text{dL}$ )

年齢(歳)	男性	女性
18~20	24~537	51~321
21~30	85~690	18~391
31~40	106~464	23~266
41~50	70~495	19~231
51~60	38~313	8~188
61~70	24~244	12~133
71~	5~253	7~177

\* 負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験

副腎皮質負荷試験

イ. 鉱質コルチコイド (レニン、アルドステロン) (一連として月1回) 1,200点

ロ. 糖質コルチコイド (コルチゾール、DHEA-S) (一連として月1回) 1,200点 (62頁参照)



### 実施料について (内分泌)

一回に  印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目以上 5 項目以下	内分泌 410点
2) 6 項目又は 7 項目	内分泌 623点
3) 8 項目以上	内分泌 900点

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2257	カテコールアミン3分画 (アドレナリン) (ノルアドレナリン) (ドーパミン)	血液 5.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 1.5 凍	161 生II	4~7 H	アドレナリン(AD) 100以下 ノルアドレナリン(NAD) 140~450 ドーパミン(DA) 20以下 pg/mL	HPLC法	抗凝固剤: EDTA2Na	褐色細胞腫 神経芽細胞腫 本態性高血圧症
2258		酸性蓄尿 2.0 K-5 冷	161 生II	4~8 H	アドレナリン(AD) 3.4~26.9 ノルアドレナリン(NAD) 48.6~168.4 ドーパミン(DA) 365.0~961.5 μg/day		酸性蓄尿 6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後、尿量を記入し必要量を提出してください。	
2268	メタネフリン総	酸性蓄尿 6.0 K-5 冷	217 生II	7~14 B	0.14~0.46 mg/day	LC/MS法	尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6Nの塩酸1mLの割合で入れてください。 随時尿でご提出の場合はCre補正值も報告いたします。尿中Creも同時にご依頼ください。	
2271	メタネフリン分画 (メタネフリン) (ノルメタネフリン)	酸性蓄尿 2.0 K-5 冷	220 生II	5~7 B	メタネフリン(MN) 0.04~0.18 ノルメタネフリン(NMN) 0.10~0.28 mg/day	LC/MS/MS法		
2272		部分尿 2.0 K-5					mg/ℓ	
2275	血中遊離 メタネフリン分画	血液 3.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血清 1.0	450 生II	5~12 B	下記参照	EIA	下記参照	
2287	バニリルマンデル酸 定性(VMA定性)	部分尿 5.0 K-5 冷	9 尿糞	2~4 H	(-)	試験管法 (佐藤らの方法)		褐色細胞腫 神経芽細胞腫
2286	バニリルマンデル酸 (VMA)	血液 4.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 1.5	90 生II	5~8 s	3.3~8.6 ng/mL	HPLC	抗凝固剤: EDTA2Na 蓄尿の場合は、6N塩酸約20mLを入れた蓄尿瓶の中へ尿を24時間蓄尿し、よく混和後、尿量を記入し必要量を提出してください。 尿量があらかじめ少ないと予想される場合には尿100mLに対して6Nの塩酸1mLの割合で入れてください。	
2292		部分尿 1.0 K-5 冷	90 生II	5~7 L	1.2~4.9 μg/mg-Cr ※2	LC/MS/MS法		
2290		酸性蓄尿 1.0 K-5			1.4~4.9 mg/day ※1			
2282	ホモバニリン酸 (HVA)	血液 4.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 1.5	69 生II	5~8 s	4.4~15.1 ng/mL	HPLC		
		髄液 1.5 K-5 冷	69 生II	4~8 s	ng/mL			
2284		部分尿 1.0 K-5 冷	69 生II	4~6 L	1.6~5.5 μg/mg-Cr ※2	LC/MS/MS法		
2285		酸性蓄尿 1.0 K-5			1.6~5.5 mg/day ※1			

●血中遊離メタネフリン分画:褐色細胞腫のカットオフ値

メタネフリン 130.0以下 ノルメタネフリン 506.0以下

●血中遊離メタネフリン分画についてのご注意

- 測定値が上昇するおそれがあるため、仰臥位(ぎょうがい)にて20分間安静にした後に採血してください。
- 著しい溶血や乳びが認められる検体は不可です。(特に溶血血漿は低値となる可能性があります。)
- COMTによるドーパミン代謝物である3-methoxytyramineが著しく高値の場合、褐色細胞腫以外のドーパミン産生腫瘍の疾患では稀に偽陽性となる場合がありますのでご注意ください。
- セロトニン、ノルアドレナリン再取り込み阻害剤、三環系抗うつ剤、MAO阻害剤、L-DOPA、交感神経刺激剤等の薬剤投与を受けた後の検体では、測定値に影響を与える場合がありますのでご注意ください。

■「血中遊離メタネフリン分画」

褐色細胞腫の鑑別診断を行った場合に1回に限り算定する。本検査を実施するに当たっては、関連学会が定める指針を遵守し、褐色細胞腫を疑う医学的な理由を診療録に記載すること。

■メタネフリン、メタネフリン:ノルメタネフリン分画、ノルメタネフリン又は遊離メタネフリン:遊離ノルメタネフリン分画のうちいずれかを併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

※1 濃度(mg/L)もご報告致します。

※2 正常児参考基準値については、57頁-表1参照

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2294	5-ハイドロキシイン ドール酢酸 (5-HIAA)	血液 4.0 S-3  遠心 血漿 1.5	95 生II	5~8 s	1.8~6.1 ng/mL	HPLC	抗凝固剤：EDTA2Na 蓄尿の場合は、6 N 塩酸約20mLを入れた 蓄尿瓶の中へ尿を24 時間蓄尿し、よく混 和後、尿量を記入し 必要量を提出してく ださい。 尿量があらかじめ少 ないと予想される場 合には尿100 mLに対 して6 Nの塩酸1 mL の割合で入れてくだ さい。	カルチノイド症候群
		髄液 1.5 K-5 	95 生II	5~8 s	ng/mL			カルチノイド症候群 点頭てんかん パーキンソン病
2295		酸性蓄尿 1.0 K-5 	95 生II	5~7 s	1.0~6.0 mg/day			カルチノイド症候群
	3-メトキシ-4ヒドロ キシフェニルエチ レンジリコール (MHPG)	血液 4.0 S-3  遠心 血漿 1.5 		事前 にご 確認 下さい s	3.2~5.9 ng/mL	HPLC		統合失調症 アルツハイマー病 うつ病
		髄液 1.5 K-5  		事前 にご 確認 下さい s	ng/mL			
2291	セロトニン	血液 1.0 S-3  		4~11 s	57~230 ng/mL	HPLC	抗凝固剤：EDTA2Na 血液はポリスピッツに 移しかえ必ず凍結保存 にてご提出ください。	カルチノイド症候群 脳性麻痺

副腎髄質・交感神経系

内分泌学的検査

表1 尿中VMA/HVA (クレアチニン補正)：正常児参考基準値

月 齢	VMA (μg/mg Cr) mean ± S.D	HVA (μg/mg Cr) mean ± S.D
1~3	8.6 ± 4.10	18.1 ± 6.18
4	8.9 ± 3.35	18.2 ± 4.79
5	9.1 ± 3.20	17.9 ± 4.96
6	9.1 ± 3.25	17.5 ± 4.88
7	9.0 ± 3.29	17.2 ± 5.16
8	8.8 ± 3.43	16.6 ± 5.42
9	8.6 ± 3.20	16.7 ± 5.28
10	8.8 ± 3.32	16.4 ± 5.40
11~12	8.3 ± 3.44	16.1 ± 5.54
1~12	9.1 ± 3.38	17.4 ± 4.98

出典：沼田公介，他：小児科診療 12, 2921, 1990.



実施料について (内分泌)	
一回に  印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目以上 5 項目以下	内分泌 410点
2) 6 項目又は 7 項目	内分泌 623点
3) 8 項目以上	内分泌 900点

# 58 内分泌学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2524	ヒト心房性Na利尿 ペプチド (HANP)	血液 1.0 G-15 冷 ↓ 遠心 血漿 0.4 凍	(221) 生II	3~6 H	43.0以下 pg/mL	CLEIA	抗凝固剤: EDTA 2Na +アプロチニン	うつ血性心不全 急性心筋梗塞 慢性腎不全
2526	BNP (ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド)	血液 1.5 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.5	(130) 生II	2~3 M	18.4以下 pg/mL	CLEIA	抗凝固剤: EDTA 2Na 血清は測定不可	心不全
2536	NT-proBNP (ヒト脳性ナトリウム 利尿ペプチド前駆体 N端フラグメント)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(136) 生II	2~3 M	125以下 pg/mL	ECLIA		
3242	ミオグロビン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	131 生I	3~6 S	M:154.9以下 F:106.0以下 ng/mL	CLIA	凍結不可	心筋梗塞 筋ジストロフィー 骨格筋疾患
3241		部分尿 8 G-12 冷	131 生I	3~5 B	2.0未満 ng/mL	CLEIA		
3243	ミオシン軽鎖 I	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4 凍	184 生I	2~7 L	2.5以下 ng/mL	EIA		心筋梗塞 心筋炎
3246	心筋トロポニンT (TnT)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	109 生I	3~6 S	0.014以下 ng/mL	ECLIA法	急性心筋梗塞にお けるカットオフ値は 0.100ng/mL以下	急性心筋梗塞 狭心症 心筋炎
3248	高感度トロポニン I	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	109 生I	3~5 B	男性:58.05以下 女性:39.59以下 pg/mL	CLIA法		

心臓関連検査

内分泌学的検査

- 「BNP」、「NT-proBNP」心不全の診断又は病態把握のために実施した場合に月1回に限り算定する。
- 「HANP」、「NT-proBNP」及び「BNP」のうち2項目以上をいずれかの検査を行った日から起算して1週間以内に併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。また、これらの検査を2項目以上実施した場合は各々の検査の実施日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
- 「(心室筋) ミオシン軽鎖 I」同一の患者につき同一日に当該検査を2回以上行った場合は、1回のみ算定する。
- 「心筋トロポニン I」と「心筋トロポニンT (TnT)」を同一月に併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- 「H-FABP」と「ミオグロビン定量」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2369	インスリン(IRI)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	100 生II*	2~4 Ⓜ	5.0~20.0 (負荷前) μU/mL	ECLIA	溶血は低値の影響があります。	
2398	C-ペプチド (CPR)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	105 生II*	3~5 B	空腹時(負荷前) 0.8~2.5 ng/mL	ECLIA	*	糖尿病 インスリンノーマ インスリン自己免疫症候群
2420		蓄尿 1.0 K-5 凍	105 生II	3~5 B	22.8~155.2 μg/day	ECLIA	尿量を記入してください。(*)	
4175	インスリン抗体	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	107 免	5~9 S	0.4未満 U/mL	RIA		インスリン治療による抗体産生 インスリン自己免疫症候群
1274	抗GAD抗体 (抗グルタミン酸 デカルボキシラーゼ抗体)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2	134 生II	3~6 H	5.0未満 U/mL	ELISA	IDDMの診断に用いた場合に算定できる。	1型糖尿病
1276	抗IA-2抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	213 生II	4~8 B	0.6未満 U/mL	EIA		1型糖尿病 2型糖尿病(約5%)
2431	ガストリン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.7	101 生II	3~6 B	11.9~46.9 pmol/ℓ	RIA ・PEG法		ガストリノーマ Zollinger-Ellison 症候群

(※) 蓄尿は冷所にて行うか予め専用安定化剤(市販品:栄研化学 I-XB53) 1袋全量、(10g/袋,最終濃度約0.5%)を添加して行ってください。他の項目との重複依頼は避けてください。

- 「C-ペプチド」同時に血液及び尿の両方の検体について測定した場合は、血液の場合の所定点数のみを算定する。
- 「抗GAD抗体」すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して、1型糖尿病の診断に用いた場合又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる。
- 「抗IA-2抗体」すでに糖尿病の診断が確定し、かつ、「抗GAD抗体」の結果、陰性が確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いた場合に算定する。なお、当該検査を算定するに当たっては、抗GAD抗体の結果、陰性が確認された年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

\* 負荷試験実施時は別算定→糖負荷試験(8頁参照)

※C-ペプチド測定のプロオチンの影響:プロオチンを投与している患者(1日の投与量5mg以上)からの採血は、投与後少なくとも8時間以上経過してから実施してください。



実施料について(内分泌)	
一回に○印の項目を3項目以上行った場合	
1) 3項目以上5項目以下	内分泌 410点
2) 6項目又は7項目	内分泌 623点
3) 8項目以上	内分泌 900点

# 60 内分泌学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
性腺・胎盤関連検査	2321 エストラジオール (E <sub>2</sub> )	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	167 生II *	2~4 Ⓜ	下記参照	ECLIA	蓄尿時には尿量を記入してください。性別を明記してください。また妊婦の場合は妊娠週数を明記してください。	卵巣機能低下症 エストロゲン産生腫瘍 先天性副腎皮質過形成
	2333 プロゲステロン	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	143 生II	2~4 Ⓜ	下記参照	ECLIA		先天性副腎皮質過形成 胎状奇胎 クッシング症候群
	4199 抗ミュラー管ホルモン (AMH)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	597 生II	3~6 H	下記参照	CLEIA		原発性卵巣機能低下症 早発卵巣機能失調
	9092 子宮頸管粘液中顆粒球エラストラーゼ	子宮頸管粘液 G-21 凍	116 尿糞	3~6 S	1.60以下 μg/ml	ラテックス凝集免疫法		絨毛膜羊膜炎 (による切迫早産)
	3253 (ヒト) 癌胎児性フィブロネクチン(PTD)	臍分泌液 G-19 凍	204 免	3~6 S	陰性	ELISA		前期破水 早産

## ● エストラジオール (E<sub>2</sub>) 基準値 (血中)

(単位: pg/mL)

男性		14.6 ~ 48.8
女性	非妊婦	卵胞期 28.8 ~ 196.8 排卵期 36.4 ~ 525.9 黄体期 44.1 ~ 491.9 閉経後 47.0以下
	妊婦	初期 4週0日~13週6日 208.5 ~ 4289.0 中期 14週0日~27週6日 2808.0 ~ 28700.0 後期 28週0日~38週 9875.0 ~ 31800.0

## ● プロゲステロン基準値

(ng/mL)

女性	非妊婦	卵胞期 0.3以下 排卵期 5.7以下 黄体期 2.1~24.2 閉経後 0.3以下
	妊婦	男性 0.2以下 4週~13週6日 13.0~51.8 14週~27週6日 24.3~82.0 28週~38週 63.5~174.4

## ● 抗ミュラー管ホルモン (AMH) 参考基準値

AMH測定値の年齢別分布(中央値) ※RI:Reference Interval

年齢(歳)	N(例)	中央値(ng/mL)	95% RI(基準範囲)(ng/mL)
≤27	558	4.69	0.76 ~ 14.18
28	387	4.27	0.84 ~ 12.44
29	555	4.14	0.86 ~ 11.97
30	663	4.02	0.79 ~ 12.74
31	865	3.85	0.44 ~ 13.08
32	872	3.54	0.62 ~ 13.87
33	959	3.32	0.40 ~ 12.76
34	1,064	3.14	0.38 ~ 11.16
35	1,191	2.62	0.37 ~ 10.18
36	1,122	2.50	0.33 ~ 9.93
37	1,154	2.27	0.24 ~ 8.50
38	1,230	1.90	0.11 ~ 7.81
39	1,176	1.80	0.13 ~ 7.45
40	1,057	1.47	0.08 ~ 6.13
41	888	1.30	0.06 ~ 5.52
42	715	1.00	0.05 ~ 5.81
43	509	0.72	0.03 ~ 4.49
44	309	0.66	0.03 ~ 3.98
45	144	0.41	0.03 ~ 3.43
46≤	127	0.30	0.02 ~ 1.67
全群	15,545	2.36	0.12 ~ 10.67

\*JISART(日本生殖補助医療標準化機関)の各施設に通院する不妊症患者で当該試薬を用いて測定した16,526例のうち、多嚢胞性卵巣(PCO)(939例)および早発卵巣不全(POI)(42例)と診断された症例を除外した後の、女性15,545例のAMH測定値の年齢別分布(中央値)をノンパラメトリック法により求められています。  
(国内検討データ 試薬添付文書より)

### 【判定上の留意事項】

日本産科婦人科学会 生殖・内分泌委員会 生殖医療リスクマネージメント小委員会の報告では、AMH測定に際して留意すべき事項として次の4項目が挙げられています。  
①AMHは卵子の質とは関連しない。  
②AMHの測定値は個人差が大きく、若年女性でも低い場合や高齢女性でも高い場合があり、測定値からいわゆる「卵巣年齢」の推定はできない。  
③測定値と妊娠する可能性とは直接的な関係はなく、測定値から「妊娠できる可能性」を判定するのは不適切と考えられる。  
④測定値が低い場合でも「閉経が早い」という判断はできない。

■「エストロゲン半定量又は定量」については、E<sub>3</sub>又はE<sub>2</sub>と同時に実施した場合は算定されない。

■「顆粒球エラストラーゼ(子宮頸管粘液)」は、絨毛羊膜炎の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の妊婦で切迫早産の疑いがある者に対して行った場合に算定する。

■「癌胎児性フィブロネクチン(PTD)」は、破水の診断のために妊娠満22週以上満37週未満の者を対象として測定した場合又は切迫早産の診断のために妊娠満22週以上満33週未満の者を対象として測定した場合のみ算定する。

■「癌胎児性フィブロネクチン(PTD)」および臍分泌液中インスリン様成長因子結合蛋白I型(IGFBP-1)定性を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

■「抗ミュラー管ホルモン(AMH)」は不妊症の患者に対して、卵巣の機能の評価及び治療方針の決定を目的として測定した場合に、6月に1回に限り算定できる。

\*負荷試験実施時は別算定→内分泌負荷試験

性腺負荷試験(一連として月1回)1,200点(62頁参照)



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2345	テストステロン	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.4	119 生II*	2~4 Ⓜ	M:142.4~923.1 F:10.8~56.9 ng/dL	CLIA		多のう胞性卵巣症候群 セルトリ・ライディック細胞腫 先天性副腎過形成
2350	フリーテストステロン (遊離テストステロン)	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3	159 生II	3~8 s	下記参照	RIA固相法	午前中に採血してく ださい。 性別、年齢を明記し てください。	
2340	プレグナントリオール	蓄尿 5 K-5 冷 凍	232 生II	10~12 B	下記参照	GC-MS法		先天性副腎皮質過形成 下垂体機能低下症
2355	HCG定性 (ヒト絨毛性ゴナドトロピン)	部分尿 0.5 K-5 冷	55 生II	1~2 Ⓜ	(-) (非妊娠)	Immunochro matography Assay法		
2356	HCG定量 (ヒト絨毛性ゴナドトロピン)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	130 生II	1~2 Ⓜ	下記参照	ECLIA		妊娠 流産 子宮外妊娠 絨毛癌
2357		部分尿 1.0 K-5 冷	130 生II					
2364	HCG-βサブユニット (遊離HCG-β)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	129 生II	3~6 s	1.00未満 ng/mL	CLIA	遊離のHCG-βサブユニットを 測定しています。抗体は遊離の HCG-βを確認しています。絨 毛性および非絨毛性CG産生 腫瘍マーカーとして有用です。	妊娠 胎状奇胎 絨毛癌 異所性HCG産生腫瘍
4500	sFit-1/PIGF比	血液 2.5 S-1 冷 遠心 血清 0.9	340 免	3~10 B	38.00以下 下記参照	ECLIA		妊娠高血圧腎症(PE)

### ●「sFit-1/PIGF比」妊娠高血圧腎症(PE)発症予測のカットオフ値

sFit-1/PIGF比 ≤ 38.00	1週間以内のPEの非発症予測
sFit-1/PIGF比 > 38.00	4週間以内のPEの発症予測

### ●フリーテストステロン年齢別・性別に おける基準値(メーカー参考値) (pg/mL)

年齢	男性	女性
20~29	7.6~23.8	0.4~2.3
30~39	6.5~17.7	0.6~2.5
40~49	4.7~21.6	0.3~1.8
50~59	4.6~19.6	0.8~1.7
60~69	5.3~11.5	
70以上	4.6~16.9	

### ●プレグナントリオール基準値 (mg/day)

性別	基準値	
男性	0.25~1.48	
女性	卵胞期	0.07~1.24
	黄体期	0.25~1.58
	閉経後	1.00以下

### ●HCG参考基準値 (mIU/mL)

	血中HCG	尿中HCG	
成人男子	2以下	4以下	
女性非妊婦	2以下	4以下	
妊婦	~6W	2700~87200	7~62600
	7~10W	6700~201500	4~373000
	11~20W	8700~72200	3100~277900
	21~30W	4300~50500	300~44500
	31~40W	5400~79000	

■「HCG-β」は、HCG産生腫瘍患者に対して測定した場合に限り算定できる。

■「HCG定性」、「HCG(定量又は半定量)」、「HCG-βサブユニット」を併せて実施した場合は、主たるもの1つに限り算定する。

■「sFit-1/PIGF比」本検査は、妊娠18週から36週未満の妊娠高血圧腎症が疑われる妊婦であって、以下のリスク因子のうちいずれか1つを有するものに対して実施した場合に、原則として一連の妊娠につき1回に限り算定できる。なお、リスク因子を2つ以上有する場合は原則として当該点数は算定できない。

- (イ) 収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧80mmHg以上
- (ロ) 蛋白尿
- (ハ) 妊娠高血圧腎症を疑う臨床症状又は検査所見
- (ニ) 子宮内胎児発育遅延
- (ホ) 子宮内胎児発育遅延を疑う検査所見

本検査を算定する場合は、上記のリスク因子のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。また、上記の(ハ)又は(ホ)に該当する場合は、その医学的根拠を併せて記載すること。なお、医学的な必要性から、リスク因子を2つ以上有する妊婦において算定する場合、又は一連の妊娠につき2回以上算定する場合は、その詳細な理由を診療報酬明細書の適用欄に記載すること。

### 実施料について(内分泌)

一回に	印の項目を3項目以上行った場合
1)	3項目以上5項目以下 内分泌 410点
2)	6項目又は7項目 内分泌 623点
3)	8項目以上 内分泌 900点

性腺・胎盤関連検査

内分泌学的検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
2515	サイクリック-AMP (C-AMP)	血液 1.0 S-3 冷 遠心 血漿 0.3 凍	165 生II	s	11~21 pmol/mL	RIA DCC法	抗凝固剤: EDTA 2 Na	副甲状腺機能亢進症 甲状腺機能亢進症 心筋梗塞 肝硬変 副甲状腺機能低下症 甲状腺機能低下症 うつ病
		蓄尿 2.0 G-3 冷 凍						
2527	エリスロポエチン	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	209 生II	3~6 H	4.2~23.7 mIU/mL	CLEIA		真性多血症 骨髄異形成症候群 再生不良性貧血 鉄欠乏性貧血
4350	アディポネクチン	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.3		4~6 L	4.0以上 μg/mL	ラテックス 免疫比濁法		

■「エリスロポエチン」は、赤血球増加症の鑑別診断ならびに重度の慢性腎不全患者又はエリスロポエチン、ダルベポエチン、エポエチンベータペゴル若しくはHIF-PH阻害薬投与前の透析患者における腎性貧血の診断または、骨髄異形成症候群に伴う貧血の治療方針の決定のために行った場合に算定する。

### ●内分泌負荷試験 実施料

下垂体前葉負荷試験	成長ホルモン (GH)	[一連として] 1200点 注:患者1人につき月2回に限り算定	インスリン負荷、アルギニン負荷、L-DOPA負荷、 クロニジン負荷、グルカゴン負荷、プロプラノロール負荷、 プロモクリプチン負荷、睡眠負荷等
	ゴナドトロピン (LH及びFSH)	[一連として月1回] 1,600点	LH-RH負荷、クロミフェン負荷等
	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	[一連として月1回] 1,200点	TRH負荷等
	プロラクチン (PRL)	[一連として月1回] 1,200点	TRH負荷、プロモクリプチン負荷等
	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH)	[一連として月1回] 1,200点	インスリン負荷、メトピロン負荷、デキサメサゾン負荷、CRH負荷等
下垂体後葉負荷試験	抗利尿ホルモン (ADH)	[一連として月1回] 1,200点	水制限、高張食塩水負荷 (カーター・ロビンテスト) 等
甲状腺負荷試験	甲状腺ホルモン	[一連として月1回] 1,200点	T <sub>3</sub> 抑制等
副甲状腺負荷試験	副甲状腺ホルモン (PTH)	[一連として月1回] 1,200点	カルシウム負荷、PTH負荷 (エルスワースワードテスト)、 EDTA負荷等
副腎皮質負荷試験	鉱質コルチコイド (レニン、アルドステロン)	[一連として月1回] 1,200点	フロセマイド負荷、アンジオテンシン負荷等
	糖質コルチコイド (コルチゾール、DHEA及びDHEAS)	[一連として月1回] 1,200点	ACTH負荷、デキサメサゾン負荷、メトピロン負荷等
性腺負荷試験	テストステロン	[一連として月1回] 1,200点	HCG負荷等
	エストラジオール	[一連として月1回] 1,200点	HMG負荷等

- 1月に、3,600点を限度として算定する。
- 負荷試験に伴って行った注射、採血及び検体測定のコストは、採血回数及び測定回数にかかわらず、所定点数に含まれるものとする。ただし、副腎静脈サンプリングを行った場合は、当該検査のコストは別に算定できる。
- 各負荷試験については、測定回数及び負荷する薬剤の種類にかかわらず、一連のものとして月1回に限り所定点数を算出する。ただし、成長ホルモンに限り、月2回まで所定点数を算定できる。なお、下垂体前葉負荷試験及び副腎皮質負荷試験以外のものについては、測定するホルモンの種類にかかわらず、一連のものとして算定する。
- 内分泌負荷試験において、負荷の前後に係る血中又は尿中のホルモン等測定に際しては、測定回数、測定間隔等にかかわらず、一連のものとして扱い、当該負荷試験の項により算定するものであり、検体検査実施料における生化学的検査 (I) 又は生化学的検査 (II) の項では算定できない。



### 実施料について (内分泌)

一回に  印の項目を 3 項目以上行った場合	
1) 3 項目以上 5 項目以下	内分泌 410点
2) 6 項目又は 7 項目	内分泌 623点
3) 8 項目以上	内分泌 900点

## 腫瘍関連マーカー

腫瘍マーカーは、悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して検査を行った場合に、悪性腫瘍の診断の確定又は転帰の決定までの間に1回を限度として算定する。悪性腫瘍の診断が確定し、計画的な治療管理を開始した場合、当該治療管理中に行った腫瘍マーカーの検査の費用は悪性腫瘍特異物質治療管理料に含まれ、腫瘍マーカーは、原則として悪性腫瘍特異物質治療管理料と同一月に併せて算定できない。ただし、悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、特定の条件下においては悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。(各腫瘍マーカーの頁参照)

## 悪性腫瘍特異物質治療管理料

● 腫管 印：悪性腫瘍特異物質治療管理料

点数	イ 尿中BTAに係るもの □ その他のもの (1) 1項目の場合 (2) 2項目以上の場合	220点 360点 400点
加算点数	初回月加算	150点
留意点	注1 イについては、悪性腫瘍の患者に対して、尿中BTAに係る検査を行い、その結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り第1回の検査及び治療管理を行ったときに算定する。 注2 □については、悪性腫瘍の患者に対して、「D009」に掲げる腫瘍マーカーに係る検査(注1に規定する検査を除く)のうち1又は2以上の項目を行い、その結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に、月1回に限り第1回の検査及び治療管理を行ったときに算定する。 注3 注2に規定する悪性腫瘍特異物質治療管理に係る腫瘍マーカーの検査を行った場合は、1回目の悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定すべき月に限り、150点を口の所定点数に加算する。ただし、当該月の前月に腫瘍マーカーの所定点数を算定している場合は、この限りでない。 注4 注1に規定する検査及び治療管理並びに注2に規定する検査及び治療管理を同一月に行った場合にあっては、口の所定点数のみにより算定する。 注5 腫瘍マーカーの検査に要する費用は所定点数に含まれるものとする。 注6 注1及び注2に規定されていない腫瘍マーカーの検査及び計画的な治療管理であって特殊なものに要する費用は、注1又は注2に掲げられている腫瘍マーカーの検査及び治療管理のうち、最も近似するものの所定点数により算定する。	

検査項目区分	検査項目
尿中BTAに係るもの	尿中BTA
その他のもの	CEA、AFP、SCC抗原、TPA、NCC-ST-439、CA15-3、DUPAN-2、エラスターゼ1、PSA、CA19-9、PIVKA-II半定量、PIVKA-II定量、CA125、神経特異エノラーゼ(NSE)、Span-1、シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)、CA72-4、シアリルTn抗原(STN)、BFP、遊離型PSA比(PSA F/T比)、BCA225、サイトケラチン19フラグメント(シフラ)、シアリルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)、抗p53抗体、ProGRP、CA54/61、CA602、AFPレクチン分画(AFP-L3%)、TFPI2、γ-Sm、ヒト精巢上体蛋白4(HE4)、可溶性メンテリン関連ペプチド、プロステートヘルスインデックス(phi)、CEA定性(乳頭分泌液)、CEA半定量(乳頭分泌液)、可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)、S2,3PSA%、APOA2アイソフォーム  I型コラーゲン-C-テロペプチド(ICTP)、HER2蛋白、I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTX)、デオキシピリジノリン(DPD)(尿)、TRACP-5b

## 腫瘍関連マーカーの臨床的有用性

注：異なる解釈もあります

項目コード	● 特に有用なもの ○ 有用なもの	呼吸器		消化器					泌尿器・生殖器					記載頁
		肺	食道	胃	肝	胆道	膵	大腸	乳	卵巣	子宮	腎膀胱	前立腺	
3273	CEA (癌胎児性抗原)	●	○	○	○	○	○	●		○	○	○		64
3286	血中 塩基性フェトプロテイン (BFP)	○			○	○	○	○		○	○	●	○	64
3328	SCC抗原 (扁平上皮癌関連抗原)	●	○								●			65
3350	神経特異エノラーゼ (NSE)	●												65
3319	シアリルLe <sup>x</sup> -i 抗原 (SLX)	●			○	●	●			●				65
3366	サイトケラチン19フラグメント (シフラ)	●												65
3380	Pro GRP (ガストリン放出ペプチド前駆体)	●												65
3278	α-フェトプロテイン (AFP)				●									64
3282	AFPレクチン分画比 (L3%)				●									64
3360	PIVKA II				●									64
3316	DUPAN-2			○	○	●	●							64
1091	エラスターゼ1 (IRE)							●						64
3300	CA19-9			○	○	●	●	○						64
3325	SPan-1			○	○	●	●	○						64
3322	NCC-ST-439	●		○	○	●	●	○	●	○				64
3298	CA15-3								●					65
3363	BCA225								●					65
3292	CA125	○	○				○			●	○			67
3307	CA72-4			●			○	○		●	○			67
3310	シアリルTn抗原 (STN)			●			○	○		●	○			67
3334	PSA(前立腺特異抗原)												●	66
3368	HE4									●				67
3364	抗p53抗体		●					●	●					65
3296	CA602									●	○			67

# 64 腫瘍関連検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備 考
3273	CEA (癌胎児性抗原)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	99 生II 腫管	2~4 Ⓜ	5.0以下 ng/mL	CLEIA	
3278	αフェトプロテイン (AFP) 定量	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	98 生II 腫管	2~4 Ⓜ	20.0以下 ng/mL	CLEIA	
3282	α-フェトプロテイン レクチン分画 (AFP-L3%)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	185 生II 腫管	6~9 H	L3 10未満 L1 基準値なし %	LBA-EATA法	
3360	PIVKA II	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	131 生II 腫管	2~4 Ⓜ	40未満 mAU/mL	CLEIA	
3286	BFP (塩基性フェトプロテイン)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	150 生II 腫管	5~10 B	75未満 ng/mL	EIA	溶血不可
1091	エラスターゼ 1 (IRE)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	120 生II 腫管	2~3 Ⓜ	300以下 ng/dL	ラテックス 凝集法	
3316	DUPAN-2	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	115 生II 腫管	3~7 H	150以下 U/mL	EIA	
3325	SPan-1抗原	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	144 生II 腫管	5~8 B	30.0以下 U/mL	RIA固相法 (IRMA)	
3300	CA19-9	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	121 生II 腫管	2~4 Ⓜ	37.0以下 U/mL	CLEIA	
3317	APOA2 アイソフォーム	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	335 生II 腫管	4~11 B	APOA2-i Index 59.5以上 μg/mL	EIA	膵癌
3322	NCC-ST-439	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2	112 生II 腫管	3~7 H	M:4.5未満 F:49才以下 7.0未満 50才以上 4.5未満 U/mL	EIA	

■ 「CEA」悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、家族性大腸腺腫症の患者に対して検査を行った場合においては、悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に、腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

■ 「CEA」と「DUPAN-2」を併せて測定した場合は主たるもののみ算定する。

■ 「AFP」「PIVKA II」悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても肝硬変、HBs抗原陽性の慢性肝炎又は、HCV抗体陽性の慢性肝炎の患者について検査を行った場合（月1回に限る）においては、悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に、腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

■ 「エラスターゼ 1」悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても急性及び慢性膵炎の診断及び経過観察のために検査を行った場合は、悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。

■ 「APOA2アイソフォーム」

(1)本検査は、以下の(イ)から(イ)までのいずれかに該当する者に対して、膵癌の診断の補助を目的として、血液を検体として測定した場合に、膵癌の診断の確定までの間に原則として1回を限度として算定できる。本検査を実施するに当たっては、関連学会の定める指針を遵守するとともに、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

(イ)関連学会が定める指針に基づき膵癌の高度リスクに該当する者。ただし、本検査を実施する患者が3月以内にCA19-9検査を行われており、CA19-9の値が37.0U/mL以上である場合には、本検査は算定できない。

(ロ)関連学会が定める指針に基づき膵癌の中等度リスクに該当する者であって、癌胎児性抗原（CEA）検査の結果が陰性であり、CA19-9値が37.0U/mL以上かつ100U/mL以下の者。

(ハ)関連学会が定める指針に基づき膵癌のリスク因子が3項目以上該当する者であって、癌胎児性抗原（CEA）及びCA19-9検査の結果が陰性である患者。

(2)本検査と、癌胎児性抗原（CEA）、DUPAN-2又はSpan-1を併せて測定した場合は主たるもののみ算定する。

(3)本検査を(1)の(イ)に対して実施する場合はCA19-9の測定年月日及び測定結果を、(1)の(ロ)及び(ハ)に対して実施する場合は癌胎児性抗原（CEA）及びCA19-9の測定年月日並びに測定結果を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
3364	抗p53抗体	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	163 生II 腫管	3~6 s	1.30以下 U/mL	CLEIA	
3350	NSE (神経特異エノラーゼ)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	142 生II 腫管	3~6 H	16.3以下 ng/mL	ECLIA	溶血不可
3380	ProGRP (ガストリン放出 ペプチド前駆体)	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.4 凍	175 生II 腫管	3~6 s	81未満 pg/mL	CLEIA	
3328	SCC抗原 (扁平上皮癌関連抗原)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	101 生II 腫管	2~4 m	1.5以下 ng/mL	CLIA	※1
3366	サイトケラチン 19-フラグメント (シフラ) (CYFRA)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	154 生II 腫管	3~7 m	3.5以下 ng/mL	ECLIA	報告範囲 0.1~最終値
3319	SLX (シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	140 生II 腫管	6~9 H	38以下 U/mL	RIA	溶血不可
3298	CA15-3	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	112 生II 腫管	2~6 m	27以下 U/mL	CLEIA	
3363	BCA225	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	158 生II 腫管	3~6 H	160.0未満 U/mL	CLEIA	

※1 フケ、毛髪、唾液、皮膚（表皮）、爪等の混入により異常高値を示す場合がありますので、検体の取り扱いには十分ご注意下さい。

- 「抗p53抗体」 食道癌、大腸癌又は乳癌が強く疑われる患者に対して行った場合に月1回に限り算定できる。
- 「NSE」、「ProGRP」を併せて実施した場合には、主たるもののみ算定する。
- 「シフラ」 悪性腫瘍であることが既に確定診断された患者については、小細胞癌を除く肺癌の場合に限り、悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定できる。



### 実施料について（腫瘍マーカー）

一回に○印の項目を2項目以上行った場合	
1) 2項目	腫瘍マーカー 230点
2) 3項目	腫瘍マーカー 290点
3) 4項目以上	腫瘍マーカー 385点

# 66 腫瘍関連検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備 考
腫瘍 関連	3334 PSA (前立腺特異抗原)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(121) 生II 腫管	2~4 Ⓜ	成人男性 4.0以下 ng/mL	CLIA	
	3336 高感度前立腺特異 抗原 PSA-HS	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(121) 生II 腫管	2~4 Ⓜ	成人男性 4.000以下 ng/mL	CLIA	
	3342 PSA-ACT	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(121) 生II 腫管	3~5 B	3.4以下 ng/mL ※1	CLIA	前立腺触診、内視鏡カテーテルなどの尿道刺激後24時間以内は一過性の上昇を示します。
	3339 PSA フリー/トータル比	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	(150) 生II 腫管	2~4 Ⓜ	フリー/トータル比 18以上 (参考カットオフ値) %	(CLIA)	
	3335 γ-Sm (γ-セミノプロテイン)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(192) 生II 腫管	3~6 S	4.0以下 ng/mL	CLEIA	
	3343 S2・3PSA% (PSAレクチン 結合分画比)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(248) 生II 腫管	5~7 B	38.0未満 %	LBA-EATA	前立腺癌
骨転移 関連	4975 NTx I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド (骨粗鬆症)	部分尿 3.0 K-5 冷	(156) 生II 腫管	3~7 L	下表参照 nmol BCE/mmol CRE	CLEIA	早朝第2尿をご提出ください。
	4980 デオキシピリジノリン (DPD)	部分尿 2.0 K-5 冷	(191) 生II 腫管	4~7 B	M: 2.1~5.4 F: 2.8~7.6 nmol/mmol CRE	EIA	早朝第2尿をご提出ください。
	1306 I型コラーゲンC末端 テロペプチド (ICTP)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	腫管	3~6 S	4.5未満 ng/mL	RIA2抗体法	
	4974 TRACP-5b (骨型酒石酸抵抗性 酸フォスファターゼ)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(156) 生II 腫管	3~6 S	M: 170~590 F: 120~420 ※ mU/dL	EIA	※健常閉経前女性(30~44歳)、閉経後女性に適用

※1 前立腺肥大症と前立腺癌の判別のカットオフ値は7.0が推奨されます。

## ●NTX(尿) 基準値・判断基準 (単位: nmol BCE/mmol CRE)

男性	13.0~66.2
女性(閉経前)	9.3~54.3
女性(閉経後)	14.3~89.0
骨吸収亢進の指標	55以上
副甲状腺摘出術の適応	200以上
悪性腫瘍の骨転移の指標	100以上
骨粗鬆症薬剤 治療の指標	骨折リスク カットオフ値 骨量低下 カットオフ値
	54.3 35.3

■ [PSA] 診察、腫瘍マーカー以外の検査、画像診断等の結果から、前立腺癌の患者であることを強く疑われる者に対して検査を行った場合に、前立腺癌の診断の確定又は転帰の決定までの間に原則として、1回を限度として算定する。ただし、PSAの検査結果が4.0ng/mL以上であって前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。なお、PSAを2回以上算定するに当たっては、検査値を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

■ [PSA F/T比] 診察及び他の検査 (PSA等) の結果から前立腺癌であることが強く疑われる者に対して行った場合に限り算定する。

■ [S2:3PSA%] 本検査は、前立腺癌であることが強く疑われる者であって、前立腺特異抗原 (PSA) の結果が4.0ng/mL以上10.0ng/mL以下である者に対して、LBA法 (定量) により測定した場合に限り算定する。本検査は、前立腺癌の診断に当たって実施した場合に、原則として1回を限度として算定する。ただし、前立腺針生検法等により前立腺癌の確定診断がつかない場合においては、3月に1回に限り、3回を限度として算定できる。本検査と、前立腺特異抗原 (PSA)、遊離型PSA比 (PSA F/T比) 又はプロステートヘルスインデックス (phi) を併せて実施した場合には、いずれか主たるもののみ算定する。診療報酬明細書の摘要欄に、前立腺特異抗原 (PSA) の測定年月日及び測定結果を記載すること。また、本検査を2回以上算定する場合は、本検査の2回以上の実施が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の概要欄に記載すること。

■ [I型コラーゲンC末端テロペプチド (ICTP)] の算定について

乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために実施し、計画的な治療管理を行った場合に限り、悪性腫瘍特異物質治療管理料の「口」を算定する。なお、確定診断された患者が対象となるため、腫瘍マーカー (170点・生II) の区分で算定されることはない。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備 考
腫 瘍 関 連	3292 CA125	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	136 生Ⅱ 腫管	2~4 Ⓜ	35.0以下 U/mL	CLIA	
	3368 HE4 (ヒト精巢上体蛋白4)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	200 生Ⅱ 腫管	2~4 Ⓜ	閉経前 70.0以下 閉経後 140.0以下 pmol/L	CLIA	
	3370 ROMA (卵巣悪性腫瘍推定値)			2~4 Ⓜ	閉経前 7.4未満 閉経後 25.3未満	計算法	CA125、HE4の同時依頼の場合のみ報告いたします。
	3296 CA602	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	190 生Ⅱ 腫管	4~11 L	63以下 U/mL	ELISA	
	3308 CA54/61	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	184 生Ⅱ 腫管	4~9 S	12以下 U/mL	ELISA	
	3307 CA72-4	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	146 生Ⅱ 腫管	3~7 Ⓜ	6.9以下 U/mL	ECLIA	
造 血 器 腫 瘍 関 連	3310 STn (シアリルTn抗原)	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4 凍	146 生Ⅱ 腫管	5~9 B	45.0以下 U/mL	RIAビーズ 固相法	
	4503 可溶性インターロイ キン2レセプター (sIL-2レセプター)	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	438 生Ⅱ 腫管	3~6 S	157~474 U/mL	CLEIA	

- 「NTx」「尿中DPD」原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定する。なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に1回、その後6月以内の薬剤効果判定時に1回に限り、また薬剤治療方針を変更したときは変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- 「NTx」「オステオカルシン(OC)」「尿中DPD」又は、「TRACP-5 b」を併せて実施した場合は、いずれか1つのみ算定する。
- 「ICTP」、「NTx」、「尿中DPD」、「TRACP-5 b」は、乳癌、肺癌、又は前立腺癌であると既に確定診断がされた患者について骨転移の診断の為に検査を行い、検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に限り、悪性腫瘍特異物質治療管理料の「口その他のもの(63頁参照)」を算定する。
- 「TRACP-5 b」代謝性骨疾患及び骨転移(代謝性骨疾患や骨折の併発がない肺癌、乳癌、前立腺癌に限る)の診断補助として実施した場合に1回、その後6月以内の治療経過観察時の補助的指標として実施した場合に1回に限り算定できる。また治療方針を変更した際には変更後6月以内に1回に限り算定できる。
- 「CA125」及び「CA602」を併せて測定した場合は、主たるもののみ算定する。悪性腫瘍の診断が確定した場合であっても、子宮内膜症の診断又は治療効果判定を目的として行なった場合、診断又は治療前及び治療後の各1回に限り、悪性腫瘍特異物質治療管理料とは別に腫瘍マーカーの検査料を算定できる。
- 「sIL-2レセプター」非ホジキンリンパ腫、ATL又はメトトレキサート使用中のリンパ増殖性疾患の診断の目的で測定した場合に算定できる。また、非ホジキンリンパ腫又はATLであることが既に確定診断された患者に対して、経過観察のために測定した場合は、悪性腫瘍特異物質治療管理料の「口その他のもの」により算定する。(63頁参照)

● 腫管印：悪性腫瘍特異物質治療管理料「口その他のもの」(63頁参照)

実施料について(腫瘍マーカー)	
一回に	●印の項目を2項目以上行った場合
1)	2項目 腫瘍マーカー 230点
2)	3項目 腫瘍マーカー 290点
3)	4項目以上 腫瘍マーカー 385点

実施料について(内分泌)	
一回に	●印の項目を3項目以上行った場合
1)	3項目以上5項目以下 内分泌 410点
2)	6項目又は7項目 内分泌 623点
3)	8項目以上 内分泌 900点



## (参考)主な薬物検査の採血時期

検査コード	薬 剤 名	記載頁	採 血 時 期	検査コード	薬 剤 名	記載頁	採 血 時 期
<b>抗てんかん剤</b>				<b>気管支拡張剤</b>			
1723	フェノバルビタール	72	次回投与直前(トラフ)	1854	テオフィリン	73	徐放性製剤:投与後4時間 裸錠:投与後2時間(ピーク) 投与直前(トラフ) 静注:負荷投与後30分 点滴開始後4~6、 および12~18時間
1731	プリミドン	72	次回投与直前(トラフ)				
1727	フェニトイン	72	経口:次回投与直前(トラフ) 静注:投与後2~4時間				
1699	カルバマゼピン	72	次回投与直前(トラフ)				
1735	バルプロ酸ナトリウム	72					
1707	エトサクシミド	72					
1703	クロナゼパム	72					
1741	ゾニサミド	72					
1719	ニトラゼパム	72	次回投与直前(トラフ)				
1705	ジアゼパム	72	ただし、抗てんかん剤として用いる場合				
<b>向精神薬</b>				<b>抗生剤</b>			
1769	リチウム	73	最終投与後12時間または 早朝投与前(トラフ)	1915	ゲンタマイシン	73	点滴開始1時間後 (30分で投与した場合、終了30分後) (ピーク) 投与前30分以内(トラフ)
1761	ハロペリドール	73	随時	1949	トブラマイシン	73	
1763	ブロムペリドール	73	(ただし、採血時刻を一定とする)	1895	アミカシン	73	
<b>抗不整脈剤</b>				1954	アルベカシン	73	
1833	キニジン	74	次回投与直前(トラフ)	1953	バンコマイシン	73	
1829	プロカインアミド	74					
1819	ジソピラミド	74					
1823	リドカイン	74	静注:投与後2時間 点滴静注:終了後6~12時間	1973	テイコブラニン	73	投与前30分以内(トラフ)
1815	アプリンジン	74	経口:次回投与直前(トラフ) 投与後2~4時間(ピーク) 静注:次回投与直前(トラフ)	<b>抗炎症・抗リウマチ剤</b>			
1834	塩酸ピルジカイニド	74	次回投与直前(トラフ)	1875	サリチル酸	75	次回投与直前(トラフ)
1825	メキシレチン	74	経口:次回投与直前(トラフ) 静注:随時	<b>抗悪性腫瘍剤</b>			
9334	ピルメノール	74	随時	1963	メトトレキサート	75	メトトレキサート-ロイコボリン救援療法時 24、48、72時間後
1830	アミオダロン	74	次回投与直前(トラフ)	<b>免疫抑制剤</b>			
<b>強心剤</b>				1969	シクロスポリン	75	次回投与直前(トラフ)
1811	ジゴキシン	73	投与後6時間~ 次回投与直前(消失相)	1970	タクロリムス	75	
				1968	エベロリムス	75	

## ●採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われれます。

<b>イ 特定薬剤治療管理料 1</b>	<b>470 点</b>
<b>ロ 特定薬剤治療管理料 2</b>	<b>100 点</b>

注 1 特定薬剤治療管理料1は、下記のものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。  
 注 2 ロについては、サリドマイド及びその誘導体を投与している患者について、服薬に係る安全管理の遵守状況を確認し、その結果を所定の機関に報告する等により、投与の妥当性を確認した上で、必要な指導等を行った場合に月1回に限り所定点数を算定する。

対象薬剤	検査項目	対象疾患	初回月	2～3ヵ月	4ヵ月以降
ジギタリス製剤	ジゴキシシン	心疾患	470点 + 280点	470点	235点
		重症うつ血性心不全(急速飽和を行った場合)	740点(急速飽和完了日、1回に限る)		
テオフィリン製剤	テオフィリン	気管支喘息、喘息性(様)気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫、未熟児無呼吸発作	470点 + 280点	470点	235点
不整脈用剤	プロカインアミド アブリンジン ジノピラミド リドカイン ピルジカインド プロパフェノン メキシレチン フルカニド キニジン シベンゾリン アミオダロン ピルメノール ペパジシル ソタロール	不整脈[継続的に投与]	470点 + 280点	470点	235点
抗てんかん剤	フェンバルピタール ニトラゼパム アリミドン ジアゼパム フェニトイン 遊離フェニトイン カルバマゼピン ソニサミド エトスクシミド アセタゾラミド クロバザム バルプロ酸 遊離/バルプロ酸	てんかん(抗てんかん剤を同一月に2種以上投与し、それぞれについて個々に測定・管理を行った場合は、2回に限り所定点数を算定できる。)	470点 + 280点	470点	
	遊離/バルプロ酸 トリメタジオン クロナゼパム スルチアム ガバペンチン レベチラセタム トピラマート ラモトリギン ペランパネル ルフィナミド	てんかん重積状態 (全身性けいれん発作重積状態)	740点(重積状態の消失日、1回に限る)		
	カルバマゼピン バルプロ酸 遊離/バルプロ酸	躁うつ病又は躁病	470点 + 280点	470点	
アミノ配糖体抗生物質 グリコペプチド系抗生物質 トリアゾール系抗真菌剤等	ゲンタマイシン アミカシン トブラマイシン アルベカシン	(入院患者に数日間以上投与)	470点 + 280点	470点	235点
	ティコブラニン		470点 + 530点	470点	235点
	パンコマイシン	重症又は難治性真菌感染症又は造血幹細胞移植(造血幹細胞移植の患者にあつては深在性真菌症の予防を目的とするものに限る。)(入院患者に数日間以上投与)	470点 + 280点	470点	235点
	ボリコナゾール	臓器移植後(拒否反応の抑制)	470点 + 2,740点		470点
免疫抑制剤	シクロスポリン タクロリムス水和物	臓器移植後(拒否反応の抑制)	470点 + 2,740点		
	シクロスポリン	ベーチェット病(活動性・難治性眼症状を有するもの)、その他の非感染性ぶどう膜炎(既存治療で効果不十分で、視力低下のおそれのある活動性の中間部又は後部の非感染性ぶどう膜炎に限る。)、再生不良性貧血、赤芽球癆、尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、関節症性乾癬、全身型重症筋無力症、アトピー性皮膚炎(既存の治療で十分な効果が得られない患者に限る。)、ネフローゼ症候群若しくは川崎病の急性期	470点 + 280点	470点	
	タクロリムス水和物	全身型重症筋無力症、関節リウマチ、ループス腎炎、潰瘍性大腸炎、間質性肺炎(多発性筋炎又は皮膚筋炎に合併するものに限る。)			
サリチル酸系製剤	サリチル酸	若年性関節リウマチ、リウマチ熱、慢性関節リウマチ[継続的に投与]	470点 + 280点	470点	235点
メトレキサート	メトレキサート	悪性腫瘍	470点 + 280点	470点	235点
ハロペリドール製剤 ブロムペリドール製剤	ハロペリドール ブロムペリドール	統合失調症	470点 + 280点	470点	235点
リチウム製剤	リチウム	躁うつ病	470点 + 280点	470点	235点
イマチニブ	イマチニブ	当該薬剤の適応疾患(慢性骨髄性白血病など)	470点 + 280点	470点	235点
エベロリムス	エベロリムス	結節性硬化症	470点 + 280点	470点	235点
シロリムス製剤	シロリムス	リンパ管腫		470点	235点
スニチニブ	スニチニブ	腎細胞癌		470点	235点
治療抵抗性統合失調症治療薬	クロザピン	統合失調症	470点 + 280点	470点	235点
ブスルファン	ブスルファン		470点 + 280点	470点	235点

## 薬剤検査 索引

### ア

アーデフィリン	→ テオフィリン	73
アイデイトロール	→ プロプラノール	74
アスピリン	→ サリチル酸	75
アスペノン	→ アプリンジン	74
アセチルサリチル酸	→ サリチル酸 (アスピリン)	75
アセトアミノフェン		75
アトミフェン	→ アセトアミノフェン	75
アニルメ	→ アセトアミノフェン	75
アネトカイン	→ リドカイン	74
アフィニドール	→ エベロリムス	75
アブネカット	→ テオフィリン	73
アブリトーン	→ アプリンジン	74
アプリンジン		74
アプリンジン塩酸塩	→ アプリンジン	74
アフロギス	→ アセトアミノフェン	75
アマドラ	→ シクロスポリン	75
アミオダロン		74
アミオダロン塩酸塩	→ アミオダロン	74
アミカシン		73
アミカシン硫酸塩	→ アミカシン	73
アミカマイシン	→ アミカシン	73
アミサリン	→ プロカインアミド	74
アリスリズム	→ 塩酸ピルジカイニド	74
アルピニー	→ アセトアミノフェン	75
アルベカシン		73
アルベカシン硫酸塩	→ アルベカシン	73
アレビアチン	→ フェントイン	72
アンカロン	→ アミオダロン	74
アンヒバ	→ アセトアミノフェン	75
アネフィリン	→ テオフィリン	73

### イ

イーケブラ	→ レベチラセタム	73
イマチニブ		75
インデラル	→ プロプラノロール	74
インデラルLA	→ プロプラノロール	74
インプロメン	→ プロムベリドール	73

### エ

エクセグラン	→ ゾニサミド	72
エクセミド	→ ゾニサミド	72
エスタブル	→ パルプロ酸ナトリウム	72
エトサクシミド		72
エピレオプチマル	→ エトサクシミド	72
エピレナート	→ パルプロ酸ナトリウム	72
エベロリムス		75
エルタシン	→ ゲンタマイシン	73
塩酸ピルジカイニド		74

### オ

オリベス	→ リドカイン	74
オルゾロン	→ メキシレチン	74
オイホリン	→ ジアゼパム	72

### カ

カシミー	→ アミカシン	73
ガバベン	→ ガバベンチン	72
ガバベンチン		72
カプロシン	→ ヘパリン	43
カルジール	→ アセトアミノフェン	75
カルスミン	→ ニトラゼパム	72
カルバマゼピン		72
カロナール	→ アセトアミノフェン	75

### キ

キシロカイン	→ リドカイン	74
キシロステイン	→ リドカイン	74
キニジン		74

### ク

グラセプター	→ タクロリムス	75
グリベック	→ イマチニブ	75
クロナゼパム		72
クロバザム		72

### ケ

ゲンタシン	→ ゲンタマイシン	73
ゲンタマイシン		73
ゲンタマイシン硫酸塩	→ ゲンタマイシン	73
ケセラノ	→ ハロペリドール	73

### コ

コカール	→ アセトアミノフェン	75
コハク酸シベンゾリン		74

### サ

サーティカン	→ エベロリムス	75
サールツー	→ アセトアミノフェン	75
サノテン	→ パルプロ酸ナトリウム	72
サリチル酸		75
サリチル酸ナトリウム	→ サリチル酸	75
サルソニン	→ サリチル酸	75
ザルソロン	→ サリチル酸	75
ザロンチン	→ エトサクシミド	72
サワタールL A	→ プロプラノロール	74
サンディミュン	→ シクロスポリン	75
サンリズム	→ 塩酸ピルジカイニド	74

### シ

ジアゼパム		72
ジアパックス	→ ジアゼパム	72
シクポラール	→ シクロスポリン	75
シクロスポリン		75
ジゴキシン		73
ジゴシン	→ ジゴキシン	73
ジゴハン	→ ジゴキシン	73
ジゴキシンサンド	→ ジゴキシン	
ジソピラミド		74
ジソピラミドリン酸塩	→ ジソピラミド	74
ジソピラン	→ ジソピラミド	74
シノベジール	→ コハク酸シベンゾリン	74
ジノリン	→ サリチル酸	75
シベノール	→ コハク酸シベンゾリン	74

### ス

スロービット	→ テオフィリン	73
スチリベントール		73

### セ

セエルカム	→ ジアゼパム	72
セキロイド	→ テオフィリン	73
セルシン	→ ジアゼパム	72
セルセプト	→ ミコフェノール酸モフェチル	75
セレナミン	→ ジアゼパム	72
セルニカR	→ パルプロ酸ナトリウム	72
セレネース	→ ハロペリドール	73
セレブ	→ パルプロ酸ナトリウム	72

### ソ

ソタコール	→ ソタロール	74
ソタロール		74
ソナコン	→ ジアゼパム	72
ゾニサミド		72
ソビラール	→ プロパフェノン	74
ソラシロール	→ プロプラノロール	74

### タ

ダイアップ	→ ジアゼパム	72
タクロリムス		75
タゴシット	→ テイコプラニン	73
タツピルジン	→ 塩酸ピルジカイニド	74
タリムス	→ タクロリムス	75
炭酸リチウム	→ リチウム	73
タンボコール	→ フレカイニド	74

### チ

チスボン	→ ニトラゼパム	72
チヨバン	→ ジソピラミド	74
チルミメール	→ メキシレチン	74
チルミル	→ テオフィリン	73

### テ

テイコプラニン		73
ディアコミット	→ スチリベントール	73
テオドール	→ テオフィリン	73
テオドリップ	→ テオフィリン	73
テオフィリン		73
テオフルマート	→ テオフィリン	73
テオフルマートL	→ テオフィリン	73
テオロング	→ テオフィリン	73
テグレートール	→ カルバマゼピン	72
デバケン	→ パルプロ酸ナトリウム	72
デリバデクス	→ ヘパリン	43
テルダン	→ テオフィリン	73
テルバンス	→ テオフィリン	73
テレスマン	→ カルバマゼピン	72

### ト

トイ	→ メキシレチン	74
トピナ	→ トピラマート	73
トピラマート		73
トブラシン	→ トブラマイシン	73
トブラマイシン		73
トリメタジオン		72
トレキサメット	→ メトトレキサート	75
トレリーフ	→ ゾニサミド	72

### ナ

ナバ	→ アセトアミノフェン	75
----	-------------	----

### ニ

ニトラゼパム		72
--------	--	----

### ネ

ネオラール	→ シクロスポリン	75
ネオザルベリン	→ サリチル酸	75
ネオフィリン	→ テオフィリン	73
ネオベリドール	→ ハロペリドール	73
ネルボン	→ ニトラゼパム	72
ネルロレン	→ ニトラゼパム	72

## ノ

ノイクロニック	→ ニトラゼパム	72
ノイロパム	→ ジアゼパム	72
ノボ・ヘパリン	→ ヘパリン	43
ノルベース	→ ジソピラミド	74
ノルベースCR	→ ジソピラミド	74

## ハ

バファリン	→ サリチル酸	75
パートラン	→ リドカイン	74
パートランPB	→ リドカイン	74
ハーフジゴキシン	→ ジゴキシン	73
パールキット	→ ジアゼパム	72
ハイセレニン	→ バルプロ酸ナトリウム	72
パトロス	→ バルプロ酸ナトリウム	72
パピロックミニ	→ シクロスポリン	75
ハフトロン	→ サリチル酸	75
ハベカシン	→ アルベカシン	73
パラセタ	→ アセトアミノフェン	75
バルデケン	→ バルプロ酸ナトリウム	72
バルプラム	→ バルプロ酸ナトリウム	72
バルプロ酸ナトリウム		72
バレリン	→ バルプロ酸ナトリウム	72
ハロステン	→ ハロペリドール	73
ハロペリドール		73
ハロペリドールデカン酸エステル	→ ハロペリドール	73
ハロマンズ	→ ハロペリドール	73
バンコマイシン		73
バンコマイシン塩酸塩	→ バンコマイシン	73
バンマイシン	→ バンコマイシン	73

## ヒ

ビクリン	→ アミカシン	73
ヒダントール	→ フェントイン	72
ビムパット	→ ラコサミド	73
ピメノール	→ ピルメノール	74
ピリナジン	→ アセトアミノフェン	75
ピルジカインド塩酸塩	→ 塩酸ピルジカインド	74
ピルジニック	→ 塩酸ピルジカインド	74
ヒルスカミン	→ ニトラゼパム	72
ピルメノール		74
ピルメノール塩酸塩	→ ピルメノール	74
ピレチノール	→ アセトアミノフェン	75

## フ

ファンミル	→ ジソピラミド	74
ファンミルR	→ ジソピラミド	74
フェントイン		72
フェノバル	→ フェノバルビタール	72
フェノバルビタール		72
フェノバルビタールナトリウム	→ フェノバルビタール	72
フリードカイン	→ リドカイン	74
ブリペリドール	→ ブロムペリドール	73
プリミドン		72
プリムロン	→ プリミドン	72
ブリンドリル	→ ブロムペリドール	73
ブルテツシン	→ アミカシン	73
フレカイニド		74
フレカイニド酢酸塩	→ フレカイニド	74
プロカインアミド		74
プロカインアミド塩酸塩	→ プロカインアミド	74
プログラフ	→ タクロリムス	75
プロトピック	→ タクロリムス	75
プロトボン	→ ハロペリドール	73
プロネスチール	→ プロカインアミド	74
プロノン	→ プロパフェノン	74
プロパフェノン		74
プロパフェノン塩酸塩	→ プロパフェノン	74
プロプラノロール		74
プロプラノロール塩酸塩	→ プロプラノロール	74
ブロムペリドール		73
ブイフェンド	→ ポリコナゾール	75
フィンコバ	→ ペランパネル	73

## ヘ

ヘパフラッシュ	→ ヘパリン	43
ヘパリン		43
ヘパリンNaロック	→ ヘパリン	43
ヘパリンZ	→ ヘパリン	43
ヘパリンカルシウム	→ ヘパリン	43
ヘパリンナトリウム	→ ヘパリン	43
ヘパルス	→ サリチル酸	75
ベプリコール	→ ベプリジル	74
ベプリジル		74
ベミロック	→ ヘパリン	43
ペラルミン	→ ニトラゼパム	72
ヘルツベース	→ プロプラノロール	74
ベルマトン	→ アミカシン	73
ベンザリン	→ ニトラゼパム	72
ペランパネル		73

## ホ

ポエルテン	→ メキシレチン	74
ホリゾン	→ ジアゼパム	72
ポリコナゾール		75

## マ

マイスタン	→ クロバザム	72
マイソリン	→ プリミドン	72

## ミ

ミノアレ散	→ トリメタジオン	72
ミニマックス	→ サリチル酸	75
ミコフェノール酸モフェチル		75

## メ

メキシチール	→ メキシレチン	74
メキシバル	→ メキシレチン	74
メキシレート	→ メキシレチン	74
メキシレチン		74
メキシレチン塩酸塩	→ メキシレチン	74
メクトライド	→ メキシレチン	74
メソトレキセート	→ メソトレキセート	75
メドカイン	→ リドカイン	74
メソトレキセート		75
メトレート	→ メソトレキセート	75
メルデスト	→ メキシレチン	74
メレート	→ メキシレチン	74
メントリース	→ プロプラノロール	74

## モ

モバレーン	→ メキシレチン	74
-------	----------	----

## ユ

ユニコン	→ テオフィリン	73
ユニコンCR	→ テオフィリン	73
ユニフィル	→ テオフィリン	73

## ラ

ラコサミド		73
ラミクタール	→ ラモトリギン	72
ラモトリギン		72
ランドセン	→ クロナゼパム	72

## リ

リーマス	→ リチウム	73
リウマトレックス	→ メソトレキセート	75
リスピン	→ ジソピラミド	74
リスピンR	→ ジソピラミド	74
リズムコート	→ 塩酸ピルジカインド	74
リズムサット	→ 塩酸ピルジカインド	74
リスモダン	→ ジソピラミド	74
リスモダンP	→ ジソピラミド	74
リスモダンR	→ ジソピラミド	74
リチオマール	→ リチウム	73
リドカイン		74
リドカイン塩酸塩	→ リドカイン	74
リナーセン	→ フェノバルビタール	72
リファタマイシン	→ ゲンタマイシン	73
リボトリール	→ クロナゼパム	72
硫酸キニジン	→ キニジン	74
リントン	→ ハロペリドール	73

## ル

ルイネシン	→ ゲンタマイシン	73
ルナブロン	→ ブロムペリドール	73
ルピアール	→ フェノバルビタール	72
ルミナール	→ フェノバルビタール	72

## レ

レキシシン	→ カルバマゼピン	72
レベチラセタム		73
レモナミン	→ ハロペリドール	73

## ロ

ロナール	→ サリチル酸	75
ロミカシン	→ アミカシン	73

## ワ

ワコビタール	→ フェノバルビタール	72
--------	-------------	----

# 72 薬 剤 検 査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基 準 値	検査方法	備考 (製品名・薬剤名等)	参考採血時刻
1723	フェノバルビタール	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 Ⓜ	有効治療濃度 15.0~40.0 μg/mL	CLIA	フェノバル リナーセン ルミナル ルピアール ワコビタール	次回投与直前 (トラフ)
1731	プリミドン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	3~6 s	有効治療濃度 5.0~12.0 μg/mL	EIA	プリミドン マイソリン プリムロン	次回投与直前 (トラフ)
1727	フェニトイン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 Ⓜ	有効治療濃度 10.0~20.0 μg/mL	CLIA	ヒダントール アレピアチン	経口：次回投与直前 (トラフ) 静注：投与後 2~4時間
1699	カルバマゼピン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 Ⓜ	有効治療濃度 4.0~12.0 μg/mL	CLIA	テグレトール テレスミン レキシシ	次回投与直前 (トラフ)
1735	バルプロ酸Na	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 Ⓜ	有効治療濃度 50.0~100.0 μg/mL	CLIA	デパケン ハイセリン パレリン エピレナート パトロス セレニカR	次回投与直前 (トラフ)
1707	エトサクシミド	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	3~6 s	有効治療濃度 40.0~100.0 μg/mL	EIA	ザロンチン エピレオブチマル	次回投与直前 (トラフ)
1739	トリメタジオン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5 凍	(特)	8~15 s	有効治療濃度 300~500 μg/mL	LC/MS/MS	ミノアレ (活性代謝物である ジメタジオンを測定)	
1703	クロナゼパム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 s	有効治療濃度 20~70 ng/mL	LC/MS/MS	ランドセン リボトリール	次回投与直前 (トラフ)
1705	ジアゼパム	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	4~9 s	有効治療濃度 600~1000 ng/mL	HPLC	N-デスメチルジア ゼパムも同時に報告 いたします。 セルシン ホリゾン ジアパックス	次回投与直前 (トラフ) ただし抗てんかん剤 として用いる場合
1719	ニトラゼパム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 s	有効治療濃度 20~200 ng/mL	LC/MS/MS	ベンザリン ネルボン カルスミン ペラルミン	次回投与直前 (トラフ) ただし抗てんかん剤 として用いる場合
1741	ゾニサミド	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	3~6 s	有効治療濃度 10~30 μg/mL	ラテックス 凝集法	エクセグラン トレリーフ	次回投与直前 (トラフ)
1827	クロバザム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 s	ng/mL	LC/MS/MS	デスメチルクロバザ ムも同時報告いたし ます。 マイスタン	
1831	ガバペンチン	血液 1.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~8 s	μg/mL	LC/MS/MS	ガバペン錠	
1729	ラモトリギン	血液 1.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~7 s	2.5~15 μg/mL	LC/MS/MS	ラミクタール	

## ●採血時刻についての注意事項

1. TDM (血中薬物濃度モニター) における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われま。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基 準 値	検査方法	備考 (製品名・薬剤名等)	参考採血時刻
抗 て ん か ん 剤	1832 ペランパネル	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~6 L	ng/mL	LC/MS/MS	抗凝固剤:EDTA2Na フィコンパ	
	4222 レベチラセタム	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 L	有効治療濃度 12~46 μg/mL	LC-MS/MS	イーケブラ	
	4224 トピラマート	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~6 L	有効治療濃度 5~20 μg/mL	LC/MS/MS	トピナ	
	1856 スチリピントール	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~7 L	μg/mL	LC/MS/MS	ディアコミット	
	1720 ラコサミド	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~6 L	μg/mL	LC/MS/MS	抗凝固剤:EDTA2Na ビムパット	
向 精 神 薬	1761 ハロペリドール	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	(特)	3~6 s	3.0~17.0 ng/mL	金コロイド 凝集法	セレネース ハロマンズ ハロステン ネオペリドール プロトポン リントン ケセラ 注1	随時 (ただし採血時刻を 一定とする)
	1763 ブロムペリドール	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	2~4 B	治療有効濃度 15.0以下 ng/mL	金コロイド 凝集法	インプロメン プリペリドール プリンドリル ルナプロン 注1	随時 (ただし採血時刻を 一定とする)
	1769 リチウム	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	3~4 E	有効治療濃度 0.6~1.2 mEq/L	原子吸光法	リーマス 炭酸リチウム	最終投与後12時間 または早朝投与前 (トラフ)
強 心 剤	1811 ジゴキシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 M	有効治療濃度 0.8~2.0 ng/mL	CLIA	ジゴシン ジゴキシンサンド	投与後6時間~次回 投与前(消失相)
気 管 支 拡張 剤	1854 テオフィリン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	緊急報告 1~2 M	有効治療濃度 10.0~20.0 μg/mL	CLIA	ネオフィリン テオドール スロービット ユニフィル テオロング	P68参照
抗 生 剤	1915 ゲンタマイシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4 凍	(特)	3~6 s	Peak 15~20 Trough 1未満 μg/mL	EIA	ゲンタシン ルイネシン エルタシン	点滴開始1時間後 (30分で投与した場合、 終了30分後)(ピーク) 投与前30分以内 (トラフ)
	1949 トブラマイシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4 凍	(特)	3~6 s	Peak 15~20 Trough 1未満 μg/mL	EIA	トブラシン	
	1895 アミカシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4 凍	(特)	3~6 s	Peak 50~60 Trough 4未満 μg/mL	KIMS	アミカマイシン ピクリン アミカシン硫酸塩	
	1954 アルベカシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 凍	(特)	3~6 s	Peak 15~20 Trough 1~2未満 μg/mL	ラテックス凝集 比濁法	ハバカシン	
	1953 バンコマイシン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	1~2 M	初回 Trough 10~15 μg/mL	CLIA	バンコマイシン塩酸塩 バンマイシン	投与前30分以内 (トラフ)
	1973 テイコプラニン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	3~6 s	Trough 15~30 μg/mL	ラテックス凝集 比濁法	タゴシット	

注1: ハロペリドール、ブロムペリドールはほぼ同等の交差反応を示すため、両薬物を併用されている患者試体の測定値は正確な血中濃度が得られません。

(特): 特定薬剤治療管理料 (69頁参照)

# 74 薬 剤 検 査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基 準 値	検査方法	備考 (製品名・薬剤名等)	参考採血時刻
1825	メキシレチン	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6 凍	(特)	5~8 B	有効治療濃度 0.50~2.00 μg/mL	LC/MS/MS	メキシチール メキシレート トイ メキシパール	経口:次回投与直前 (トラフ) 静注:随時
1834	塩酸ピルジカイニド	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 S	Trough濃度 0.2~0.9 μg/mL	LC/MS/MS	サンリズム	次回投与直前 (トラフ)
9380	プロプラノロール	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3		5~19 S	有効治療濃度 50~100 ng/mL	HPLC	インデラル ヘルツベース	
1833	キニジン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	(特)	3~10 S	有効治療濃度 2.0~6.0 μg/mL	KIMS	硫酸キニジン	次回投与直前 (トラフ)
1829	プロカインアミド	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	(特)	3~6 S	有効治療濃度 4.0~10.0 μg/mL	EIA	アミサリン プロネスチール	次回投与直前 (トラフ)
1819	ジソピラミド	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	3~6 S	有効治療濃度 2.0~5.0 μg/mL	EIA	リスモダン ノルベース	次回投与直前 (トラフ)
1823	リドカイン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	3~6 S	有効治療濃度 1.2~5.0 μg/mL	EIA	キシロカイン リドカイン キシロステイン オリベス	静注:投与後2時間 点滴静注:終了後6~ 12時間
1815	アプリンジン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 S	有効治療濃度 0.25~1.25 μg/mL	LC/MS/MS	アスペノン アプリーオン	経口:次回投与直前(トラフ) 投与後2~4時間(ピーク) 静注:次回投与直前(トラフ)
1840	プロパフェノン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 S	ng/mL	LC/MS/MS	プロノン ソピラール	
1836	フレカイニド	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~8 S	有効治療濃度 200~1000 ng/mL	LC/MS/MS	タンボコール	
9334	ピルメノール	血液 3.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 1.3	(特)	4~11 S	有効治療濃度 400.0以上 ng/mL	HPLC	ピメノール	随時
1830	アミオダロン	血液 1.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~7 S	有効治療濃度 500~1000 ng/mL (200mg/日投与, 定常状態,トラフ値) Desethylamiodarone/ amiodarone=0.8 (定常状態)	LC/MS/MS	アンカロン	次回投与直前 (トラフ)
1835	コハク酸シベンゾリン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	(特)	4~7 S	Trough濃度 70~250 ng/mL	LC/MS/MS	シベンノール	
1850	ベプリジル	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~7 L	250~800 ng/mL	LC/MS/MS	ベプリコール	
1853	ソタロール	血液 1.5 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.5	(特)	4~8 L	μg/mL	LC/MS/MS	ソタコール	

抗  
不  
整  
脈  
剤

薬剤検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考 (製品名・薬剤名等)	参考採血時刻
抗 炎 剤	1875 サリチル酸	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	(特)	3~6 s	抗炎症作用として 100~250 μg/mL	酵素法	アスピリン アセチルサリチル酸 ミニマックス ロナール パファリン	次回投与直前 (トラフ)
	1969 シクロスポリン	血液 1.0 S-3 冷	(特)	1~2 m	ng/mL	CLIA	重複依頼不可 抗凝固剤: EDTA2Na ネオラール パピロックミニ サンディミュン	次回投与直前 (トラフ)
免 疫 抑 制 剤	1970 タクロリムス	血液 0.7 G-29 冷 凍	(特)	3~6 s	ng/mL	ECLIA	重複依頼不可 グラセプター プロトピック プログラフ	次回投与直前 (トラフ)
	1852 ミコフェノール酸 モフェチル	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~6 L	μg/mL	LC/MS/MS	活性代謝物である ミコフェノール酸 を測定します。 セルセプト	
	1968 エベロリムス	血液 1.0 G-29 冷 凍	(特)	3~6 s	シクロスポリンと併用 した場合のTrough 3.0~8.0ng/mL ※	ECLIA	サーティカン アフィニドール	次回投与直前 (トラフ)
抗 悪 性 腫 瘍 剤	1963 メトトレキサート	血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5	(特)	3~6 s	危険限界濃度 中毒域(大量投与時) 24時間値 10以上 48時間値 1以上 72時間値 0.1以上 (μmol/L)	EIA	メソトレキサート リウマトレックス メトレート	メトトレキサート・ ロイコボリン救護療 法時 24,48,72時間後
	1851 イマチニブ	血液 1.0 S-3 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~8 L	ng/mL	LC/MS/MS	クリベック	服用後24時間 ±2時間後 (トラフ)
解 熱 ・ 鎮 痛 剤	1890 アセトアミノフェン	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.4	180 生 I	3~10 s	中毒域 200.1以上(4時間) 100.1以上(8時間) 50.1以上(12時間) μg/mL	EIA	アセトアミノフェン ピリナジン ナバ カロナール アンピバ アルピニー	
抗 真 菌 剤	1972 ポリコナゾール	血液 1.0 G-16 冷 ↓ 遠心 血漿 0.3	(特)	4~7 s	μg/mL	LC/MS/MS	ブイフェンド	

(特)：特定薬剤治療管理料 (69頁参照)

- 「アセトアミノフェン」同一の患者につき、1月以内に2回以上行った場合は、第1回目の測定を行ったときに1回に限り算定する。
- 「エベロリムス」他の検査項目との同時依頼はできません。特定薬剤治療管理料の適用対象は、免疫抑制剤(サーティカン)です。
- ※ 「エベロリムス」抗悪性腫瘍として使用した場合のTrough濃度は5~15ng/mL。

●採血時刻についての注意事項

1. TDM(血中薬物濃度モニター)における採血時間です。
2. 連続投与においては定常状態到達後、採血を行ってください。
3. 中毒時はPeak濃度も測定する必要があります。
4. 標準的な時間であり、患者状況にあわせて採血するのが望ましいと思われます。



# 76 薬 剤 検 査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
規制薬等	9229 覚せい剤検査	部分尿 8.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>		4~8 L	検出せず	EMIT (スクリーニング) LC-MS/MS (確認試験)	単独検体で 提出ください ①②③⑤	
	1996 乱用薬物スクリーニング	部分尿 8.0 K-5 <span style="color:blue">冷</span>		4~8 L	検出せず		単独検体で 提出ください ①②③④⑤	

●その他の規制薬・医薬品等スクリーニング検査についてはお問い合わせください。

- ①：スクリーニング検査で陰性が確定しなかった場合、LC-MS/MSにて確認後にご報告します。
- ②：検体妥当性試験を実施します（クレアチニン濃度、比重、pH及び亜硝酸塩濃度を測定し、検査材料である尿が薬物検査に適しているか否かを確認します）。
- ③：確認検査実施時の所要日数は5~6日（スクリーニング検査を含む）です。
- ④：感冒薬・漢方薬などの投与によって陽性となる場合があります。
- ⑤：一部の薬剤（セレギリンなど）の投与によって、尿中にその代謝物である覚せい剤が検出される場合があります。

## 規制薬・医薬品等スクリーニング検査対象薬物

		乱用薬物スクリーニング	乱用薬物検査	覚せい剤検査	アヘン系麻薬検査	コカイン系麻薬検査	大麻・マリファナ検査	幻覚剤検査	ベンゾジアゼピン系スクリーニング	バルビツール酸スクリーニング	三環系抗うつ薬スクリーニング	農薬スクリーニング	スクリーニング以外の検査項目	
規制薬・医薬品	覚せい剤*1	アンフェタミン、メタンフェタミン（ヒロポン）	●	●										
	麻薬	アヘンアルカロイド系麻薬*2	コデイン、モルヒネ、6-アセチルモルヒネ	●	●	●								
		コカアルカロイド系麻薬*2	ジヒドロコデイン											●
		コカアルカロイド系麻薬*2	コカイン、ベンゾイルエクゴニン（コカイン代謝物）	●	●			●						
	幻覚剤*2	MDA（メチレンジオキシアンフェタミン）、MDEA（メチレンジオキシエチルアンフェタミン）、MDMA（メチレンジオキシメタンフェタミン）、フェンシクリジン	●	●					●					
		大麻・マリファナ	THCカルボン酸体 (11-ノル-Δ <sup>9</sup> -テトラヒドロカンナビノール-9-カルボン酸体)	●	●			●						
	ベンゾジアゼピン類	クロナゼパム*2、ニトラゼパム*2、ジアゼパム*2、デスメチルジアゼパム（ジアゼパム代謝物）*2、クロバザム*2、デスメチルクロバザム（クロバザム代謝物）、クロチアゼパム*2、フルニトラゼパム*2、ミダゾラム*2、エスタゾラム*2、アルプラゾラム*2、プロチゾラム*2、エチゾラム*2、トリアゾラム*2、ニメダゼパム*2、プロマゼパム*2								●				
	バルビツール酸類	フェノバルビタール*2、アモバルビタール*2、ペントバルビタール*2、セコバルビタール*2									●			
	三環系抗うつ薬	アミトリプチリン、ノルトリプチリン、イミプラミン、デシプラミン（イミプラミン代謝物）、トリミプラミン、クロミプラミン、ノルクロミプラミン（クロミプラミン代謝物）、アモキサピン、ドスレピン										●		
	四環系抗うつ薬	ミアンセリン、セチプチリン、マプロチリン										●		
フェノチアジン類（抗うつ薬以外）	プロメタジン、クロルプロマジン、レボプロマジン											●		
農薬	有機リン系農薬	スミチオン（MEP）、マラチオン、CYAP、エチルチオメトン、EPN、ダイアジノン、MPP、メチダチオン、イソキサチオン、ピリミホスメチル、DDVP、トリクロルフォス										●		
	ピレスロイド剤	フェンバレレート、シベルメトリン、ベルメトリン										●		
	トリアジン系農薬	メトリブジン、シマジン（CAT）										●		
	カーバメート系農薬	フェノプカルブ、カルバリル、メソミル										●		
	アニリン系農薬	アラクロール、プロパニル										●		
	ジビリジリウム系農薬	パラコート*3											●	

### 【ご注意】

- 1) 規制薬物検査においては、まずEMIT法にてスクリーニングを行います（スクリーニング陰性の場合、その旨ご報告します）。スクリーニング検査で陰性が確定しない場合、LC-MS/MSにて確認後、ご報告します。
- 2) 「農薬スクリーニング」検査にてスクリーニング対象外の農薬曝露の可能性が示唆された場合、その農薬名をご報告します。

- \*1：「覚せい剤取締法」の規制対象薬物
- \*2：「麻薬及び向精神薬取締法」の規制対象薬物
- \*3：パラコートは、個別の定量分析として実施（「農薬スクリーニング」対象外）

K-5



滅菌スピッツ

## ウイルス抗原抗体検査 参考資料

### ウイルス検査一覧表 依頼コード一覧

ウイルス名	記載頁	抗体検査					抗原検査
		EIA	FA	NT	HI	CF	
血清(髄液)	79					3673	
1型 血清(髄液)	79			3675			
2型 血清(髄液)	79			3677			
3型 血清(髄液)	79			3679			
4型 血清(髄液)	79			3681			
5型 血清(髄液)	79			3693			
6型 血清(髄液)	79			3695			
7型 血清(髄液)	79			3697			
11型 血清(髄液)	79			3701			
19型 血清(髄液)	79			3709			
21型 血清(髄液)	79			3711			
37型 血清(髄液)	79			3713			
A型 (H1N1)(K302) 血清(髄液)	79				3954		
A型 血清(髄液)	79					3953	
B型 血清(髄液)	79				3964	3963	
1型 血清(髄液)	79				3973		
2型 血清(髄液)	79				3975		
3型 血清(髄液)	79				3977		
血清	79					3983	
血清(髄液)	79			3984			
1型 血清(髄液)	80			3844			
3型 血清(髄液)	80			3847			
4型 血清(髄液)	80			3850			
5型 血清(髄液)	80			3853			
6型 血清(髄液)	80			3856			
7型 血清(髄液)	80			3859			
9型 血清(髄液)	80			3862			
11型 血清(髄液)	80			3865			
12型 血清(髄液)	80			3868			
13型 血清(髄液)	81			3871			
14型 血清(髄液)	81			3873			
16型 血清(髄液)	81			3876			
17型 血清(髄液)	81			3878			
18型 血清(髄液)	81			3880			
19型 血清(髄液)	81			3882			
21型 血清(髄液)	81			3884			
22型 血清(髄液)	81			3886			
24型 血清(髄液)	81			3888			
25型 血清(髄液)	81			3890			
30型 血清(髄液)	81			3892			
A群2型 血清(髄液)	81			3811			
A群3型 血清(髄液)	81			3813			
A群4型 血清(髄液)	81			3815			
A群5型 血清(髄液)	81			3817			
A群6型 血清(髄液)	81			3818			
A群7型 血清(髄液)	81			3819			
A群9型 血清(髄液)	81			3821		3822	
A群10型 血清(髄液)	81			3823			
A群16型 血清(髄液)	81			3825			
B群1型 血清(髄液)	82			3829		3830	

ウイルス名	記載頁	抗体検査							抗原検査
		EIA	FIA	FA	NT	HI	CF	CLIA	
B群2型 血清(髄液)	82				3831		3832		
B群3型 血清(髄液)	82				3833		3834		
B群4型 血清(髄液)	82				3835		3836		
B群5型 血清(髄液)	82				3837		3838		
B群6型 血清(髄液)	82				3839		3840		
70型 血清(髄液)	83				3807				
71型 血清(髄液)	83				3809				
JaGAR型 血清(髄液)	83					3933			
血清(髄液)	83						3934		
血清(髄液)	84				3995				
血清	84					3994	3993		
IgM 血清(髄液)	84	3998							
IgG 血清(髄液)	84	3997							
IgG 血清	84		3999						
血清(髄液)	84				3988				
IgM 血清(髄液)	84	3990							
IgG 血清(髄液)	84	3989							
IgG 血清	84		3992						
血清(髄液)	85					3944			
IgM 血清(髄液)	85	3950							
IgG 血清(髄液)	85	3947							
IgG 血清	85		3945						
B19IgM 血清	85	4039							
B19IgG 血清	85	4038							
血清	85						3748		
IgM 血清(髄液)	85	3757							
IgG 血清(髄液)	85	3754							
IgG 血清	85		3755						
抗原 塗沫標本	90								3751
血清(髄液)	86						3723		
IgM 血清(髄液)	86	3732							
IgG 血清(髄液)	86	3730							
1型 血清(髄液)	86				3727				
2型 血清(髄液)	86				3737				
特異抗原 塗沫標本	90-98								細1203
血清(髄液)	86						3760		
IgM 血清	86							3766	
IgG 血清	86							3765	
抗原 血液	89							(C10、C11)	9211
抗原 血液	89							(C7-HRP)	9305
抗EA-DR IgG 血清	87	3784		3783					
抗VCA IgM 血清	87	3780		3779					
抗VCA IgG 血清	87	3776		3775					
抗EBNA 血清	87	3790		3789					
抗VCA IgA 血清	87			3777					
抗EA-DR IgA 血清	87			3785					
糞便	90-98								細1201
PCR 糞便	90-98								細1236
イムノ 糞便	90-98								細1227

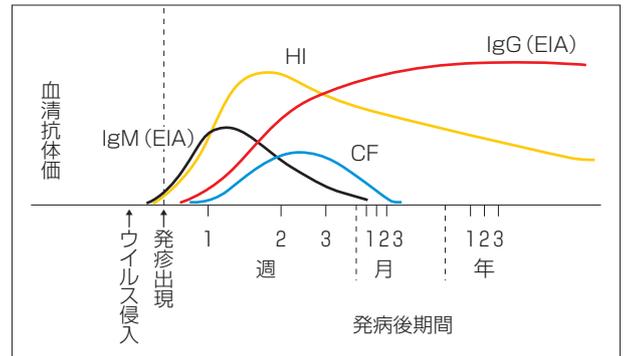
# 78 ウイルス検査

## ウイルス抗体検査の特徴

検査方法	原 理	特 徴
補体結合反応 (CF)	抗原抗体複合体と結合した補体を感作血球の不溶血を指標として間接的に証明します。	・群特異性が高い ・比較的早期に抗体消失 ・感染スクリーニング用
赤血球凝集抑制反応 (HI)	赤血球凝集能をもつウイルスの場合、その凝集を抑制する抗体を証明します。	・型特異性が高い ・早期に抗体が上昇、持続する
蛍光抗体法 (FA)	感染細胞中のウイルス抗原と抗体との反応を蛍光標識抗体で証明します。	・抗体分画が可能
中和反応 (NT)	活性ウイルスを抗体により中和させ、感染防御抗体を証明します。	・型特異性が高い
蛍光免疫測定法 (FIA)	固相化したウイルス抗原と抗体を反応させ、蛍光標識抗体との反応により証明します。	・抗体分画が可能 ・定量的データ ・他法に比して高感度
酵素免疫法 (EIA)	固相化したウイルス抗原と抗体を反応させ、酵素標識抗体との反応により証明します。	・抗体分画が可能 ・定量的データ ・他法に比して高感度
受身 (粒子) 凝集反応 (PA)	固相化ゼラチン粒子にウイルスを吸着させ、これに抗体を反応させ、凝集の有無により証明します。	・高感度
ウエスタンブロット法 (WB)	転写膜に分画された抗原タンパクのバンドと特異的に反応する抗体を検出します。	・特異性が高い ・確認試験

## 検出抗体の性質

	抗体	性 質			
		動 態	抗ウイルス抗体活性	補体結合能	胎盤移行性
	IgM	早期に産出されるが短期間で消失	+	+	-
	IgG	IgMに遅れて出現。漸減しながら長期間持続	+	+	+
	IgA	IgMより多少遅れて出現するがIgMより長期間検出可能	+	-	-



## 抗体価の解釈とペア血清検査の意義

ウイルス血清抗体価に正常値という概念はありません。ウイルス感染後に産生される抗体の検出は、過去にそのウイルスに感染したことを回顧的に示すだけで、現在の状態を必ずしも反映してはいません。

ウイルス抗体は感染の直後に高く、以後降下するパターンを示しますが、単一の血清の抗体価の高低だけで近い過去に感染があったかどうかの判定は出来ない場合が多いといえます。

ウイルス感染後の抗体応答パターン、各検査法の特徴、検査意義を理解し、目的に応じた検査法を選択する必要があります。

急性期 (発病後早期) と回復期 (発病後14~21日) のペア血清の抗体価が4倍以上上昇した場合有意と判断しそのウイルスの感染を推定します (HI法、CF法、NT法)。ただし、治療にγグロブリンを投与した場合の抗体価の上昇は、必ずしも有意とは考えられません。

## 目的別検査法選択のめやす

検査法の特徴により目的に合った検査の選択が必要です。自然感染では感染初期に反応するIgM抗体の検出やペア血清による抗体上昇を見ることが有用です。また、既往の有無やワクチンの効果判定にはEIAによるIgG抗体の検査が有用です。

検 査 法	検査コード	自然感染	既往の有無	ワクチン効果判定	基準値
ムンプス	EIA (IgM)	3998	○		0.8未満
	EIA (IgG)	3997	○	○	2.0未満
	FIA (IgG)	3999	○	○	0.8以下
	HI	3994	○		8倍未満
	NT	3995	○		4倍未満
	CF	3993	○		4倍未満
麻 疹	EIA (IgM)	3990	○		0.8未満
	EIA (IgG)	3989	○	○	2.0未満
	FIA (IgG)	3992	○	○	0.8以下
	NT	3988	○	○	4倍未満
風 疹	EIA (IgM)	3950	○		0.8未満
	EIA (IgG)	3947	○	○	2.0未満
	FIA (IgG)	3945	○	○	0.7以下
	HI	3944	○	○	8倍未満
水痘帯状	EIA (IgM)	3757	○		0.8未満
	EIA (IgG)	3754	○	○	2.0未満
	FIA (IgG)	3755	○	○	0.8以下
	CF	3748	○		4倍未満

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3673	アデノウイルス	血液 0.6 S-1  ↓ 遠心 血清 0.3 または 髄液 0.4 K-5	79 免	5~8 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		
3675	アデノ ウイルス	血液 各0.6 S-1  ↓ 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)		咽頭結膜熱 流行性角結膜炎 出血性膀胱炎
3677			1型					
3679			2型					
3681			3型					
3681			4型					
3693			5型					
3695			6型					
3697			7型					
3701			11型					
3709			19型					
3711	21型							
3713	37型							
3954	A型 (H1N1) (H3N2)	血液 各0.6 S-1  ↓ 遠心 血清 各0.3 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	5~8 s	A型(H1N1) 10未満 倍 A型(H3N2) 10未満 倍	HI (赤血球凝集 抑制反応)	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています。	インフルエンザ ウイルス
3953	A型		79 免		血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		
3964	B型		79 免		B-1:10未満 B-2:10未満 倍	HI (赤血球凝集 抑制反応)	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています。	
3963	B型		79 免		血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		
3973	パラ インフルエンザ ウイルス	血液 各0.6 S-1  ↓ 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	4~8 B	血清:10未満 髄液:1未満 倍	HI (赤血球凝集 抑制反応)	検査結果はWHO方 式の血清希釈倍数 で表示しています。	パラインフルエンザ 感染症
3975			1型					
3977			2型					
3983	RSウイルス	血液 1.0 S-1  ↓ 遠心 血清 0.3 血液 0.6 S-1  ↓ 遠心 血清 0.2 (髄液 0.4 K-5)	79 免	4~7 B	血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		気管支炎 上気道炎 肺炎
3984			79 免			8~30 s		

■ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）(87頁) をご参照ください。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3844	1型	血液 各1.0 S-1  ↓ 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)		無菌性髄膜炎 中枢神経疾患 上気道炎 ヘルパンギーナ
3847	3型		79 免					
3850	4型		79 免	8~30 s				
3853	5型		79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍			
3856	6型		79 免	8~30 s				
3859	7型		79 免					
3862	9型		79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍			
3865	11型		79 免	8~30 s				
3868	12型		79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍			

■ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（87頁）をご参照ください。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名		
3871	エコーウイルス	13型	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)	無菌性髄膜炎 中枢神経疾患 上気道炎 ヘルパンギーナ		
3873		14型		79 免						
3876		16型		79 免						
3878		17型		79 免						
3880		18型		79 免						
3882		19型		79 免						
3884		21型		79 免						
3886	エコーウイルス (パレコウイルス1型)	22型	血液 1.0 S-1 冷 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)			
3888	エコーウイルス	24型	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)			
3890		25型		79 免						
3892		30型		79 免						
3811	コク サッキー ウイルス	A群2型	血液 各1.0 S-1 冷 遠心 血清 各0.3 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)	ヘルパンギーナ 手足口病 無菌性髄膜炎		
3813		A群3型		79 免						
3815		A群4型		79 免						
3817		A群5型		79 免						
3818		A群6型		79 免						
3819		A群7型		79 免						
3821		A群9型		79 免						
3822		A群9型		79 免					5~8 s	CF (補体結合反応)
3823		A群10型		79 免					8~30	NT (中和反応)
3825		A群16型		79 免						

抗体検査

ウイルス検査

# 82 ウイルス検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3829	B群1型	血液 各1.0 S-1  ↓ 遠心 血清 各0.3 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	8~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)		ヘルパンギーナ 手足口病 無菌性髄膜炎
3830	B群1型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		
3831	B群2型		79 免	8~30 s		NT (中和反応)		
3832	B群2型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		
3833	B群3型		79 免	8~30 s		NT (中和反応)		
3834	B群3型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		
3835	B群4型		79 免	8~30 s		NT (中和反応)		
3836	B群4型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		
3837	B群5型		79 免	8~30 s		NT (中和反応)		
3838	B群5型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		
3839	B群6型		79 免	8~30 s		NT (中和反応)		
3840	B群6型		79 免	5~8 s		CF (補体結合反応)		

抗体検査

ウイルス検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3807	エンテロウイルス	70型 血液 各1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5		8~30	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)		急性出血結膜炎
		71型						
3933	日本脳炎ウイルス (JaGAr株)	血液 1.5 S-1 ↓ 遠心 血清 0.5 または 髄液 1.0 K-5	79 免	5~9	血清・髄液 ジャガー 10未満 ジャガー2ME 10未満 倍	HI (赤血球凝集 抑制反応)	ジャガーの結果が40 倍未満の場合は、ジ ャガー2MEは検査し ません。	日本脳炎
3934	日本脳炎ウイルス	血液 1.0 S-1 ↓ 遠心 血清 0.3 または 髄液 0.4 K-5	79 免	5~8	血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		

■ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（87頁）をご参照ください。



# 84 ウイルス検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名			
3998	ムンプスウイルス	IgM 血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	200 免	3~6 s	血清 0.80未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 0.80未満 陰性	EIA	髄液は参考値です。	流行性耳下腺炎 無菌性髄膜炎			
3997		IgG または 髄液 各0.4 K-5							血清 2.0未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 設定なし		
3999		IgG 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5							2~4 m	血清 0.8以下 陰性 判定基準:下記参照 AI	FIA
3994	ムンプスウイルス	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.3	79 免	4~8 s	血清:8未満 倍	HI (赤血球凝集 抑制反応)					
3993		血清 各0.3							6~10 H	血清:4未満 倍	CF (補体結合反応)
3995		血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5							9~30 H	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)
3990	麻疹ウイルス	IgM 血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	200 免	3~6 s	血清 0.80未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 0.80未満 陰性	EIA		麻疹			
3989		IgG または 髄液 各0.4 K-5							血清 2.0未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 0.20未満 陰性		
3992		IgG 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5							2~4 m	血清 0.8以下 陰性 判定基準:下記参照 AI	FIA
3988	麻疹ウイルス	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5	79 免	9~30 B	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)					

## ●ムンプスウイルス/麻疹/水痘・帯状ヘルペスウイルスの判定基準

判定	血清IgM (EIA法)	血清 IgG (EIA法)	血清 IgG (FIA法)
-	0.80未満	2.0未満	0.8以下
±	0.80~1.20	2.0~3.9	0.9、1.0
+	1.21以上	4.0以上	1.1以上



ウイルス検査

抗体検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3950	風疹ウイルス	IgM 血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	200 免	3~6	血清 0.80未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 0.80未満 陰性	EIA		風疹
3947		IgG または 髄液 各0.4 K-5						
3945		IgG 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5		2~4 Ⓜ	血清 0.7以下 陰性 判定基準:下記参照 AI	FIA		
3944		風疹ウイルス		血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 または 髄液 0.4 K-5	79 免	4~7 s 6~10 s		
4039	ヒトパルボ ウイルスB19	IgM 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	200 免	3~5	0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	EIA		伝染性紅斑
4038		IgG 血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2						
3757	水痘・帯状 ヘルペス ウイルス	IgM 血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	200 免	3~6	血清 0.80未満 陰性 判定基準:前頁参照 髄液 0.80未満 陰性	EIA		水痘 帯状疱疹
3754		IgG または 髄液 各0.4 K-5						
3755		IgG 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.5		2~4 Ⓜ	血清 0.8以下 陰性 判定基準:前頁参照 AI	FIA		
3748		水痘・帯状 ヘルペスウイルス		血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3	79 免	6~10 H		

### ●風疹ウイルスの判定基準

判定	血清IgM (EIA法)	血清IgG (EIA法)	血清IgG (FIA法)
-	0.80未満	2.0未満	0.7以下
±	0.80~1.20	2.0~3.9	0.8、0.9
+	1.21以上	4.0以上	1.0以上

### ●ヒトパルボウイルスB19の判定基準

判定	抗体指数
-	0.80未満
±	0.80~0.99
+	1.00以上

■ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）（87頁）をご参照ください。

■グロブリンクラス別ウイルス抗体価（87頁）をご参照ください。

■「ヒトパルボウイルスB19」紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3732	単純ヘルペス ウイルス IgM	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5	200 免	3~6 s	血清 0.80未満 陰性 髄液 0.80未満 陰性 判定基準:下記参照	EIA		
3730	単純ヘルペス ウイルス IgG	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5	200 免	3~6 s	血清 2.0未満 陰性 判定基準:下記参照 髄液 0.20未満 陰性 判定基準:下記参照	EIA		
3727	単純ヘルペス ウイルス	1型 血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2 または 髄液 各0.4 K-5	79 免	7~30 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	NT (中和反応)		ヘルペス性角結膜炎 ヘルペス性食道炎 口唇ヘルペス 性器ヘルペス
3737		2型	79 免					
3723	単純ヘルペス ウイルス	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.3 または 髄液 0.4 K-5	79 免	5~8 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		
3766	サイトメガロ ウイルス	IgM 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	200 免	3~6 s	0.85未満 陰性 判定基準:下記参照	CLIA		サイトメガロウイルス感染症
3765		IgG 血液 1.5 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.6	200 免	3~5 s	6.0未満 陰性 判定基準:下記参照			
3760	サイトメガロ ウイルス	血液 1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 0.2 または 髄液 0.4 K-5	79 免	5~8 s	血清:4未満 髄液:1未満 倍	CF (補体結合反応)		

## ●単純ヘルペスウイルスIgM/単純ヘルペスウイルスIgGの判定基準

判定	IgM	IgG	
		血清	髄液
-	0.80未満	2.0未満	0.20未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9	0.20~0.39
+	1.21以上	4.0以上	0.40以上

## ●サイトメガロウイルスの判定基準

判定	IgM (index)	IgG (AU/mL)
-	0.85未満	6.0未満
±	0.85~0.99	
+	1.00以上	6.0以上

■「サイトメガロウイルス抗体(3760)」と「サイトメガロウイルスIgM(3766)」又は「サイトメガロウイルスIgG(3765)」と併せて行った場合は主たるもののみ算定する。

抗体検査

ウイルス検査



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
3784	抗EA IgG	血液 各1.0 S-1 冷 ↓ 遠心 血清 各0.2	200 免	3~6	0.5未満 陰性	EIA	判定基準 判定 抗体指数 - 0.5未満 ± 0.5~0.9 + 1.0以上	EBウイルス感染症 伝染性単核症 上咽頭癌 バーキットリンパ腫
3780	抗VCA IgM		200 免					
3776	抗VCA IgG		200 免					
3790	抗EBNA IgG		200 免	s				
3783	抗EA-DR IgG		4~7	200 免	10未満 倍	FA (蛍光抗体法)		
3775	抗VCA IgG			200 免				
3779	抗VCA IgM			200 免				
3785	抗EA-DR IgA			79 免				
3777	抗VCA IgA			79 免				
3789	抗EBNA			79 免				

抗体検査

ウイルス検査

### ■ウイルス抗体価（定性・半定量・定量） 実施料 79点（判断料 免疫学的検査）

同一検体についてウイルス抗体価（定性・半定量・定量）の測定を行った場合は、8項目を限度として算定する。  
ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）は、治療上必要な場合に行うものとし、次に掲げるものを当該検査の対象とする。

- ①アデノウイルス ②コクサッキーウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤エコーウイルス ⑥ヘルペスウイルス ⑦インフルエンザウイルスA型 ⑧インフルエンザウイルスB型 ⑨ムンプスウイルス ⑩パラインフルエンザウイルスI型 ⑪パラインフルエンザウイルスII型 ⑫パラインフルエンザウイルスIII型 ⑬ポリオウイルスI型 ⑭ポリオウイルスII型 ⑮ポリオウイルスIII型 ⑯RSウイルス ⑰風疹ウイルス ⑱麻疹ウイルス ⑲日本脳炎ウイルス ⑳オーム病クラミジア ㉑水痘・帯状疱疹ウイルス

ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）にあたって、同一検体について同一ウイルスに対する複数の測定方法を行った場合であっても、所定点数のみを算定する。

### ■グロブリンクラス別ウイルス抗体価 実施料 200点（判断料 免疫学的検査）

同一検体について、グロブリンクラス別ウイルス抗体価の測定を行った場合は、2項目を限度として算定する。  
グロブリンクラス別ウイルス抗体価は、下記の項目のウイルスのIgG型ウイルス抗体価又はIgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。  
ただし、⑦のヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

- ①ヘルペスウイルス ②風疹ウイルス ③サイトメガロウイルス ④EBウイルス ⑤麻疹ウイルス ⑥ムンプスウイルス ⑦ヒトパルボウイルスB19 ⑧水痘・帯状疱疹ウイルス

同一ウイルスについてIgG型ウイルス抗体価及びIgM型ウイルス抗体価を測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。  
ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）と併せて測定した場合にあっては、いずれか一方の点数を算定する。

	検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
HTLV検査	4014	HTLV-I抗体 (CLIA) (ATLA抗体)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.5	159 免	2~4 Ⓜ	(-) 1.00未満 (+) 1.00以上 s/co	CLIA	測定対象は 抗HTLV-1抗体及び 抗HTLV-2抗体です。 型別の報告はできません。	
	4012	HTLV-I抗体 (ラインプロット法)	血液 1.5 S-1 冷 遠心 血清 0.4	425 免	4~7 s	陰性 判定基準:下記参照	ライン プロット (LIA)法		
抗原検査	9305	サイトメガロウイルス pp65抗原 (C7-HRP)	血液 3.0 S-3 室	356 免	3~6 s	陰性 陽性細胞数 0 (個)	直接酵素 抗体法	受託可能日は月~金 曜日です。昼集配で 提出してください。 祝前日不可。血液は 採血後、速やかに提 出ください。採血後 24時間以内の血液を 使用しない場合、検 出率の低下が認めら れます。	サイトメガロウイルス感染症

■「HTLV-1抗体(ラインプロット法)」は「HTLV-1抗体半定量」又は「HTLV-1定量」によって、陽性が確認された症例について確定診断の目的で行われた場合に算定する。

■「サイトメガロウイルスpp65抗原定性」臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者又はHIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対して行った場合に限り算定できる。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、当該検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

●HTLV-I抗体(ラインプロット法)の判定基準

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる(≥±)	gag p19かgag p24か env gp46のいずれかが認められる	保留
	env gp21が認められる	
ラインが2本認められる(≥±)	env gp21が認められない	陽性
	env gp21が認められる	
ラインが3本以上認められる(≥±)		

◆「HPV核酸検出」及び「HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)」算定の附帯条件、施設基準

HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、細胞診によりベセスダ分類がASC-US(意義不明異型扁平上皮)と判定された患者又は過去に子宮頸部円錐切除若しくはレーザー照射治療を行った患者に対して行った場合に限り算定できる。

なお、過去に子宮頸部円錐切除若しくはレーザー照射治療を行った患者については、細胞診と同時に実施した場合にも算定できる。HPV核酸検出とHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。

◆「HPVジェノタイプ判定」算定の附帯条件

あらかじめ行われた組織診断の結果、CIN1又はCIN2と判定された患者に対し、治療方針の決定を目的として、ハイリスク型HPVのそれぞれの有無を確認した場合に算定する。

当該検査を算定するに当たっては、あらかじめ行われた組織診断の実施日及び組織診断の結果、CIN1又はCIN2のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載する。

同一の患者について、当該検査を2回目以降行う場合は、当該検査の前回実施日を上記に併せて記載する。

■HPV核酸検出、HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)、HPVジェノタイプ判定に関する施設基準:

1. 産婦人科の経験を5年以上有する医師が配置されていること。
2. 当該保険医療機関が産婦人科を標榜しており、当該診療科において常勤の医師が配置されていること。  
(婦人科を標榜している場合であっても可)

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
抗原検査	3761 HPV核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定) (16型・18型・その他ハイリスクグループ)	子宮頸部 B-5-1 B-5-2	347 微	3~7 ⑧	16型 陰性 18型 陰性 その他 ハイリスク グループ 陰性	リアルタイム PCR	測定対象は、16,18,その他ハイリスクグループ(31,33,35,39,45,51,52,56,58,59,66,68型)です。その他のハイリスクグループについては型別の判定はありません。	HPV感染症 子宮頸癌
	9206 HPV-DNA (LBC) (ハイリスクグループ)	子宮頸部 B-5-1 腔内容 B-5-2 子宮腔部	347 微	4~7 s	陰性	液相(核酸) ハイブリダ イゼーション	測定対象は 16,18,31,33,35,39, 45,51,52,56,58,59, 68型です。 ただし型別の判定で はありません。	子宮頸癌
	9228 ヒトパピローマ ウイルス (HPV) ジェノタイプ 判定	子宮頸部 B-5-2	2000 微	5~8 s	陰性	PCR-rSSO法	検出可能な型は16,18, 31,33,35,39,45,51,52, 56,58,59,68型です。 本検査はあらかじめ 組織診断によりCIN1 またはCIN2と診断 された患者から採取 された検体を専用容 器B-5-2でご提出く ださい。 本検査方法ではコン タミネーションの影 響がより大きくなり ますので、検体採取 にあたっては取扱い に十分ご注意ください。 他項目との重複 依頼は避けてくださ い。	HPV感染症 子宮頸癌
	3440 SARS-CoV-2 核酸検出 (新型コロナウイルスPCR)	唾液 1.0 D-1 喀痰 1.0 D-1 鼻咽頭ぬぐい液 D-9 鼻腔ぬぐい液 D-9	700 微	1~2 ⑧	陰性	リアルタイム PCR		
	3443 SARS-CoV-2抗原 (新型コロナウイルス抗原)	唾液 1.0 D-1	560 免	1~2 ⑧	(-)0.67未満 判定保留 0.67~3.99 (+)4.00以上 pg/mL	CLEIA	初めてご依頼の際 は、学術インフォメ ーションまでご連絡 ください。 唾液採取前30分は飲 食は避けてくださ い。	COVID-19
	3447 SARS-CoV-2抗原 (新型コロナウイルス抗原)	鼻咽頭ぬぐい液 D-9 鼻腔ぬぐい液 D-9	560 免	1~2 ⑧	(-)1.00未満 判定保留 1.00~9.99 (+)10.00以上 pg/mL	CLEIA		

- 「HPV核酸検出」算定の附帯条件は、「HPVジェノタイプ判定」算定の附帯条件等(88頁参照)をご参照ください。
- 「SARS-CoV-2抗原定量」「SARS-CoV-2核酸検出」COVID-19が疑われる患者に対して、COVID-19の診断を目的として実施した場合に1回に限り算定する。ただし、本検査の結果が陰性であったものの、COVID-19以外の診断がつかない場合は、さらに1回に限り算定できる。この場合、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
- 「SARS-CoV-2抗原定量」本検査を実施した場合、SARS-CoV-2抗原定性、SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス抗原同時検出定性、SARS-CoV-2・RSウイルス抗原同時検出定性及びSARS-CoV-2・インフルエンザウイルス・RSウイルス抗原同時検出定性については別に算定できない。
- 「SARS-CoV-2核酸検出」本検査を実施した場合、SARS-CoV-2・インフルエンザウイルス核酸同時検出、SARS-CoV-2・RSウイルス核酸同時検出、SARS-CoV-2・インフルエンザ・RSウイルス核酸同時検出及びウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含む。)については別に算定できない。



# 90 ウイルス検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
(細1201)	ロタウイルス抗原	糞便 1g K-6 <span style="color:blue">冷</span>	65 免	1~2 <sup>⑥</sup>	(-)	イムノクロマト グラフィー法		ロタウイルス性胃腸炎
(細1236)	ノロウイルス	糞便 1g K-6 <span style="color:blue">冷</span>	150 免	1~2 <sup>⑥</sup>	( - )	リアルタイム PCR法	遺伝子増幅法にて検 出いたします。	ノロウイルス感染症
(細1227)						イムノクロマト グラフィー法		
(細1203)	単純ヘルペス 特異抗原 (1,2型タイピング)	塗抹標本 1枚 <span style="color:blue">冷</span> D-4	180 免	2~4 <sup>⑥</sup>	1型 (-) 2型 (-)	FA	採取方法は下記参照	ヘルペス性角結膜炎 ヘルペス性食道炎 口唇ヘルペス 性器ヘルペス
3751	水痘・帯状 ヘルペスウイルス抗原	塗抹標本 2枚 <span style="color:red">凍</span> G-32	227 免	3~6 <sub>s</sub>	( - )	FA		水痘 帯状疱疹

- 「ロタウイルス抗原定性（糞便）又は定量（糞便）」と「アデノウイルス抗原定性（糞便）」を同時に行った場合は主たる検査のみ算定する。
- 「ノロウイルス（抗原定性）」は以下のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に算定する。
  - ア 3歳未満の患者
  - イ 65歳以上の患者
  - ウ 悪性腫瘍の診断が確定している患者
  - エ 臓器移植後の患者
  - オ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者

## 水痘・帯状ヘルペスウイルス抗原、単純ヘルペスウイルス特異抗原

### ■ 検体の採取方法

- 病巣基底細胞が多数得られるように採取してください。  
早期の水疱病巣が検体として最適です。水疱内容液および膿は、検体として不適当です。
- ①滅菌針を用いて、上部の皮あるいは痂皮を剥がします。（図1）
  - ②病巣を覆っていた上部の皮を、ピンセット等で除去します。（図2）
  - ③綿棒を精製水や生理食塩水で軽く湿らせます。
  - ④ウイルス感染細胞は、病巣基底部にありますので、病巣基底部全面を綿棒で強くぬぐいます。（図3）

### ● 注意

膿がでていない場合には綿棒でまず膿をぬぐい去り、別の綿棒で検体を採取してください。この時、病巣基底部をかき乱さないよう注意してください。

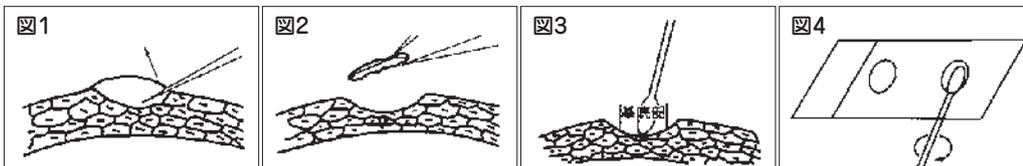
### ■ 操作法

#### ■ 検体の塗抹

- ①綿棒を回転させながらスライドガラスの2個の円内に塗りつけます。このとき綿棒はスライドガラスに平行にして、全表面が触れるように塗抹します。不均一にならないように注意してください。（図4）
- ②綿棒をすてる前に検体が均一に広がっているかどうか確認します。均一になっていれば不透明に見えます。透明に見える部分があれば、そこへ綿棒をあてて再び塗抹します。
- ③そのまま風乾します。
- ④乾燥したスライドガラス上に十分な量（検体にゆきわたる）のアセトンを添加し、蒸発させます。  
・検体はスライドガラス2枚（単純ヘルペスウイルス特異抗原は1枚で可）をご提出ください。

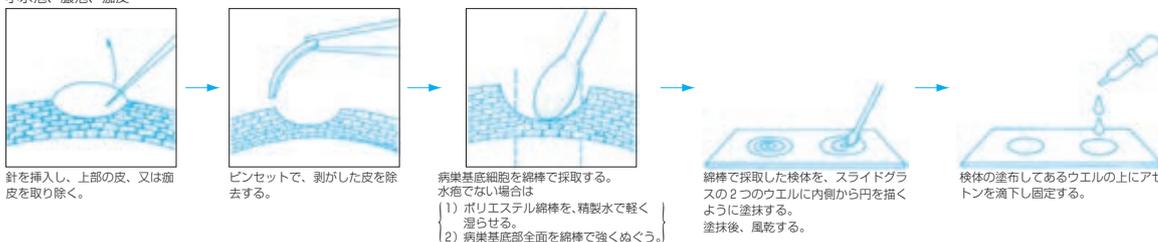
#### ■ 検体の保存

乾燥後のスライドガラスは、塗抹面を下にし、オブジェクトケースに入れ、検査項目名、病院名、氏名等を記入後、凍結保存してください。



### 単純ヘルペスウイルス特異抗原採取法

小水疱、膿疱、痂皮



## 有機溶剤関連検査の検体採取法

検体採取の際問題とされているのは、対象となる物質の生体内での代謝速度です。一般的にある物質が体内に取り込まれ、最初の濃度の1/2の濃度になるまでの時間を生物学的半減期と言います。有機溶剤については、この生物学的半減期が比較的短い為、作業終了後所定時間に採取しなければ信頼性のある曝露データが得られません。

正しい採取が信頼性のある曝露データにつながります。

検査コード	測定する項目	使用している有機溶剤	半減期(時間)	採尿の方法
1592	馬尿酸	トルエン	1.5	(注) 連続した作業日の2日目以降。作業終了2時間前に一度排尿して捨てる。 作業終了時排尿して所定の容器に必要量を入れて提出する。
1596	メチル馬尿酸	キシレン	3.6	
1608	2,5-ヘキサンジオン	ノルマルヘキサン	15.0	
1604	N-メチルホルムアミド	N,N-ジメチルホルムアミド	4.0	
1601	マンデル酸	エチルベンゼン	4.0	
1600		スチレン	4.0	
1599	フェニルグリオキシル酸	スチレン	7.0	
1578・1583	総三塩化物 または トリクロル酢酸	テトラクロルエチレン	72~80	(注) 連続した作業日の5日目以降(週末)。 作業終了2時間前に一度排尿して捨てる。 作業終了時排尿して所定の容器に必要量を入れて提出する。
1579・1584		1,1,1-トリクロルエタン	72~80	
1580・1585		トリクロルエチレン	72~80	

(注) 「作業終了時」とは、例えば9時から17時まで有機溶剤業務に従事している労働者の場合、15時に排尿して測定に用いる尿は17時に採取する事を「作業終了時」の排尿とします。



尿を冷蔵保存する場合は4~5日を限度として下さい。室温に放置しますと尿は腐敗しますので採尿当日中に冷蔵保管して下さい。

## 〔注意事項〕

尿量の影響：尿の排泄量が極端に多いかまたは極端に少ない場合は、適切な水分の摂取をご指導ください。

飲酒の影響：採尿の前日から採尿を終えるまで飲酒は控えてください。

食品の影響：尿中馬尿酸量はいちご・すももなど果実の摂取や安息香酸を含有する清涼飲料水等の摂取によって変動しますので、摂取状況の確認が必要です。もし、摂取した場合は別の日に検査を実施してください。

混合溶剤の影響：塩素系溶剤の尿中代謝産物は同一ですので、これらの有機溶剤を2種類以上使用されている場合は、その種類と作業環境空气中濃度を考慮して結果を評価する必要があります。

## 鉛検査 検体採取方法

血液または尿の採取時間は、該当する作業に従事している期間であれば、任意の時間で差し支えありません。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1549	赤血球プロトポルフィリン	血液 1.0 G-16 <span style="color:blue">冷</span>	272 生 I	8~30 B	下記参照 μg/dℓRBC	蛍光法 (Piomelli法)	抗凝固剤：ヘパリンNa 遮光してください。	先天性ポルフィリン症 鉄芽球性貧血 鉛中毒
1558	δ-アミノレブリン酸	部分尿 2.0 G-3 <span style="color:blue">冷</span>	106 尿糞	4~9 E	下記参照 mg/ℓ	HPLC	遮光してください。	ポルフィリン症 鉛中毒
1630	鉛(Pb)	血液 3.0 G-1 <span style="color:blue">冷</span>		3~5 E	下記参照	原子吸光 光度法		鉛中毒
4227	インジウム	血液 3.0 S-1 <span style="color:blue">冷</span> ↓ 遠心 血清 1.0		9~15 H	3.00未満 μg/ℓ	誘導結合 プラズマ 質量法		特定化学物質障害 (インジウム化合物に係わる)
1605	メチルイソブチルケトン (MIBK)	部分尿 10.0 G-6 <span style="color:blue">冷</span>		4~7 E	1.7以下 mg/ℓ	GC-MS	作業終了時の尿を提出 してください。 空気混入は測定結果 に影響を及ぼすため、 10mℓの採尿を お願いします。	メチルイソブチルケトン中毒
1642	メタノール (メチルアルコール)	部分尿 3.0 K-5 <span style="color:blue">凍</span>		7~15 H	3未満 mg/ℓ	GC	作業終了時の尿を提出 してください。	メタノール中毒 酢酸メチル中毒 飲酒者
2015	エタノール (エチルアルコール)	血液 1.0 G-16 <span style="color:blue">凍</span>	105 生 I	8~12 H	0.1未満 mg/mℓ	GC		飲酒者 アルコール中毒
9194	セレン	血液 1.5 S-1 <span style="color:blue">冷</span> ↓ 遠心 血清 0.5	144 生 I	4~18 B	107~171 μg/ℓ	原子吸光 分光光度計		セレン欠乏症

■「セレン」長期静脈栄養管理若しくは長期成分栄養剤を用いた経腸栄養管理を受けている患者、人工乳若しくは特殊治療用ミルクを使用している小児患者又は重症心身障害児(者)に対して、診察及び他の検査の結果からセレン欠乏症が疑われる場合の診断及び診断後の経過観察を目的として実施した場合に限り算定する。

測定値については、下記のACGIH (American Conference of Government Industrial Hygienists) に基づく労働省による「分布」を参照してください。

検査コード	有機溶剤の名称	検査内容	単位	分布 ●		
				1	2	3
1592	トルエン	尿中馬尿酸	g/ℓ	1以下	1超 2.5以下	2.5超
1596	キシレン	尿中メチル馬尿酸	g/ℓ	0.5以下	0.5超 1.5以下	1.5超
1608	ノルマルヘキサン	尿中2,5-ヘキサンジオン	mg/ℓ	2以下	2超 5以下	5超
1604	N,N-ジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	mg/ℓ	10以下	10超 40以下	40超
1583 ※	テトラクロロエチレン ○	尿中トリクロロ酢酸	mg/ℓ	3以下	3超 10以下	10超
1578 ※		尿中総三塩化物	mg/ℓ	3以下	3超 10以下	10超
1584	1,1,1-トリクロロエタン ○	尿中トリクロロ酢酸	mg/ℓ	3以下	3超 10以下	10超
1579		尿中総三塩化物	mg/ℓ	10以下	10超 40以下	40超
1585 ※	トリクロロエチレン ○	尿中トリクロロ酢酸	mg/ℓ	30以下	30超 100以下	100超
1580 ※		尿中総三塩化物	mg/ℓ	100以下	100超 300以下	300超
1630	鉛関連	血液中鉛	μg/dℓ	20以下	20超 40以下	40超
1558		尿中δ-アミノレブリン酸	mg/ℓ	5以下	5超 10以下	10超
1549		赤血球遊離プロトポルフィリン	μg/dℓ・RBC	100以下	100超 250以下	250超

●分布1、2、3と分けている数値は、厚生労働省がこの分布に属する人数を行政的に把握するために設定したものであって、結果を判定する基準となるものではありません。したがってこの数値で診断したり判定したりはしないこととされています。

○クロル炭化水素に係る尿中代謝物の検査については、検査項目が同一であるので、これらの有機溶剤を2種類以上使用している場合は、検査結果の評価については考慮する必要があります。

◆スチレン、エチルベンゼンに係る尿中代謝物の検査については、検査項目が同一であるので、これらの有機溶剤を同時に使用している場合は、検査結果の評価については考慮する必要があります。

※2014年11月より、スチレン、トリクロロエチレン(トリクロロエチレン)、テトラクロロエチレン(テトラクロロエチレン)は、有機溶剤中毒予防規則(有機則)から特定化学物質障害予防規則(特化則)の対象物質に移管されました。特定化学物質健康診断では、労働基準監督署への分布区分報告は不要となっています。

産業医学・毒物検査

産業医学・毒物検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	関連疾患名
1592	馬尿酸	部分尿 2.0 G-3 		3~7 ⑤	前頁参照	HPLC	トルエン	トルエン中毒
1596	メチル馬尿酸	部分尿 2.0 G-3 		3~7 ⑤	前頁参照	HPLC	キシレン	キシレン中毒
1599	フェニルグリオキシル酸 (PGA)	部分尿 2.0 G-3 		4~7 ⑤	g/l	HPLC	スチレン	スチレン中毒
1600	マンデル酸 (スチレン) ※◆	部分尿 2.0 G-3 		3~7 ⑤	g/l	HPLC	スチレン	スチレン中毒
820	フェニルグリオキシル酸及び マンデル酸(スチレン)の 総和	部分尿 2.0 G-3 		4~7 ⑤	総和 0.43以下 g/l	HPLC	フェニルグリオキシル酸と マンデル酸(スチレン)と 総和の値を算出いたします。	
1601	マンデル酸 (エチルベンゼン) ◆	部分尿 2.0 G-3 		3~7 ⑤	0.3以下 g/l	HPLC	エチルベンゼン	エチルベンゼン中毒
1608	2,5-ヘキサンジオン	部分尿 5.0 G-3 		3~10 ⑤	前頁参照	GC-MS	ノルマルヘキサン	ノルマルヘキサン中毒
1604	N-メチルホルムアミド	部分尿 3.0 G-3 		3~10 H	前頁参照	GC	N,N-ジメチルホルム アミド	N,N-ジメチルホルム アミド中毒
1578	総三塩化物 (テトラクロルエチレン) ※○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC		
1579	総三塩化物 (1,1,1-トリクロルエタン) ○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC		
1580	総三塩化物 (トリクロルエチレン) ※○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC	テトラクロルエチレン 1,1,1-トリクロルエタン トリクロルエチレン	テトラクロルエチレン中毒 1,1,1-トリクロルエタン中毒 トリクロルエチレン中毒
1583	トリクロル酢酸 (テトラクロルエチレン) ※○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC		
1584	トリクロル酢酸 (1,1,1-トリクロルエタン) ○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC		
1585	トリクロル酢酸 (トリクロルエチレン) ※○	部分尿 1.0 G-3 		4~8 H	前頁参照	GC		

産業医学・毒物検査

産業医学・毒物検査



細菌検査コード	検査項目	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	備	考
細1001	塗抹鏡検	67 微	1~2	グラム染色	便、皮膚切片、爪では実施しておりません。	■「塗抹鏡検」と「尿沈渣」を同一日に併せて算定する場合は、「塗抹鏡検」に用いた検体の種類を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。
	口腔、気道、呼吸器					
	消化管					
	泌尿器、生殖器					
	血液、穿刺液 その他の部位					
細1002	白癬菌塗抹		⑥	KOH法		
細1101	培養同定	180 200 190 225 180 微	3~14	使用培地は目的菌、検査材料により異なります。 各種確認培地 感作ラテックスを使用 質量分析法	血液、髄液から菌が検出された場合、届け出が必要な菌が検出された場合は直ちに報告させていただきます。 採取部位により保険点数が変わります。 皮膚切片、爪は不可。	材料容器は101頁参照
	口腔、気道、呼吸器					
	消化管 ※1					
	泌尿器、生殖器					
	血液 ※2、穿刺液 その他の部位					
細1103	尿定量培養		③ ⑥	標準白金耳法	尿以外の定量培養は実施しておりません。	
細1102 細7713	嫌気性菌培養	122 微	5~10	ガスバック法	嫌気ポーターを使用して下さい。	
	口腔、気道、呼吸器					
	消化管					
	泌尿器、生殖器					
	血液 ※2、穿刺液 その他の部位					

※1 便培養同定検査（細菌培養同定検査等の消化管からの検体）  
大腸菌が確認され、及びD023-2の [3] 大腸菌ベロトキシン定性により毒素が確認又は腸管出血性大腸菌用の選択培地に菌の発育が確認された場合、大腸菌血清型別検査を行います。  
この場合細菌培養同定検査等の消化管からの検体および嫌気性培養（D018微生物学的検査）の算定はできません。  
目的菌の指示がない場合はサルモネラ、赤痢、腸管出血性大腸菌、黄色ブドウ球菌、腸炎ビブリオ、キャンピロバクター(嫌気培養)を検査します。

※2 カルチャーボトルの使用法  
血液培養のための採血を行う場合、血液中の起炎菌を確実に採取すること、無菌的に採取することが大切です。  
(1) 起炎菌を採取するためには、採血する時期が重要であり、発熱初期または発熱ピーク前後の抗生物質投与前に行います。  
また、血中の細菌は間欠的に流入していることが多いので、1日に2~3回できれば採取部位を変えて（右腕→左腕）採血するのが望ましいとされています。  
(2) 採取法の注意点について



1. フリップキャップをはずす。  
2. アルコールで針の穿刺部位(ゴム栓部分)を消毒する。  
※フリップキャップはゴム栓部分の保護を目的としており、無菌性を保つものではありませんので、ゴム栓の消毒が必要です。



3. 採血部位をアルコール綿で消毒する。  
乾燥するまで待つ。

※皮脂や汚れを取り除き、次ステップの消毒効果を向上させます。  
消毒液が乾燥するまで待つことが重要です。



4. 採血部位から外側に円を描くように1~2%ヨードチンキ、または10%ポビドンヨードを塗布する。  
乾燥するまで待つ。  
※消毒液が乾燥するまで十分に作用させることが重要です。  
ヨード製剤が使えない場合、アルコール消毒を繰り返します。  
クロルヘキシジンアルコール製剤による消毒が優れているとの報告があります。



5. 採血を行なう。  
(血液量 各8~10ml)  
※消毒後の触診は雑菌による汚染の危険性を高めますので、穿刺部位の触診、確認は消毒前に行なってください。  
※一般的に、好気培養ボトル1本+嫌気培養ボトル1本を1セットとします。

■「細菌培養同定検査」症状等から同一起因菌によると判断される場合であって、当該起炎菌を検索する目的で異なった部位から、又は同一部位の複数か所から検体を採取した場合は、主たる部位又は、1か所のみ所定点数を算定する。ただし、血液を2か所以上から採取した場合に限り、「血液又は穿刺液(225点)」を2回算定できる。この場合、「嫌気性培養加算(122点)」は2回算定できる。

細菌検査コード	検査項目	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	備	考
一般細菌	口腔、気道、呼吸器	※ 4	4~14	微量液体希釈法	薬剤名は96~98頁参照	材料容器は101頁参照
	消化管					
	泌尿器、生殖器					
	血液、穿刺液					
	その他の部位					
			⑤			

※ 4 細菌薬剤感受性検査  
細菌培養同定検査を行った結果に基づき細菌薬剤感受性検査 1 菌種、2 菌種、3 菌種以上の算定となります。

- 1 菌種 185点
- 2 菌種 240点
- 3 菌種以上 310点

※菌が分離・検出できなかった場合は算定しない。

■「細菌薬剤感受性検査」結果として菌が検出できず、実施できなかった場合においては算定しない。

■センターセットN

グラム陰性桿菌									
腸内細菌	サルモネラシゲラ	非発酵菌	緑膿菌	アシネトバクター	パストツレラ	アエロモナス	ヘモフィルス	キャンピロバクター	ビブリオ
ABPC PIPC SBT/ABPC TAZ/PIPC CEZ CAZ CPDX CTR CMZ LMOX IPM MEPM AZT GM AMK LVFX CPFX MINO FOM ST	ABPC PIPC SBT/ABPC TAZ/PIPC CAZ CPDX CTR IPM MEPM AZT LVFX CPFX MINO ST	PIPC TAZ/PIPC CTX CAZ CTR CFPM IPM MEPM GM AMK TOB AMK LVFX CPFX LVFX MINO ST	PIPC TAZ/PIPC CAZ CFPM IPM MEPM AZT GM TOB AMK LVFX CPFX	PIPC TAZ/PIPC SBT/ABPC CAZ CTR CFPM IPM MEPM GM AMK CPFX LVFX TC MINO ST	PCG ABPC CVA/AMPC CTR EM AZM LVFX TC CP ST	TAZ/PIPC CTX CTR CFPM IPM MEPM AZT GM CPFX LVFX TC ST	ABPC CVA/AMPC CAM LVFX CCL CXM CTX CAZ CTR CFPM IPM MEPM CAM CPFX LVFX TC CP ST	ABPC EM CAM LVFX CPFX TC MINO FOM	ABPC CVA/AMPC SBT/ABPC TAZ/PIPC CEZ CTX CFPM IPM MEPM GM CPFX LVFX TC ST

グラム陽性球菌				グラム陽性桿菌		グラム陰性球菌			嫌気性菌	
ブドウ球菌	腸球菌	連鎖球菌	肺炎球菌	アエロコッカス	バチルス	コリネバクテリウム	淋菌	髄膜炎菌	モラクセラ	
PCG MPIPC GM EM CAM AZM CLDM LVFX MINO VCM TEIC LZD DAP ST RFP	PCG ABPC EM LVFX MINO VCM TEIC LZD DAP RFP	PCG ABPC CTX CTR CFPM MEPM EM CAM AZM CLDM LVFX OFLX TC CP	PCG AMPC CVA/AMPC CXM CTX CTR CPDX CFPM IPM EM CAM AZM CLDM LVFX MFLX TC ST	PCG CTX CTR MEPM CPFX LVFX TC LZD ST	PCG ABPC IPM MEPM GM EM CLDM CPFX LVFX TC ST	PCG CTX CTR CFPM MEPM GM EM CLDM TC LZD ST	PCG CTX CTR CFIX CPDX CFPM AZM CPFX LVFX MINO TC	PCG ABPC CTX CTR MEPM AZM CPFX LVFX MINO CP ST	CVA/AMPC CXM CTX CTR EM AZM CLDM CPFX LVFX TC CP ST	PCG ABPC CVA/AMPC SBT/ABPC TAZ/PIPC CTX CTR CMZ IPM MEPM CLDM MFLX TC CP

■一般細菌結果判定基準

項目名	表示方法	定量培養	培地発育状態
培養同定	-	10 <sup>3</sup> 未満/ml	菌の発育が認められない場合
	+	10 <sup>3</sup> ~10 <sup>4</sup> /ml	培地の1/3に菌が発育した場合
	2+	10 <sup>5</sup> ~10 <sup>6</sup> /ml	培地の2/3に菌が発育した場合
	3+	10 <sup>7</sup> /ml	培地全体に菌が発育した場合

## 薬剤感受性検査の報告可能薬剤一覧

薬剤	菌群	グラム陰性桿菌									
		腸内細菌	サルモネラ シゲラ	非発酵	緑膿菌	アシネト バクター	パストレラ	アエロモナス	ヘモフィルス	キャンピロ バクター	ビブリオ
ペニシリン系	PCG	●	●	R	R	R	●○		●		●
	ABPC	●○	●○	●	R	●	●○	R	●○		●○
	AMPC	●	●	●	R	●	●		●		●
	PIPC	●○	●○	●○	●○	●○	●		●		●
合剤(βラクタマーゼ阻害)	AMPC/CVA	●○	●○		R		●○		●○		●○
	SBT/ABPC	●○	●○		R	●○			●○		●○
	TAZ/PIPC	●○	●○	●○	●○	●○		●○	●○		●○
セファロスポリン系	CEZ	●○	R	R	R	R		R	●	R	●○
	CCL	●○	R	R	R	R			●○	R	●
	CXM	●○	R	R	R	R			●○	R	
	CPZ	●○	●○	●○	●	●	●	●	●	R	●
	CTX	●○	●○	●○	R	●○	●	●○	●○	R	●○
	CZX	●○	●○	●○	●	●	●	●	●○	R	●
	CAZ	●○	●○	●○	●○	●○	●	●	●○	R	●
	CTRX	●○	●○	●○	R	●○	●○	●○	●○	R	●
	CFIX	●○	●○	●	●	●	●	●	●○	R	●
	CFDN	●○	●○	●	●	●	●	●	●○	R	●
	CPDX	●○	●○	●	●	●	●	●	●○	R	●
CFPM	●○	●○	●○	●○	●○		●○	●○	R	●○	
セファマイシン系	CMZ	●○	R	R	R	R					
オキサセフェム系	LMOX	●○	R	●○							
カルバペネム系	IPM	●○	●○	●○	●○	●○		●○	●○		●○
	MEPM	●○	●○	●○	●○	●○		●○	●○		●○
	DRPM	●○	●○	●	●○	●○		●	●○		●
モノバクタム系	AZT	●○	●○	●○	●○			●○	●○		
アミノグリコシド系	GM	●○	R	●○	●○	●○		●○			●○
	TOB	●○	R	●○	●○	●○		●			●
	AMK	●○	R	●○	●○	●○		●			●
マクロライド系	EM	R	R	R	R	R	●○		●	●○	
	CAM	R	R	R	R	R	●		●○	●	
	AZM	R	R※4	R	R	R	●○		●○	●	
リンコマイシン系	CLDM	R	R	R	R	R	R				
キノロン系	NFLX	●○	●○	●○	●○	●	●	●	●	●	●
	OFLX	●○	●○	●○	●○	●	●	●	●○	●	●
	CPFX	●○	●○	●○	●○	●○	●	●	●○	●○	●○
	LFLX	●○	●○	●○	●○	●	●	●	●○	●	●
	LVFX	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●	●○
	GFLX	●○	●○	●○	●○	●○	●	●	●○	●	●
	MFLX	●	●	●	●	●	●	●	●○	●	●
テトラサイクリン系	TC	●○	●○	●○	R	●○	●○	●○	●○	●○	●○
	DOXY	●○	●○	●○	R	●○	●	●	●	●	●
	MINO	●○	●○	●○	R	●○	●	●	●	●	●
クロラムフェニコール系	CP	●○	●○	●○	R		●○	●○	●○		
オキサゾリジノン系	LZD	R	R	R	R	R					
ポリペプチド系	CL	●○	●○		●○	●○					
グリコペプチド系	VCM	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
	TEIC	R	R	R	R	R	R	R	R	R	R
リポペプチド系	DAP	R	R	R	R	R					
その他	FOM	●○ ※1									
	ST	●○	●○	●○	R	●○	●○	●○	●○		●○
	RFP	R	R	R	R	R					

薬剤感受性検査は微量液体希釈法にて実施します。MIC値の報告が必要な場合はお問い合わせください。

● : CLSIの判定基準等に従い判定値(S, I, R)を報告いたします。

○ : MIC値の報告が可能な薬剤。ただし、耐性菌等の理由によりMIC値を参照せず判定値が決まる場合はMIC値の報告はいたしません。

R : 自然耐性や治療効果がない等の理由により判定値をRで報告いたします。

### ■報告表示方法

### CLSI

Clinical and Laboratory Standards Institute(米国の臨床・検査標準協会)

項目名	表示方法	内容
薬剤感受性検査	S	Susceptible (感受性)
	I	Intermediate (中間)
	R	Resistant (耐性)

薬剤	菌群	グラム陽性球菌				グラム陽性桿菌		グラム陰性球菌			嫌気性菌	
		ブドウ球菌	腸球菌	連鎖球菌	肺炎球菌	アエロコッカス	バチルス	コリネバクテリウム	淋菌※3	髄膜炎菌		モラクセラ
ペニシリン系	PCG	●	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	R	●○
	ABPC	●	●○	●○	●	●	●○	●	●	●○	R	●○
	AMPC	●	●	●	●○	●	●	●	●	●	R	●
	PIPC	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
合剤(βラクタマーゼ阻害)	AMPC/CVA	●			●○						●○	●○
	SBT/ABPC	●										●○
	TAZ/PIPC	●										●○
セファロスポリン系	CEZ	●	R		●							
	CCL	●	R		●○							
	CXM	●	R		●○							●○
	CPZ	●	R	●	●	●		●	●	●	●	●○
	CTX	●	R	●○	●○	●○		●○	●○	●○	●○	●○
	CZX	●	R	●	●	●		●	●	●	●	●
	CAZ	●	R	●	●	●		●	●	●	●	●
	CTRX	●	R	●○	●○	●○		●○	●○	●○	●○	●○
	CFIX	●	R	●	●	●		●	●○	●	●	●
	CFDN	●	R	●	●○	●		●	●	●	●	●
	CPDX	●	R	●	●○	●		●	●○	●	●	●
CFPM	●	R	●○	●○			●○	●○				
セファマイシン系	CMZ	●										●○
オキサセフェム系	LMOX	●										
カルバペネム系	IPM	●		●	●○	●	●○	●		●		●○
	MEPM	●		●○	●○	●○	●○	●○		●○		●○
	DRPM	●		●○	●○	●	●	●		●		●
モノバクタム系	AZT	R	R	R	R	R	R					
アミノグリコシド系	GM	●○	R	R	R		●○	●○				R
	TOB	●	R	R	R		●	●				R
	AMK	●	R	R	R		●	●				R
マクロライド系	EM	●○	●○	●○	●○		●○	●○	●	●	●○	
	CAM	●○	●	●○	●○		●	●	●	●	●	
	AZM	●○	●	●○	●○		●	●	●○	●○	●○	
リンコマイシン系	CLDM	●	R	●	●		●○	●○			●○	●○
キノロン系	NFLX	●○	●○	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	OFLX	●○	●	●○	●○	●	●	●	●	●	●	●
	CPFX	●○	●○	●	●	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●
	LFLX	●○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	LVFX	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●	●	●○	●○	●
	GFLX	●○	●○	●○	●○	●	●	●	●	●	●	●
	MFLX	●○	●	●	●○	●	●	●	●	●	●	●○
テトラサイクリン系	TC	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●	●○	●○
	DOXY	●○	●○	●	●○	●	●	●	●	●	●	●
	MINO	●○	●○	●	●	●	●	●	●	●○	●	●
クロラムフェニコール系	CP	●○	●○	●○	●○		●○			●○	●○	●○
オキサゾリジノン系	LZD	●○	●○	●○	●○	●○		●○				
ポリペプチド系	CL	R	R	R	R	R	R					
グリコペプチド系	VCM	●○	●○	●○	●○	●○	●○	●○	R	R	R	
	TEIC	●○	●○	●	●	●	●	●	R	R	R	
リポペプチド系	DAP	●○	●○	●○				●○				
その他	FOM		●○ ※2									
	ST	●○	R		●○	●○	●○	●○		●○	●○	
	RFP	●○	●○		●○		●○	●○		●○	●○	

※1:尿由来のE.coliに対する寒天平板希釈法の基準を採用しています。  
 ※2:尿由来のE.faecalisに対する寒天平板希釈法の基準を採用しています。E.faecalis以外の腸球菌は参考値であり、MIC値の報告はいたしません。  
 ※3:淋菌は寒天平板希釈法の基準を採用しています。  
 ※4:チフス等、基準のあるものもあります。

注1:菌によって自然耐性等が異なりますので、同定された菌と薬剤の組み合わせ次第では表中のRと同じように報告いたします。  
 注2:すべての薬剤が記載されてはいません。表に無い菌や薬剤に関しましてはご対応できないものもありますのでお問い合わせください。  
 注3:表中の空欄箇所の薬剤と菌群の組み合わせをご依頼の場合は参考値となります。

薬剤感受性検査薬剤一覧

	薬 剤 名	コード	略 号		薬 剤 名	コード	略 号		薬 剤 名	コード	略 号	
ペニシリン系	ペニシリン	8101	PCG	セフェム系	スルバクタム・セフォペラゾン	8232	SBT・CPZ	クロラムフェニコール系	クロラムフェニコール	8701	CP	
	アンピシリン	8106	ABPC		セフミノクス	8231	CMNX					
	アモキシシリン	8110	AMPC		セフィキシム	8223	CFIX					
	ピペラシリン	8115	PIPC		セフテラム	8226	CFTM					
	クラブラン酸・アモキシシリン	8119	CVA・AMPC		セフトリアキソン	8211	CTRX					
	スルタミシリン	8118	SBTPC		セフボドキシム	8238	CPDX					
	スルバクタム・アンピシリン	8121	SBT・ABPC		セフジニル	8233	CFDN					
	セファロチン	8202	CET		セフカベン	8243	CFPN					
セフェム系	セファレキシム	8217	CEX	フェキサセ	ラタモキシセフ	8301	LMOX	キノロン系	オフロキサシン	8806	OFLX	
	セファゾリン	8203	CEZ		フロモキシセフ	8302	FMOX		シプロフロキサシン	8807	CPFX	
	セファクロル	8220	CCL	アミノグリコシド系	カナマイシン	8402	KM		ノルフロキサシン	8805	NFLX	
	セフロキサジン	8222	CXD		ゲンタマイシン	8406	GM		トスフロキサシン	8808	TFLX	
	セフォチアム	8206	CTM		ジベカシン	8408	DKB		ロメフロキサシン	8809	LFLX	
	セフォキシチン	8227	CFX		トブラマイシン	8407	TOB		レボフロキサシン	8812	LVFX	
	セフメタゾール	8228	CMZ		アミカシン	8412	AMK		パズフロキサシン	8908	PZFX	
	セフロキシム	8207	CXM		イセパマイシン	8414	ISP		ガチフロキサシン	8817	GFLX	
	セフメノキシム	8210	CMX		アルベカシン	8415	ABK		シタフロキサシン	8823	STFX	
	セフォペラゾン	8214	CPZ		テトラサイクリン系	テトラサイクリン	8502		TC	モチシフロキサシン	8819	MFLX
	セフチゾキシム	8209	CZX	ドキシサイクリン		8503	DOXY		カルバペネム系	イミベネム	8652	IPM
	セフトアジジム	8212	CAZ	ミノサイクリン		8504	MINO			ピアベネム	8657	BIPM
	セフピロム	8236	CPR	マクロライド系	エリスロマイシン	8601	EM			ドリベネム	8658	DRPM
	セフェピム	8241	CFPM		ジョサマイシン	8605	JM			メロベネム	8654	MEPM
	セフォソプラン	8240	CZOP		クラリスロマイシン	8608	CAM			ファロベネム	8655	FRPM
	セフチブテン	8234	CETB		ロキシシロマイシン	8609	RXM			コリスチン	8751	CL
	セフジトレン	8239	CDTR		アジスロマイシン	8610	AZM			ポリミキシンB	8752	PL
										リンコマイシン	8451	LCM
						クリンダマイシン	8452	CLDM				
						ホスホマイシン	8754	FOM				
						アストレオナム	8551	AZT				
						バンコマイシン	8753	VCM				
						スルファメトキサゾール・トリメプリーム	8901	ST				
						テイコブラニン	8758	TEIC				

微生物学的検査

	細菌検査コード	検査項目	容器	保存方法	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	備考
衛生検査	細1611	便培養（2菌種） （サルモネラ、シゲラ）	D-8	冷蔵	—	4~7 HN⑥	培養同定	
	細1616	便培養（3菌種） （サルモネラ、シゲラ、O-157）	D-8	冷蔵	—	4~7 HN⑥	培養同定	

D-1		D-2		D-3		D-4		D-5		D-6	
喀痰容器		シードスワブ		カルチャーボトル		単純ヘルペス抗原用スライドグラス		嫌気ポーター		トリコモナス培地	

細菌検査コード	検査項目	容器	保存方法	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	備考
細1108	白癬菌培養	K-5	冷蔵	60 微	14~17 ⑥	培養同定	滅菌スピッツにて提出して下さい
細1110	トリコモナス培養	D-6	室温	60 微	2~10 ⑥	培養同定	トリコモナス培地にて提出して下さい
細1106	MRSA培養	K-5・ D-1・D-2	冷蔵	60 微	3~6 ⑥	培養同定	
細1109	カンジダ簡易培養	D-2	冷蔵	60 微	3~6 ⑥	培養同定	
細6002	淋菌培養	K-5・D-2	室温	微	4~6 ⑥	炭酸ガス培養同定	
細6003	髄膜炎菌培養	K-5・D-3	室温	微	4~6 ⑥	炭酸ガス培養同定	
細7801	カンピロバクター培養	D-2	冷蔵	微	4~6 ⑥	微好気培養同定	
細7160	C.ディフィシル培養	D-5	冷蔵	微	4~6 ⑥	嫌気培養同定	嫌気ポーターにて提出して下さい
細7852	ヘリコバクター・ピロリ培養	D-7	冷蔵	190 微	6~10 ⑥	微好気培養同定	シードチューブHPにて提出して下さい
細1203	単純ヘルペス特異抗原 (1・2型タイプング)	D-4	冷蔵	180 免	2~4 ⑥	FA法	採取法は90頁参照して下さい
細1204	A群β溶連菌迅速試験	D-2	冷蔵	121 免	1~2 ⑥	イムノクロマトグラフィー法	
細1202	クロストリジオイデス ディフィシルトキシン (CDトキシン)	K-6	冷蔵	80 免	1~2 ⑥	イムノクロマトグラフィー法	
細1201	ロタウイルス抗原	K-6	冷蔵	65 免	1~2 ⑥	イムノクロマトグラフィー法	
細1236	ノロウイルス	K-6	冷蔵	—	1~2 ⑥	リアルタイム PCR法	遺伝子増幅法にて検出します
細1227				150 免		イムノクロマトグラフィー法	
細1207	大腸菌ベロトキシン	※1	室温	184 微	1~2 ⑥	イムノクロマトグラフィー法	※1 菌株より検査します
細1213	大腸菌血清型別		室温	175 免	3~6 ⑥	免疫血清凝集反応	

- 「ロタウイルス抗原定性（糞便）又は定量（糞便）」と「アデノウイルス抗原定性（糞便）」を同時に行った場合は主たる検査のみ算定する。
- 「ノロウイルス（抗原定性）」は以下のいずれかに該当する患者について、当該ウイルス感染症が疑われる場合に算定する。  
ア 3歳未満の患者    イ 65歳以上の患者    ウ 悪性腫瘍の診断が確定している患者    エ 臓器移植後の患者  
オ 抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤、又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の患者
- 「A群β溶連菌迅速試験定性」細菌培養同定検査を同時に実施した場合は、A群β溶連菌迅速試験定性の所定点数のみ算定する。この場合においてA群β溶連菌迅速試験定性の結果が陰性のため、引き続いて細菌培養同定検査を実施した場合であっても、A群β溶連菌迅速試験定性の所定点数のみ算定する。
- 「大腸菌血清型別」細菌培養同定検査により大腸菌が確認され、及びD023-2の [3] 大腸菌ベロトキシン定性により毒素が確認又は腸管出血性大腸菌用の選択培地に菌の発育が確認され、並びに血清抗体法により大腸菌のO抗原又はH抗原の同定を行った場合に使用した血清の数、菌種等に関わらず算定する。この場合において「D018」細菌培養同定検査の費用は別に算定できない。
- 淋菌核酸検出、淋菌抗原定性又は細菌培養同定検査を併せて実施した場合は、主なもののみ算定する。



細菌検査コード	検査項目	採取量(mℓ)保存 提出量(mℓ)容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
細2001	塗抹鏡検		67 微	1~2 ⑥		チールネルゼン染色	下記(表1)参照
細2002			50 微	1~2 ⑥			
細2010	分離培養1 (MGIT)	喀痰、気管支洗浄液、 胸水、その他 1mℓ以上 (表3)参照	300 微	~6週 ⑥		酸素感受性蛍光 センサー法	
細2003	分離培養2 (小川)		209 微	~8週 ⑥	2% 小川培地		下記(表2)参照
細2007	感受性検査	喀痰、気管支洗浄液、 胸水、その他 1mℓ以上 または菌株 (表3)参照	400 微 ※	4週~6週 ⑥		一濃度比率法	増菌培養後検査します。 抗酸菌耐性薬剤名 SM(ストレプトマイシン) PAS(パラアミノサリチル酸) INH(イソニコチン酸ヒドラジド) KM(カナマイシン) EVM(エンビオマイシン) TH(エチオナミド) EB(エタンプトール) RFP(リファンピジン) CS(サイクロセリン) LVFX(レボフロキサシン) PZA(ピラジナミド) ※4薬剤以上使用した場合に限り算定する
細3002	結核菌群核酸検出 (TRC)	喀痰、気管支洗浄液、 胸水、その他 1mℓ以上	410 微	2~3 ⑥	(-)	TRC法	クロスコンタミネーションを防ぐため 検体の取扱いには充分注意をして下 さい。
細3003	マイコバクテリウム・アビウム・イントラセルラー 核酸検出(TRC)	または菌株 (表3)参照	421 微				
細3006	抗酸菌同定	抗酸菌培養陽性菌株 (MGIT培地・小川培 地より測定可能)	361 微	3~5 ※ ⑥		質量分析 による菌 種同定	※所要日数は抗酸菌培養陽性菌株か ら検査した場合の目安です。

(表1) ●結核菌菌数記載法

備考 (ガフキー号数)	記載法	蛍光法 (200倍)	Z-N法 (1,000倍)
	-	0/30 視野	0/300 視野
G1	+	1~2/30 視野	1~2/300 視野
G2	+	1~19/10 視野	1~9/100 視野
G5	2+	≥20/10 視野	≥10/100 視野
G9	3+	≥100/1 視野	≥10/1 視野

(表2) ●結核菌の小川培地による菌量表示

規定の雑菌処理後、小川培地にて8週間培養し観察する。  
集落数の表示記号(新結核菌検査指針による)

表示記号	集落数に関する所見	集落数
-	集落を認めないもの	0
+	集落数が200未満のもの	1~200
++	大多数の集落は個々に分離しているが、一部融合しているもの	200~500
+++	集落数が多く、初期には分離しているが、発育につれほとんどが融合するようになるもの	500~2000
	集落数がかきわめて多く、培地全面をおおうようになるもの	2000以上
判定不能	雑菌の発生や変色・融解などで培地の全面が結核菌の培養に不適となったもの	培養不能

(表3) ●抗酸菌検査の材料必要量

材料	必要量	容器	備考
喀痰、胃液、髄液、 肺洗浄液、膿	1ml以上	D-1(喀痰) K-5(その他)	へパリンは不可
尿、胸水、腹水		K-5	へパリンは不可
糞便	小指頭大	K-6	
スワブ	1本以上	D-2	検査は実施しますがデータ の信頼性が低いため参考 値として御理解ください。

- 「抗酸菌分離培養検査」「抗酸菌核酸同定」「結核菌群核酸検出」結核患者の退院の可否を判断する目的で、患者の病状を踏まえ頻回に行われる場合においても算定できる。
- 「MAC(マイコバクテリウム・アビウム及びイントラセルラー)核酸検出」他の検査により結核菌が陰性であることが確認された場合のみ算定できる。「抗酸菌同定」と併せて実施された場合にあつては、主なもののみ算定する。
- 「抗酸菌同定」検査方法、培地数にかかわらず、1回のみ所定点数を算定する。「微生物核酸同定・定量検査」マイコバクテリウム・アビウムおよびイントラセルラー(MAC)核酸検出と併せて実施した場合は主なもののみ算定する。

容 器 (P120~126参照)		K-5 滅菌 スピッツ	K-6 採便容器	D-1 喀痰容器	D-2 シード スワブ	D-3 カルチャー ボトル	D-5 嫌気 ポーター	D-7 ヘリコバクテ ロリ培養	D-6 トリコモナス 培地	D-8 プロコート 採便管
		材 料								
喀痰	1~5mℓ									
咽頭 ぬぐい液	適量				○					
鼻腔 ぬぐい液	適量				○					
糞便	適量		○		○		○			○
胃液、胆汁	5~10mℓ	○								
尿	5~10mℓ	○							○	
膈分泌物	適量				○				○	
尿道分泌物	適量				○				○	
血液	各8~10mℓ					○				
髄液	1~5mℓ	○					○			
胸水、腹水、 関節液	5~10mℓ	○					○			
膿	適量	○			○		○			
皮膚、爪	適量	○								
耳漏	適量				○		○			
その他								胃生検		
検体採取時 保存方法		冷蔵	冷蔵	冷蔵	冷蔵	室温	冷蔵	冷蔵	室温	冷蔵
その他 注意事項		淋菌、髄膜炎菌検査は室温で保存して下さい。		淋菌、髄膜炎菌検査は室温で保存して下さい。	淋菌、髄膜炎菌検査は室温で保存して下さい。	通常、好気嫌気の2本1組で使用して下さい。		生検材料を太線部分まで挿入して下さい。	膈分泌物はそのまま、尿は遠心後の沈渣物を深部へ接種して下さい。	

# 102 病理学的検査(病理組織検査)

検査コード	検査項目	検査材料	実施料 判断料	容器	所要 日数	検査方法	備考
1001	病理組織 検査	1臓器	860 病	B-4 室	4~8 (7~12※ 備考参照)	HE染色 (その他必要に 応じて特殊染色)	標本作製と病理専門医による判定を含み ます。 検査報告書に病理組織学的診断および所見 を記入してご報告いたします。 なお、病理専門医による判定に用いた標本 も同封いたします。  ※切り出し・再固定・脱脂・脱灰等の処理、 または特殊染色を実施した際には、報告 日数が遅延する場合がありますので予め ご了承ください。
1002		2臓器	1720 病				
1003		3臓器	2580 病				
1004	標本作製	1臓器	ホルマリン 固定組織		3~6 (4~7※ 備考参照)	HE染色	HE染色標本作製のみで、病理専門医によ る判定は含まれません。  ※切り出し・再固定・脱脂・脱灰等の処理、 または特殊染色を実施した際には、報告 日数が遅延する場合がありますので予め ご了承ください。
1005		2臓器					
1006		3臓器					

## 病理組織顕微鏡検査（病理組織標本作製）

1臓器から多数のブロック、標本等を作製、検鏡した場合であっても1臓器の検査としています。  
リンパ節については所属リンパ節ごとに1臓器として数えます。  
以下のものはその区分ごとに1臓器としています。

ア：気管支及び肺臓 イ：食道 ウ：胃及び十二指腸 エ：小腸 オ：盲腸  
カ：上行結腸、横行結腸及び下行結腸 キ：S状結腸 ク：直腸 ケ：子宮体部及び子宮頸部

## 検体の提出

専用の病理組織検査依頼書を添えて提出してください。

## 標本の固定

固定は細胞の変性・融解などの変化を停止させる作業ですので、採取後直ちに固定する必要があります。  
10%中性緩衝ホルマリンの量は組織の10倍以上を目安とし、十分量を使用してください。  
(10%中性緩衝ホルマリンと容器はそれぞれ準備しております。)

なお、あらかじめホルマリンの入った専用容器も準備しておりますので用途に応じてご注文下さい。  
容器は各種準備しておりますが、OPE材料用の大型容器のご注文は採取2~3日前迄にお願いいたします。

## 依頼書および容器ラベルへの記入方法

病理組織検査は下記内容が重要な情報となりますので、記入漏れがないようにお願いいたします。

### ■依頼書

- 1) 病・医院名、患者氏名(カナ)、性別、生年月日(または年齢)、カルテID、検体容器数
- 2) 切除(採取)日、切除(採取)時間、切除部位、切除数、病変部性状、検査目的その他・希望事項
- 3) 臨床診断名、臨床経過、治療、臨床検査諸事項
- 4) 婦人科疾患、女性乳腺疾患などの場合月経、妊娠の状態等
- 5) 前回実施の病理組織標本No、前回実施の細胞診報告No
- 6) OPE材料などの大きな組織を提出される場合は切り出し部位の指示をお願いいたします。

### ■容器ラベル

- 1) 病・医院名、ID、患者名、性別、生年月日(または年齢)、採取日、検体番号など
- 2) 依頼書における採取部位Noとの照合のため、必ずラベルに採取部位No(1, 2, 3...)を記入してください。  
また、臓器名、切除数も記入してください。
- 3) 同姓同名の識別など、病理検体の取り違えを防ぐために、患者IDや生年月日などの項目の記入欄がある  
「病理組織固定用容器ラベル」を専用容器とともにお渡しします。



## 検査材料の採取・提出方法

提出容器は、口径が組織片の大きさより十分に大きいものを使用してください。

1 容器に 1 臓器を入れて提出してください。

検査材料中に絹糸・ガーゼ・金属片などがある場合はあらかじめ除去してください。

次の組織を提出される際は、下記の点にご注意ください。

組 織	注 意 点
消化管・胆嚢	薄い板に粘膜面を上にして虫ピンでとめ、粘膜面を下にして10%中性緩衝ホルマリン液に入れます。
肺	切り出した面の気管支断端から10%中性緩衝ホルマリン液を注入し、できるだけ肺泡をふくらませ空気を追い出したのちに組織を10%中性緩衝ホルマリン液に浸してください。
子宮頸部円錐切除材料	頸部円錐切除標本は原則として前壁正中線(12時の位置)で縦軸方向に切開し、粘膜面を十分伸展させ、板上に不錆糸でとめて10%中性緩衝ホルマリン液に固定してください。
子宮・乳房・腎	子宮や大きい臓器などでは、固定が不十分となることが多いので、あらかじめ断面を入れてから固定してください。
胃、腸などの パンチバイオプシー	微小組織片をご提出の際は濾紙等ご使用ください。 複数個ご提出の際は採取部位(各ナンバー)ごとに10%中性緩衝ホルマリン液を入れた容器に入れてください。
濾紙につける 場合	生検材料の水分をよく取りのぞき、濾紙の上に10秒程度のせたのちにそのまま10%中性緩衝ホルマリン液に入れてください。(組織を乾燥させないように十分注意してください。)

■病理標本作製に当たって、3 臓器以上の標本作製を行った場合は、3 臓器を限度として算定する。

■リンパ節については、所属リンパ節ごとに 1 臓器として数えるが、複数の所属リンパ節が 1 臓器について存在する場合は、当該複数の所属リンパ節を 1 臓器として数える。

■病理組織標本作製料について

1) 次に掲げるものは、各区分ごとに 1 臓器として算定する。

ア. 気管支及び肝臓    イ. 食道    ウ. 胃及び十二指腸    エ. 小腸    オ. 盲腸    カ. 上行結腸、横行結腸及び下行結腸  
キ. S状結腸    ク. 直腸    ケ. 子宮体部及び子宮頸部

2) 病理組織標本作製において、1 臓器から多数のブロック、標本等を作成した場合であっても、1 臓器の標本作製として算定する。

3) 病理組織標本作製において、悪性腫瘍がある臓器又はその疑いがある臓器から多数のブロックを作成し、又は連続切片標本作製した場合であっても、所定点数のみ算定する。

検査コード	検査項目	検査材料	実施料判断料	容器	所要日数	検査方法	備考
2001	細胞診 婦人科材料等直接塗抹法	子宮腔部 子宮頸部 体内膜 腔断端部 外陰部	150病	B-1 	3~7 (右記注)参照 ⑧	パバニコロウ染色	
2007	細胞診 婦人科材料等LBC法(Sure Path法)(液状化検体細胞診)	子宮腔部 子宮頸部 腔断端部	150+45病 *1	B-5-1 	4~8 (右記注)参照 ⑧	パバニコロウ染色	提出について 専用の細胞診検査依頼書を添えて提出してください。 細胞診検査は採取後できるだけ早く塗抹および固定を行うことが非常に重要となります。 固定の良否は細胞診判定内容を左右する重要な因子の一つです。 (固定、提出方法の詳細は下記・次頁参照)
2008	細胞診 婦人科材料等LBC法(Thin Prep法)(液状化検体細胞診)	子宮腔部 子宮頸部 腔断端部	150+45病 *1	B-5-2 	4~8 (右記注)参照 ⑧	パバニコロウ変染色	
細胞診	細胞診 その他(穿刺吸引細胞診、体腔洗浄等)	喀痰	190病	B-2 	3~7 (右記注)参照 ⑧	パバニコロウ染色 メイ・ギムザ染色 (その他必要に応じて特殊染色)	報告について 専用の細胞診検査報告書に判定、所見、細胞検査士名等を記入して報告いたします。 注) 細胞診専門医による判定が必要な場合、報告日数が遅延する場合がありますので予めご了承ください。  ※細胞診検査は病変全体を反映するものではなく、また必ずしも診断を確定するものではありません。 病理組織検査等の検査結果と併せて総合的にご判断ください。
		液状材料(尿、体腔液、胆汁、臍液、髄液、洗浄液等) *2		K-5 			
		擦過材料(気管支、消化管、胸・腹膜、乳頭等)		B-1 			
		針穿刺吸引材料(乳腺、甲状腺、肺、リンパ節、前立腺、睾丸、軟部腫瘍、肝等)		B-1 			
		捺印標本(各種固形腫瘍、リンパ節等)		B-1 			

## 標本の固定

固定は細胞の変性・融解などの変化を停止させる作業ですので、塗抹後直ちに固定する必要があります。

- 1) 湿固定(パバニコロウ染色・PAS染色など)  
塗抹したスライドガラスを95%エタノールに30分以上浸漬して固定して下さい。(5枚入りの専用容器を準備しております。)
- 2) 乾燥固定(ギムザ染色)  
塗抹後直ちに、塗抹面を扇風機や冷風ドライヤーなどで急速に乾燥させます。自然乾燥は乾燥むらを生じるので不適切です。

## 依頼書およびスライドガラスへの記入方法

細胞診検査は下記内容が重要な情報となりますので、記入漏れがないようにお願いいたします。

### ■依頼書

- 1) 病・医院名、患者氏名(カナ)、性別、生年月日(または年齢)、カルテID、検体の種類・個数
- 2) 検査材料、採取方法
- 3) 臨床診断、臨床経過、検査、治療、諸事項
- 4) 病変部の大きさ、性状
- 5) 婦人科材料や乳腺材料の場合月経、妊娠の状態、その他ホルモン治療等諸事項
- 6) 前回実施の細胞診報告No、前回実施の病理組織標本No
- 7) ご提出の検体本数およびスライドガラス枚数

### ■スライドガラス

- 1) すりガラス部に患者名を鉛筆で記入してください。  
注) ボールペン、サインペン等はエタノールによって消えてしまいますので、必ず鉛筆で記入してください。
- 2) 乾燥固定の場合は「乾燥」と記入してください。

\*1 細胞診(婦人科材料等によるもの)について、固定保存液に回収した検体から標本を作製して、診断を行った場合には、「婦人科材料等液状化検体細胞診加算」として、「45点」を所定点数に加算する。過去に穿刺し又は、採取し固定保存液に回収した検体から標本を作製し診断を行った場合には算定できない。採取と同時にを行った場合に算定できる。

\*2 細胞診(その他)「髄液」検体の場合は、「電話予約」にてお願いいたします。



## 検査材料の採取・塗抹・提出方法

### ○婦人科材料(直接塗抹法)

乾燥を防ぐため塗抹後直ちに湿固定してください。(図1)(図2)

### ○婦人科材料(LBC法)

採取器具の先端を乾燥しない様に素早く固定バイアル(専用容器B-5-1、B-5-2)

に入れてください。

子宮内膜検体は塗抹標本でご提出ください。

### ○喀痰

1日1回早朝痰を細胞診専用容器に採取します。

痰を出す前にうがいをして口腔内をきれいにしてから採取してください。

容器に病・医院名、患者名、ID他、痰の採取日を必ず記入してください。

唾液、鼻汁は検体不適正となります。

### ○液状材料

スピッツにできるだけ多く採取してください。

標本スライドを作製する場合

1500rpm、5分遠心後、沈渣をすり合わせ法(図3)または引きガラス法(図4)にて塗抹してください。

血性検体の場合は有核成分が多いバフィーコート部分を塗抹してください。(図5)

### ○擦過材料

ブラシ・綿棒等により病巣を擦過しスライドガラスに塗抹してください。

擦過物は非常に乾燥しやすいので塗抹固定を迅速に行ってください。(5枚入りの専用容器を準備しております。)

### ○針穿刺吸引材料

穿刺針内に吸引された材料をスライドガラス中央に静かに吹きだし塗抹します。

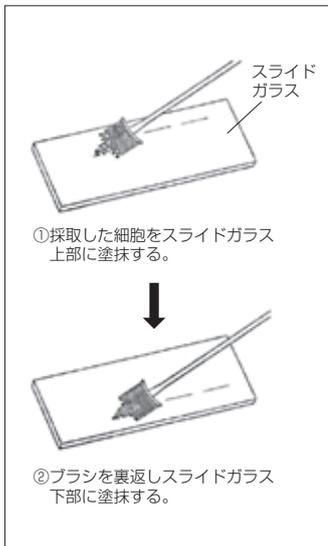
検体量が微量な場合はもう1枚のスライドガラスを合わせてから引き離し、2枚作成してください。(すり合わせ法)

検体量が多めにある場合は引きガラス法で塗抹するかスピッツに入れて提出してください。

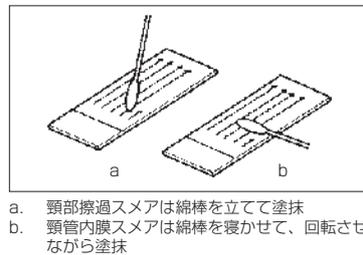
(スピッツの場合は冷蔵保存)

穿刺吸引材料はメイ・ギムザ染色を必要とする場合もございますので、併せて乾燥固定標本を提出してください。

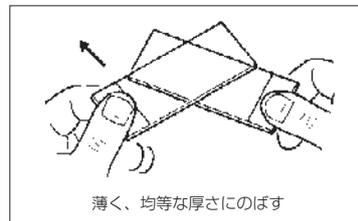
ブラシによる塗抹(図1)



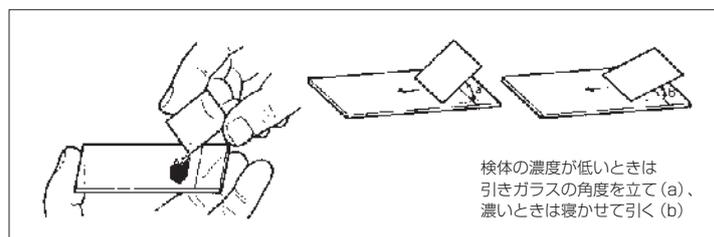
綿棒による塗抹(図2)



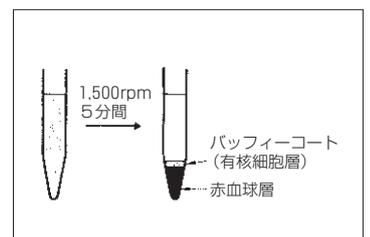
すり合わせ法による塗抹(図3)



引きガラス法による塗抹(図4)



液状検体の処理法(図5)



## ○捺印標本

メス等で切った新しい組織断面にスライドガラスを軽く捺印し、直ちに湿固定して提出してください。  
(5枚入りの専用容器を準備しております。)

捺印材料はメイ・ギムザ染色を必要とする場合もございますので、併せて乾燥固定標本を提出してください。

## 細胞診判定

《婦人科材料等》

○外陰部、膣壁、子宮腔部、頸部、膣断端部

《ベセスダシステム》

※ベセスダシステムにおける標本の適正・不適正の評価について

【検体適正】……保存状態が良く、鮮明に見える扁平上皮細胞が直接塗抹法では8,000~12,000個、LBC法の場合は5,000個以上を目安とします。

【検体不適正】…評価可能な扁平上皮細胞数が非常に少ない場合、多数の炎症細胞によって覆われている場合、過度な乾燥によってアーチファクトが著名な場合などが該当します。

結果	略語	推定病変	指 針	
検体不適正	—	—		
検 体 適 正	陰性	NILM	非腫瘍性所見, 炎症	次回の定期検診を
	意義不明な 異型扁平上皮細胞	ASC-US	軽度扁平上皮内病変疑い	要精密検査 HPV検査または細胞診(6ヵ月後)が必要
	HSILを除外できない 異型扁平上皮細胞	ASC-H	高度扁平上皮内病変疑い	要精密検査 (コルポ、生検)
	軽度扁平上皮内病変	LSIL	HPV感染 軽度異形成	
	高度扁平上皮内病変	HSIL	中等度異形成 高度異形成 上皮内癌	
	扁平上皮癌	SCC	扁平上皮癌	要精密検査 (コルポ、生検、頸管および内膜細胞診または組織診)
	異型腺細胞	AGC	腺異型または腺癌疑い	
	上皮内腺癌	AIS	上皮内腺癌	
	腺癌	Adenocarcinoma	腺癌	
	その他の悪性腫瘍	Other malig	その他の悪性腫瘍	要精密検査(病変検索)

(ベセスダシステム、細胞診ガイドライン2015に準拠します)

## ○子宮内膜

陰性・疑陽性・陽性・判定不可

※クラス分類は行っていません。

《穿刺吸引細胞診、体腔洗浄液等》

○その他の材料、呼吸器(気管支擦過・洗浄液、肺穿刺吸引)

判定	推 定 組 織 像
陰性	異型または異常細胞を認めない 異型または異常細胞を認めるが悪性の疑いが無いもの
疑陽性	悪性の疑いのある異型細胞を認めるが悪性と断定できない
陽性	悪性細胞と判断しうるが、比較的悪性の特徴に乏しくかつ少数である 明らかな悪性細胞を多数認める

※クラス分類は行っていません。

## ○呼吸器(喀痰)

判定区分	細 胞 所 見	指 導 区 分	3分類併記
A	喀痰中に組織球を認めない	材料不適、再検査	材料不適
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 線毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない 次回定期検査	陰性
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	再塗抹または6ヵ月以内の再検査	
D	高度(境界)異型扁平上皮細胞または悪性腫瘍が疑われる細胞を認める	直ちに精密検査	疑陽性
E	悪性腫瘍細胞を認める		陽性

(肺がん検診における喀痰細胞診の判定基準と指導区分(2016改訂)、肺癌取り扱い規約第8版に準拠します)

## ○泌尿器

判定区分		細胞所見	3分類併記
不適正		細胞診断ができない。	陰性
適正	陰性	良性と考えられる細胞のみからなり、悪性を示唆する細胞がみられない。	
	異型細胞	異型細胞が出現しているが悪性疑い以上に診断できず、かつ、陰性とも判断できない。	疑陽性
	悪性疑い	悪性が疑われる細胞が出現しているが、異型の程度、出現細胞数や細胞変性(形態不良)等により悪性と断定できない。	
	悪性	悪性細胞を認める。	陽性

(泌尿器細胞診報告様式2015、細胞診ガイドライン2015に準拠します)

## ○体腔液

判定	3分類併記	
検体不適正	材料不適・判定不能	
検体適正	正常あるいは良性	陰性
	鑑別困難	疑陽性
	悪性の疑い	
	悪性	陽性

(細胞診ガイドライン2015に準拠します)

## ○乳腺

判定	細胞所見	3分類併記	
検体不適正	標本作製不良(乾燥、固定不良、細胞挫滅・破壊、末梢血混入、厚い標本)、または病変を推定するに足る細胞が採取されていないため、診断が著しく困難な標本を指す。 不適正とした標本はその理由を明記する。	材料不適 判定不能	
検体適正	正常あるいは良性	正常乳管上皮および乳管内乳頭腫、乳腺症、線維腺腫、葉状腫瘍(良性)、嚢胞、乳腺炎、脂肪壊死などが本区分に含まれる。	陰性
	鑑別困難	細胞学的に良・悪性の判定が困難な病変を指す。 乳頭状病変(乳管内乳頭腫、乳頭癌)、上皮増生病変(乳管過形成、異型乳管過形成、低異型度乳癌;篩状型など)、上皮結合組織増生病変(境界悪性葉状腫瘍、一部の乳腺症型線維腺腫)など良・悪性判定が困難な細胞群が本区分に含まれる。	疑陽性
	悪性の疑い	主として異型の少ない非浸潤癌や小葉癌などが本区分に含まれる。	
	悪性	乳癌、非上皮性悪性腫瘍などが本区分に含まれる。	陽性

(乳癌取り扱い規約 第18版、細胞診ガイドライン2015に準拠します)

## ○甲状腺

判定区分	所見	標本・疾患	3分類併記
検体不適正	細胞診断ができない	標本作製不良(乾燥、変性、固定不良、末梢血混入、塗抹不良など)病変を推定するに足る細胞あるいは成分(10個程度の濾胞上皮細胞からなる集塊が6個以上、豊富なコロイド、異型細胞、炎症細胞など)がない。	材料不適 判定不能
検体適正	嚢胞液	嚢胞液で、コロイドや濾胞上皮細胞を含まない	陰性
	良性	悪性細胞を認めない	
	意義不明	良性・悪性の鑑別が困難、他の区分に該当しない、診断に苦慮する	疑陽性
	濾胞性腫瘍	濾胞腺腫または濾胞癌が推定される、あるいは疑われる	
	悪性の疑い	悪性と思われる細胞が少数または所見が不十分なため、悪性と断定できない	
	悪性	悪性細胞を認める	

(甲状腺癌取り扱い規約 第8版、細胞診ガイドライン2015に準拠します)

# 108 細胞性免疫検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考	
9097	T細胞百分率	血液 3.0 G-16 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span>	193 免	4~7 s	T 66~89 B 4~13 %	フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。	
	B細胞百分率							
	IgG-FcR <sup>+</sup> ・ T細胞百分率	血液 1.0 G-16 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span>	193 免	4~7 s	2~23 %	フローサイト メトリー		
4381	B細胞 表面免疫 グロブリン (Sm-Ig)	血液 各1.0 G-16 (3項目以上依頼 の場合は3.0mL)	155 免	4~7 s	1~3 %	フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。	
4382								IgA
4383								IgM
4384								IgD
4385								κ
4386								λ
細胞表面マーカー	モノクローナル抗体 によるリンパ球表面 マーカーの自動解析	血液 各3.0 G-16 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span>		4~7 s		フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。	
	Two-color解析に よるリンパ球表面 マーカー検査							Two-color フローサイト メトリー
4545	白血病・リンパ腫 解析検査 (LLA) CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髓液 1.0 G-27 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">冷</span>	1940 血	4~7 s		フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。	
		血液 5.0 G-16 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span>						
	悪性リンパ腫 解析検査 (MLA) CD45ゲーティング (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm 備考参照 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">冷</span>	1940 血	4~7 s		フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。 実施項目は下記をご参照ください。 リンパ節の提出容器は専用です。提出の 際にはご用意いたしますので学術インフォ メーションまでご連絡ください。	
		血液 5.0 G-16 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span>						
	多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	骨髓液 1.0 G-27 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">冷</span>	1940 血	4~7 s		フローサイト メトリー		
	悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析 (造血器悪性腫瘍細胞検査)	リンパ節 5×5×5mm 備考参照 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">冷</span>	1940 血	4~7 s		フローサイト メトリー	受託可能日は月~金曜日です。 祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出し てください。 実施項目は下記をご参照ください。 末梢血、骨髓液は避けてください。 リンパ節の提出容器は専用です。提出の 際にはご用意いたしますので学術インフォ メーションまでご連絡ください。	

## ■造血器悪性腫瘍細胞検査について

- (1) モノクローナル抗体を用いて白血病細胞又は悪性リンパ腫細胞の表面抗原又は細胞内抗原の検索を実施して病型分類を行った場合に算定できる。
- (2) 対象疾病は白血病、悪性リンパ腫等である。
- (3) 検査に用いられるモノクローナル抗体は、医薬品として承認されたものであり、検査に当たって用いたモノクローナル抗体の種類、回数にかかわらず、一連として所定点数を算定する。

## 白血病・リンパ腫解析検査 (LLA) ・悪性リンパ腫解析検査 (MLA) ・CD38マルチ解析 ・7AAD解析

	モノクローナル抗体
LLA	CD1a CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD13 CD14 CD19 CD20 CD33 CD34 CD41 CD56 GP-A HLA-DR
MLA	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD11c CD16 CD19 CD20 CD23 CD25 CD30 CD34 CD56 κ-chain λ-chain
CD38	CD7 CD19 CD20 CD33 CD45 CD49e CD54 CD56 CD138 MPC-1 cy κ-chain cy λ-chain
7AAD	CD2 CD3 CD4 CD5 CD7 CD8 CD10 CD19 CD20 CD25 CD30 CD34 CD38 CD45 CD56 IgM κ-chain λ-chain



モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析実施項目一覧

CD : Cluster of differentiation

CD No	基準値 (単位)	実施料 判断料	主として反応する細胞・代表的な反応性
CD1a	1.0以下 (%)		胸腺皮質細胞
CD2	71.0~91.0 (%)	185 免	汎T細胞・Eロゼット形成細胞
CD3	58.0~84.0 (%)		成熟(末梢)T細胞
CD4	25.0~54.0 (%)		インデューサー/ヘルパーT細胞
CD8	23.0~56.0 (%)		サブレッサー/細胞障害性T細胞
CD4/CD8比	0.40~2.30		
CD5	60.0~90.0 (%)		汎T細胞・一部のB細胞
CD7	72.0~90.0 (%)		汎T細胞
CD10	1.0以下 (%)		common-ALL・好中球
CD11b	18.0~49.0 (%)		NK細胞・サブレッサーT細胞の一部
CD13	9.0以下 (%)		単球・顆粒球・骨髄細胞
CD14	5.0以下 (%)		単球
CD16	6.0~39.0 (%)		NK細胞 (Fcγレセプター)
CD19	5.0~24.0 (%)		汎B細胞
CD20	3.0~20.0 (%)		汎B細胞
CD21	3.0~18.0 (%)		C3d/EBVレセプター・成熟B細胞
CD22	2.0~17.0 (%)		成熟B細胞
CD25	8.0~34.0 (%)		IL-2レセプター/p55Tac
CD30	1.0以下 (%)		活性化T・B細胞・ホジキン細胞
CD33	5.0以下 (%)		未熟顆粒球・APL・AML
CD34	1.0以下 (%)		骨髄幹細胞・B前駆細胞
CD38	18.0~59.0 (%)		活性化および増殖細胞
CD56	9.0~43.0 (%)		neural cell adhesion molecule (NCAM)、NK細胞・LAK細胞
CD57	4.0~45.0 (%)		NK細胞・サブレッサーT細胞の一部
HLA-DR	11.0~46.0 (%)		B細胞・活性化T細胞 (HLA-DR抗原)

Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査

検査項目	基準値	実施料 判断料
Two-color CD4/CD45RA	CD4(-)CD45RA(+) 30.0~57.0 CD4(-)CD45RA(-) 5.0~23.0 CD4(+)CD45RA(-) 15.0~34.0 CD4(+)CD45RA(+) 9.0~37.0	185 免
Two-color CD4/CD29	CD4(-)CD29(+) 22.0~59.0 CD4(-)CD29(-) 12.0~38.0 CD4(+)CD29(-) 9.0~34.0 CD4(+)CD29(+) 11.0~26.0	
Two-color CD11b/CD8	CD11b(-)CD8(+) 11.0~40.0 CD11b(-)CD8(-) 29.0~64.0 CD11b(+)CD8(-) 8.0~32.0 CD11b(+)CD8(+) 6.0~27.0 CD8/BRIGHT 20.0以下 CD8/DULL 3.0~17.0	
Two-color HLA-DR/CD4	HLA-DR(-)CD4(+) 22.0~51.0 HLA-DR(-)CD4(-) 24.0~61.0 HLA-DR(+)CD4(-) 8.0~37.0 HLA-DR(+)CD4(+) 1.0~12.0	
Two-color HLA-DR/CD8	HLA-DR(-)CD8(+) 15.0~49.0 HLA-DR(-)CD8(-) 28.0~62.0 HLA-DR(+)CD8(-) 6.0~25.0 HLA-DR(+)CD8(+) 2.0~27.0	
Two-color CD57/CD16	CD57(-)CD16(+) 1.0~15.0 CD57(-)CD16(-) 49.0~87.0 CD57(+)CD16(-) 2.0~40.0 CD57(+)CD16(+) 2.0~27.0	

検査項目	基準値	実施料 判断料
Two-color CD16/CD56	CD16(-)CD56(+) 2.0~20.0 CD16(-)CD56(-) 57.0~91.0 CD16(+)CD56(-) 9.0以下 CD16(+)CD56(+) 4.0~33.0	185 免
Two-color CD45RO/CD4	CD45RO(-)CD4(+) 6.0~34.0 CD45RO(-)CD4(-) 28.0~58.0 CD45RO(+)CD4(-) 7.0~32.0 CD45RO(+)CD4(+) 10.0~32.0	
Two-color CD4/CD8	CD4(-)CD8(+) 22.0~54.0 CD4(-)CD8(-) 14.0~38.0 CD4(+)CD8(-) 23.0~52.0 CD4(+)CD8(+) 7.0以下 CD4/CD8比 0.40~2.30	
Two-color HLA-DR/CD3	HLA-DR(-)CD3(+) 33.0~75.0 HLA-DR(-)CD3(-) 7.0~36.0 HLA-DR(+)CD3(-) 3.0~18.0 HLA-DR(+)CD3(+) 5.0~33.0	
Two-color CD4/CD25	CD4(-)CD25(+) 2.0~14.0 CD4(-)CD25(-) 37.0~69.0 CD4(+)CD25(-) 15.0~39.0 CD4(+)CD25(+) 6.0~21.0	
Two-color CD20/CD5	CD20(-)CD5(+) 54.0~87.0 CD20(-)CD5(-) 9.0~40.0 CD20(+)CD5(-) 9.0以下 CD20(+)CD5(+) 13.0以下	

# 110 細胞性免疫検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
細胞機能検査	4363 PHAによるリンパ球幼若化検査	血液 各5.0 G-16 (同時依頼の場合は8.0mL)	※1 ※2	8~10	PHA+ 20500~56800 CONTROL 127~456 (cpm)	<sup>3</sup> H-サイミン 取り込み能	受託可能日は月~金曜日です。祝前日は不可。当日の午前中に採取し、昼集配で提出してください。
	4365 Con-Aによるリンパ球幼若化検査			s	Con-A+ 20300~65700 CONTROL 127~456 (cpm)		
	4371 薬剤によるリンパ球刺激試験 (DLST)	1薬剤あたり 血液 12.0 G-16	※1 ※2	9~12	陰性	<sup>3</sup> H-サイミン 取り込み能	受託可能日は月~金曜日です。祝前日は不可。1薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。血液と同時に依頼薬剤もご提出ください。(原則として皮内反応注射薬は検査できません。)ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合はすべての採血管にG-11 (NK活性用容器)の容器を使用してください。当日の午前中に採取し、昼集配で提出してください。
	4456 NK細胞活性	血液 5.0 G-11		4~7	18~40 (参考値) %		

※ 1 薬疹の原因と考えられる医薬品を用いて実施した場合算定できる。(リンパ球刺激試験 (LST) 1 薬剤 345 2 薬剤 425 3 薬剤以上 515)  
 ※ 2 リンパ球刺激試験 (LST) は、Con-A、PHA又は薬疹の被疑医薬品によるものである。

## 細胞性免疫検査のご依頼について

1. 検体は当日の午前中に採取し、昼集配で提出してください。
2. リンパ球が少ない場合は多めに採血してください。
3. 骨髓液でのご依頼の場合は、専用容器 (G-27) を使用し冷蔵にてご提出ください。ただしCD34定量は保存液により希釈されると正しい検査結果が得られないため、専用容器 (G-16) をご使用ください。
4. リンパ節等、組織でのご依頼の場合は、専用容器に浮遊させ冷蔵にてご提出ください。
5. 本検査方法では、コンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。

## 薬剤によるリンパ球刺激試験 (DLST) の検体について

1. 1 薬剤増ごとに血液5.0mL必要となります。
2. 1 薬剤で500万個のリンパ球が必要となります。場合により検査に必要なリンパ球数が得られず、検査不能となる場合があります。
3. 目安として白血球数が $3,000\text{mm}^3$ 以下の場合は倍量程度を採血しご提出ください。なお、詳しい白血球数とリンパ球%が判明している場合は、お問い合わせください。
4. 2 項目以上ご依頼の場合は、必ず優先順位をご指示ください。
5. 血液と同時にご依頼薬剤もご提出ください。  
錠剤 (1 錠)、カプセル (1 カプセル)、粉末 (1 回投与量程度 1 包)、リキッドタイプの飲み薬 (0.5mL程度)、注射薬 (1 バイアル【アンブル】) 皮内反応用テストアンブルは微量のため検査できません。その他の薬剤以外で検査をご依頼の場合は、ご連絡ください。
6. ヘパリンが起因薬剤と疑われる場合は専用容器 (G-11) に採血しご提出ください。
7. 「麻薬及び向精神薬取締法」第一章第二条および「覚せい剤取締法」第三章および別表に掲げられている規制対象薬剤の受領はできません。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
5253	G-Banding	血液 各3.0 G-16 冷	2477 + 397* 遺・染	8~19		G-band	受託可能日は月～金曜日です。祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出してください。 その他の染色体検査については学術インフォメーションにお問い合わせください。 専用の依頼書に年齢、性別、所見を必ず記入してください。 血液疾患染色体において病的細胞の出現がみられない場合（幼若細胞の認められない末梢血液、寛解期及び細胞増殖抑制効果のある薬剤の使用中等）は検査不能となることがあります。
	Q-Banding			22~26		Q-band	
	C-Banding					C-band	
	高精度分染法			高精度分染法			
	血液疾患 G-Banding	血液 5.0 G-16 又は 骨髄液 1.0 G-27 冷	2477 + 397* 遺・染	10~18		G-band	
9082	MajorBCR-ABL 高感度IS%	血液 7.0 S-3 冷	2520 遺・染	5~9	IS (%) BCR-ABL実測値 (コピー/テスト) ABL実測値 (コピー/テスト)	リアルタイム RT-PCR法	受託可能日は月～金曜日です。祝前日は不可。 専用容器に血液7mL採取し、直ちに十分混和し、冷蔵にて昼集配で提出してください。
9084	NUDT15遺伝子コドン 139多型解析	血液 2.0 K-1 冷	2100 遺・染	4~14		リアルタイム PCR法	NUDT15遺伝子のコドン139がコードする塩基配列を検出し3種類のアミノ酸(アルギニン、システイン、ヒスチジン)に変換して報告いたします。単独検体で提出してください。 報告形式: ARG/ARG,ARG/CYS,ARG/HIS, CYS/CYS,CYS/HIS, HIS/HIS
HLA	HLA-A,B (血清対応型タイピング)	血液 3.0 S-3 冷		4~7		PCR-rSSO 法	受託可能日は月～金曜日です。祝前日は不可。 当日の午前中に採取し、昼集配で提出してください。 続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記してください。 HLA検査2項目以上同時依頼の場合は血液5.0mLで検査可能です。 本検査方法ではコンタミネーションの影響が大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。
	HLA-DR (血清対応型タイピング)	血液 3.0 S-3 冷		4~7		PCR-rSSO 法	
	HLA-A (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法	
	HLA-B (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法	
	HLA-C (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法	
	HLA-DPB1 (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法	
	HLA-DRB1 (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法	
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	血液 3.0 S-3 冷		7~9		PCR-SBT 法		

\*分染法を行った場合は397点加算となり、種類・方法にかかわらず1回の算定とする。

- [Major BCR-ABL IS%] Major BCR-ABL1 mRNA定量 (国際標準値) 本検査は、「診断の補助に用いるもの」と「モニタリングに用いるもの」の両方に該当する。
- [Major BCR-ABL IS%] Major BCR-ABL1 mRNA定量 (国際標準値) は、慢性骨髄性白血病の診断補助及び治療効果のモニタリングを目的として、リアルタイムRT-PCR法により測定した場合に限り算定できる。
- [NUDT15遺伝子コドン139多型解析] 難治性の炎症性腸疾患、急性リンパ性白血病、治療抵抗性のリウマチ性疾患〔全身性血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、結節性多発動脈炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、高安動脈炎等）、全身性エリテマトーデス（SLE）、多発性筋炎、皮膚筋炎、強皮症、混合性結合組織病及び難治性リウマチ性疾患）、自己免疫性肝炎の患者であって、チオプリン製剤の投与対象となる患者に対して、その投与の可否、投与量等を判断することを目的として、リアルタイムPCR法により測定を行った場合に、当該薬剤の投与を開始するまでの間に1回を限度として算定する。

# 112 細胞性免疫検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
その他 4485	クオンティーフェロンプラス (QFT-Plus) (TB IFN- $\gamma$ 産生能) (インターフェロン $\gamma$ 遊離試験)	血液 各1.0 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">室</span> G-17 (4種/検)	593 免	4~7  B	陰性 判定基準参照	EIA	予約検査。 受託可能日は月~金曜日(祝日除く)です。 午前9時~12時に採血し、クオンティーフェロンの検査があることを電話にて12時までにお知らせをいただき、昼集配で提出ください。 次頁参照

■QFT-Plus (結核菌特異的インターフェロン- $\gamma$ 産生能) は、診察又は画像診断等により、結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

## 《報告対象項目》

- ・判定 = (-)、(+)、判定不可
- ・TB1抗原 = (TB1チューブのIFN- $\gamma$ 濃度) - (NilチューブのIFN- $\gamma$ 濃度) (IU/mL)
- ・TB2抗原 = (TB2チューブのIFN- $\gamma$ 濃度) - (NilチューブのIFN- $\gamma$ 濃度) (IU/mL)
- ・MITOGEN = (MitogenチューブのIFN- $\gamma$ 濃度) - (NilチューブのIFN- $\gamma$ 濃度) (IU/mL)
- ・NIL = NilチューブのIFN- $\gamma$ 濃度 (IU/mL)

## 《項目の意義》

- ・TB1抗原・TB2抗原：結核菌特異抗原の感作を受け、分泌されたIFN- $\gamma$ 量
- ・MITOGEN：非特異物質 (PHA) によるTリンパ球の免疫応答性を確認 (陽性対照)
- ・NIL：被検者の血中IFN- $\gamma$ 量 (陰性対照)



## クオンティーフェロンプラス (QFT-Plus) 判定基準

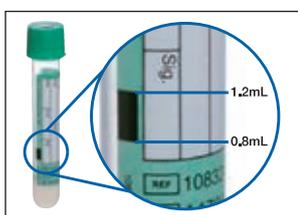
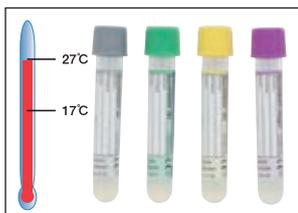
Nil値 (IU/mL)	TB1値 (IU/mL)	TB2値 (IU/mL)	Mitogen値 (IU/mL)	結果	解釈
8.0以下	0.35以上かつ Nil値の25%以上	不問	不問	陽性	結核感染を疑う
	不問	0.35以上かつ Nil値の25%以上	不問	陽性	結核感染を疑う
	0.35未満、あるいは 0.35以上かつNil値の25%未満		0.5以上	陰性	結核感染していない
	0.35未満、あるいは 0.35以上かつNil値の25%未満		0.5未満	判定不可	結核感染の有無について 判定できない
8.0を超える		不問		判定不可	結核感染の有無について 判定できない

## クオンティーフェロンプラス (QFT-Plus) の採血方法

### 採血管の保管

採血管は4~25℃で保存してください。

### 採血手順



- ①患者様1人につき4種類の採血管(灰、緑、黄、紫)を準備してください。
- ②採血管は17~27℃(室温)になってから使用してください。  
(注)・温度により圧力が変化し、採血管の内容物が患者様に逆流する恐れがあります。また、採血時の温度が高い場合、採血管の分離剤が軟化し、分離剤の成分と血液が混ざり誤った結果となる恐れがあります。  
・採血管のゲル部分を手で握るなどして温めないでください。
- ③採血は特定の順序で行う必要はありませんが、通常はNil(灰)、TB1(緑)、TB2(黄)、Mitogen(紫)の順で行います。
- ④採血量は各採血管に1mLで、黒い印の範囲にお願いします。  
(注)採血量が黒い印の範囲(0.8~1.2mL)であれば、検査結果に影響はありませんが、この範囲を外れた場合は再採血してください。

## 採血方法ならびに諸注意

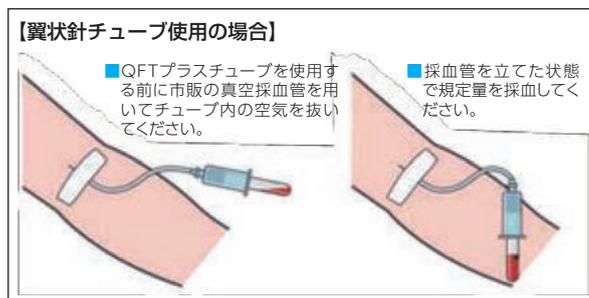
シリンジまたは翼状針にて採血してください。

ホルダーは使用しないでください。採血管が斜めになり、適切な採血量で止めるタイミングが計りづらく、採血量が過剰あるいは過少になる可能性があります。



## ◆シリンジを使用する場合

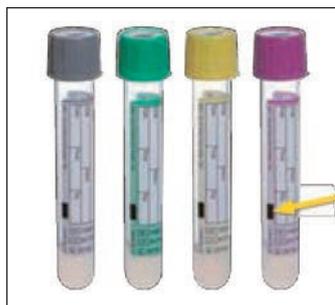
- ①シリンジにて **5 mL以上採血** します。
- ②針刺し事故および血液凝固に十分注意し、**注射針とゴム栓を外して** 泡立ないように採血管ラベルの黒い印の範囲まで血液を分注します。
- ③分注後、同じゴム栓をQFTプラスチューブに再装着します。



## ◆翼状針を使用する場合

- ①採血管を使用する前に **市販の真空採血管を用いてチューブ内の空気を抜きます。**
- ②チューブ内が血液で満たされていることを確認します。
- ③採血管を立てた状態にし、黒い印の範囲まで採血されたときに採血管をはずします。  
(注) 採血管の位置が上下に動かないようにしてください。採血管内圧と静脈圧の関係から採血管内の内容物が逆流する可能性があります。

## 採血後の攪拌と確認

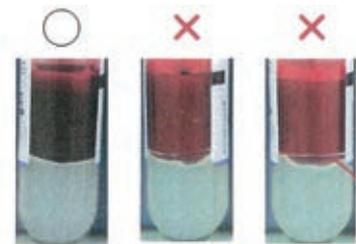


- ①採血管ラベルの**黒い印内に血液が採取されたことを確認してください。**

黒い印



- ②すみやかに各採血管を**上下に5秒間又は10回振って混合**してください。  
(注) 強く振りすぎると分離剤の成分が血液と混ざり、誤った結果になることがあります。



- ③採血管の内表面全体が血液で覆われていることを確認してください。

分離剤が剥離した痕

## 採血後の検体保存

採血後の血液検体は**17～27℃で保存**してください。

- (注) ・血液検体は冷蔵・冷凍保存を行わないでください。  
・検査依頼書には必ず採血時間を記載してください。

# 114 細胞性免疫検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
その他 4706	T-SPOT・TB (インターフェロンγ遊離試験) (IGRA)	血液 9.0 G-28 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">室</span>	593 免	4~6 L	陰性	ELISPOT	予約検査。 受託可能日は月~土曜日です。 午前7時~12時に採血し、「TSPOT-TB」 の検査があることを電話にて12時までにお知 らせをいただき、昼集配で提出ください。 健診等でまとまった数の検体を希望される 場合は、予めご連絡下さい。

## 【報告対象項目】

- ・判定：陰性、陽性、(判定保留)、判定不可能
- ・EAST-6 (パネルA抗原)：(パネルAウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)
- ・CEP10 (パネルB抗原)：(パネルBウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)

(注) パネルA抗原、パネルB抗原についてはNILを減じた検査結果です。

パネルA抗原、パネルB抗原の最大値が5~7となった場合は陰性または陽性と判断されますが、「判定保留」と考えられるため再検査が推奨されています。

## 【項目の意義】

- ・パネルA抗原：結核菌特異抗原 (ESAT-6) の感作を受け、IFNγを遊離したT細胞数
- ・パネルB抗原：結核菌特異抗原 (CFP-10) の感作を受け、IFNγを遊離したT細胞数
- ・陰性コントロール：被験者の血中で無刺激の状態IFNγを遊離したT細胞数を確認
- ・陽性コントロール：非特異物質 (PHA) によるT細胞の免疫応答性を確認

## 【判定基準】

1. 以下の計算式を用いて、①及び②を算出する。

① (パネルA抗原) = (パネルAウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)

② (パネルB抗原) = (パネルBウェルのスポット数) - (陰性コントロールウェルのスポット数)

2. 1で得られた①及び②の数値を用いて、以下の判定基準に従い結果を判定する。

・陽性：①及び②の双方、或いは、①、②のいずれか一方が6スポット以上の場合。

・陰性：①、②の双方が5スポット以下の場合。

ただし、以下の場合には「判定不可能」と判定し、再度血液を採取して検査を行うこと。

・陰性コントロールウェルのスポット数が10を超える場合。

・陽性コントロールウェルのスポット数が20未満となる場合。

ただし、一部の患者のT細胞はPHA溶液に十分な反応性を示さず、陽性コントロールウェルのスポット数が20未満となることがある。そのため、①又は②のどちらかが陽性結果を示した場合は、陽性コントロールウェルのスポット数に関わらず「陽性」と判定する。



## 【判定上の注意】

・「判定基準」の手順に従い、①及び②を算出した際、双方のスポット数の最大値が5~7になった場合、検査結果は「判定保留」と考えられる。このような場合、「陽性」または「陰性」の判定は、検査結果としては有効であるが、数値が8以上となった場合、或いは、数値が5未満となった場合と比較して、結果の信頼性がやや低下する可能性がある。このような結果となった場合、再度血液を採取して検査を行うことが推奨される。

・再検査の結果が再び「判定保留」となった場合、他の診断方法を用いるか、又は、臨床的・医学的症状や患者背景を考慮の上、医師の判断のもとで結核菌感染の状況を総合的に診断すること。

・T-SPOTで用いられる結核菌特異抗原、ESAT-6及びCFP-10は、BCGワクチンやほとんどの環境中に存在する抗酸菌には含まれないため特異性が高いが、M.kansasii、M.szulgai、M.marinum、M.gordanaeによる感染では陽性結果を示すことがある。これらの感染が疑われる場合には、他の診断方法を使用すること。

・T-SPOTの陽性結果のみによって結核菌感染が確定されるものではないため、他の検査結果も確認し、総合的に判断すること。

・T-SPOTの陰性結果は、M.tuberculosisへの感染を否定するものではない。本品により陰性反応が出た場合であっても結核患者との接触が否定できない場合は、6週間以内に再検査を行うか、臨床症状等と照らし合わせて感染の可能性がないかどうか検討を行う。

※「判定基準」、「判定上の注意」は試薬添付書より引用 (一部改変)

## 【判定保留の取扱い】

試薬添付書には判定基準に「判定保留」の記載はありませんが、【判定上の注意】としてパネルA又はパネルBのスポット数により「判定保留と考える」とありますので、その内容に従い「判定保留」として報告致します (判定基準に従った判定結果はコメントとして併記します)。

陰性 コントロール	陽性 コントロール	パネル抗原 の最大値	判定結果	備考
10以下	20以上	4以下	陰性	結核感染していない
		5	陰性+判定保留	再検査を推奨*
	不問	6~7	陽性+判定保留	
11以上	不問	8以上	陽性	結核感染を疑う
		不問	判定不可能	再検査が必要*
10以下	20未満	5以下		

■「TSPOT・TB (結核菌特異的インターフェロンγ産生能)」診察、又は画像診断等により、結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
9815	消化器がん マイクロアレイ血液検査	血液 各2.5 G-33 (2本) <span style="color: blue;">冷</span>		28~30	陰性	マイクロアレイ法	下記をご参照ください。

特殊検査

## 消化器がんマイクロアレイ血液検査

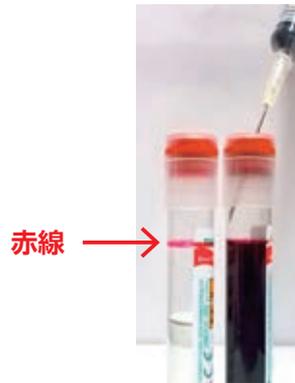
体内でがん細胞を攻撃する際に生じる血液中の遺伝物質(メッセンジャーRNA)の反応パターンを解析することで、現時点での消化器がんの有無の可能性を確認する検査です。胃がん、大腸がん、膵臓がん、胆道がんの4疾患が対象です。

### 採血前の準備

- ①初めてご依頼の際は、当社営業担当にご相談ください。(委託先の株式会社KUBIXへ事前登録が必要となります。)
- ②予約検査です。採血実施日の1週間前までにご連絡ください。  
土曜、日曜、祝日、祝前日は受託不可です。午前中に採血し、昼集配で提出してください。
- ③専用容器(G-33)と専用依頼書をお届けします。容器は冷蔵(4~25℃)で保管してください。
- 下記の場合は検査をお勧めしません。  
妊娠中、ウイルス性肝炎、肝硬変、がんの既往や治療中
- 検査結果に影響を与える疾患等
  - ①良性腫瘍(胃腺腫、大腸ポリープ、胆嚢ポリープ、子宮筋腫など)
  - ②慢性的な炎症(慢性膵炎、萎縮性胃炎など)
  - ③自己免疫疾患(潰瘍性大腸炎、SLEなど)
  - ④肝嚢胞、腎嚢胞、胆嚢腺筋腫症など
- 検査結果に影響を及ぼす薬剤  
副腎皮質ホルモン、免疫抑制剤、抗がん剤、生物学的製剤(インターフェロン、ワクチン、血液製剤、インフリキシマブ...)など

### 採血方法

- ①採血管は室温(18~25℃)に戻してから使用してください。
- ②シリンジにて5ml以上、採血します。
- ③1本につき2.5mlの血液を2本の採血管へ分注してください。(赤線まで)  
※採血量が5mlに満たない場合は、必ず1本には2.5mlを分注してください。  
※針先が内容物に触れないよう注意してください。
- ④8~10回程度、ゆっくりと転倒混和してください。
- ⑤2時間、室温で静置後、4℃の冷蔵庫で保管してください。
- ⑥専用依頼書と検体を、冷蔵にて昼集配で提出してください。



注入前 2.5ml注入



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
リスク検査	男性AIRS (8種) { 男性AICS (5種) 男性AILS (3種)	血液 5.0 S-3  ↓ 遠心 血漿 0.5 K-5 		10~14 s		LC/MS法	初めてご依頼の際は、当社営業担当にご相談ください。 予約検査。日曜祝日不可。 受診日前日の午後5時まで電話にて予約ください。 検体取扱い方法はP117をご参照ください。 「検査前のご注意」をご参照ください。
	女性AIRS (9種) { 女性AICS (6種) 女性AILS (3種)	血液 5.0 S-3  ↓ 遠心 血漿 0.5 K-5 		10~14 s		LC/MS法	
	1351 男性AICS (5種)	血液 5.0 S-3  ↓ 遠心 血漿 0.5 K-5 		10~14 s		LC/MS法	
	1352 女性AICS (6種)	血液 5.0 S-3  ↓ 遠心 血漿 0.5 K-5 		10~14 s		LC/MS法	

### ●AIRS<sup>®</sup> (Amino index<sup>®</sup> Risk Screening) (アミノインデックス<sup>®</sup> リスクスクリーニング)

アミノインデックス<sup>®</sup>を用いて1回の採血で、血液中のアミノ酸バランスから、現在・将来のさまざまな疾患リスクを一度に評価する検査です。AICS<sup>®</sup>とAILS<sup>®</sup>の検査結果を報告させていただきます。なお、解析は味の素(株)に委託しております。

AICS<sup>®</sup>・AILS<sup>®</sup>の検査結果につきましては、その他の検査結果、臨床所見等を考慮の上、総合的にご判断ください。

### ●AICS<sup>®</sup> (Amino index<sup>®</sup> Cancer Screening) (アミノインデックス<sup>®</sup> がんリスクスクリーニング)

血液中のアミノ酸濃度から、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度バランスの違いを統計的に解析し、現在がんであるリスクを評価する検査です。

#### ●AICS<sup>®</sup>の対象がん種・対象年齢(下記年齢の日本人が対象)

検査項目	対象となるがん種	対象年齢
男性AICS (5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25歳~90歳
	前立腺がん	40歳~90歳
女性AICS (6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25歳~90歳
	子宮がん・卵巣がん	20歳~80歳

注) 上記の対象年齢以外の方が受診された場合でもAICS値やランク判定について、結果が出力されますが、いずれも評価対象外となります。一部のがん種についてのみが対象年齢外になる場合、そのがん種は評価対象外となりますので、ご理解いただいた上でご受診ください。

### ●AILS<sup>®</sup> (Amino index<sup>®</sup> LifeStyle diseases) (アミノインデックス<sup>®</sup> 生活習慣病リスクスクリーニング)

血液中のアミノ酸濃度バランスから、10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク(AILS(脳心疾患リスク))、4年以内に糖尿病を発症するリスク(AILS(糖尿病リスク))と、大切な栄養素である必須・準必須アミノ酸が現在血液中で低下していないか(AILS(アミノ酸レベル))を評価する検査です。AILS(糖尿病リスク)とAILS(アミノ酸レベル)の評価結果に基づく4つのタイプのいずれかに分類し、併せてAILS(脳心疾患リスク)の結果に基づく評価を行います。

#### ●AILS<sup>®</sup>の対象年齢(下記年齢の日本人が対象)

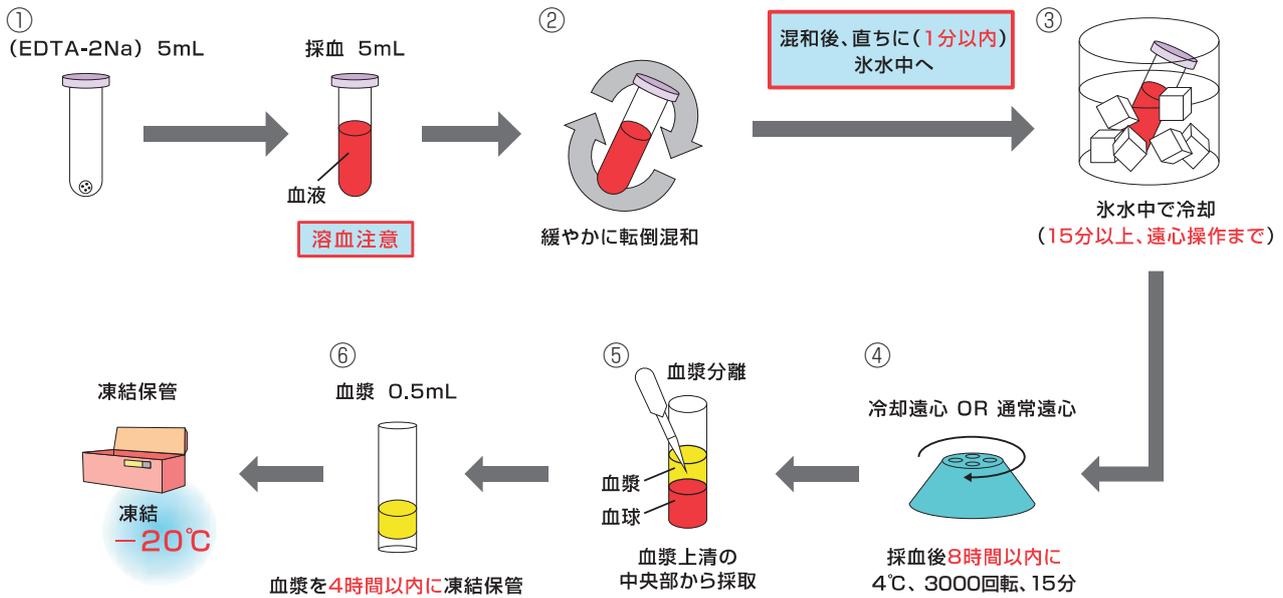
検査項目	検査内容	評価内容	対象年齢
男性AILS 女性AILS	AILS(脳心疾患リスク)	10年以内に脳卒中、心筋梗塞を発症するリスク	30歳~74歳
	AILS(糖尿病リスク)	4年以内に糖尿病を発症するリスク	
	AILS(アミノ酸レベル)	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	20歳~80歳

注) 脳卒中・心筋梗塞の方(治療中を含む)のAILS(脳心疾患リスク)値、糖尿病の方(治療中を含む)のAILS(糖尿病リスク)値や、検査結果に基づくタイプは評価対象外となります。

### ●「AIRS検査前のご注意」

- 妊娠されている方、授乳中の方、がん患者(治療中を含む)の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、検査結果に影響があるため、検査はご遠慮ください。
- 検査前8時間以内に食事、サプリメント(飲水は可)は摂取せず、午前中に採血してください。(検査前日の高タンパク質の食事も避けてください。)また、当日朝の運動は控えください。
- 薬剤による本検査への影響はわかっておりません。
- 他項目との重複依頼は避けてください。
- 強溶血検体や、血漿(EDTA-2Na)以外の材料は、受託できません。
- 年齢、性別のご記入は必須となります。

## アミノインデックス<sup>®</sup> 検体のお取り扱い方法



- ① EDTA-2Na入り採血チューブ (S-3) にて血液約5mLを採血してください。
- ② 採血直後、血液を2~3回軽く転倒混和してください。(ローラーでの混和は行わないでください。)
- ③ 混和後直ちに(1分以内) チューブを氷水中(血液の液面まで氷水につかる状態)で冷却(15分以上、遠心操作まで冷却)してください。
- ④ 採血から8時間以内に冷却条件で遠心分離(4°C、3000回転、15分)または通常遠心分離(3000回転、15分、ローターが昇温していないこと)してください。
- ⑤ 遠心後、直ちに上清の血漿を血液との界面に触れない様に血漿上清の中央部から採取し、滅菌容器(K-5)に0.5mL以上分注してください。
- ⑥ 分注後、血漿を4時間以内に凍結保存してください。



# 118 リスク検査

検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
リスク検査 1341	LOX-index <sup>®</sup>	血液 3.0 S-3  ↓ 遠心 血漿 1.0 K-5 		10~14		CLEIA法	初めてご依頼の際は、当社営業担当にご相談ください。 予約検査。日曜祝日不可。 午前11時までに電話にてお知らせいただき、昼集配で提出してください。検体取扱い方法は下記をご参照ください。

## LOX-index<sup>®</sup> (ロックス・インデックス)

脳梗塞・心血管障害の発症リスクを評価する最新の指標です。

血液中の酸化した超悪玉コレステロール(酸化変性LDL) (LAB)と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる(LOX-1)を測定します。LOX-index<sup>®</sup>はLABとLOX-1を測定・解析することで、動脈硬化の初期段階を捉えることができます。日本国内で行われた追跡研究の結果、LOX-index<sup>®</sup>が高いと将来の脳梗塞発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍となることがわかっています。

※当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用いただくことはできません。

LOX-index<sup>®</sup>はNKメディコ株式会社および国立循環器病研究センターの共同所有登録商標です。

### LOX-index<sup>®</sup>の採血方法

- ①EDTA-2Na入り容器(S-3)を用い、採血してください。
- ②転倒混和を行ってください。12時間以内に遠心分離を行ってください。
- ③3000rpm, 10分で遠心分離してください。
- ④血漿を滅菌容器(K-5)に1.0mL以上分注し、凍結してください。

### LOX-index<sup>®</sup>のご注意

1. リウマチ、妊娠中、出産後3ヶ月以内、熱がある場合は、検査数値が高く出る可能性があります。
2. 脂質異常症治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている場合は、検査数値が低く出る可能性があります。(本検査は薬を服用されている現状のリスクを評価しています)
3. 血漿(EDTA-2Na)以外の材料は、受託できません。
4. 他項目との重複依頼は避けてください。
5. 年齢、性別、IDをご記入ください。



検査コード	検査項目	採取量(mL) 保存 提出量(mL) 容器	実施料 判断料	所要 日数	基準値	検査方法	備考
9818	miSignal (マイシグナル)	中間尿 専用容器 		28~31			下記をご参照ください。

リスク検査

## miSignal(マイシグナル)

尿検体からマイクロRNAの発現パターンを解析し、現時点でのがんリスクを測定する検査です。対応がん種は胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、食道がん、乳がん(女性のみ)、卵巣がん(女性のみ)の7種です。がんのリスクを検査するものであり、がんの診断はできません。

### 事前の準備

- ①初めてご依頼の際は、当社営業担当にご相談ください。(委託先のCraif株式会社へ事前登録が必要です。)
- ②予約検査です。提出日に予約のご連絡をお願いいたします。  
受託可能日は月曜日～土曜日です。(日曜日、祝日は不可)
- ③専用容器、専用依頼書、専用ラベルシールが必要になります。

### 採尿時の注意点

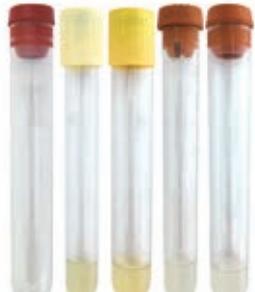
- ①採尿前の過度な水分の摂取を控えてください。  
※非常に薄い尿では規定量のマイクロRNAが検出できない可能性があります。
- ②中間尿をとってください。
- ③採尿量は青色のマーカーの範囲内に収まるようにしてください。
- ④検体は冷蔵庫で保管してください。



### 検査対象外の方について

- ①20歳未満の方
- ②妊娠中の方
- ③生理中の方(尿中に血液が混じる可能性がありますので避けてください)
- ④がんの既往歴がある方はお控えいただくことを推奨しています。



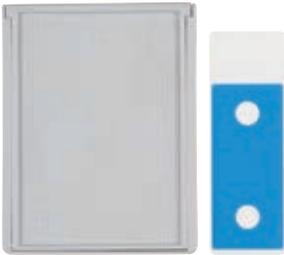
<p><b>S-1</b></p>  <p>生化学・免疫学用汎用容器</p>	<p><b>S-2</b></p>  <p>血糖容器</p>	<p><b>S-3</b></p>  <p>内分泌学容器</p>
<p>容量</p> <p>分離剤入り 5.0, 8.0ml 分離剤無し 9.0ml</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>LE細胞等は分離剤無を使用して下さい。</p>	<p>容量</p> <p>2ml</p> <p>解糖阻止剤 NaF</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 血糖</p>	<p>容量</p> <p>5ml・7ml</p> <p>抗凝固剤 EDTA-2Na</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 レニン ProGRP ACTH BNP クロスマッチ</p>
<p><b>S-4</b></p>  <p>アンモニア容器</p>	<p><b>S-5</b></p>  <p>尿素呼気試験容器</p>	<p><b>K-1</b></p>  <p>血液学容器</p>
<p>血液 1ml を正確に加え、ただちに充分混和して下さい</p> <p>添加剤 除蛋白剤 4ml</p> <p>保管 冷蔵 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 アンモニア</p>	<p>検査薬服用前後セットで提出して下さい</p> <p>33頁参照</p> <p>保管 室温</p>	<p>容量</p> <p>2ml</p> <p>抗凝固剤 EDTA-2K</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 血算 血液型 直接クームス試験</p>
<p><b>K-2</b></p>  <p>血沈容器</p>	<p><b>K-3</b></p>  <p>凝固容器</p>	<p><b>K-5</b></p>  <p>滅菌スピッツ</p>
<p>容量</p> <p>1.6ml</p> <p>抗凝固剤 3.8%クエン酸Na</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 血沈</p>	<p>容量</p> <p>2.7ml</p> <p>抗凝固剤 3.2%クエン酸Na</p> <p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 凝固・線溶系検査</p>	<p>容量</p> <p>10ml</p> <p>滅菌済です。</p> <p>保管 室温 有効期間 1年</p> <p>主な検査項目 尿検査 細菌検査 細胞診(液状検体)</p>

<p><b>K-6</b></p>  <p>採便容器</p>	<p><b>K-7</b></p>  <p>便潜血容器</p>	<p><b>K-8</b></p>  <p>便潜血容器</p>
<p>保存液 なし 便一般検査用</p>		
<p>保管 室温 有効期間 1年</p>	<p>保管 冷暗所 有効期間 表示</p>	<p>保管 冷暗所 有効期間 表示</p>
<p><b>G-1</b></p>  <p>ヘパリン容器</p>	<p><b>G-2</b></p>  <p>金属検査容器</p>	<p><b>G-3</b></p>  <p>尿用容器 (遮光)</p>
<p>容量 4.0ml 抗凝固剤 ヘパリン</p>	<p>容量 9 ml 酸洗浄済のポリス ピツです。</p>	<p>遮光用です。</p>
<p>保管 室温 有効期間 表示</p>	<p>保管 室温 有効期間 1年</p>	<p>保管 室温 有効期間 1年</p>
<p><b>G-4</b></p>  <p>アルミニウム容器</p>	<p><b>G-5</b></p>  <p>ビタミンC容器</p>	<p><b>G-6</b></p>  <p>ガラススピツ (スクリュキャップ付)</p>
<p>容量 3 ml 内容 凝固促進剤 トロンビンヘパリン中和剤</p>	<p>正確に血清0.5mlを加え、 十分攪拌後3000rpm、 5分間遠心し、その 上清をご提出下さい</p> <p>抗凝固剤 0.8N過塩素酸</p>	<p>容量 10ml</p>
<p>保管 室温 有効期間 表示</p>	<p>保管 冷蔵 有効期間 1年</p>	<p>保管 室温 有効期間 1年</p>
<p>主な検査項目 便一般検査 便細菌培養</p>	<p>主な検査項目 便中 ヒトヘモグロビン</p>	<p>主な検査項目 便中 ヒトヘモグロビン及び ヒトトランスフェリン</p>
	<p>主な検査項目 血中鉛</p>	<p>主な検査項目 金属検査</p>
	<p>主な検査項目 アルミニウム</p>	<p>主な検査項目 尿中メチルイソブチルケトン</p>

<b>G-7</b>  エンドトキシン容器		<b>G-8</b>  β-トロンボグロブリン血小板第4因子用		<b>G-9</b>  乳酸・ピルビン酸容器	
容 量	抗凝固剤	容 量	抗凝固剤	血液 2mℓを正確に加え、ただちに充分混和して下さい	添加剤
2 mℓ	ノボヘパリン	3.0mℓ P45をご参照下さい	テオフィリン アデノシンジピリダモール クエン酸クエン酸ナトリウム		除蛋白剤
保 管 室温 有効期間 表示	主な検査項目 エンドトキシン β-D-グルカン	保 管 遮光・冷蔵 有効期間 表示	主な検査項目 β-トロンボグロブリン 血小板第4因子	保 管 冷蔵 有効期間 表示	主な検査項目 乳酸 ピルビン酸
<b>G-11</b>  NK細胞用容器		<b>G-12</b>  ミオグロビン尿用容器		<b>G-13</b>  尿中Ⅳ型コラーゲン	
容 量	採血後、よく混和して冷蔵保存	容 量	保存剤入	容 量	内 容
5 mℓ		10mℓ		10mℓ	1.5M Tris-HCl 0.5mℓ
保 管 冷蔵 有効期間 表示 (アルミシート開封後1ヶ月)	主な検査項目 NK細胞活性	保 管 室温 有効期間 表示	主な検査項目 尿中ミオグロビン	保 管 室温 有効期間 表示	主な検査項目 尿中Ⅳ型コラーゲン
<b>G-14</b>  UNMP-22用容器		<b>G-15</b>  ペプチドホルモン容器		<b>G-16</b>  ヘパリン容器	
容 量	BSA・防腐剤 色素入り	容 量	抗凝固剤 EDTA-2Na アプロチニン	容 量	抗凝固剤
採取量		2 mℓ		5 mℓ・10mℓ	ヘパリン
保 管 遮光・室温 有効期間 表示 (製造後2~3ヶ月)	主な検査項目 尿中マトリックス プロテイン22	保 管 室温 有効期間 表示	主な検査項目 グルカゴン HANP PTHrP-intact	保 管 室温 有効期間 表示	主な検査項目 染色体検査 リンパ球サブセット検査 DLST (10mℓ×2本)

<p><b>G-17</b></p>  <p>クオンティーフェロン プラス</p>		<p><b>G-19</b></p>  <p>頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン(PTD)</p>		<p><b>G-21</b></p>  <p>子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ</p>	
<p><b>採取上の注意点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各採血管は17~27℃(常温)になったものを使用してください。</li> <li>採血量は採血管ラベルの採血ライン内(0.8~1.2mL)を厳守してください。</li> <li>採血後、各採血管を上下に5秒間又は10回振って混合してください。</li> <li>採血後の血液検体は17~27℃で保存してください。</li> <li>検体の採取方法は111頁をご参照ください。</li> </ul>		<p><b>内容</b> ヘパリンリチウム</p> <p>灰色 NIチューブ 緑色 TB1チューブ 黄色 TB2チューブ 紫色 Mitogenチューブ</p>		<p><b>抽出液</b></p> <p>抽出液 (リン酸バッファー)</p>	
<p><b>採取量</b> 各 1 mL</p> <p><b>保管</b> 4~25℃</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>保管</b> 室温</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>頸管腔分泌液中癌胎児性フィブロネクチン(PTD)</p>	
<p><b>保管</b> 室温(抽出液冷蔵)</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>子宮頸管粘液中顆粒球エラスターゼ</p>			
<p><b>G-23</b></p>  <p>便中カルプロテクチン</p>		<p><b>G-24</b></p>  <p>便中ヘリコバクターピロリ抗原</p>		<p><b>G-27</b></p>  <p>骨髄液遺伝子検査用容器</p>	
		<p>採取後は冷蔵保存</p>		<p><b>容量</b> 5 mL</p> <p><b>内容</b> RPMI-1640 FBS 硫酸カマイシン ノボヘパリンNa 炭酸水素Na HEPES</p>	
<p><b>保管</b> 冷蔵</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>便中カルプロテクチン</p>		<p><b>保管</b> 凍結</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>	
		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>便中ヘリコバクターピロリ抗原</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>骨髄液を用いた遺伝子検査等</p>	
<p><b>G-28</b></p>  <p>T-SPOT・TB容器</p>		<p><b>G-29</b></p>  <p>ビタミンB1・B2用容器</p>		<p><b>G-30</b></p>  <p>PAIgG用容器</p>	
<p><b>容量</b> 9 mL</p> <p><b>添加物</b> ヘパリンNa</p>		<p><b>容量</b> 2 mL</p> <p><b>内容</b> EDTA-2K</p>		<p><b>容量</b> 7.5 mL</p> <p><b>内容</b> ACD-A保存液</p>	
<p><b>保管</b> 室温</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>T-SPOT・TB</p>		<p><b>保管</b> 室温</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>	
		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>ビタミンB1 ビタミンB2(遮光) タクロリムス</p>		<p><b>主な検査項目</b></p> <p>PAIgG (血小板関連IgG)</p>	
		<p><b>保管</b> 室温</p> <p><b>有効期間</b> 表示</p>		<p><b>有効期間</b> 表示</p> <p>(アルミ包装開封後1ヶ月)</p>	

<b>G-31</b>  HIV-1 RNA定量用容器		<b>G-32</b>  水痘・带状疱疹ウイルス抗原用スライドグラス		<b>G-33</b>  消化器がんマイクロアレイ血液検査	
容 量	EDTA-2K 血漿分離剤入	スライドグラス 2枚	乾燥後のスライドグラスは塗抹面を下にし、オブジェクトケースに入れ、属性を記入後、凍結保存		
保 管 有効期間	室温 表示	主な検査項目 HIV-1 RNA定量 (リアルタイムPCR)	保 管 有効期間	室温 表示	保 管 有効期間
					冷蔵 表示
					主な検査項目 消化器がんマイクロアレイ 血液検査
<b>G-34</b>  miSignal (マイシグナル)		<b>P-1</b>  P C R 容 器		<b>P-3-1</b>  淋菌・クラミジアPCR (分泌物用) 容器	
		容 量		専用綿棒	主な検査項目
		5 mℓ			・淋菌核酸同定 ・クラミジアトラコマチス核酸同定 ・臙トリコモナス/マイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出
保 管 有効期間	室温 表示	主な検査項目 miSignal (マイシグナル)	保 管 有効期間	室温 表示	保 管 有効期間
<b>P-3-2</b>  淋菌・クラミジアPCR(うがい液・尿用)容器		<b>P-4</b>  マイコプラズマLAMP法用容器		<b>P-5</b>  百日咳菌核酸検出	
初 尿 うがい液	5 mℓ	主な検査項目			
		・淋菌核酸同定 ・クラミジアトラコマチス核酸同定 ・臙トリコモナス/マイコプラズマジェニタリウム同時核酸検出	検体採取後凍結保存		
保 管 有効期間	室温 表示	主な検査項目 マイコプラズマ・ニューモニEDNA/PCR	保 管 有効期間	室温 表示	保 管 有効期間
					主な検査項目 百日咳菌核酸検出

<p><b>D-1</b></p>  <p>喀痰容器</p>	<p><b>D-2</b></p>  <p>シードスワブ</p>	<p><b>D-3</b></p>  <p>カルチャーボトル</p>
<p>滅菌済です。</p> <p>保管 室温 有効期間 1年</p> <p>主な検査項目 一般細菌 抗酸菌</p>	<p>1号(白)太い 2号(オレンジ)細い</p> <p>保管 冷暗所 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 細菌検査</p>	<p>プラスチック製</p> <p>保管 冷暗所 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 血液培養 橙 嫌気性菌 青 好気性菌</p>
<p><b>D-4</b></p>  <p>単純ヘルペス抗原用スライドグラス</p>	<p><b>D-5</b></p>  <p>嫌気ポーター</p>	<p><b>D-6</b></p>  <p>トリコモナス培地</p>
<p>保管 室温 有効期間 1年</p> <p>主な検査項目 単純ヘルペス特異抗原 (FA)</p>	<p>保管 冷蔵 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 嫌気性培養 便細菌検査 C.difficile</p>	<p>保管 遮光・冷蔵 有効期間 表示</p> <p>トリコモナス 検出用</p>
<p><b>D-7</b></p>  <p>シードチューブ・HP</p>	<p><b>D-8</b></p>  <p>プロコート採便管</p>	<p><b>D-9</b></p>  <p>SARS-CoV-2核酸検出(ぬぐい液) SARS-CoV-2抗原(ぬぐい液)</p>
<p>保管 冷蔵 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 ヘリコバクター・ ピロリ</p>	<p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 便細菌培養(検診)</p>	<p>保管 室温 有効期間 表示</p> <p>主な検査項目 SARS-CoV-2核酸検出 SARS-CoV-2抗原</p>

<p><b>B-1</b></p>   <p>細胞診容器</p>	<p><b>B-2</b></p>   <p>喀痰細胞容器</p>	<p><b>B-4</b></p>   <p>取扱いに十分ご注意ください!  <b>医薬用外劇物</b>      10%中性緩衝ホルマリン      病理組織固定用      ホルムアルデヒド含有      3.5%</p> <p>10% NBF 容器</p>																										
<table border="1"> <tr> <td>内容液</td> <td>95%エタノール</td> </tr> <tr> <td>主な検査項目</td> <td>婦人科材料 擦過材料 針穿刺吸引材料 捺印標本</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>室温</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>1年</td> </tr> </table>	内容液	95%エタノール	主な検査項目	婦人科材料 擦過材料 針穿刺吸引材料 捺印標本	保管	室温	有効期間	1年	<table border="1"> <tr> <td>内容液</td> <td>メタノール 生食 防腐剤(チモール)</td> </tr> <tr> <td>主な検査項目</td> <td>喀痰細胞診</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>室温</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>表示</td> </tr> </table>	内容液	メタノール 生食 防腐剤(チモール)	主な検査項目	喀痰細胞診	保管	室温	有効期間	表示	<table border="1"> <tr> <td>容量</td> <td>7ml・15ml・40ml</td> </tr> <tr> <td>内容液</td> <td>10%中性緩衝ホルマリン液 (ホルムアルデヒド3.5%)</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>室温</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>主な検査項目</td> <td>病理組織検査</td> </tr> </table>	容量	7ml・15ml・40ml	内容液	10%中性緩衝ホルマリン液 (ホルムアルデヒド3.5%)	保管	室温	有効期間	1年	主な検査項目	病理組織検査
内容液	95%エタノール																											
主な検査項目	婦人科材料 擦過材料 針穿刺吸引材料 捺印標本																											
保管	室温																											
有効期間	1年																											
内容液	メタノール 生食 防腐剤(チモール)																											
主な検査項目	喀痰細胞診																											
保管	室温																											
有効期間	表示																											
容量	7ml・15ml・40ml																											
内容液	10%中性緩衝ホルマリン液 (ホルムアルデヒド3.5%)																											
保管	室温																											
有効期間	1年																											
主な検査項目	病理組織検査																											
<p><b>B-5-1</b></p>   <p>LBC用容器</p>	<p><b>B-5-2</b></p>   <p>LBC用容器</p>																											
<table border="1"> <tr> <td>SurePath法 保存液 (エタノール 18~30% メタノール 1~2% イソプロパノール 1~1.8%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主な検査項目</td> <td>細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>室温</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>表示</td> </tr> </table>	SurePath法 保存液 (エタノール 18~30% メタノール 1~2% イソプロパノール 1~1.8%)		主な検査項目	細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定	保管	室温	有効期間	表示	<table border="1"> <tr> <td>Thin Prep法 保存液 (メタノール 35~55%)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主な検査項目</td> <td>細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定</td> </tr> <tr> <td>保管</td> <td>室温</td> </tr> <tr> <td>有効期間</td> <td>表示</td> </tr> </table>	Thin Prep法 保存液 (メタノール 35~55%)		主な検査項目	細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定	保管	室温	有効期間	表示											
SurePath法 保存液 (エタノール 18~30% メタノール 1~2% イソプロパノール 1~1.8%)																												
主な検査項目	細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定																											
保管	室温																											
有効期間	表示																											
Thin Prep法 保存液 (メタノール 35~55%)																												
主な検査項目	細胞診 婦人科 ヒトパピローマウイルス DNA型判定																											
保管	室温																											
有効期間	表示																											



# 128 検査依頼書・セット検査項目案内

検査コード	セット名	検査項目	保険点数	判断料 (月1回)	容器 種類	検体量	
スクリーニング (全身プロフィール)	701	MST-1	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、グルコース、 総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン	103⑬	144 (生1)	S-1 S-2	全血4.0mℓ 血糖2.0mℓ
	502	MST-2	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、アミラーゼ、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、 グルコース、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン、 ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、鉄	103⑳	144 (生1)	S-1 S-2	全血4.5mℓ 血糖2.0mℓ
	703	MST-3	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、アミラーゼ、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、 グルコース、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン、 ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、鉄 (103㉑)、 C反応性蛋白 (CRP) 定性 (16) 〈白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板 (21)〉	140	144 (生1) 144 (免) 125 (血)	S-1 K-1 S-2	全血5.0mℓ 血球2.0mℓ 血糖2.0mℓ
	604	MST初診時	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、アミラーゼ、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、 グルコース、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、 ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、鉄、 CK、蛋白分画 (103㉒)、C反応性蛋白 (CRP) 定性 (16) 〈白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板 (21)〉	140	144 (生1) 144 (免) 125 (血)	S-1 K-1 S-2	全血5.0mℓ 血球2.0mℓ 血糖2.0mℓ
	505	スクリーニングA	AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリホスファターゼ、γ-GT、 尿酸、尿素窒素、グルコース、総コレステロール、総蛋白	99㉓	144 (生1)	S-1 S-2	全血3.0mℓ 血糖2.0mℓ
	506	スクリーニングB	AST (GOT)、ALT (GPT)、尿酸、尿素窒素、グルコース、 総コレステロール、総蛋白	93㉔	144 (生1)	S-1 S-2	全血3.0mℓ 血糖2.0mℓ
	607	外科手術前	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、アミラーゼ、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、 グルコース、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、 ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、鉄、 蛋白分画 (103㉕)、C反応性蛋白 (CRP) (16) 〈白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板 (21)、血液像 (15)〉 梅毒定性セット (RPR法定性、TPHA定性) (47)、 HBs抗原 (定性) (29)、HCV抗体 (102) ABO血液型 (24)、Rh (D) 血液型 (24)	381	144 (生1) 144 (免) 125 (血)	S-1 K-1 S-2	全血6.0mℓ 血球2.0mℓ 血糖2.0mℓ
	608	入院時セット	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、アミラーゼ、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、 グルコース、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、 ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、鉄、 蛋白分画 (103㉖) 〈白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板 (21)、血液像 (15)〉 梅毒定性セット (RPR法定性、TPHA定性) (47)、 HBs抗原 (定性) (29)、C反応性蛋白 (CRP) 定性 (16)、 HCV抗体 (102)	333	144 (生1) 144 (免) 125 (血)	S-1 K-1 S-2	全血6.0mℓ 血球2.0mℓ 血糖2.0mℓ
肝・胆	512	肝・胆道系	AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、総ビリルビン、直接ビリルビン、LAP、アミラーゼ、 総蛋白、アルブミン、総コレステロール (103㉗)、胆汁酸 (47)	150	144 (生1)	S-1	全血4.0mℓ
	513	肝経過A	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、コリンエステラーゼ (ChE)、総ビリルビン、 直接ビリルビン、総コレステロール、総蛋白、 蛋白分画 (103㉘)	103	144 (生1)	S-1	全血4.0mℓ
	514	肝経過B (肝硬変)	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 コリンエステラーゼ (ChE)、総ビリルビン、直接ビリルビン、 総蛋白、蛋白分画 (99㉙)、α-フェトプロテイン (AFP) (98)、 胆汁酸 (47)	244	144 (生1) 144 (生2)	S-1	全血4.5mℓ
	616	慢性肝炎 (B型)	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、総ビリルビン、直接ビリルビン、総蛋白、 蛋白分画 (99㉚)、胆汁酸 (47)、HBs抗原、HBe抗原、 HBe抗体 (290㉛)	436	144 (生1) 144 (免)	S-1	全血5.0mℓ
	517	慢性肝炎 (C型)	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 γ-GT、コリンエステラーゼ (ChE)、総ビリルビン、総蛋白、 総コレステロール、蛋白分画 (103㉜)、HCV抗体 (102)	205	144 (生1) 144 (免)	S-1	全血4.0mℓ

CRP判定は、判定 (-) 以外の場合、定量値も報告いたします。

検査コード	セット名	検査項目	保険点数	判断料(月1回)	容器種類	検体量
肝炎ウイルス	618 肝炎ウイルス1 (急性肝炎型別診断)	HBs抗原、HCV抗体、IgM-HA抗体、IgM-HBc抗体	360④	144(免)	S-1	全血4.0mℓ
	520 肝炎ウイルス3 (B型慢性肝炎経過観察)	HBs抗原、HBe抗原、HBe抗体	290③	144(免)	S-1	全血4.0mℓ
瞬	521 瞬疾患	AST(GOT)、ALT(GPT)、アルカリホスファターゼ、γ-GT、アミラーゼ、グルコース、リパーゼ(93⑦)、P型アミラーゼ(48)	141	144(生1)	S-1 S-2	全血3.0mℓ 血糖2.0mℓ
	722 瞬炎	アミラーゼ(11)、リパーゼ(24)、P型アミラーゼ(48)、C反応性蛋白(CRP)(16)、エラスターゼ1(120)	219	144(生1) 144(生2) 144(免)	S-1	全血5.0mℓ
腎臓	526 腎機能A	尿酸、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム	93⑤	144(生1)	S-1	全血3.0mℓ
	527 腎機能B	尿酸、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、P(93⑦)、β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(98)	191	144(生1) 144(免)	S-1	全血3.0mℓ
	528 腎機能C	尿素窒素、クレアチニン、総コレステロール、総蛋白、蛋白分画(93⑤)、血清補体価(CH50)(38)、ASLO(15)、β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(98)	244	144(生1) 144(免)	S-1	全血5.0mℓ
循環器	731 心臓循環器セット	AST(GOT)、ALT(GPT)、LD、CK、総コレステロール、中性脂肪、ナトリウム、クロール、カリウム、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール(99⑨)、C反応性蛋白(CRP)(16)、アポリポ蛋白(A <sub>1</sub> 、B、E)(94)	209	144(生1) 144(免)	S-1	全血4.0mℓ
	732 心機能	AST(GOT)(17)、ALT(GPT)(17)、LD(11)、CK(11)、BNP(130)、C反応性蛋白(CRP)(16)	202	144(生1) 144(生2) 144(免)	S-1 S-3	全血3.0mℓ 全血(EDTA-2Na) 5.0mℓ
	633 高血圧動脈硬化A	AST(GOT)、ALT(GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール	103⑩	144(生1)	S-1	全血3.0mℓ
	634 高血圧動脈硬化B	AST(GOT)、ALT(GPT)、尿酸、尿素窒素、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン、ナトリウム、クロール、カリウム、LDL-コレステロール	103⑪	144(生1)	S-1	全血3.0mℓ
	635 高脂血症	AST(GOT)、ALT(GPT)、尿酸、尿素窒素、総コレステロール、中性脂肪、総蛋白、アルブミン、ナトリウム、クロール、カリウム、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール(103⑪)、アポリポ蛋白(A <sub>1</sub> 、B、E)(94)	197	144(生1)	S-1	全血4.0mℓ
内分	741 糖尿病スクリーニング	グルコース(11)、HbA <sub>1c</sub> (49)	60	144(生1) 125(血)	S-2	血糖2.0mℓ
	742 糖尿病精密	グルコース(前、30分、60分、120分)、インスリン(IRI)(前、30分、60分、120分)(900)、HbA <sub>1c</sub> (49)	949	125(血)	S-1 S-2	全血各2.0mℓ 血糖各2.0mℓ
	844 糖尿病2	MST-2(103)、HbA <sub>1c</sub> (49)	152	144(生1) 125(血)	S-1 S-2	全血4.5mℓ 血糖2.0mℓ
	泌	547 甲状腺スクリーニング1	トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )(99)、サイロキシシン(T <sub>4</sub> )(105)、高感度TSH(98)、抗TPO抗体、抗Tg抗体(320②)	622	144(生2) 144(免)	S-1
548 甲状腺スクリーニング2		トリヨードサイロニン(T <sub>3</sub> )(99)、サイロキシシン(T <sub>4</sub> )(105)	204	144(生2)	S-1	全血3.0mℓ

	検査コード	セット名	検査項目	保険 点数	判断料 (月1回)	容器 種類	検体量
血液 (血算・凝固) 検査	751	血液1	白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板(21)	21	125(血)	K-1	血球2.0mℓ
	752	血液2	白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板(21)、血液像(15)	36	125(血)	K-1	血球2.0mℓ
	553	血液3	白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板(21)、血液像(15)、網赤血球(12)	48	125(血)	K-1	血球2.0mℓ
	754	貧血セット	白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板(21)、血液像(15)、網赤血球(12)、鉄(11)、フェリチン(102)、不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)(11)	172	144(生1) 125(血)	S-1 K-1	全血3.0mℓ 血球2.0mℓ
	756	出血凝固2	プロトロンビン時間(PT)(18)、APTT(29)、フィブリノゲン(23)	70	125(血)	K-3	凝固2.7mℓ
	757	出血凝固3(DIC)	D-Dダイマー(127)、フィブリン分解産物(FDP)(80)、プロトロンビン時間(PT)(18)、フィブリノゲン(23)	248	125(血)	K-3	凝固2.7mℓ
免疫学的 検査	560	膠原病	総蛋白(11)、蛋白分画(18)、C <sub>3</sub> (70)、C <sub>4</sub> (70)、抗核抗体半定量(99)、C反応性蛋白(CRP)(16)、リウマトイド因子(RF)(30)	314	144(生1) 144(免)	S-1	全血6.0mℓ
	760	ロイマ1	リウマトイド因子(RF)(30)、ASLO(15)、尿酸(11)、総蛋白(11)、C反応性蛋白(CRP)(16)	83	144(生1) 144(免)	S-1	全血4.0mℓ
	563	ロイマ2	リウマトイド因子(RF)(30)、C反応性蛋白(CRP)(16)、総蛋白(11)、蛋白分画(18)、免疫グロブリンIgG(38)、免疫グロブリンIgA(38)、免疫グロブリンIgM(38)	189	144(生1) 144(免)	S-1	全血4.0mℓ
	763	ロイマ3	リウマトイド因子(RF)(30)、尿酸(11)、総蛋白(11)、C反応性蛋白(CRP)(16)	68	144(生1) 144(免)	S-1	全血4.0mℓ
	764	感染症1	ASLO(15)、C反応性蛋白(CRP)(16)、血液2(36)	67	144(免) 125(血)	S-1 K-1	全血2.0mℓ 血球2.0mℓ
	565	感染症2	寒冷凝集反応(11)、マイコプラズマ抗体(32)、C反応性蛋白(CRP)(16)、血液2(36)	95	144(免) 125(血)	S-1 K-1	全血2.0mℓ 血球2.0mℓ
	3234	新生児APRスコア	C反応性蛋白(CRP)、ハプトグロビン、α <sub>1</sub> 酸性糖蛋白(3項目で191)	191	144(免)	S-1	全血1.0mℓ
	567	梅毒定性	梅毒脂質抗原使用検査(定性)(RPR法定性)(15)、TPHA試験(定性)(32)	47	144(免)	S-1	全血2.0mℓ
	768	梅毒定量	梅毒脂質抗原使用検査(RPR法半定量)(34)、TPHA試験半定量(53)	87	144(免)	S-1	全血2.0mℓ
	669	妊婦初診	ABO血液型(24)、Rh(D)血液型(24)、梅毒定性セット(47)、HBs抗原(定性)(29)、HCV抗体(102)、HTLV-1抗体(CLIA)(159)、HIV-1,2抗体(109)、不規則抗体(159)	653	144(免)	S-1 K-1	全血4.0mℓ 血球2.0mℓ
570	妊娠中毒	AST(GOT)、ALT(GPT)、アルカリホスファターゼ、LAP、総ビリルビン、尿酸、尿素窒素、クレアチニン、総コレステロール、総蛋白、ナトリウム、クロール、カリウム、鉄、蛋白分画(103④)、C反応性蛋白(CRP)(16)、血液3(48)、D-Dダイマー(127)	294	144(生1) 144(免) 125(血)	S-1 K-1 K-3	全血4.5mℓ 血球2.0mℓ 凝固2.7mℓ	
771	アレルギーアトピー (全身チェック)	非特異的IgE(RIST)(100)、血液2(36)	136	144(免) 125(血)	S-1 K-1	全血2.0mℓ 血球2.0mℓ	
572	アレルギー スクリーニング	非特異的IgE(RIST)(100)、アトピー鑑別試験(ファディアトープ)(194)	294	144(免)	S-1	全血4.0mℓ	
尿	781	尿スクリーニングA	尿沈渣(27)、尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(41)	68	34(尿)	K-5	尿 10.0mℓ
	782	尿スクリーニングB	尿沈渣(27)、尿中N-アセチルグルコサミニダーゼ(NAG)(41)、尿β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(98)	166	34(尿) 144(免)	K-5	尿 10.0mℓ

検査コード	セット名	検査項目	保険点数	判断料(月1回)	容器種類	検体量
592	肝疾患管理2	AST (GOT)、ALT (GPT)、LD、アルカリホスファターゼ、 $\gamma$ -GT、コリンエステラーゼ、総ビリルビン、直接ビリルビン、総コレステロール、総蛋白	103⑩	144 (生1)	S-1	全血3.0mℓ
593	肝・胆道系管理	AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリホスファターゼ、 $\gamma$ -GT、総ビリルビン、直接ビリルビン、LAP、アミラーゼ、総蛋白、アルブミン、総コレステロール、	103⑪	144 (生1)	S-1	全血3.0mℓ
594	膵疾患管理	AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリホスファターゼ、 $\gamma$ -GT、アミラーゼ、グルコース、リパーゼ	93⑦	144 (生1)	S-1 S-2	全血3.0mℓ 血糖2.0mℓ
597	痛風管理	AST (GOT) (17)、ALT (GPT) (17)、尿酸 (11)、C反応性蛋白 (CRP) (16)	61	144 (生1) 144 (免)	S-1	全血3.0mℓ
598	リウマチ管理	AST (GOT)、ALT (GPT)、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、クロール、カリウム (93⑥)、リウマトイド因子 (RF) (30)、C反応性蛋白 (CRP) (16)	139	144 (生1) 144 (免)	S-1	全血3.0mℓ
599	骨粗鬆症管理	AST (GOT)、ALT (GPT)、アルカリホスファターゼ、尿素窒素、クレアチニン、総蛋白、アルブミン、ナトリウム、クロール、カリウム、カルシウム、IP	103⑫	144 (生1)	S-1	全血3.0mℓ
700	高脂血症管理	総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール (35②)、中性脂肪 (11)、アポリポ蛋白 (A <sub>1</sub> 、B、E) (94)	140	144 (生1)	S-1	全血3.0mℓ
601	甲状腺管理	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> ) (121)、遊離サイロキシン (FT <sub>4</sub> ) (121)、高感度TSH (98)	340	144 (生2)	S-1	全血4.0mℓ
702	膠原病管理	総蛋白 (11)、蛋白分画 (18)、C <sub>3</sub> (70)、C <sub>4</sub> (70)、抗DNA抗体 (159)	328	144 (生1) 144 (免)	S-1	全血4.0mℓ

腫瘍マーカーセット

検査コード	セット名	対象部位	項目	保険点数
622	腫瘍マーカー-2	胃	STN CEA	230
623	腫瘍マーカー-3	結腸 直腸	STN CA19-9	230
625	腫瘍マーカー-5	肝内胆管	CA19-9 CEA	230
826	腫瘍マーカー-6	膵臓	CA19-9 エラスターゼ1	230
727	腫瘍マーカー-7	胆のう 胆管	CA19-9 DUPAN-2	230
628	腫瘍マーカー-8	乳腺	NCC-ST-439 CA15-3	230
729	腫瘍マーカー-9	肺	SLX CYFRA	230
630	腫瘍マーカー-10	卵巣	CA125 STN	230

診察及び腫瘍マーカー以外の検査の結果から悪性腫瘍の患者であることが強く疑われる者に対して1回に採取した血液を用いて2項目以上行った場合は所定点数にかかわらず検査項目数に応じて次の所定点数になる。  
(但し悪性腫瘍管理料を算定している患者については算定しない)  
精密検査について 2項目230点 3項目290点 4項目以上385点

悪性腫瘍特異物質治療管理料  
イ. 尿中BTAに係るもの 220点 (月に1回を限度として)  
ロ. その他のもの (月に1回を限度として)  
(1) 1項目の場合 360点  
(2) 2項目以上の場合 400点  
悪性腫瘍特異物質治療管理料に係る腫瘍マーカーの検査を行った場合は1回目の月に限りロの所定点数に150点を加算する。但し当該月の前月に腫瘍マーカーの所定点数を算定している場合はこの限りではない。

左記の腫瘍マーカーセットについて  
採血容器S-1で4mℓ御提出下さい。  
左記の測定方法は全て精密検査となります。

# 診療支援と地域医療の円滑な連携を実現

Dr・Webは地域医療を促進するための様々な機能を提供します。

検査センターと診療所、診療所と病院、そして診療所同士の連携をサポートするシステムです。簡単、かつ安全に診療情報を有効利用します。

## セキュリティ

SECURITY

Dr.Webを使用するためには、VPN認証用のUSBキーが必要になります。

VPN接続を通じてセキュアなネットワークが構築され、安全に診療情報の受け渡しを行えます。

## リアルタイム

REALTIME

センターで検査された結果は、Dr.Web上に即時反映されます。

報告書の到着を待たずに結果の確認が可能です。紹介状も登録と同時に紹介先へ送信されますので、タイムラグがありません。

## 操作性

USABILITY

画面は見やすく分かりやすく、簡単で直感的に操作できるようになっています。

もし操作や入力内容などでお困りのときは、担当者が説明しますので安心ください。

## サポート

SUPPORT

ご利用に際しまして、機器の設置や設定、操作方法の説明等をDr.Web専任インストラクターがサポートいたします。ご利用後の不明点、機器の不具合等につきましても早急に対応いたします。

## 診療支援機能

## Medical Care Support System

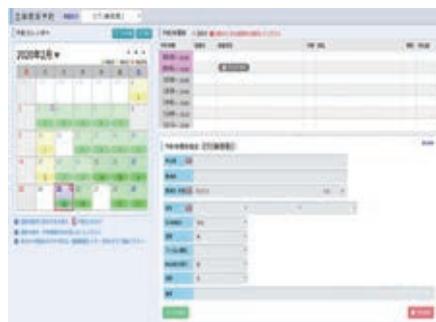
### 検査結果参照

検査結果をリアルタイムに確認することができます。時系列表示や各種グラフ表示が可能で、視覚的に確認できます。患者様への説明資料としても活用いただけます。



### 生体検査予約

CT・MRI・胃カメラなどの検査予約の空き状況を確認しながら、簡単に行うことができます。



### お知らせ配信

検査センターや医師会からのお知らせ / 連絡を画面上に表示し、メールで一括配信します。

### 院内検査結果登録

診療所内で実施した検査の結果を直接入力し、他の検査結果と合わせて表示できます。

### 検査結果エクスポート

過去の検査結果をまとめて、ファイルに出力します。統計や研究資料の作成にご利用いただけます。

## 検体検査依頼

検体検査の依頼を登録すると、患者名、採血管の種類等が印字された必要枚数の検体ラベル、検査依頼書が出力されます。その為、検体ラベルや検査依頼書を記入する手間が省けます。検査依頼内容はオンラインで当センターへ送信され、バーコードによる到着確認を行う為、検体の取り違い、検査依頼の処理ミスを防ぎます。



758758 A M C 医院

検査依頼情報(提出用)

9C2587580475

入力日	2012年04月25日	検体本数	全血	10	12
採取日時	2012年04月25日	全血	血糖	尿酸	血沉
カルテNo	3566	その他指示			
氏名(漢字)	カヅキ 伸子	性別	女		
生年月日	昭和15年10月13日	年齢	71歳		
身長	cm	体重	kg		
検査時間	No	検査	検査		

検査項目	単位	結果	参考値	検査日時
SEI	血糖	111		
1230	血糖	95		
1232	血糖	30分		
1234	血糖	60分		
1235	血糖	90分		
2370	尿酸	100		
2372	尿酸	30分		
2374	尿酸	60分		
2376	尿酸	90分		
2378	尿酸	120分		
3180	血沉	100		

04/02 No.00085 テスト依頼所 全血  
患者太郎 男  
9 2 0 0 0 0 0 0 0 0 9 6

04/02 No.00085 テスト依頼所 血糖  
患者太郎 男  
9 2 0 0 0 0 0 0 0 0 9 6

社団法人 平田市医師会健康管理センター

## 電子カルテ連携

診療所でご利用中の電子カルテと Dr.Web を連携させることにより、電子カルテから直接、検査依頼を送信することができます。電子カルテから依頼した場合でも、検体ラベルや依頼書は自動印刷されます。また、検査結果を電子カルテに取り込むことも可能です。

☎ 対応している電子カルテメーカーについては、お問い合わせください。

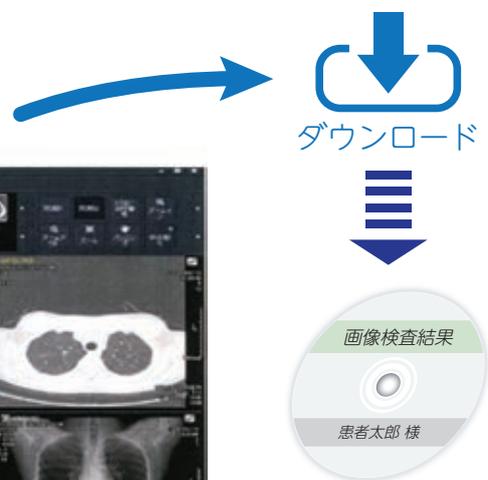


## 画像システム連携

当センターの共同利用施設で撮影したCT・MRI・胃カメラなどの画像情報は、Dr.Web を介して、いつでも参照することが可能です。また、画像データをダウンロードして診療情報提供書に添付したり、患者様へ配布するCDを作成することも可能です。



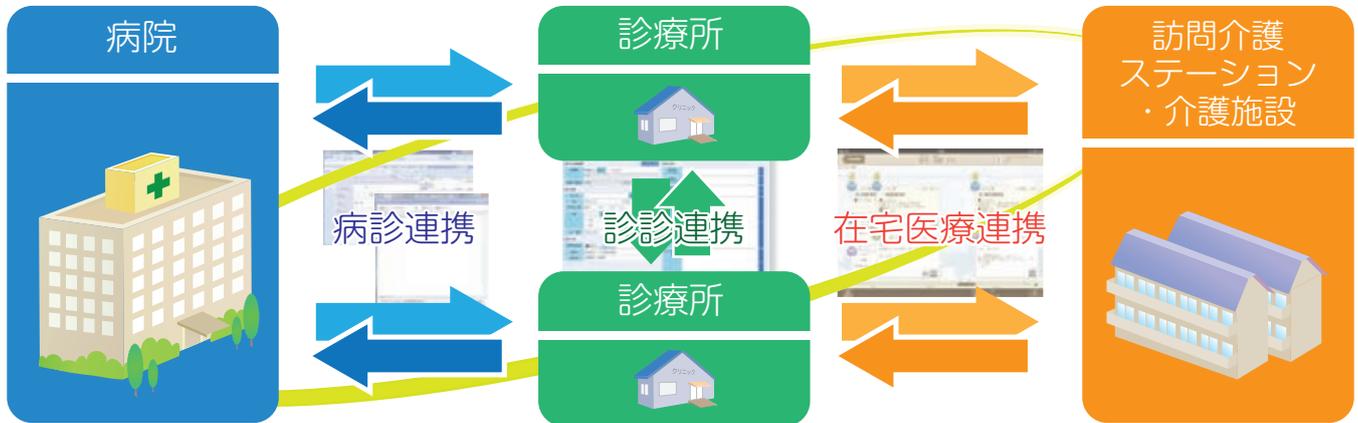
PACS 画像システム  
イメージ



## 地域医療連携機能

## Regional Medical Cooperative System

地域の医療施設を1つのネットワークで連携させ、無駄なく情報を共有します。



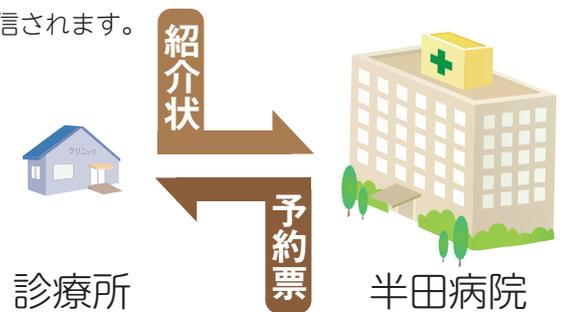
## 病診連携

hospital and clinic cooperation

診療所と病院の連携を行うためのサポートツールをご提供します。

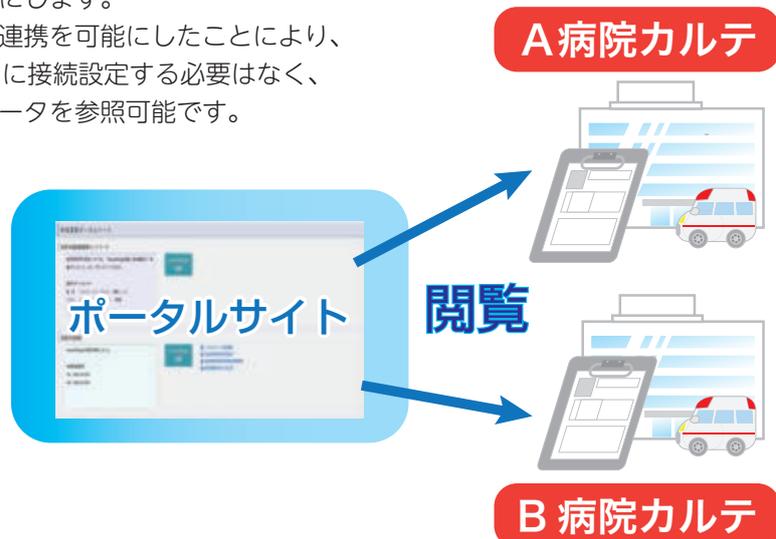
## 半田病院紹介状入力／自動FAX送信

診療所から基幹病院への患者予約をオンラインで行います。  
 入力した紹介状は、半田病院の地域連携室に自動FAX送信されます。  
 病院側で予約受付を完了させると、予約完了FAXが自動送信されます。



## 病診連携ポータルサイト

病院の電子カルテデータを参照可能にします。  
 各病院の電子カルテ開示システムと連携を可能にしたことにより、  
 Dr.Web 利用者は、病院ごとに個々に接続設定する必要はなく、  
 シームレスに各病院の電子カルテデータを参照可能です。



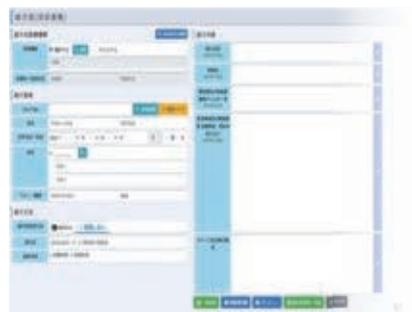
## 診診連携

clinic and clinic cooperation

診療所間の連携を行うためのサポートツールをご提供します。

## 紹介状入力／自動 FAX 送信

診療所から診療所への患者紹介をオンラインで行います。紹介内容の記入はテンプレートから簡単に入力可能です。作成した紹介状は、印刷もしくは自動FAX、Eメールでの送信が選択できます。紹介状に対する回答書の作成も可能です。



## コミュニケーションツール (CCNet)

診療所同士で、ファイルの受け渡しを安全に行うための情報共有ツールです。

在宅療養支援診療所としての連携にも利用可能です。

CCNet: Clinical Communicatoin Net (臨床情報交流ネット)



## 会員専用メール

会員間でのみ使用可能な専用のメールアドレスを使用し、安全で簡単なメール送受信が可能です。外部からのメールはすべて遮断します。



## 在宅医療連携

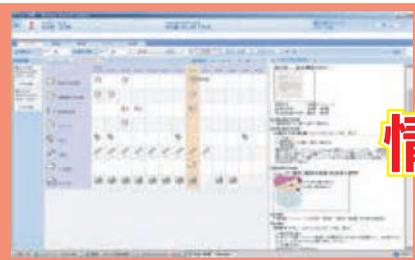
home care cooperation

Dr.Web 端末を使用して、在宅・介護情報をリアルタイムに閲覧することができます。

## 診療所内イメージ

CLINIC IMAGE

病院の電子カルテ情報



在宅・介護情報



情報の一元管理

診療所

診療情報



診療所に設置した一台のDr.Web用パソコンだけで、すべての医療情報を閲覧・管理可能になります。

## Dr・Web システム機能一覧

## 診療支援機能

- ◆ トップ (お知らせ配信)
- ◆ 検査結果参照
  - ・患者検索 (条件抽出)
  - ・検体検査結果
  - ・細菌検査結果
  - ・時系列表示
  - ・各種グラフ表示
  - ・各種報告書印刷
- ◆ 院内登録
- ◆ F D 取得 (電子カルテ用検査結果データ取得)
- ◆ 健診画像閲覧
- ◆ 生体検査予約
- ◆ P A C S システム連携
  - ・PACS システム連携起動・PACS データダウンロード
- ◆ テキスト出力 (検査結果エクスポート)
- ◆ 検体検査依頼
  - ・用手入力
  - ・電子カルテ連携入力
  - ・検体ラベル・依頼箋 自動印刷、連名票印刷

## 地域医療連携機能

- ◆ 病診連携
  - ・病診紹介状作成 (自動 FAX)
  - ・予約票発行 (病院側機能)
  - ・病診連携ポータルサイト
- ◆ 診診連携
  - ・紹介状作成 (自動 FAX・メール)
  - ・回答書作成 (自動 FAX・メール)
  - ・会員専用メーラー
  - ・CCNet (コミュニケーションツール)

## ■ システム構成イメージ

## 診療所

A 4 プリンタ ラベルプリンタ



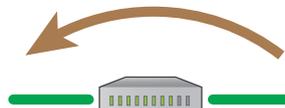
Dr.Web



検体回収

インターネット回線  
SSL-VPN

検査依頼



検査結果

電子カルテ



電子カルテとの連携を行う場合

検査結果



検査室

Dr.Webサーバー



## 検査センター

- ・インターネット回線はお客様でご準備いただく必要があります。
- ・電子カルテなしでも Dr.Web のご利用は可能です。
- ・上記構成は一例です。Dr.Web 複数台による運用など、ご相談に応じて最適な構成をご提案します。

頁	項 目	文 献 名
1	総蛋白	A.G.Gornall,et al.:Biol.Chem., 177:751,1949
1	アルブミン	Doumas.B.T.,et al.:Clin.Chem.Acta 31:87,1971
1	蛋白分画	セパラックスSP(泳動膜)パンフレット
1	尿酸	岩田 一郎,他:臨床検査 20:941,1976
1	尿酸(尿)	岩田 一郎,他:臨床検査 20:941,1976
1	プレアルブミン	古田島伸雄,他:JJCLA 32(1):84,2007
1	A/G比	浅井 孝道:検査と技術 7:815,1979
1	尿素窒素(UN)	太田 拔徳,他:臨床病理 21(補冊):303,1973
1	尿素窒素(UN)(尿)	太田 拔徳,他:臨床病理 21(補冊):303,1973
2	L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)	Kamijo A, et al: Journal of Laboratory and Clinical Medicine 143(1):23~30,2004
2	クレアチン	今野 稔:Medical Technology 12:270,1984
2	クレアチン(尿)	今野 稔:Medical Technology 12:270,1984
2	$\alpha$ 1-アンチトリプシン	山下 順香,他:医学と薬学 29(5):1239,1993
2	クレアチニン	大澤 進:Medical Technology 26(4):389,1998
2	クレアチニン(尿)	大澤 進:Medical Technology 26(4):389,1998
2	レチノール結合蛋白(RBP)	島 英明,他:医学と薬学 32(1):145,1994
2	e-GFR	日本腎臓学会編:CKD診療ガイドライン:1~129,2009
2	アンモニア(NH <sub>3</sub> )	美崎 英生:検査と技術 27(8):973,1999
2	シスタチンC(血清)	平田 昭彦,他:日本臨床 60巻増刊号 8:519,2002
2	$\alpha$ 1-マイクログロブリン	和田 守史,他:JJCLA 12:79,1987
2	$\alpha$ 1-マイクログロブリン(尿)	和田 守史,他:JJCLA 12:79,1987
3	プロコラーゲン-III-ペプチド	上野 隆登,他:医学と薬学 24(3):675,1990
3	IV型コラーゲン	キット添付説明書
3	IV型コラーゲン7S	長田 篤雄,他:医学と薬学 20(6):1507,1988
3	トランスフェリン	日高 宏哉,他:検査と技術 30(13):1377,2002
3	$\beta$ 2-マイクログロブリン	望月 照次,他:臨床検査機器-試薬 8:1244,1985
3	$\beta$ 2-マイクログロブリン(尿)	望月 照次,他:臨床検査機器-試薬 8:1244,1985
3	$\alpha$ 2-マクログロブリン	櫻林郁之介,他:臨床病理 53(特集号):71,1983
3	ハプトグロビン	櫻林郁之介,他:臨床病理 53(特集号):71,1983
3	セルロプラスミン	飯村 康夫,他:日本臨床 42(春季増刊号):1209,1984
3	ヒアルロン酸	島村 郎,他:医学と薬学 44,1141,2000
3	M2BPGi	久野 敦:医学のあゆみ 249,666-670,2014
4	アミノ酸分析定量(血漿)	遠藤 治郎,他:日本臨床 50(7):69,1992
4	BTR(総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比)	清水 浩,他:臨床化学 18(3):119,1989
4	アミノ酸分析(41種類)	日本生化学学会:生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン1版:53~67,1976
4	総ホモシステイン	Araki A et al:Journal of Chromatography 422:43~52,1987
5	無機リン(P)	Daly,J.A.and Ertingshausen,G.:Clin.Chem., 18:263,1972
5	無機リン(P)(尿)	Daly,J.A.and Ertingshausen,G.:Clin.Chem., 18:263,1972
5	カリウム(K)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	カリウム(K)(尿)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	クロール(Cl)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	クロール(Cl)(尿)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	ナトリウム(Na)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	ナトリウム(Na)(尿)	関口 光夫:検査と技術 17(9):1167,1989
5	イオン化カルシウム	桑 克彦:検査と技術 19(2):119,1991
5	カルシウム(Ca)	第54回 神奈川県医学検査学会 抄録(2005.11)
5	カルシウム(Ca)(尿)	第54回 神奈川県医学検査学会 抄録(2005.11)
5	マグネシウム(Mg)	北村 元仕,他:実践臨床化学 医歯薬出版:166,1983
5	マグネシウム(Mg)(尿)	北村 元仕,他:実践臨床化学 医歯薬出版:166,1983
6	アルミニウム(Al)	Varian Techtron Pty Limited:Analytical Method for Graphit Tube Atomizers,1988
6	鉄(Fe)(尿)	Varian Techtron Pty Limited:Analytical Method for Graphit Tube Atomizers,1988
6	銅(Cu)(尿)	Varian Techtron Pty Limited:Analytical Method for Graphit Tube Atomizers,1988
6	銅(Cu)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:604,1998
6	鉛(Pb)	原田 章,他:鉛健康診断のすすめ方:56,1990
6	不飽和鉄結合能(UBIC)	山田 満廣,他:JJCLA 13(5):659,1988
6	亜鉛(Zn)	松本 和子:臨床検査(増刊号) 34(11):1367,1990
6	亜鉛(Zn)(尿)	松本 和子:臨床検査(増刊号) 34(11):1367,1990
6	総鉄結合能(TIBC)	斎藤 宏:基礎と臨床 8(11):408,1974
6	フェリチン	田口 隆由,他:医療と検査機器-試薬 26(4):305,2003
6	鉄(Fe)	徳井 健志,奥田 潤:臨床化学 16(1):48,1987
6	セレン	Tulley,R.T.et al.:Clin.Chem.28,1448,1982.
7	カドミウム(Cd)	Varian Techtron Pty Limited:Analytical Method for Graphit Tube Atomizers,1988
7	カドミウム(Cd)(尿)	Varian Techtron Pty Limited:Analytical Method for Graphit Tube Atomizers,1988
7	マンガン(Mn)(全血)	加地 浩,他:日本災害医学会誌 37:195,1989
7	クロム(Cr)	松岡 澄:産業医学 13(6):27,1971
7	クロム(Cr)(尿)	松岡 澄:産業医学 13(6):27,1971
7	浸透圧	長浜 大輔:検査と技術 14(9):961,1986
7	尿浸透圧	長浜 大輔:検査と技術 14(9):961,1986
7	水銀(Hg)	神奈川県公害センター監修:公害関係の分析法と解説 神奈川県弘済会,1972
7	水銀(Hg)(尿)	神奈川県公害センター監修:公害関係の分析法と解説 神奈川県弘済会,1972
7	結石分析	神 ちひろ,他:分析化学 53(7):735,2004
8	血糖(グルコース)	H.U.Bergmeyer,ed:Methods of Enzymatic Analysis,Academic Press,New York and London:117,1963
8	ヘモグロビンA1c	佐々木美香子,他:JJCLA 34(1):77,2009
8	1,5-アンヒドロ-D-グルシトール	森脇 真美,他:臨床検査機器-試薬 24(2):139,2001
8	グリコアルブミン	藤田 知代,他:医学と薬学 47(1):141,2002

頁	項 目	文 献 名
9	ケトン体分画(動脈血)	菊野 晃,他:臨床検査 41:963,1997
9	血中ケトン体分画	菊野 晃,他:臨床検査 41:963,1997
9	シアル酸	水田 亘,他:臨床病理 特(54):128~134,1983
9	ピルビン酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8(3):16,1985
9	乳酸	浅沼 和子,他:生物試料分析 8(3):16,1985
9	ヒアルロン酸	島村 朗,他:医学と薬学 44(6):1441,2000
9	KL-6	西村 順,他:医学と薬学 41(6):1159,1999
9	SP-D(サーファクタントプロテインD)	永江 尚人,他:医学と薬学 36(4):803,1996
9	SP-A(サーファクタントプロテインA)	日野修一郎,他:医学と薬学 32(4):827,1994
9	M <sub>2</sub> BPGi	久野 敦:医学のあゆみ 249,666~670,2014
10	ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	Recommendations of the German Society for Clinical Chemistry:Z.Klin.Chem.Klin.Biochem.,10:291,1972
10	LDアイソザイム	キット添付説明書
10	コリンエステラーゼ(ChE)	高木 康:総合臨床 27:2392,1978
10	ALPアイソザイム	松下 誠:検査と技術 33(12):1359,2005
10	BAP(骨型アルカリフォスファターゼ)	倉澤健太郎,他:医学と薬学 55(2):279,2006
10	AST(GOT)	日本臨床化学会:臨床化学 18(4):226,1989
10	ALT(GPT)	日本臨床化学会:臨床化学 18(4):250,1989
10	アルカリフォスファターゼ(ALP)	日本臨床化学会:臨床化学 19(2):209,1990
10	乳酸脱水素酵素(LD)	日本臨床化学会:臨床化学 19(2):228,1990
10	γ-グルタミールトランスペプチダーゼ(γ-GT)	日本臨床化学会:臨床化学 24:106,1995
11	リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi.H. et al.:Clin.Chem.Acta 216:113,1993
11	リパーゼ	松井 静代,他:医学と薬学 41(3):489,1999
11	アミラーゼ	白井 秀明:医学と薬学 59(6):1093,2008
11	アミラーゼ(尿)	白井 秀明:医学と薬学 59(6):1093,2008
11	アミラーゼアイソザイム	平沢 豊,他:臨床検査 32:1272,1988
11	アミラーゼアイソザイム(尿)	平沢 豊,他:臨床検査 32:1272,1988
11	P型アミラーゼ	野村 博,他:臨床検査機器 試薬 19(1):27,1996
12	CKアイソザイム	Galen RS.:HUMAN PATHOLOGY 6(2):141,1975
12	トリブシン	植田進之介,他:医学と薬学 77,1659~1668,2020
12	ペプシノゲン I・II (PG I・II)	三木 一正:医学と薬学 49(3):519,2003
12	CK-MB	初山 弘幸,他:医学と薬学 29(3):675,1993
12	アルドラーゼ	小酒井 望:正常値 医学書院:269,1973
12	麟ホスホリパーゼA2(PLA2)	上田 章,他:臨床病理 37(5):561,1989
12	クレアチンキナーゼ(CK)	日本臨床化学会:臨床化学 19(2):184,1990
12	リゾチーム	北村 元仕,他:実践臨床化学 医歯薬出版:432,1983
12	リゾチーム(尿)	北村 元仕,他:実践臨床化学 医歯薬出版:432,1983
12	アデニンデアミナーゼ(ADA)	江頭 静摩,他:現代の診療 24(4):131,1982
12	アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	山下寿美子,他:臨床検査機器 試薬 10(1):71,1987
12	グアナーゼ	藤井 節郎,他:臨床化学 12:208,1983
13	コプロポルフィリン定量	M.Salmi:Clin.Chem. 26(3):1832,1980
13	ポルフォビリノゲン定量	Mauzerall,D.,et al.:Biol.Chem. 219:435,1956
13	ウロポルフィリン定量	近藤 雅雄:日本臨床 53(6):65,1995
13	コプロポルフィリン定量	近藤 雅雄:日本臨床 53(6):65,1995
13	総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他:臨床化学 22:116,1993
13	直接ビリルビン(D-Bil)	徳田 邦明,他:臨床化学 22:116,1993
13	胆汁酸	吉田 雅明,他:臨床検査機器 試薬 17(2):335,1994
13	δ-アミノレブリン酸	園藤 陽子,他:産業医学 35:126~127,1993
14	総コレステロール	Allain,C.C.,et al.:Clin. Chem. 20:470,1974
14	エステル型コレステロール	Allain,C.C.,et al.:Clin. Chem. 20:470,1974
14	遊離型コレステロール	Allain,C.C.,et al.:Clin. Chem. 20:470,1974
14	LDLコレステロール	Sugiuchi H.,et al.:Clin. Chem. 44(3):522,1998
14	コレステロール分画	五十嵐輝男,他:医学検査 41(11):1703,1992
14	酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫:酸化ストレスマーカー 学術出版センター:243~246,2005
14	中性脂肪	松宮 和人:Medical Technology 11(12):1201,1983
14	レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	滝野 豊,他:医学と薬学 56(2):269,2006
14	HDLコレステロール	田中 忍,他:医学検査 58(5):402,2009
14	アポリポ蛋白	藤田 誠一,他:臨床検査 29:1401,1985
15	遊離脂肪酸	Shimizu.S.,et al.:Anal Biochem 107:193,1980
15	リポ蛋白(a)(LP(a))	吉岡 成人,他:ホルモンと臨床 41:1119,1993
15	血中脂肪酸分画	小沢 昭夫,他:分析化学 31:87,1981
15	リン脂質	仁科 甫啓:検査と技術 15(4):333,1987
15	アポリポ蛋白 Eフェノタイプ	片岡伸久朗,他:臨床検査 37(12):1267~1271,1993
15	リポ蛋白分画	芝 紀代子:目でみる電気泳動法 2:91~99,1989
16	ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J.,et al.:Analytical Biochemistry 229:329,1995.
16	ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28:277,1975
16	葉酸	安田 和人,他:医療と検査機器 試薬 25(5):441,2002
16	β-カロチン	加美山茂利,他:臨床検査 31(3):268~274,1987
16	ビタミンB12	河口 行雄,他:医学と薬学 41(1):145,1999
16	カルニチン分画	Takahashi M.,et al.:Clinical Chemistry 40(5):817~821,1994
16	ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋:ビタミン 56(9-10):487~499,1982
16	ビタミンB6	吉田 継親,他:薬学雑誌 98:1319,1978
16	1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	高田 朋玲,他:医学と薬学 37,1205~1210,1997
16	25-OHビタミンD	高田 朋玲,他:医学と薬学 37(5):1205,1997
16	ビタミンA(レチノール)	須原 聡,他:臨床検査 36(3):235,1992
16	ビタミンB2	大石 誠子:ビタミンハンドブック3,ビタミン分析法(化学同人):71~80,1989

頁	項 目	文 献 名
16	ビタミンB1	木村美恵子,他:ビタミン 55:185,1981
17	ICG(インドシアニングリーン試験)	金井 泉:臨床検査法提要 31版:1424~1425,1998
17	クレアチニンクリアランス	金井 泉:臨床検査法提要 30版:1450~1453,1993
18	MMP-3(マトリックスメタロプロティナーゼ-3)	横内 敬二,他:新薬と臨床 50:215,2001
18	LE細胞	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 30:373,1993
18	RF(リウマトイド因子)定性(RA)	三浦 裕,他:機器 試薬 19(6):893,1996
18	RF(リウマトイド因子)定量(RF)	三浦 裕,他:機器 試薬 19(6):893,1996
18	抗CCP抗体	山田 泰範,他:医学と薬学 61(2):253,2009
18	抗ガラクトース欠損IgG抗体	山田 雄二,他:基礎と臨床 31(1):81,1997
18	抗核抗体	柴崎 光衛,他:医学と薬学 36(2):319,1996
18	IgG型リウマチ因子(IgG-RF)	中園 清:医学と薬学 45(3):481,2001
18	抗精子抗体	磯島 晋三,他:日本産婦人科学会雑誌 31:1906,1979
18	抗胃壁細胞抗体	長島 秀夫:日本臨床 40:937,1982
18	抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	長澤 俊彦,他:臨床検査機器 試薬 20(3):367~374,1997
18	補体因子C3( $\beta$ 1C/ $\beta$ 1Aグロブリン)	黒澤 弘美,他:医療と検査機器 試薬 25(2):159,2002
18	補体因子C4( $\beta$ 1Eグロブリン)	黒澤 弘美,他:医療と検査機器 試薬 25(2):159,2002
18	血清補体価(CH50)	小島 健一:新臨床検査技師講座12,免疫血清学 医学書院:350,1984
19	抗Jo-1抗体	松下 雅和,他:医学と薬学 70(1):109~17,2013
19	抗Scl-70抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69(4):677,2013
19	抗Sm抗体	西山 進,他:医学と薬学 68(2):345,2012
19	抗SS-A抗体/Ro抗体定量	西山 進,他:医学と薬学 68(2):345,2012
19	抗SS-B抗体/La抗体定量	西山 進,他:医学と薬学 68(2):345,2012
19	抗RNP抗体	西山 進,他:医学と薬学 68(2):345,2012
19	抗DNA抗体(RIA法)	鈴木 王洋,他:臨床免疫 25(8):1096,1993
19	抗ds-DNA-IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747,2001
19	抗ds-DNA-IgM抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747,2001
19	抗ss-DNA-IgG抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747,2001
19	抗ss-DNA-IgM抗体	陣内 記代,他:日本臨床検査自動化学会誌 26(6):747,2001
19	抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45(2):133~138,2011
19	抗RNAポリメラーゼIII抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40(3):237~245,2008
19	抗Mi-2抗体	室 慶直:医学のあゆみ239,83~87,2011
19	抗TIF1- $\gamma$ 抗体	室 慶直:医学のあゆみ239,83~87,2011
19	抗MDA5抗体	Gono T. et al.:Mod. Rheumatol. 29,140~145,2019
20	抗皮膚抗体	吉岡 順子:皮膚 23(1):29,1981
20	抗LKM1抗体(EIA(ELISA)法)	宮川 浩,他:医学と薬学 44(1):121,2000
20	抗アスモグレイン3抗体	黒田 慶子,他:医学と薬学 49(1):108~116,2003
20	抗アスモグレイン1抗体	黒田 慶子,他:医学と薬学 49(1):108~116,2003
20	抗BP180抗体(類天疱瘡抗体)	黒田 慶子,他:医学と薬学 49(1):108,2004
20	MPO-ANCA(P-ANCA,抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体)	陣内 記代,他:医学と薬学 44(3):551,2000
20	PR3-ANCA(抗好中球細胞質プロティナーゼ3抗体)	陣内 記代,他:医学と薬学 44(3):551,2000
20	抗ミトコンドリアM2抗体(AMA-M2)	竹村 真理,他:医学と薬学 46(5):809,2001
20	抗平滑筋抗体	長島 秀夫:日本臨床 40:935,1982
20	抗ミトコンドリア抗体(AMA)	長島 秀夫:日本臨床 43:222,1985
20	抗アクアポリン4抗体	松下 拓也,他:医学と薬学 70(4):821,2013「多発性硬化症治療ガイドライン」作成委員会:多発性硬化症治療ガイドライン 2010,2010
20	抗セントロメア抗体	小島 和夫,他:医学と薬学 69(4):677~687,2013
21	豚島細胞質抗体(ICA)	桜美 武彦:免疫と疾患 4:21,1982
21-59	インスリン抗体	内湯 安子,他:医学と薬学 65,525~530,2011
21-59	抗GAD抗体(抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体)価	高瀬 清美,他:ホルモンと臨床 44:897,1996
21	抗アセチルコリンレセプター抗体	太田 光照,他:ホルモンと臨床 40(7):749,1992
21	抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 75,669-680,2018
21	ロイシンリッチ $\alpha$ 2グロブリン(LRG)	高山 茂雄,他:医学と薬学 76(12):1769~1780,2019
21	便中カルプロテクチン	松岡 克善,他:医学と薬学 74,717~726,2017
22	間接クームス試験	Reis KJ, et al. Transfusion 33:639,1993
22	不規則性抗体(同定)	河合 忠:臨床検査技術全書4 免疫血清検査 医学書院:319,1973
22	直接クームス試験	浅井 隆善:医学のあゆみ 167:700,1993
22	不規則性抗体	浅井 隆善:医学のあゆみ 167:700,1993
22	ABO式血液型	土方 和男:医療器械学 74(9):452,2004,日本臨床衛生検査技師会:日臨技輸血検査標準法 日本臨床衛生検査技師会:1985
22	Rh(D)式血液型	土方 和男:医療器械学 74(9):452,2004,日本臨床衛生検査技師会:日臨技輸血検査標準法 日本臨床衛生検査技師会:1985
22	Rh-Hr式血液型	日本臨床衛生検査技師会:日臨技輸血検査標準法 日本臨床衛生検査技師会:1985
22	血液型不適合妊娠	浮田 昌彦,他:日本輸血学会誌 29:516,1983
22	抗カルジオリピン抗体IgG	岡田 純,他:医学と薬学 36(6):1389,1996
22	抗カルジオリピン- $\beta$ 2-グロブリン1複合体抗体(抗CL- $\beta$ 2GP I抗体)	小池 隆夫,他:医学と薬学 26(3):535,1991
22	抗カルジオリピン抗体IgM	鍋木 淳一,他:医学と薬学 36(6):1183~1188,2000
22	抗 $\beta$ 2グロブリンI抗体 IgG	小川 昌起,他:医学と薬学 78(4):447~459,2021
22	抗 $\beta$ 2グロブリンI抗体 IgM	小川 昌起,他:医学と薬学 78(4):447~459,2021
23	IgA	黒澤 弘美,他:医療と検査機器 試薬 25(2):159,2002
23	IgG	黒澤 弘美,他:医療と検査機器 試薬 25(2):159,2002
23	IgM	黒澤 弘美,他:医療と検査機器 試薬 25(2):159,2002
23	IgG4	川茂 幸,他:医学と薬学 64,95~104,2010
23	IgE	島津伸一郎,他:アレルギーの領域 2(7):62,1995
23	尿蛋白免疫電気泳動(B- $\gamma$ 蛋白同定)	櫻林郁之介:Medical Technology 7(13):1246,1979
23	免疫電気泳動(抗人全血清)	櫻林郁之介:Medical Technology 7(13):1246,1979
23	免疫電気泳動(特異抗血清)	櫻林郁之介:Medical Technology 7(13):1246,1979
23	血小板関連IgG	林 悟,他:臨床病理 32:1253,1984
23	HIT抗体	阪田 敏幸:医学と薬学 68(3):547,2012 宮田 茂樹:日本検査血液学会雑誌 12(1):60,2011

頁	項 目	文 献 名
23	抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(遠山 博編),中外医学社:457,1978
23	鳥特異的IgG抗体	Shirai T. et al.:Allergol. Int. 70,208~214,2021
24	アトピー鑑別試験	奥平 博一,他:アレルギー 40:544,1991
24	IgEシングルアレルゲン	我妻 義則,他:医学と薬学 23:83,1990
24	MAST36	山下 耕平:アレルギーの臨床 28(4):70,2008
24	TARC	石田 俊雄,他:医学と薬学 58(6):901~907,2007
24	IgEマルチアレルゲン	大塚 博邦,他:アレルギーの臨床 10(3):65,1990
24	特異的IgE Ara h2 ピーナッツ由来	奥田 勲,他:医学検査 46(10):1526~1530,1997 海老澤元宏,他:日本小児アレルギー学会誌 27:621~628,2013
24	特異的IgE(View39)	張田 聖恵:医学と薬学 73(6):721~726,2016
24	SCCA2	Nagao M,et al.:J. Allergy Clin. Immunol. 141,1934,2018
28	抗ストレプトリジンO	Rantz,L.,et al.Proc.Exp.Biol.Med., 59:22,1945
28	アミロイドA蛋白	永徳 広美,他:生物物理化学 37:19,1993
28	APRスコア	後藤 玄夫:小児科臨床 30,757~764,1977
28	寒冷凝集反応	工藤 肇:日本臨床 26:330,1968
28	マイコプラズマニューモニエ核酸同定	山口 恵三,他:医学と薬学 58(4):565~571,2007
28	A群β溶連菌迅速試験	山中 龍宏,他:医学と薬学 56,785~789,2006
28	マイコプラズマ抗体(PA法)	鷹簀 孝一,他:獨協医科大学病院 臨床検査部血清室(試薬メーカー提供資料)
28	マイコプラズマ抗体(CF法)	中村 良子,他:JARMAM 1(2):169,1989
28	C反応性蛋白定性(CRP定性)	田中 元彦,他:理章検査機器 試薬 27(3):195,2004
28	C反応性蛋白定量(CRP定量)	田中 元彦,他:理章検査機器 試薬 27(3):195,2004
29	β-D-グルカン	T.Mori.,et al.:Eur J Clin Chem Clin Biochem. 35:553,1997
29	肺炎球菌抗原	小林 隆夫,他:感染症学雑誌 76(12):995,2002
29	MAC抗体	Kitada.S.,et al:Clin Diagn.Lab Immunol,12 44~51,2006
29	カンジダマンナン抗原	Kitada.S.,et al:Am J Respir Crit Care Med,177,793~797,2008 新崎 晃弘,他:臨床検査機器 試薬 23(3):107~203,2000
29	トリコスボリン・アサヒ抗体	三宅 修司,他:日本呼吸器学会誌 39(1):7~11,2001
29	アスペルギルス抗体	U.S.Department of Health Education and Welfare.Revised December,1974
29	エンドトキシン	小森 敏明,他:JJCLA 21(1):81,1996
29	透析液エンドトキシン	生井 梨愛,他:腎と透析 別冊:74,2003
29	クリプトコッカス・ネオフォルマンズ抗原	二見 修平,他:Jpn.J.Med.Mycol. 30(3):211,1989
29	アスペルギルス抗原	木下 承皓,他:医学検査 48(6):995,1999
29	プロカシトニン(PCT)	齋藤 大輔,他:医学と薬学 62(2):323,2009
30	クラミジアトラコマチスPCR(クラミジアトラコマチス核酸増幅同定)(子宮頸管擦過細胞)	熊本 悦明,他:日本性感染症学会誌 6(1):62,1995
30	クラミジアトラコマチスPCR(クラミジアトラコマチス核酸増幅同定)(男子初尿)	熊本 悦明,他:日本性感染症学会誌 6(1):62,1995
30	淋菌PCR(淋菌核酸増幅同定)	熊本 悦明,他:日本性感染症学会誌 6(1):62,1995
30	腫トリコモナス/マイコプラズマ・ジェニタリウム同時核酸検出	Higuchi R. et al.:Biotechnology(NY) 10,413~417,1992 Heid C.A. et al.:Genome Res. 6,986~994,1996 Longo M.C. et al.:Gene 93,125~128,1990
31	クラミジアニューモニエIgA抗体	岸本 寿男,他:感染症学雑誌 73(5):457,1999
31	クラミジアニューモニエIgG抗体	岸本 寿男,他:感染症学雑誌 73(5):457,1999
31	クラミジアニューモニエIgM	宮下 修修,他:小児科診療 71(1):95~99,2008
31	クラミジアシタシIgG	厚生省監修:微生物検査必携ウイルス クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:62~75,1987
31	クラミジアシタシIgM	厚生省監修:微生物検査必携ウイルス クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:62~75,1987
31	クラミジアトラコマチスIgG・IgA抗体	松本 明,他:感染症学雑誌 66(5):584,1992
31	トキソプラズマIgG抗体	Anderson S.E.and Remington J.S.:Southern Med.J. 68:1433,1975
31	トキソプラズマIgM抗体	Anderson S.E.and Remington J.S.:Southern Med.J. 68:1433,1975
31	オーム病クラミジア抗体	徐 慶一郎:日本臨床増刊:146,1985
32	尿中レジオネラ抗原	Timothy Hrrisn:Clinical Microbiology and infection 4(7):359,1998
32	ツツガムカトールIgG抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ツツガムカトールIgM抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ツツガムカトールIgG抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ツツガムカトールIgM抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ツツガムカトールIgG抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ツツガムカトールIgM抗体	山本 正悟:臨床とウイルス 12(3):270,1984
32	ボルネオ・ブルドルフェリ抗体(ライム抗体)	Schwan T.G.,et al.:In Manual of Clinical Microbiology.7th edition.pp,746~758.P.R.Murray,Washington,D.C.1999
33	百日咳菌抗体	池田 紀美:衛生検査 29:181,1979
33	百日咳抗体(IgA・IgM)	小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会:小児呼吸器感染症診療ガイドライン2017(協和企画):236~240,2016
33	百日咳菌核酸検出	Kamachi k.et al:Clin Microbio44(5):1899~1902,2006
33	ヘリコバクター・ピロリ抗原	柴谷 直美,他:Helicobacter Research 10(5):426,2006
33	ヘリコバクター・ピロリ抗体	菊地 正悟,他:医学と薬学 43(3):581,2000
33	尿素呼吸試験	大原 秀一,他:日本消化器病学会雑誌 93(8):530~536,1996
34	HBs抗原(定性)	間野 洋子,他:JJCLA 18(2):148,1993
34	HBs抗原精密(CLIA)	関口 仁,他:臨床検査機器 試薬 22(4):283,1999
34	HBe抗原	宮川 正明,他:医学と薬学 52(4):621,2004
34	HBe抗体	宮川 正明,他:医学と薬学 52(4):621,2004
34	HBe抗体	森藤 隆夫,他:臨床病理(特集):101,1986
34	IgM-HBc抗体	中尾瑠美子,他:医学と薬学 52(5):847,2004
34	IgG-HA抗体	田中 英介,他:医学と薬学 46(6):1017,2001
34	IgM-HA抗体	田中 英介,他:医学と薬学 46(6):1017,2001
34	B型肝炎ウイルスコア関連抗原	田中 靖人,他:臨床病理 54(7):692~698,2006
34	HBs抗体精密(CLIA)	藤原 拓樹,他:医学と薬学 42(4):623,1999
34	HBc抗体精密	飯田 健一,他:Prog.Med. 22:1037,2002
34	HBV-DNA定量(リアルタイムPCR法)	キット添付説明書
35	HBVジェノタイプ	田中 靖人,他:臨床病理 57(1):42,2009
36	HCV-RNA-コアジェノタイプPCR	Okamoto H.,et al.:J.General Virology 74:2385,1993
36	HCV-核酸定量(リアルタイムPCR法)	狩野 吉康,他:医学と薬理 58(1):137,2007

頁	項 目	文 献 名
36	HCV抗体	小池 紀子,他:機器・試薬 22(2):141,1999、近平 佳美,他:医学と薬学 37(2):521,1997
36	HCV群別判定	青木 芳和,他:臨床検査機器・試薬 17(3):601,1994
36	HCVコア抗原	田中 栄司,他:医学と薬学 46(2):247,2001
36	IgA-HEV	飯野 四郎,他:医学と薬学 53(4):461,2005
38	FTA-ABS定性	水岡 慶二:皮膚科の臨床 昭44 11(4):294,1969
38	FTA-ABS半定量	水岡 慶二:皮膚科の臨床 昭44 11(4):294,1969
38	RPR法定性	大里 和久,他:日本性感染症学会誌 13(1):124,2002、赤坂 希,他:機器・試薬 23(3):191,2000
38	RPR法半定量	大里 和久,他:日本性感染症学会誌 13(1):124,2002、赤坂 希,他:機器・試薬 23(3):191,2000
38	TPHA定性	大里 和久,他:日本性感染症学会誌 13(1):124,2002、大里 和久,他:臨床検査機器・試薬 14(4):739,1991
38	TPHA半定量	大里 和久,他:臨床検査機器・試薬 14(4):739,1991
39	HIV-1RNA定量(リアルタイムPCR法)	Wolfran S, et al.: Journal of Clinical Virology 38:304,2006
39	HIV抗原・抗体	新田 幸一,他:医学と薬学 57(2):231,2007
39	HIV-1/2特異抗体	Kondo M, et al.: PLoS ONE 13(10):e0198924:1~10, 2018
40	赤血球数(RBC)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:264,1998
40	ヘマトクリット値(Hct)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:270,1998
40	血色素量(Hb)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:272,1998
40	MCH(平均赤血球血色素量)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:275,1998
40	MCHC(平均赤血球血色素濃度)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:275,1998
40	MCV(平均赤血球容積)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:275,1998
40	網状赤血球数	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:277,1998
40	白血球数(WBC)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:279,1998
40	好酸球数	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:280,1998
40	血小板数(PLT)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:281,1998
40	赤血球像	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 30:286,1993
40	白血球像	梶玉 明好,他:JJCLA 16(6):690,1991
41	鉄染色	影山 圭三,他:病理組織標本の作り方 医学書院:231,1978
41	赤血球沈降速度	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 27:VI-120,1975
41	全血比重	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 29:404,1983
41	マラリア原虫	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 30:363,1993
41	好中球アルカリフォスファターゼ染色	古沢 新平:臨床検査技術全書 3 血液検査(三輪央朗編)第1版(医学書院):134~136,1972
41	PAS染色	三輪 史朗:臨床検査技術全書 3 血液検査 医学書院:134,1982
41	骨髓像	三輪 史朗:臨床検査技術全書 3 血液検査 医学書院:207,1982
41	ペルオキシダーゼ染色	松岡 瑛:臨床病理 特集 48:27,982
41	鼻汁好酸球	鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会:鼻アレルギー診療ガイドライン 改訂4版:2002
42	第Ⅸ因子(凝固抑制因子)	Sirridge.M.S., et al.: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis, 3rd Ed. Lea&Febiger. 196,1983
42	第Ⅷ因子(凝固抑制因子)	Sirridge.M.S., et al.: Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis, 3rd Ed. Lea&Febiger. 196,1983
42	第Ⅱ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第Ⅸ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第Ⅷ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第Ⅶ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第Ⅴ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第Ⅹ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第ⅩⅠ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第ⅩⅡ因子	安達 眞二: Medical Technology 24:629,1996
42	第ⅩⅢ因子	上原 和子,他:JJCLA 18(1):19,1993
42	フィブリノゲン定量	佐藤 祐子,他:臨床検査機器・試薬 20:549,1997
42	活性化部分トロンボプラスチン時間	佐藤 祐子,他:臨床検査機器・試薬 20:549,1997
42	プロトロンビン時間	湯村 暁,他:医学検査 57(12):1377,2008
43	C1インアクチベーター活性	Dick W, et al.: Immun Infekt 13:113~118,1995
43	$\alpha$ 2-プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	Friberger P, et al.: Haemostasis 7:138,1978
43	フォン・ウィルブラント因子抗原定量(v.W因子抗原定量)	安室 洋子,他:臨床検査機器・試薬 8(6):1386,1985
43	FDP	井本 清美,他:医学と薬学 43(2):401,2000
43	プロトロンビンフラグメントF1+2(PTフラグメントF1+2)	高橋 芳右,他:血栓止血誌 2(6):469,1991
43	フォン・ウィルブラント因子活性(v.W因子活性)	高瀬 俊夫,他:診療と新薬 19:3097,1982
43	アンチトロンビンⅢ(AT-Ⅲ)	佐藤 祐子,他:臨床検査機器・試薬 20:549,1997
43	$\alpha$ 2-プラスミンインヒビター・プラスミン複合体( $\alpha$ 2-PIC)	徐 吉夫,他:臨床検査機器・試薬 16(6):1107,1993
43	D-ダイマー	斎藤 恭子,他:医療と検査機器・試薬 29(1):71,2006
43	フィブリンモノマー複合体(SFMC)	田原千枝子,他:血液と脈管 15:71,1984
43	プラスミノゲン	田中由美子:臨床検査機器・試薬 7:1,1984
43	トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT複合体)	豊川 真弘,他:医学と薬学 23(5):959,1990
43	尿中FDP	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14:267,1991
43	ヘパリン	Teien A et al.: Thrombosis Reseach 8 (3):413~416,1976
44	トータルPAI-1	Decleek P.J.: Blood. 71(1):220,1988
44	プロテインC活性	Martioli J.L., et al.: Thromb. Res. 43:253,1986
44	プロテインS活性	鬼沢 実:機器・試薬 15(2):166,1992
44	ループスアンチコアグラント(リン脂質中和法)	後藤 守孝,他:Mod. Physician 15(12):1545,1995
44	$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18:326,1987
44	血小板第4因子(PF4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18:326,1987
44	ループスアンチコアグラント(DRVVT法)	佐藤久美子,他:臨床病理 43(3):263,1995
44	プロテインS	阪田 敏幸,他:医学と薬学 51(1):167,2004
44	プロテインC	筒井 聡明,他:検査と技術 12(7):581,1984
46	尿蛋白定量	安原 正善,他:臨床検査機器・試薬 8(5):1175,1985
46	ウロビリリン(尿)定性	浦 元子,福島 節子: Med Technol, 14,1263,1986
46	尿ケトン体(アセトン体)定性	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿ビリルビン定性	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003

# 142 参考文献一覧

頁	項 目	文 献 名
46	尿潜血反応	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿蛋白定性	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿反応(PH)	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿比重	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿ウロビリノーゲン定性	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	尿糖定性、定量	山本 ユミ,他:医療と検査機器・試薬 26(3):217,2003
46	アルブミン定量(随時尿)	長原三輝雄,他:JJCLA 17:70,1992
46	アルブミン定量(蓄尿)	長原三輝雄,他:JJCLA 17:70,1992
46	尿NAG	渡辺 信子,他:JJCLA 20(2):134,1995
46	尿中トランスフェリン	徳山昌司郎,他:医学と薬学 39(4):835,1998
47	虫卵(塗抹)	吉田 幸雄:図説人体寄生虫学 南山堂 第4版 256
47	尿沈渣	久野 豊,他:医学検査 48(7):1116,1999
47	尿沈渣顕微鏡検査(染色した場合)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:191,1998
47	リバルタ反応(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:227,1998
47	比重(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:227,1998
47	蛋白定量(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:228,1998
47	糖定量(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:228,1998
47	結晶同定(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:235,1998
47	細胞数(その他の穿刺液・採取液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:293,1998
47	便ヘモグロビン・トランスフェリン(Hb・Tf)定性	山懸 文夫,他:医療と検査機器・試薬 29(2):121,2006
47	便ヘモグロビン・トランスフェリン(Hb・Tf)定量	山懸 文夫,他:医療と検査機器・試薬 29(2):121,2006
47	便ヘモグロビン定性(潜血金コロイド法)	山懸 文夫,他:医療と検査機器・試薬 29(2):121,2006
47	便ヘモグロビン定量(潜血金コロイド法)	山懸 文夫,他:医療と検査機器・試薬 29(2):121,2006
47	便ヘモグロビン(潜血LA)	竹下 俊隆,他:大腸肛門誌 38:780,1985
48	精子運動率	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 29:656,1983
48	奇形精子率	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 29:656,1983
48	量(精液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 29:656,1983
48	精子数	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 29:656,1983
48	カリウム(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 30:228,1993
48	ナトリウム(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 30:228,1993
48	細胞数(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:245,1998
48	細胞種類(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:247,1998
48	蛋白定量(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:249,1998
48	ノンネアペルト反応(グロブリン反応)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:251,1998
48	パンデー反応(グロブリン反応)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:252,1998
48	糖定量(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:254,1998
48	クロール(髄液)	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:255,1998
48	トリプトファン反応	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:256,1998
49	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	阿部 正樹,他:医学と薬学 57(2):239,2007
49	成長ホルモン(GH)	岩原 邦宏,他:医学と薬学 52(2):255,2004
49	黄体形成ホルモン(LH)	結城 明美,他:医学と薬学 29(1):225,1993
49	卵胞刺激ホルモン(FSH)	結城 明美,他:医学と薬学 29(1):225,1993
49	甲状腺刺激ホルモン(TSH)	斎藤 二三,他:ホルモンと臨床 41(5):475,1993
49	プロラクチン(PRL)	山本 剛史,他:ホルモンと臨床 40(12):79,1992
49	ソマトメジンC(IGF-1)	勢川 真理,他:核医学 27:1323,1990
49	パンクレチン(AVP)	大磯ユタカ,他:日本内分泌学会誌 62,608~618,1986
50	TSAb	田上 哲也,他:糖尿病・内分泌代謝科 53,479~486,2021
50	サイロキシシン(T4)	井上 健,他:Radioisotope 33:717,1984
50	遊離サイロキシシン(F-T4)	井上 健,他:ホルモンと臨床 41:927,1993
50	TSHレセプター抗体 human(TRAb-human)	小森明日香,他:医学と薬学 46(4):563,2001
50	トリヨードサイロニン(T3)	上條 桂一,他:医学と薬学 28(6):1321,1992
50	遊離トリヨードサイロニン(F-T3)	上條 桂一,他:医学と薬学 33(2):507,1995
50	サイログロブリン	森田 新二,他:医学と薬学 49(5):797,2003
50	抗サイログロブリン抗体(抗Tg抗体)	森田 新二,他:医学と薬学 55(5):775,2006
50	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	森田 新二,他:医学と薬学 55(5):775,2006
50	TSHレセプター抗体(TRAb)	西 功,他:医学と薬学 39(5):1031,1998
50	サイロキシシン結合蛋白(TBG)	中谷 清美,他:ホルモンと臨床 27:813,1979
52	カルシトニン	高見 博,他:ホルモンと臨床 37(2):151,1989
52	副甲状腺ホルモン(PTH-Intact)	山岡 美穂,他:医学と薬学 46(5):753,2001
52	whole PTH	山下 弘幸,他:医学と薬学 48(2):243~247,2002
52	副甲状腺ホルモン関連蛋白Intact(PTHrP-Intact)	福本 誠二,他:ホルモンと臨床 40(12):91,1992
52	25-OHビタミンD(ECLIA)	Batista M.C.et al.:Clin.Chem.Lab.Med. 56, e298-e301,2018
52	25-OHビタミンD(CLIA)	Ersfeld D. Let al.:Clin.Biochem. 37, 867-874,2004
52	1.25-(OH)2ビタミンD	高田 朋玲,他:医学と薬学 37,1205-1210,1997
53	低カルボキシシレ化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬理 57(4):523~535,2007
53	骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	倉澤健太郎,他:医学と薬学 55(2):279~285,2006
53	total P1NP	日高 好博:医学と薬学 70(2):357~365,2013
53	I型コラーゲンC末端テロペプチド	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42(12):1189~1193,1994
53	オステオカルシン	川口 浩,他:ホルモンと臨床 38(12):1291,1990
53-66	NTx(I型コラーゲン架橋N-テロペプチド)(尿)	橋口 佳枝,他:医学と薬学 39(3):609,1998
53-66	デオキシピリジノリン(DPD)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44(7):747,1996
53-66	TRACP-5b(酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ5b)定量	西沢 良記,他:医学と薬学 54(5):709,2005
54	11-ヒドロキシコルチコステロイド(11-OHCS)	宇田川美佐子,他:臨床化学 5(3):321,1977
54	アルドステロン(血清)	塩野入 洋,他:医学と薬学 21(2):293,1989
54	レニン活性	荻原 俊男,他:医学と薬学 5:589,1981

頁	項 目	文 献 名
54	レニン定量	片山 明広,他:医学と薬学 35(2):417,1996
54	コルチゾール	片川 一之,他:医学と薬学 40(1):169,1998
55	デハイドロコルチゾン酢酸(DHEA-S)	増戸 梨恵,他:医学と薬学 56(3):443,2006
56	メタネフリン分画	Shoup R.E.,et al.:Clin.Chem. 23:1268,1977
56	VMA定性	金井 泉,他:臨床検査法提要 金原出版 31:175,1998
56	パニリルマンデル酸(VMA)(血漿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
56	パニリルマンデル酸(VMA)(尿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
56	ホモバニリン酸(HVA)(血漿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
56	ホモバニリン酸(HVA)(髄液)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
56	ホモバニリン酸(HVA)(尿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
56	カテコールアミン分画(尿)	西村 千江,他:臨床検査機器 試薬 16:1169,1993
56	カテコールアミン分画(血漿)	西村 千江,他:臨床検査機器 試薬 16:1169,1993
56	血中遊離メタネフリン分画	柳瀬 里美,他:医学と薬学 77,119~129,2020
57	セトニン	Picard.M.,et al.:J.Chromatogr. 341:445,1985
57	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)(血漿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
57	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)(髄液)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
57	5-ハイドロキシインドール酢酸(5-HIAA)(尿)	柴戸 光子,他:臨床化学 5(4):385,1977
57	MHPG	宮川富三雄:蛋白質核酸酵素 26(9):1089~1098,1981
58	NT-proBNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント)	Gary F.Blackburn,et al.:Clin.Chem. 37(9):1534~1539,1991
58	ミオグロビン	キット添付説明書
58	BNP(ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド)	永井 豪,他:医療と検査機器 試薬 32(1):73,2009
58	ミオグロビン(尿)	吉川 文雄,他:医学と薬学 37(5):1255,1997
58	(心室筋)ミオシン軽鎖 I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52(3):443,2004
58	心筋トロポニンT	荒井 信之,他:医療と検査機器 試薬 32(2):269,2009
58	HANP(ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド)	松岡 泰弘,他:機器 試薬 33(4):535,2010
58	トロポニン I	高木 康:トロポニン I,臨床検査 40:581~583,1996
59	ガストリン	花石 智子,他:医学と薬学 80(3):513~520,2023
59	抗IA-2抗体	松浦 信夫,他:プラクティス 16(5):567,1999
59	インスリン(IRI)	前畑 英介,他:医学と薬学 44(6):1069,2000
59	C-ペプチド(CPR)	武田 真一,他:医学と薬学 51(1):143,2004
59	C-ペプチド(CPR)(尿)	武田 真一,他:医学と薬学 51(1):143,2004
21:59	インスリン抗体	内瀧 安子,他:医学と薬学 65,525~530,2011
21:59	抗GAD抗体(抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体)価	高瀬 清美,他:ホルモンと臨床 44:897,1996
60	AMH	Kumar.A.,et al.:J Immuno Methods 362:51~59,2010
60	癌胎児性フィブロネクチン	一條 元彦,他:産婦人科治療 67(2):212,1993
60	プロゲステロン	岸野 好純,他:ホルモンと臨床 43(11):71,1995
60	子宮頸管粘液顆粒球エラスターゼ	北村 光,他:臨床検査機器 試薬 21(4):357,1998
60	エストラジオール(E2)(血清)	福井 智子,他:医学と薬学 43(4):853,2000
61	HCG定量(血清)	花川 準司,他:臨床検査機器 試薬 20(4):609,1997
61	HCG定量(尿)	花川 準司,他:臨床検査機器 試薬 20(4):609,1997
61	テストステロン(血清)	間中友季子,他:医学と薬学 36(6):1409,1996
61	HCG-β-サブユニット(血清)	菅原 由人,他:臨床検査機器 試薬 14(3):467~474,1991
61	HCG定性	山口登希子,他:医学と薬学 38(1):207,1997
61	遊離テストステロン	石原 静盛,他:核医学技術 29:59,1988
61	プレグナントリオール	平井 利生,他:日本臨床検査自動化学会誌 JJCLA 9(2):564~567,1984
61	sFlt-1/PIGF比	Xuming Bian. et al.:Hypertension 74,164~172,2019
62	アディポネクチン	Nishimura A.,et al.:Clinical Chemistry Acta 371:163~168,2006
62	エリスロポエチン	金尾 啓右,他:医学と薬学 21(4):659,1989
62	サイクリックAMP(c-AMP)(血漿)	孫 孝義,他:日内分泌会誌 61:912,1985
62	サイクリックAMP(c-AMP)(尿)	孫 孝義,他:日内分泌会誌 61:912,1985
64	AFレクチン分画	Shimizu K.,et al.:Clin.Chem.Acta. 214(1):3~12,1993
64	CA19-9	花田 孝子,他:医学と薬学 35(6):1283,1996
64	抗p53抗体	梶川 純子,他:医学と薬学 63(3):523,2010
64	PIVKA II (ECLIA法)	高津 和子,他:臨床と研究 73(11):224,1996
64	SPan1抗原	山村 倫子,他:臨床成人病 19(1):115,1989
64	癌胎児性抗原(CEA)	山田 孝,他:医学と薬学 29(5):1201,1993
64	BFP(塩基性フェトプロテイン)	石井 勝,医学のあゆみ 100:344,1977
64	α-フェトプロテイン(AFP)定量	石沢 修二,他:医学と薬学 30(2):377,1993
64	エラスターゼ1	大出 勝也,他:臨床病理 50(4):376,2002
64	NCC-ST-439	大倉 久直,他:癌と化学療法 14(6):1901,1987
64	DUPAN-2	張 正和,他:癌臓 1(1):69,1986
65	シアリルLex-i(SLX)抗原	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14:1322,1987
65	神経特異エノラーゼ(NSE)	花田 浩之,他:医学と薬学 60(4):657,2008
65	Pro GRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	吉村 徹,他:医学と薬学 62(4):759,2009
65	CA15-3	古川 郁子,他:医学と薬学 36(4):87,1996
65	BCA225	杉山 和義,他:日臨外医会誌 51:1380,1990
65	CYFRA(サイトケラチン19-フラグメント)	平川寛一郎,他:機器 試薬 21(3):289,1998
65	扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)	羽田真理子,他:医学と薬学 52(1):101,2004
66	前立腺特異抗原(PSA)	河野 均也,他:臨床検査機器 試薬 24(3):223,2001
66	γ-セミノプロテイン(γ-Sm)	江藤 耕作,他:日泌尿会誌 76(12):1836,1985
66	ICTP( I 型コラーゲンCテロペプチド)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42:1189,1994
66	PSA-ACT	大野 明美,他:医学と薬学 49(2):325,2003
66	S2-3PSA%	米山 徹,他:医療と検査機器 試薬 46,244~257,2023
53:66	NTx( I 型コラーゲン架橋N-テロペプチド)(尿)	橋口 佳枝,他:医学と薬学 39(3):609,1998
53:66	デオキシピリジリウム(DPD)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44(7):747,1996

頁	項 目	文 献 名
53-66	TRACP-5b(酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ5b)定量	西沢 良記,他:医学と薬学 54(5):709,2005
67	シアリルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16(9):3221,1989
67	可溶性インターロイキン2レセプター(IL-2R)	鶴澤 耕治,他:医療と検査機器-試薬 32(4):551,2009
67	CA125	間中友季子,他:医学と薬学 40(3):521,1998
67	CA72-4	青山 昭,他:医学と薬学 49(1):137,2003
67	CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19(12):2085~2093
67	CA602	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19(12):2085~2093
67	HE4(ヒト精巢上体蛋白4)	木村 英三:産婦人科の実験 64,1055~1061,2015
72	ニトラゼパム	Beharrell,G.P.,et al.:J.Chromatogr. 70:45,1972
72	ジアゼパム	Brodie RR.,et al.:Chromatogr 150:61,1978
72	ガバペンチン	Forrest G.,et al.:Journal of Chromatography B 681:421~425,1996
72	クロバザム	Pawel K Kunicki:Journal of Chromatography B 750:41,2001
72	トリメタジオン	Wolfgang,S. and Beelen,C.C.M.:抗けいれん薬.ドラッグモニタリング(広川書店):100,1982
72	エトサクシミド	宮本 侃治:臨床化学 6(3):202,1978
72	プリミトン	宮本 侃治:臨床化学 6(3):202,1978
72	ゾニサミド	熊谷 昇,他:臨床医薬 5(4):843,1989
72	ラモトリギン	小嶺 幸弘:沖繩医報 45(9),51,2009
72	カルバマゼピン	石橋みどり,他:医学と薬学 42(6):1061,1999
72	バルプロ酸Na	石橋みどり,他:医学と薬学 42(6):1061,1999
72	フェニトイン	石橋みどり,他:医学と薬学 42(6):1061,1999
72	フェノバルビタール	石橋みどり,他:医学と薬学 42(6):1061,1999
72	クロナゼパム	大田 博子,他:医薬ジャーナル 24(11):92,1988
73	スチレピントール	Fisher J.L.:Epilepsia 52(Suppl.2),76,2011
73	ハロペリドール	Furukori N. Y.,et al.:Ther Drug Monit. 26(3):336,2004
73	フロムペリドール	Furukori N. Y.,et al.:Ther Drug Monit. 26(3):336,2004
73	ゲンタマイシン	Jolley,M.E.,et al.:Clin.Chem 27:1190,1981
73	ペランパネル	花田 敬久:脳21 16(3),322,2013 Yuji Mana et al:J Pham,Bioned Ara 107,56,2015
73	バンコマイシン	キット添付説明書
73	アルベカシン	久保 博明,他:医学と薬学 19(6):1454,1988
73	リチウム(炭酸リチウム)	高橋 修:臨床検査 34(11):1468,1990
73	トピラマート	小嶺 幸弘:沖繩医報 45(9),51,2009
73	テイコプラニン	松本 文夫,他:医学と薬学 38(3):621,1997
73	テオフィリン(気管支拡張剤)	石橋みどり,他:医学と薬学 42(6):1061,1999
73	レベチラセタム	赤松 直樹,他:Epilepsy 4(2):129,2010
73	ジゴキシン	末森 一恵:Medical Technology 37(9):1005,2009
73	アミカシン	木村 英樹,他:JJCLA 33(5):860,2008
73	トブラマイシン	木村 英樹,他:JJCLA 33(5):860,2008
73	ラコサミド	Kim,J.S.et al.:Brain Dev 36(6),510,2014
74	プロプラノロール	Ahnoff,M.,et al.:J.Chromatogr 340:73,1985
74	プロパフェノン	Haefeli.E.W.,et al.:Clin.Pharmacol.Ther, 48(3):245,1990
74	アミオダロン	K.resse.,et al.:J Chromatography 417:456,1987
74	プロカインアミド	Pincus,MR.,et al.:Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods, 18:349,1991
74	ソタロール	Tagawa M.,et al.:Jpn Circ J, 65(Supl-A):386,2001
74	フレカイニド	加藤 林也,他:臨床薬理 20(3):505,1989
74	ベアリジール	鎌倉 令,他:心電図 31(2):150,2011
74	リドカイン	宮本 侃治:臨床化学 6(3):202,1978
74	アプリンジン	高田 充隆,他:病院薬学 14(4):256,1988
74	メキシレチン	坂本 伸哉,他:TDM研究 3(2):126,1986
74	ピルメノール	市川 林,他:臨床医薬 11(4):903,1995
74	コハク酸シベンハリン	寺川 雅人,他:薬物動態 3:761,1988
74	塩酸ピルジカイニド	上野 和行:Pharma Medica 11(4):97,1993
74	ジノピラミド	西川 隆,他:医学と薬学 9(4):1213,1983
74	キニジン	木村 英樹,他:JJCLA 33(5):860,2008
75	アセトアミノフェン	Jolley M. E.,et al.:Clin. Chem,27,1575,1981
75	イマチニブ	Picard S.,et al.:Blood 109(8),3496,2007
75	メトトレキサート	宮崎 弘和,他:Therapeutic Reserch 2:113,1985
75	タクロリムス(免疫抑制剤)	向井田麻由,他:医学と薬学 60(1):133,2008
75	シクロスポリン(免疫抑制剤)	向井田麻由,他:医学と薬学 62(4):767,2009
75	ミコフェノール酸モフェチル	小林 昌宏,他:TDM研究 25(4):133,2008
75	サリチル酸	木村 英樹,他:JJCLA 33(5):860,2008
75	エベロリムス	福嶋 教偉:今日の移植 19(2):153,2006
75	ポリコナゾール	臼井 英俊,他:医学と薬学 53(6):817~821,2005
76	乱用薬物スクリーニング	Department of Health and Human Services:Mandatry Guidline for Federal Workplace Drug Testing Programs,USA
76	覚せい剤検査	Department of Health and Human Services:Mandatry Guidline for Federal Workplace Drug Testing Programs,USA
79	RS(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
79	アデノ(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
79	インフルエンザA型(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
79	インフルエンザB型(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
79	インフルエンザA型(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
79	インフルエンザB型(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
79	パラインフルエンザ1型(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
79	パラインフルエンザ2型(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
79	パラインフルエンザ3型(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
79	RS(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ11型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973

頁	項 目	文 献 名
79	アデノ19型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ1型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ21型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ2型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ37型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ3型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ4型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ5型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ6型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
79	アデノ7型(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー7型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー9型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー11型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
80	エコー12型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー13型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー14型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー17型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー18型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー19型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー21型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー22型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー24型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー25型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	エコー30型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群7型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群9型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群9型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
81	コクサッキーA群10型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
81	コクサッキーA群16型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
82	コクサッキーB群1型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
82	コクサッキーB群2型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
82	コクサッキーB群3型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
82	コクサッキーB群4型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
82	コクサッキーB群5型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
82	コクサッキーB群6型(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
83	日本脳炎(JaGAR株)(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
83	エンテロ70型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
83	エンテロ71型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
83	日本脳炎(CF法)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル,文光堂:880,1988
84	ムンプス(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
84	ムンプスIgG抗体(EIA法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
84	麻疹IgG抗体(EIA法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
84	麻疹IgM抗体(EIA法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
84	ムンプス(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
84	ムンプス(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
84	麻疹(NT法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:260,1973
84	ムンプスIgM抗体(EIA法)	内田 立志,他:川崎医学会誌 35(2):139,2009
85	風疹IgG抗体(EIA法)	Champsaur,H.,et al.:J.Med.Virol. 5:273,1980
85	風疹IgM抗体(EIA法)	Champsaur,H.,et al.:J.Med.Virol. 5:273,1980
85	水痘・帯状ヘルペス(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
85	水痘帯状ヘルペスIgG抗体(EIA法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
85	水痘帯状ヘルペスIgM抗体(EIA法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
85	風疹(HI法)	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版,丸善:214,1973
85	ヒトパルボB19 IgG抗体	杉下 知子,他:医学と薬学 38(6):1191,1997
85	ヒトパルボB19 IgM抗体	杉下 知子,他:医学と薬学 38(6):1191,1997
86	サイトメガロIgG抗体	熊田 洋高,他:医学と薬学 72(6):1087~1094,2015
86	サイトメガロIgM抗体	熊田 洋高,他:医学と薬学 72(6):1087~1094,2015
86	サイトメガロ(CF法)	金井 興美,他:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987

# 146 参考文献一覧

頁	項	目	文	献	名
86	単純ヘルペス(CF法)		金井 興美,他:微生物検査必携	ウイルス・クラミジア・リケッチア検査	第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:31,1987
86	単純ヘルペスIgG抗体(EIA法)		金井 興美,他:微生物検査必携	ウイルス・クラミジア・リケッチア検査	第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
86	単純ヘルペスIgM抗体(EIA法)		金井 興美,他:微生物検査必携	ウイルス・クラミジア・リケッチア検査	第3版 第1分冊,日本公衆衛生協会:48,1987
86	単純ヘルペス1型(NT法)		国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学	総論 2版,丸善:260,1973	
86	単純ヘルペス2型(NT法)		国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学	総論 2版,丸善:260,1973	
87	EB-EADR-IgG抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EB-EADR-IgA抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EB-VCA-IgG抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EB-VCA-IgM抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EB-VCA-IgA抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EBNA抗体(FA法)		日沼 頼夫,他:臨床病理	臨時増刊 35:179,1978	
87	EB-EA IgG抗体(EIA(ELISA)法)		脇口 宏,他:医学と薬学	58(2):363,2007	
87	EB-VCA IgG抗体(EIA(ELISA)法)		脇口 宏,他:医学と薬学	58(2):363,2007	
87	EB-VCA IgM抗体(EIA(ELISA)法)		脇口 宏,他:医学と薬学	58(2):363,2007	
87	EBNA IgG抗体(EIA(ELISA)法)		脇口 宏,他:医学と薬学	58(2):363,2007	
88	HTLV- I 抗体(ウエスタンブロット法)		上平 憲,他:臨床とウイルス	21(1):73,1993	
88	HTLV- I 抗体(CLIA法)		有馬 直道,他:医学と薬学	65:651~655,2011	
88	サイトメガロウイルス PP65抗原(C7-HRP)		榎堂 久司,他:臨床血液	34(11):1438~1444,1993	
89	ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA型判定		横田 治重,他:日本臨床	50巻:199,1992	
89	ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA低リスク		石 和久,他:医学と薬学	39(4):849,1998	
89	ヒトパピローマウイルス(HPV)DNA中~高リスク		石 和久,他:医学と薬学	39(4):849,1998	
89	SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)核酸検出		上養 義典:検査と技術	49(12):1332,2021	
89	SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)抗原検出 唾液		青木 弘太郎:Medical Technology	49(12):1285,2021	
89	SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)抗原検出 鼻咽喉ぬぐい		青木 弘太郎:Medical Technology	49(12):1285,2021	
90	ロタウイルス抗原		篠崎 立彦,他:小児科臨床	41(2):397,1988	
90	ノロウイルス		榮 賢司,他:医学と薬学	50(5):715~719,2003	
90	単純ヘルペスウイルス抗原		吉田 晃,他:臨床とウイルス	13:490,1985	
90	水痘帯状ヘルペス抗原		新村 真人,他:感染症学雑誌	64:195,1990	
92	デルタアミノレブリン酸定量		岡山 明:労働衛生管理	3(4):45,1992	
92	インゾウム		厚生労働省ホームページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/bunya/froudoukijun/anzensei48/index.html">http://www.mhlw.go.jp/bunya/froudoukijun/anzensei48/index.html</a>	厚生労働省,特定化学物質障害予防規則等,平成24年10月	
92	赤血球中プロトポルフィリン		新沼 幸子,他:産業医学	23:254,1981	
92	メタノール		深掘すみ江,中明 賢二:労働科学	59,555,1983	
92	エタノール		塚本昭次郎:アルコール研究	5:8,1970	
92	鉛		原田 章,他:鉛健康診断の進め方	56,1990	
92	セレン		Tulley R. T. et al.:Clin. Chem.	28,1448,1982	
93	マンデル酸		Masana Ogata.,et al.:Int Arch Occup Environ Health	61:131,1988	
93	メチル馬尿酸		Masana Ogata.,et al.:Int Arch Occup Environ Health	61:131,1988	
93	馬尿酸		Masana Ogata.,et al.:Int Arch Occup Environ Health	61:131,1988	
93	2,5-ヘキサジジオン		全国労働衛生団体連合会:有機溶剤健康診断のすすめ方	全衛連,1990	
93	N-メチルホルムアミド		全国労働衛生団体連合会:有機溶剤健康診断のすすめ方	全衛連,1990	
93	トリクロロ酢酸		全国労働衛生団体連合会:有機溶剤健康診断のすすめ方	全衛連,1990	
93	総三塩化物		竹内 康浩:臨床検査	28:1402,1984	
94	塗抹鏡検		九州臨床検査精度管理研究会監修:臨床細菌検査マニュアル	1994	
94	塗抹鏡検(グラム染色)		湖城 明子,他:機器・試薬	25(5):455,2002	
94	MRSA培養		紺野 昌俊,編:MRSA感染症のすべて	医薬ジャーナル社:154,1991	
94	酵母様真菌培養		小栗 豊子,編:臨床微生物検査ハンドブック	第2版:134,2000	
94	嫌気培養		数内 英子,他:臨床検査	29:1609,1985	
100	結核菌群抗原精密検査		叶 一乃,他:臨床と微生物	28(3):53,2001	
100	抗酸菌分離培養検査(液体培地)		斎藤 肇,他:臨床と微生物	24(6):897,1997	
100	抗酸菌薬剤感受性検査		斎藤 肇,他:臨床と微生物	24(6):897,1997	
100	抗酸菌塗抹鏡検 蛍光染色(集菌塗抹法)		斎藤 肇:結核	77(3):154,2002	
100	抗酸菌分離培養検査(小川培地)		室橋 豊稔,他:結核菌検査指針	日本公衆衛生協会,1979	
100	MAC PCR(マイコバクテリウムアビウム・イントラセルラー核酸同定)		田口 直子,他:医学と薬学	62(1):121,2009	
100	結核菌群PCR(結核菌群核酸同定)		田口 直子,他:医学と薬学	62(1):121,2009	
100	抗酸菌同定		大楠 清文:モダンメディア	58(4):113~122,2012	
99	大腸菌ペロトキシン		甲斐 明美,他:日細誌	44:434,1989	
99	大腸菌抗原同定		腸管病原性大腸菌,微生物検査必携,細菌・真菌検査	第3版,日本公衆衛生協会,D-30,1987	
99	クロストリジオイデス・ディフィシル抗原定性		豊川 真弘,他:感染症学雑誌	81(1):33,2007	
102	病理組織顕微鏡検査		佐野 豊:細胞学検査法	南山堂,1976	
104	その他一般材料細胞診		井上 良夫:細胞診とその技術	医歯薬出版,1981	
104	婦人科材料細胞診		井上 良夫:細胞診とその技術	医歯薬出版,1981	
108	LLACD45ゲーティング		Borowitz MJ.,et al.:American Journal of clinical Pathology	100:534~540,1993	
108	MLACD45ゲーティング		Borowitz MJ.,et al.:American Journal of clinical Pathology	100:534~540,1993	
108	悪性リンパ腫解析検査 7AAD解析		HASSERT J.,et al.:CYTOMETRY	22:264~281,1995	
108	多発性骨髄腫解析検査 CD38マルチ解析		HASSERT J.,et al.:CYTOMETRY	22:264~281,1995	
108	モノクローナル抗体によるリンパ球表面マーカーの自動解析		Ip SH et al.:Clinical Chemistry	28(9):1905~1909,1982	
108	Two-color解析によるリンパ球表面マーカー検査		高瀬 浩造:臨床免疫	17(10):914~925,1985	
108	T細胞・B細胞百分率(CD3,CD19)		倉持 恒雄:移植	16:8,1981	
108	B細胞サブクラスIgA		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	B細胞サブクラスIgD		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	B細胞サブクラスIgG		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	B細胞サブクラスIgM		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	B細胞サブクラスκ(カッパー)		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	B細胞サブクラスλ(ラムダ)		中川 俊郎:Medical Technology	10:771,1982	
108	IgG-FcR+・T細胞百分率		Perussia B et al.:The Journal of Immunology	130(5):2133~2141,1983	

頁	項 目	文 献 名
110	NK細胞活性	康 浩一,他:Medical Technology 21(7):574~580,1993
110	薬剤によるリンパ球刺激試験(DLST)	中島 一格:Medical Technology 21(7):722,1993
110	リンパ球幼若化試験(Con-A)	福島啓太郎,他:Medical Technology 21(7):558,1993
110	リンパ球幼若化試験(PHA)	福島啓太郎,他:Medical Technology 21(7):558,1993
111	HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他:MHC10(1):21~31,2003
111	HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他:MHC10(1):21~31,2003
111	先天性疾患染色体分析 C-band	山田 清美:臨床病理 特集80:112,1989
111	Major BCR-ABL 高感度 IS%	Hughes TP.et.al:N Eugl.J.Med 349.1423~1432,2003
111	HLA-DPBI(DNAタイピング)	成瀬 妙子,他:MHC5(2):101~106,1998
111	HLA-DQBI(DNAタイピング)	成瀬 妙子,他:MHC5(2):101~106,1998
111	HLA-DRBI(DNAタイピング)	成瀬 妙子,他:MHC5(2):101~106,1998
111	先天性疾患染色体分析高精度分染法	斉藤深美子,他:臨床病理 特集80:147,1989
111	HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英:MHC5(2):96~100,1998
111	HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英:MHC5(2):96~100,1998
111	HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英:MHC5(2):96~100,1998
111	先天性疾患染色体分析 G-band	島田 裕充:臨床病理 特集80:76,1989
111	先天性疾患染色体分析 Q-Banding	Caspersson T et al:Hereditas 67:89~102,1971
111	血液疾患染色体分析 G-Banding	Seabright M:The Lancet 2 971~972,1971
111	NUDT15遺伝子コドン139多型解析	Moriyama T. et al.:Nat. Genet. 48,367~373,2016 Tanaka Y. et al.:Br. J. Haematol. 171,109~115,2015
112	クオンティーフェロンプラス	日本ビーシージー製造(株) キット説明書
114	T-SPOT TB	原田 登之,他:モダンメディア 54(5):148,2008
116	AIRS®	Kazutaka Shimbo et al:Biomedical Chromatography 24:683~691,2010
118	LOX-index®	井上 信孝,他:Clinical Chemistry56:4 550~558,2010
118	LOX-index®	沢村 達也,他:Nature,386:73~77,1997



一般社団法人  
半田市医師会健康管理センター  
臨床検査事業部

---

〒475-8511 愛知県半田市神田町1-1  
臨床検査事業部 TEL(0569)27-7882 FAX(0569)27-7990  
学術インフォメーション TEL(0569)27-7883  
登録衛生検査所 登録番号第92号